SONY

4-682-300-**01**(1)

こんなときはこのマニュアル 5ページ
目次 6ページ
はじめにお読みください 15
接続する／準備する 27
コンピュータの基本操作 77
インターネットを始める 83
接続／拡張するときは 135
リカバリディスク作成／リカバリ 177
その他 205
重要なお知らせ 223

はじめにお読みください
取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

i™ S400

MEMORY STICK™

パーソナルコンピューター
PCV-RZ75P/RZ65/RZ55

© 2004 Sony Corporation

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

9ページからの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。

認証機器名：PCV-1140

アース線の接地接続について

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

本機の内蔵モデムについて

- 本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国のモードを使用すると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。工場出荷時の設定は「日本モード」となっておりますので、そのままご使用ください。
- 第一種電気通信事業者の交換設備からアナログ電話端末までの線路抵抗環境によっては、モデムが使用できないことがあります。

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

アナログ放送から、デジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

マクロビジョンについて

本機は、米国特許およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

著作権について

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、著作者の許可なく、取り込んだ映像・画像・音声に変更・切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうことは禁じられています。コピーガード信号の入った映像は録画することができません。

著作権保護の信号が記録されているソフトウェアおよび放送は録画できません。

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用は、使用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。コピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの使用許諾条件および著作権法を遵守してください。
- 各種サービスは、都合によりソニーおよび提供者の判断にてご提供を中止・中断する場合があります。その場合、対象ソフトウェアまたは対象ソフトウェアの一部機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

この説明書は、本文に100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています

この商品はグリーン購入法における判断基準を満たしています。

本書で使われているイラストについて

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

ソニースタイルモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様が異なります。

詳しくは、同梱されている「Sony Styleご利用のお客様へ」をご覧ください。

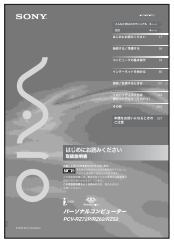
こんなときはこのマニュアル

必ず本書からお読みください。
本機に付属しているマニュアルの内容を簡単にご紹介します。目的に合わせてお読みください。
*表紙や画面は実際のものと多少異なる場合があります。

紙のマニュアル

必ずお読みください

❑ 取扱説明書（本書）



下記の内容などを説明しています。

・バイオを使う準備
・コンピュータの基本操作
・インターネット接続
・接続／拡張
・重要なお知らせ

バイオをもっと活用したいときは

❑ バイオで映像を楽しもう！

本機に付属しているソフトウェアの活用法を説明しています。

❑ バイオでテレビを楽しもう！（初級編）

バイオでテレビを楽しむための準備や方法を説明しています。（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル）

トラブルが起きてしまったら

❑ 困ったときは

トラブルに出合ったときの解決方法や本機のサービス・サポートについて説明しています。

右の「バイオ　こんなときはどうするの…」とあわせてご覧ください。

❑ バイオ こんなときはどうするの…

ソニーへのお問い合わせの多い内容と対処方法を紹介しています。

❑ ご注意・お知らせ（色紙）

ご注意などのお知らせを記載しています。

画面で見るマニュアル

サイバーサポート

バイオを使って楽しむための情報がいっぱいの電子マニュアルです。困ったときの対処方法も紙のマニュアル以上に充実しているので、キーワードで検索してスピーディに調べられます。

デスクトップのこのアイコン、「バイオマニュアルCyberSupport」をダブルクリック！

デスクトップ画面

サイバーサポートの画面

バイオメニュー
やりたいことからソフトウェアを探して起動できます。

How to VAIO［ハウ トゥ バイオ］
バイオの基礎を学べます。

できる Windows for VAIO
Windowsの基本操作を説明しています。

ヘルプとサポートセンター

Windowsの操作方法やサポートの情報が見られます。起動するには スタート → [ヘルプとサポート] をクリックします。

ソフトウェアのヘルプ

各ソフトウェアの使用方法については、ソフトウェアに付属のヘルプをご覧ください。

目次

サイバーサポート（画面で見る電子マニュアル）

バイオの使いかたを知りたいときや、困ったことがあったときは、デスクトップ画面上の をダブルクリックして起動してください。

「本機をお使いになるときの重要なお知らせ」が224ページから記載されています。必ずご覧ください。
ここ以外にも本機で閲覧できる重要なお知らせがあります。下記の手順に従い、224ページからのお知らせとあわせてご覧ください。
デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［重要なお知らせ］をクリックし、「重要なお知らせ」を表示します。

安全のために 2
こんなときはこのマニュアル 5
警告・注意 9

はじめにお読みください

バイオでこんなことができます 16
付属品を確かめる 18
各部の説明 21

接続する／準備する

操作の流れ 28
設置する 29
接続する／準備する 31
1 ディスプレイを接続する 31
2 アクティブスピーカーを接続する 32
3 キーボードとマウスを接続する 34
4 一般電話回線／ADSL／ISDN／CATVインターネット回線に接続する（モデム搭載モデル） 35
5 リモコン用受光ユニットを接続する（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル） 39
6 リモコンを準備する（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル） 40
7 アンテナにつなぐ（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル） 40
8 ビデオデッキ、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV!（CSチューナー）、またはBSデジタルチューナーを接続する（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル） 43
9 ジョグコントローラーを接続する（PCV-RZ75P、一部ソニースタイルモデル） 45
10 電源コードを接続する 46
電源を入れる 47
Windowsを準備する 48
複数ユーザーで使用する 53

カスタマー登録する 54
テレビを見る準備をする（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル） 64
テレビを見るまでの流れ 64
チャンネル設定をする 66
チャンネル設定を変更する 70
電源を切る 75
省電力機能について 76

コンピュータの基本操作

コンピュータの基本操作 78
デスクトップ画面の各部のなまえとはたらき 78
マウス各部のなまえと使いかた 80
キーボードの使いかた 80
文字の入力 81
ウィンドウの各部のなまえとはたらき 81
ファイルやフォルダの操作 82

インターネットを始める

インターネットとは 84
インターネット接続方法の種類について 85
インターネット接続に必要なものは 87
インターネット上でのトラブルについて 89
インターネットに接続するまでの流れ 91
プロバイダと契約する 92
チェックシートを作成する 96
ADSLでインターネットに接続する 100
一般電話回線でインターネットに接続する（モデム搭載モデル） 104
ホームページを見る 116
電子メールソフトウェアの設定をする 122
電子メールをやりとりする 127
セキュリティについて 131
コンピュータウイルスについて 131
「Norton AntiVirus」ソフトウェアについて 131
「Windows Update」の「重要な更新とService Pack」のご利用について 133
インターネット接続ファイアウォール機能について 134
インターネットのセキュリティについて 134

接続／拡張するときは

テレビ／ビデオデッキをつなぐ
（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル） 136
USB機器をつなぐ 140
プリンタをつなぐ 142
i.LINK対応機器をつなぐ 144

次のページにつづく

AVアンプなどのデジタル機器をつなぐ 148
ネットワーク（LAN）につなぐ 149
PCカードを使う（PCカードスロット搭載モデル） 150
拡張ボードを増設する 154
メモリを増設する 158
ハードディスクドライブを増設する 166
その他のデバイスを増設する
（PCV-RZ55、一部ソニースタイルモデル） 173

リカバリディスク作成／リカバリ

リカバリディスクを作成する 178
リカバリとは 178
リカバリに使用するディスクについて 178
リカバリディスクを作成する 179
リカバリする 183
リカバリの種類／方法 183
リカバリの準備（バックアップ／BIOS） 185
Windowsからリカバリする 188
Windowsが起動しない状態でリカバリする 194
本機を出荷時状態に戻す 195
パーティションサイズを変更する 198
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する 200
バックアップしたデータを戻す 204

その他

動画系ソフトウェアの使いかた 206
コンピュータ廃棄時等のハードディスク上の
データ消去に関するご注意 208
使用上のご注意 209
お手入れ 213
保証書とアフターサービス 214
付属ソフトウェアのお問い合わせ先 215

必ずお読みください

重要なお知らせ

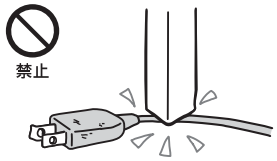
本機をお使いになるときの重要なお知らせ 224
ソニースタイルモデルをご購入のお客様へ 233
索引 235

警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電などにより死亡や大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

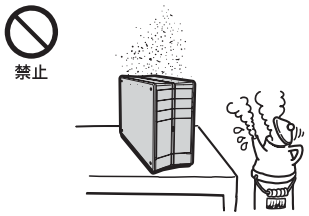
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

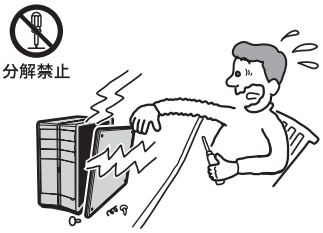


内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理をご依頼ください。

むやみに内部を開けない

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店にご依頼ください。
- 各種の拡張ボード（基板）を取り付けたりメモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の周辺機器の拡張のページで指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となることがあります。



落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電したり本機が故障することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐためにテレホンコードや電源プラグを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

禁止

本機は日本国内専用です

交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電、故障の原因となることがあります。

指示

内蔵モデムを一般回線以外の電話回線に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

禁止

品（ネットワーク／LAN）コネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

本機の品（ネットワーク／LAN）コネクタに下記のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般電話回線
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

禁止

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、
健康を害するおそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

キーボードを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の
物品に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

オプティカルマウス底面の赤い光を直接見ない

マウス底面から発せられている赤い光を直接見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。

注意

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

注意

アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。

アース線を
接続せよ

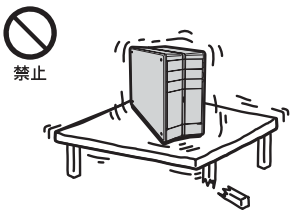
通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から15cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も十分にお確かめください。



電源が入っている状態で動かさない

電源が入っている状態で、本機を移動させたり、動かしたりすると、ハードディスクの故障の原因となります。

注意

運搬時は慎重に

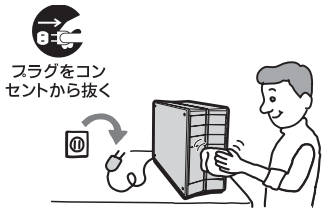
コンピュータを運搬するときは、底面全体を保持し、安定した姿勢で運んでください。前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。また、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。

製品の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



移動させる時は電源コードや接続コードを抜く

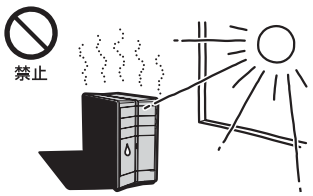
接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。

直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。



電池についての安全上のご注意

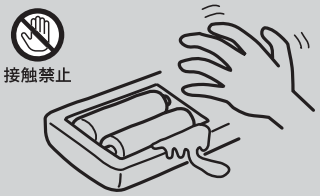
漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

アルカリ電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。



必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で十分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

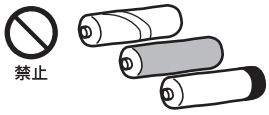
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

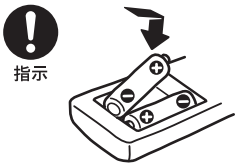
市販のアルカリまたはマンガン電池（単三型）以外の電池をリモコンに使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



+とーの向きを正しく入れる

+と-を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

はじめにお読みください

この章では、バイオを使ってできることや、
本機を接続する前に確認しておきたいことを説明します。

バイオでこんなことができます 16
付属品を確かめる 18
各部の説明 21

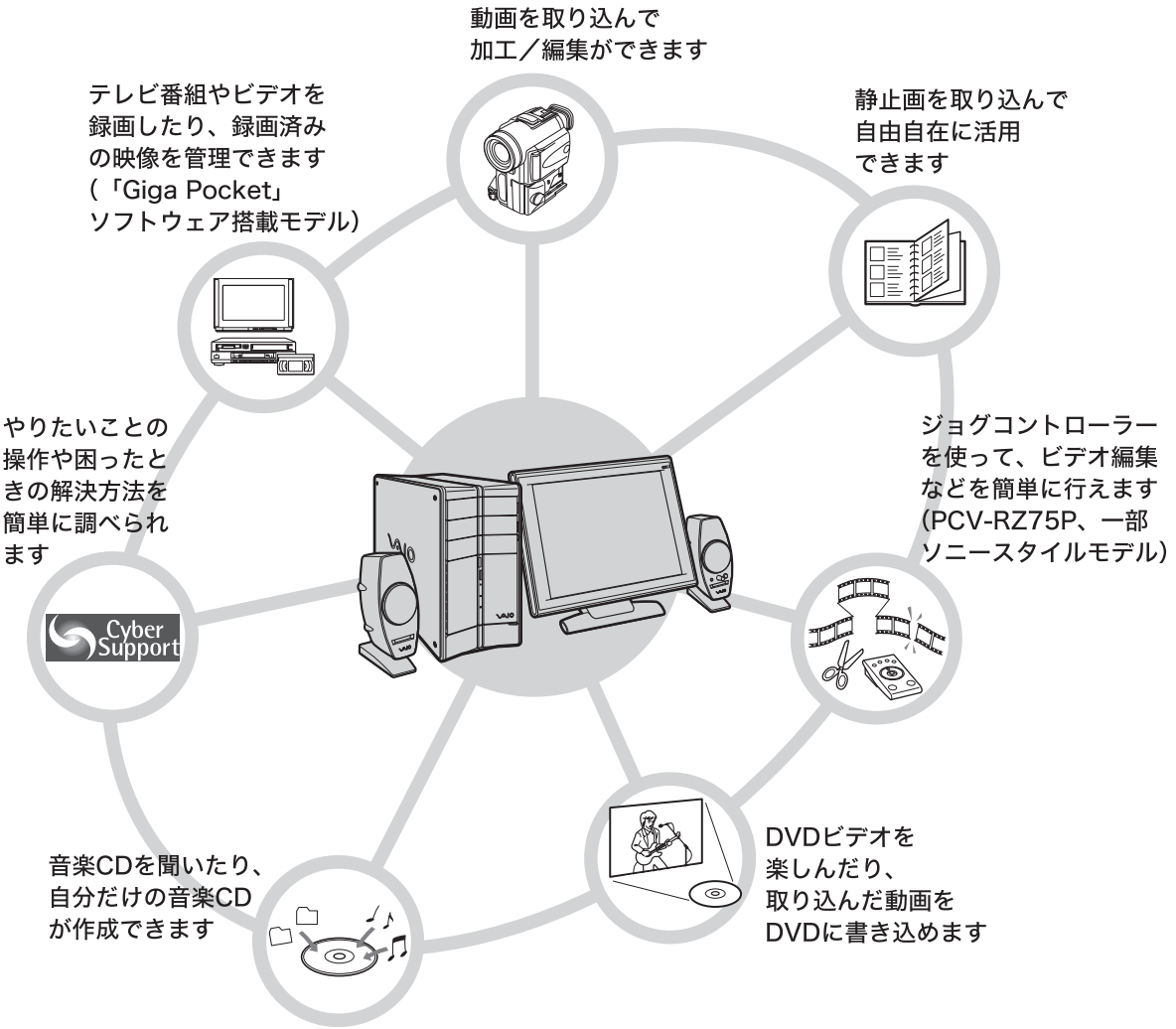
バイオでこんなことができます

本機は、デジタルビデオカメラレコーダーやビデオデッキ、テレビなどと組み合わせて使うことを想定して設計された、ソニーならではのコンピュータです。

ここでは、本機を使ってできることの例をあげてあります。

なお、これらの機能をお使いいただくには、最初に、本書に沿ってひと通りの接続や準備を完了しておく必要があります。28ページからの説明に従って、本機の接続と準備を行ってください。

また、それぞれの操作について詳しくは、「サイバーサポート」または各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



VAIOカスタマーリンクのホームページでは、本機を最新の状態にしたり、さまざまな問題を解決することができるアップデートプログラムをダウンロードすることができます。本機を快適にお使いいただくために、ぜひVAIOカスタマーリンク ホームページを定期的にご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

本機には、バイオを楽しむためのソフトウェアが数多く付属しています。

ここで紹介するソフトウェアはその一部です。各ソフトウェアは、「バイオメニュー」から起動することができます。また、各ソフトウェアのお問い合わせ先については、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（215ページ）をご覧ください。

「バイオメニュー」の使いかた

「バイオメニュー」を使うと、やりたいことからソフトウェアを探して起動できます。

デスクトップ画面にあるこのアイコンをダブルクリックする。

デスクトップ画面に「ここから始めようバイオメニュー」を表示することもできます。

やりたいことは…	使用するソフトウェア	「バイオメニュー」からの起動方法
動画を取り込んで編集したい		
デジタルビデオカメラレコーダーなどで撮影した映像を編集	ディーブイゲート プラス DVgate Plus	[動画・映像]→[動画の編集]→[撮ったビデオをバイオで編集]の順にクリックする
テレビ番組を見たり、録画したい		
テレビ番組を見たり、録画する	ギガ ポケット Giga Pocket	[動画・映像]→[テレビを見る・録画する]→[テレビを見る・録画する]または[録画した映像を管理する]または[録画予約をする]の順にクリックする
DVDを楽しみたい		
DVDビデオを再生する	パワーディーブイディー エックスピー フォー バイオ PowerDVD XP for VAIO	[動画・映像]→[DVDを楽しむ]→[DVDを見る]の順にクリックする
ワンクリックでDVDを作る	クリック トゥ ディーブイディー Click to DVDおまかせコース	[動画・映像]→[DVDを楽しむ]→[ワンクリックでDVDを作る]の順にクリックする
オリジナルDVDを作ったり、「Giga Pocket」ソフトウェアで録画したビデオカプセルをDVDに保存する	Click to DVD	[動画・映像]→[DVDを楽しむ]→[オリジナルDVDを作る]の順にクリックする
音楽を楽しみたい		
音楽CDを聞いたり、オリジナルCDを作成する	ソニックステージ SonicStage	[音楽]→[CDを楽しむ]→[CDを聞く]または[音楽CDを作成する]の順にクリックするか、[音楽]→[MDを楽しむ]→[Net MD機器に音楽を持ち出す]の順にクリックする
アナログ音源を高音質でデジタル録音する	ソニックステージ SonicStage マスタリング スタジオ Mastering Studio	[音楽]→[CDを楽しむ]→[アナログ音源を高音質CDに]または、[音楽]→[演奏する・編集する]→[高音質デジタル録音]の順にクリックする
静止画を取り込んで活用したい		
デジタルスチルカメラで撮影した写真を取り込んで管理	フォトコレクション	[静止画・写真]→[デジタル写真を楽しむ]→[写真を見る・管理する]の順にクリックする
写真からハガキや名刺、インデックスラベルなどを作る	プリントスタジオ	[静止画・写真]→[デジタル写真を楽しむ]→[写真を印刷する]の順にクリックする
ホームネットワークで楽しみたい		
ネットワークでつながったバイオに保存された音楽・フォト・ビデオを楽しむ	バイオ メディア VAIO Media	[音楽]→[ホームネットワークで楽しむ]または[静止画・写真]→[ホームネットワークで楽しむ]または[動画・映像]→[ホームネットワークで楽しむ]の順にクリックする
バイオの使いかたや困ったときの解決方法を調べたい		
バイオの使いかたや、困ったときの対処法を調べる	サイバーサポート フォー バイオ CyberSupport for VAIO	「バイオメニュー」画面右下の[バイオのマニュアルを見る]をクリックする

各ソフトウェアは、スタート →[すべてのプログラム]からも起動できます。

「VAIO Update」について

「VAIO Update」は、ソニーがご提供するお客様への「重要なお知らせ」や「アップデートプログラム」の情報を、定期的にお知らせするソフトウェアです。
このソフトウェアを利用することで、想定されるトラブルを未然に防ぐことができます。
詳しくは、付属の「困ったときは」の「バイオ サービス・サポートのご案内」の「「バイオアップデート」を利用するには」をご覧ください。

付属品を確かめる

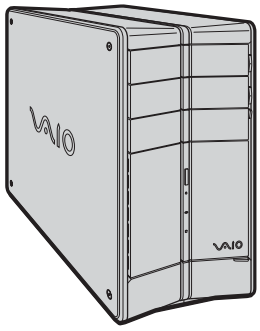
本機をはじめて使うにあたって、以下のものがすべて揃っているかご確認ください。
❑マークにチェックしながら確認すると便利です。

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIO(バイオ)カスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。

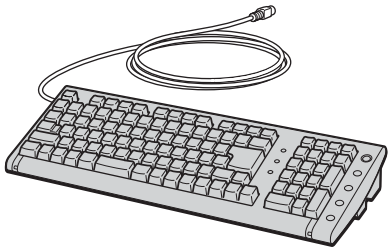
本書で使用するものについては、本書がついています。

ソニースタイルモデルをご購入のお客様へ
お客様が選択された商品により、仕様が異なります。詳しくは、本書233ページもしくは、同梱の「Sony Styleご利用のお客様へ」をご覧ください。

❑ コンピュータ本体(1) 本書

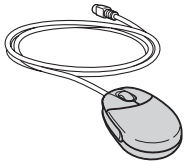


❑ キーボード(1) 本書

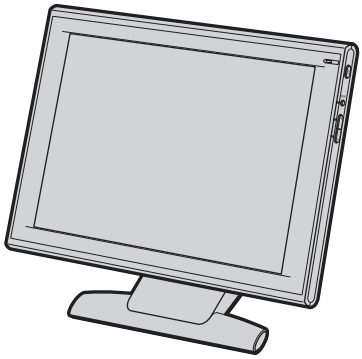


❑ パームレスト(1) 本書

❑ マウス(1) 本書

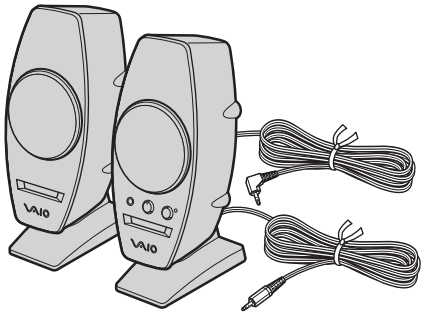


❑ ディスプレイおよびその付属品(1) 本書



上のイラストは TFT(ティーエフティー) 液晶ディスプレイ PCVD-17SA1シリーズです。
お買い求めの機種によっては、その他のディスプレイが付属しています。また、ディスプレイが付属していない機種もあります。
ディスプレイによっては別売りのディスプレイケーブルが必要になることがあります。

❑ アクティブスピーカー(1) 本書

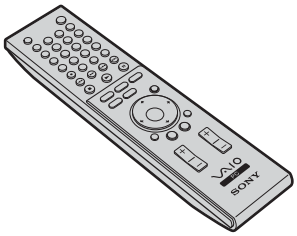


❑ アクティブスピーカー電源ケーブル(1) 本書

アクティブスピーカーとアクティブスピーカー電源ケーブルは、同じ箱に入っています。

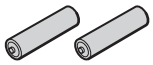
❑ **リモコン(1)** 本書

「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル



❑ **単3乾電池(2)** 本書

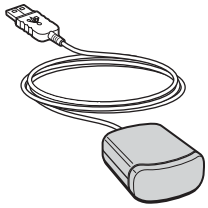
「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル



❑ **リモコン用受光ユニット(1)**

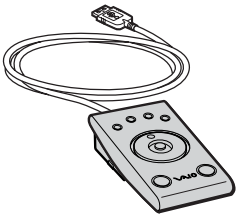
本書

「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル



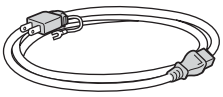
❑ **ジョグコントローラー(1)**

PCV-RZ75P、一部ソニースタイルモデル



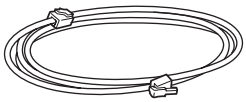
ケーブル

❑ **電源コード(1)** 本書



❑ **テレホンコード(1)** 本書

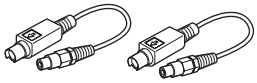
モデム搭載モデル



❑ **ビデオ接続用変換コネクタ(2)**

本書

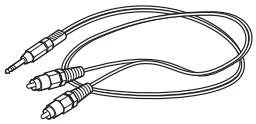
「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル



❑ **オーディオ接続ケーブル(1)**

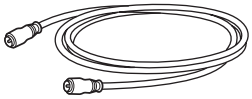
本書

「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル



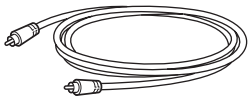
❑ **アンテナ接続ケーブル(1)** 本書

「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル



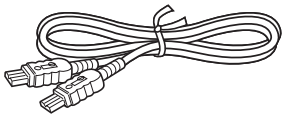
❑ **ビデオ接続ケーブル(1)** 本書

「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル



❑ **i.LINKケーブル(4ピン⟷4ピン)(1)** 本書

PCV-RZ75P／RZ65、ソニースタイルモデル



説明書およびディスク

- ❑ **取扱説明書（本書、1）**
- ❑ **困ったときは**（1）
- ❑ **バイオ こんなときは どうするの…**（1）
- ❑ **バイオで映像を楽しもう！**（1）
- ❑ **バイオでテレビを楽しもう！（初級編）**（1）

  「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル
- ❑ **「**Microsoft® Windows®XP Home Edition**」ファーストステップガイド**（1）

  PCV-RZ65／RZ55、一部ソニースタイルモデル

  ご注意

  「Microsoft® Windows® XP Home Edition」ファーストステップガイドは再発行できませんので、大切に保管してください。
- ❑ **「**Microsoft® Office Personal Edition 2003*（マイクロソフト オフィス パーソナル エディション）**」プレインストールパッケージ**（1）

  一部ソニースタイルモデル

  工場出荷時にプレインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」（219 ページ）をご覧ください。

  *この説明書では以降、Office Personalと略します。特に必要な場合は正式名称を記載します。
- ❑ Adobe Premiere Pro **日本語版 インストール**CD（CD-ROM）（1）（アドビ プレミア プロ）

  PCV-RZ75P、一部ソニースタイルモデル
- ❑ **バイオでデジタルビデオ編集を始めよう** CD-ROM（1）

  PCV-RZ75P、一部ソニースタイルモデル
- ❑ Adobe Premiere 6 LE **日本語版 編集ガイドブック** PDF**版**（CD-ROM）（1）

  PCV-RZ65／RZ55、一部ソニースタイルモデル

ちょっと一言

- 本機では、「サイバーサポート」を使って画面上で本機の使いかたを調べたり、VAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ（よくある質問とその回答）の情報を見たりすることができます。
- 各ソフトウェアの操作について詳しくは、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他

- ❑ VAIO**カルテ**（1）
- ❑ **ソフトウェア使用許諾契約書**（1）
- ❑ VAIO**カスタマー登録、保証書 お申込書**（1）
- ❑ **ご注意・お知らせ**

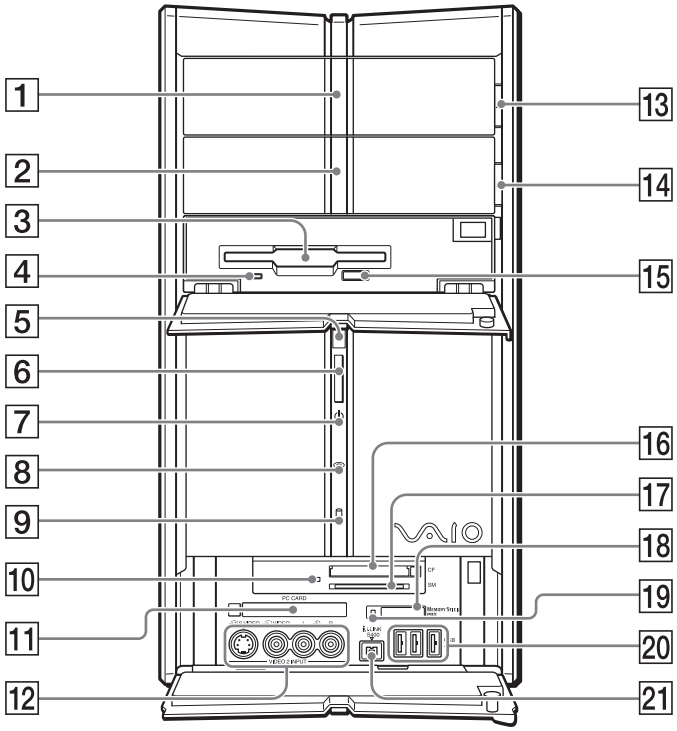
  本機に関する大切な情報が、色つきの紙に記載されて付属している場合があります。必ずご覧ください。
- ❑ **その他パンフレット類**
  - プロバイダ選びには、「できるインターネット プロバイダー選び編」をご活用ください。
  - 大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。

各部の説明

ここでは、本機の各部のなまえを紹介します。各部のなまえとはたらきについて詳しくは、(　　)内のページおよび「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の[各部の説明]をクリックして表示される情報をご覧ください。

前面

PCV-RZ75P／RZ65



1 DVD±RW**ドライブ**(181**ページ**)

2 DVD-ROM**ドライブ**

3 **フロッピーディスクドライブ**

4 **フロッピーディスクドライブアクセスランプ**

5 **ランプ**

6 ⏻(**電源**)**ボタン**(47**ページ**)

7 ⏻(**電源**)**ランプ**

8 DVD±RW**ドライブおよび**DVD-ROM**ドライブアクセスランプ**

9 **ランプ(ハードディスクアクセスランプ)**

10 **メモリーカードアクセスランプ**

11 PC CARD(PC**カード**)**スロット**(151**ページ**)

12 VIDEO 2 INPUT(**映像入力**2)**コネクタ**(138**ページ**)
- S VIDEO(S**映像入力**)
- VIDEO(**映像入力**)
- L/R(**音声入力**)

13 DVD±RW**イジェクトボタン**(181**ページ**)

14 DVD-ROM**イジェクトボタン**

15 **フロッピーディスクイジェクトボタン**

16 CF(**コンパクトフラッシュ**)**スロット**

17 SM(**スマートメディア**)**スロット**

18 MEMORY STICK(**メモリースティック**)**スロット**

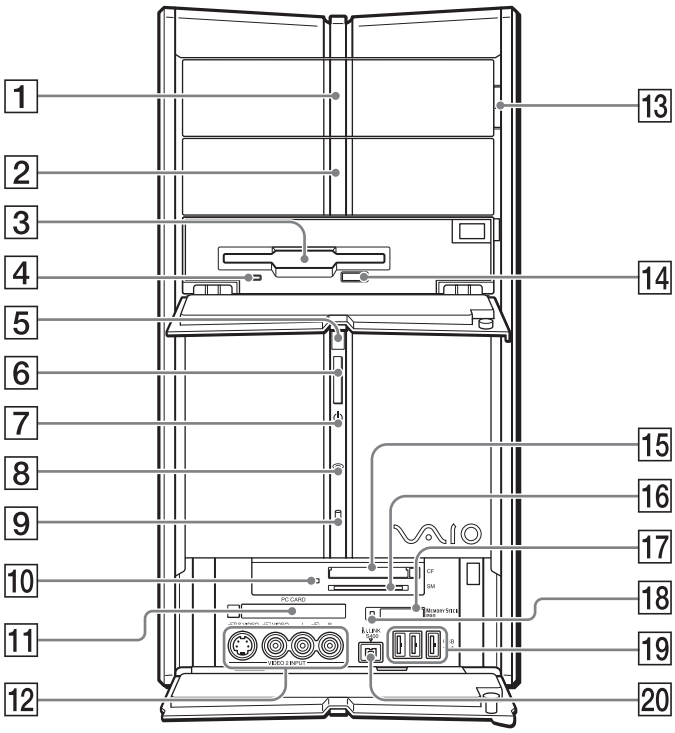
19 MEMORY STICK(**メモリースティック**)**アクセスランプ**

20 USB**コネクタ**(USB2.0**規格**(High-speed/Full-speed/Low-speed)**対応**)(140**ページ**)

21 i.LINK S400**コネクタ**(4**ピン**)(146**ページ**)

前面

PCV-RZ55



1 DVD±RW**ドライブ**(181**ページ**)

2 **拡張デバイスベイ**(173**ページ**)

3 **フロッピーディスクドライブ**

4 **フロッピーディスクドライブアクセスランプ**

5 **ランプ**

6 ⏻(**電源**)**ボタン**(47**ページ**)

7 ⏻(**電源**)**ランプ**

8 DVD±RW**ドライブアクセスランプ**

9 **ランプ**(**ハードディスクアクセスランプ**)

10 **メモリーカードアクセスランプ**

11 PC CARD(PC**カード**)**スロット**(151**ページ**)

12 VIDEO 2 INPUT(**映像入力**2)**コネクタ**(138**ページ**)
- S VIDEO(S**映像入力**)
- VIDEO(**映像入力**)
- L/R(**音声入力**)

13 DVD±RW**イジェクトボタン**(181**ページ**)

14 **フロッピーディスクイジェクトボタン**

15 CF(**コンパクトフラッシュ**)**スロット**

16 SM(**スマートメディア**)**スロット**

17 MEMORY STICK(**メモリースティック**)**スロット**

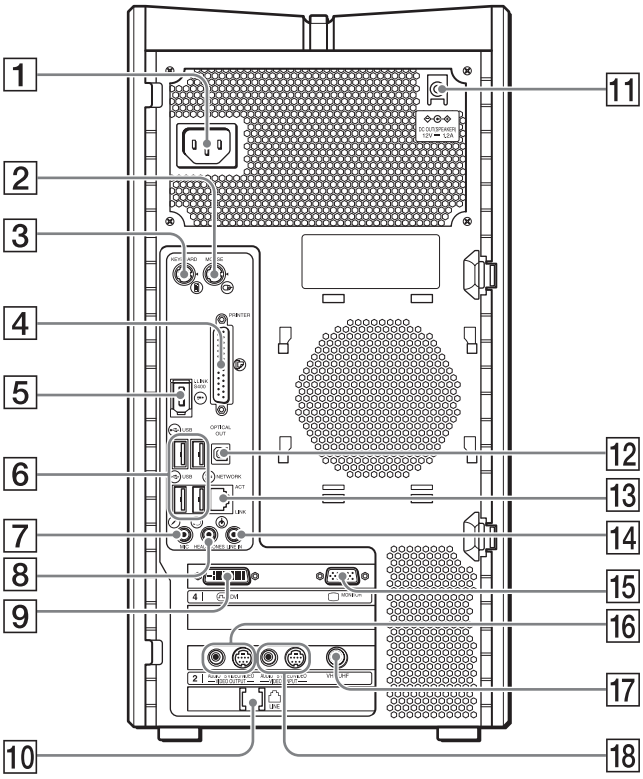
18 MEMORY STICK(**メモリースティック**)**アクセスランプ**

19 USB**コネクタ**(USB2.0**規格**(High-speed/Full-speed/Low-speed)**対応**)(140**ページ**)

20 i.LINK S400**コネクタ**(4**ピン**)(146**ページ**)

後面

PCV-RZ75P／RZ65



1 AC INPUT（AC**電源入力**）**プラグ**
（46**ページ**）

2 MOUSE（**マウス**）**コネクタ**
（34**ページ**）

3 KEYBOARD（**キーボード**）**コネクタ**
（34**ページ**）

4 PRINTER（**プリンタ**）**コネクタ**
（143**ページ**）

5 i.LINK S400**コネクタ**（6**ピン**）
（146**ページ**）

6 USB**コネクタ**（USB2.0**規格**（High-speed/Full-speed/Low-speed）**対応**）
（39**ページ**、140**ページ**）

7 MIC（**マイクロホン**）**コネクタ**

8 HEADPHONES（**ヘッドホン**）**コネクタ**（33**ページ**）

9 DVI（**ディーブイアイ**）**コネクタ**
（31**ページ**）

10 LINE（**電話回線**）**ジャック**（35**ページ**）

11 **アクティブスピーカー電源コネクタ**
（33**ページ**）

12 OPTICAL OUT（**光デジタル出力**）**コネクタ**（148**ページ**）

13 （**ネットワーク**／LAN）**コネクタ**
（149**ページ**）

14 LINE IN（**ライン入力**）**コネクタ**

15 MONITOR（**モニタ**）**コネクタ**
（31**ページ**）

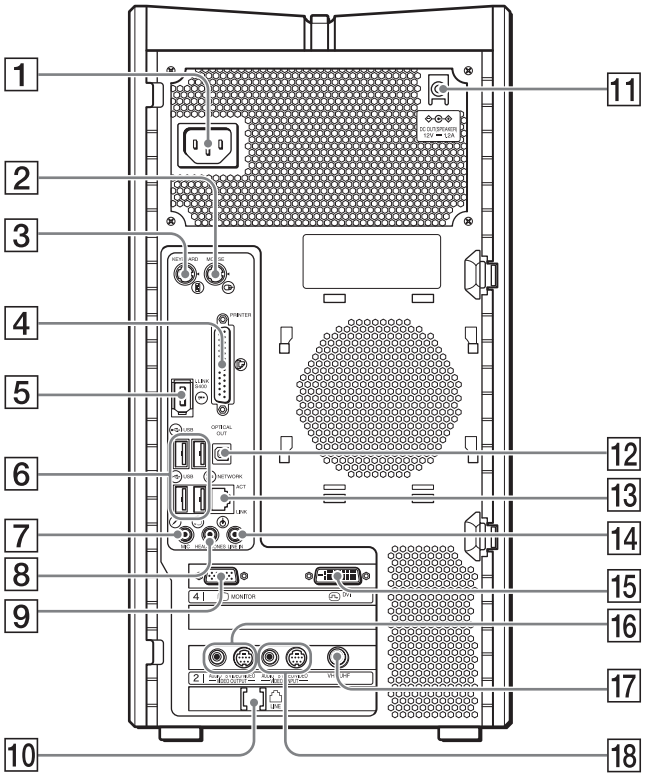
16 VIDEO OUTPUT（**映像出力**）**コネクタ**
（43**ページ**、136**ページ**、138**ページ**）
S VIDEO／VIDEO
（S**映像**／**映像出力**）
AUDIO（**音声出力**）

17 VHF／UHF（**アンテナ**）**コネクタ**
（41**ページ**）

18 VIDEO1 INPUT（**映像入力**）**コネクタ**
（43**ページ**、137**ページ**）
S VIDEO／VIDEO
（S**映像**／**映像入力**）
AUDIO（**音声入力**）

後面

PCV-RZ55



1 AC INPUT（AC**電源入力**）**プラグ**
（46**ページ**）

2 MOUSE（**マウス**）**コネクタ**
（34**ページ**）

3 KEYBOARD（**キーボード**）**コネクタ**
（34**ページ**）

4 PRINTER（**プリンタ**）**コネクタ**
（143**ページ**）

5 i.LINK S400**コネクタ**（6**ピン**）
（146**ページ**）

6 USB**コネクタ**（USB2.0**規格**（High-speed/Full-speed/Low-speed）**対応**）
（39**ページ**、140**ページ**）

7 MIC（**マイクロホン**）**コネクタ**

8 HEADPHONES（**ヘッドホン**）**コネクタ**（33**ページ**）

9 MONITOR（**モニタ**）**コネクタ**
（32**ページ**）

10 LINE（**電話回線**）**ジャック**（35**ページ**）

11 **アクティブスピーカー電源コネクタ**
（33**ページ**）

12 OPTICAL OUT（**光デジタル出力**）**コネクタ**（148**ページ**）

13 （**ネットワーク**／LAN）**コネクタ**
（149**ページ**）

14 LINE IN（**ライン入力**）**コネクタ**

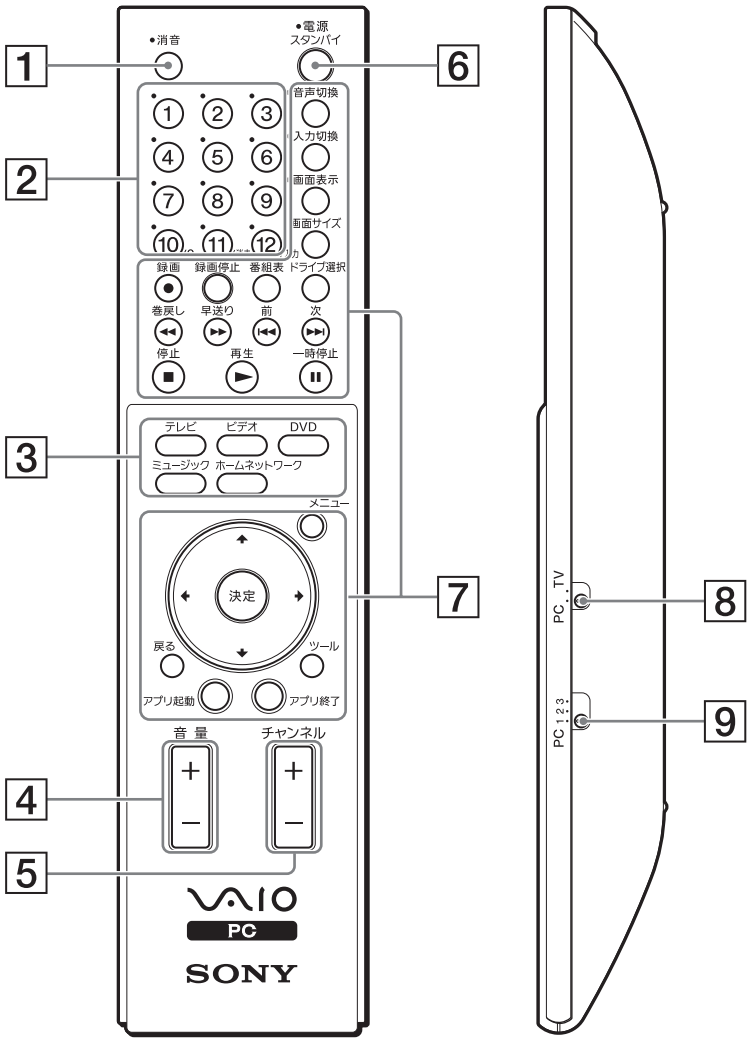
15 DVI（**ディーブイアイ**）**コネクタ**
（31**ページ**）

16 VIDEO OUTPUT（**映像出力**）**コネクタ**
（43**ページ**、136**ページ**、138**ページ**）
S VIDEO／VIDEO
（S**映像**／**映像出力**）
AUDIO（**音声出力**）

17 VHF／UHF（**アンテナ**）**コネクタ**
（41**ページ**）

18 VIDEO1 INPUT（**映像入力**）**コネクタ**
（43**ページ**、137**ページ**）
S VIDEO／VIDEO
（S**映像**／**映像入力**）
AUDIO（**音声入力**）

リモコン(「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル)



1 **消音ボタン**

2 **チャンネル数字ボタン**

3 **ダイレクトボタン**

4 **音量ボタン**

5 **チャンネルボタン**

6 **電源／スタンバイボタン**

7 **操作ボタン**

8 PC／TV**(テレビ)切換スイッチ**

9 PC 1／2／3**スイッチ**

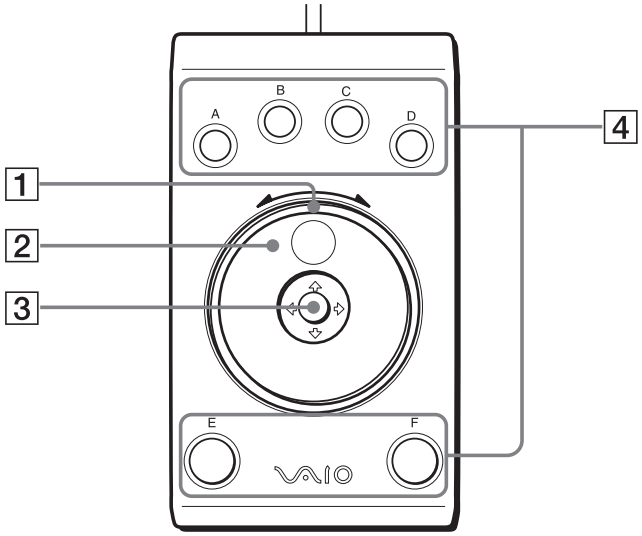
ちょっと一言

リモコンの使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の[キーボード／リモコン／ジョグコントローラー]→[リモコン]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

- 5ボタン、チャンネル＋ボタン、音声切換ボタン、上下左右ボタンに突起が付いています。
- 本機を操作する場合は、8PC／TV(テレビ)切換スイッチを「PC」側にしてください。
- 市販のテレビを操作する場合は、8PC／TV(テレビ)切換スイッチを「TV(テレビ)」側にしてください。

ジョグコントローラー（PCV-RZ75P、一部ソニースタイルモデル）

「Adobe Premiere Pro」ソフトウェアや「DigiOnSound3 L.E. for VAIO」ソフトウェアを使って映像やサウンドの編集をしたり、「Giga Pocket」ソフトウェアや「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを使って映像の再生をしたりするときに便利なジョグコントローラーです。
お使いのソフトウェアに応じて、それぞれのボタンに特定の機能が自動的に設定されます。



1	LED	ジョグコントローラーを本機に接続したとき、青色に点灯して、操作可能なことを示します。
2	ジョグダイヤル	左右に回転させることができます。 主にコマ送りを行うときに使用します。 1クリックが1コマに対応しています。
3	センターポイント	上下左右に動かすことと、垂直押し（下に押すこと）ができます。 映像の再生や音量調節などに使用します。 **ちょっと一言** お使いのソフトウェアによっては、センターポイントを右や左に2度押すことによって、再生スピードをより高速にすることができます。
4	A／B／C／D／E／F ボタン	お使いになるソフトウェアによって機能が変わります。

ソフトウェアを複数同時にお使いになっている場合は、最前面のソフトウェアのみ操作することができます。現在お使いのソフトウェア以外を操作したい場合は、目的のソフトウェアをクリックしてください。

ちょっと一言

- ジョグコントローラーの使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の［キーボード／リモコン／ジョグコントローラー］→［ジョグコントローラー（PCV-RZ75Pのみ）］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

- お使いのソフトウェアに応じて、それぞれのボタンに特定の機能が自動的に設定されます。

登録されているソフトウェアは以下のとおりです。

ご購入された機種によって、登録されているソフトウェアが異なります。

- Adobe Premiere Pro（動画編集・加工）
- Adobe Premiere 6 LE（動画編集・加工）
- DVgate Plus（デジタルビデオ動画／静止画入出力／簡易編集）
- TMPGEnc DVD Source Creator for VAIO（MPEGソフトエンコーダー）
- TMPGEnc DVD Author for VAIO（DVD-Video編集）
- DigiOnSound3 L.E. for VAIO（サウンド編集）
- Giga Pocket（テレビ録画／管理／再生）
- PowerDVD XP for VAIO（DVDビデオ再生）

接続する／準備する

この章では、本機を使う際に最初に行う準備について説明します。準備が整うと、本機のいろいろな機能が使えるようになります。

操作の流れ……28
設置する……29
接続する／準備する……31
電源を入れる……47
Windowsを準備する……48
複数ユーザーで使用する……53
カスタマー登録する……54
テレビを見る準備をする（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル）……64
電源を切る……75

操作の流れ

本機をお使いになるために必要な準備や操作の大まかな流れを以下に示します。
本機を設置する前に、箱の中に付属品がすべて揃っているかを確認し（18ページ）、本機の各部のなまえ（21ページ）を確認しておくことをおすすめします。

❶ 設置する（29ページ）

❷ 接続する／準備する（31ページ）

❸ 電源を入れる（47ページ）

❹ Windowsを準備する（48ページ）

❺ カスタマー登録する（54ページ）

登録を行うとカスタマー専用のいろいろなサービスが受けられるようになります。

❻ テレビを見る準備をする（64ページ）

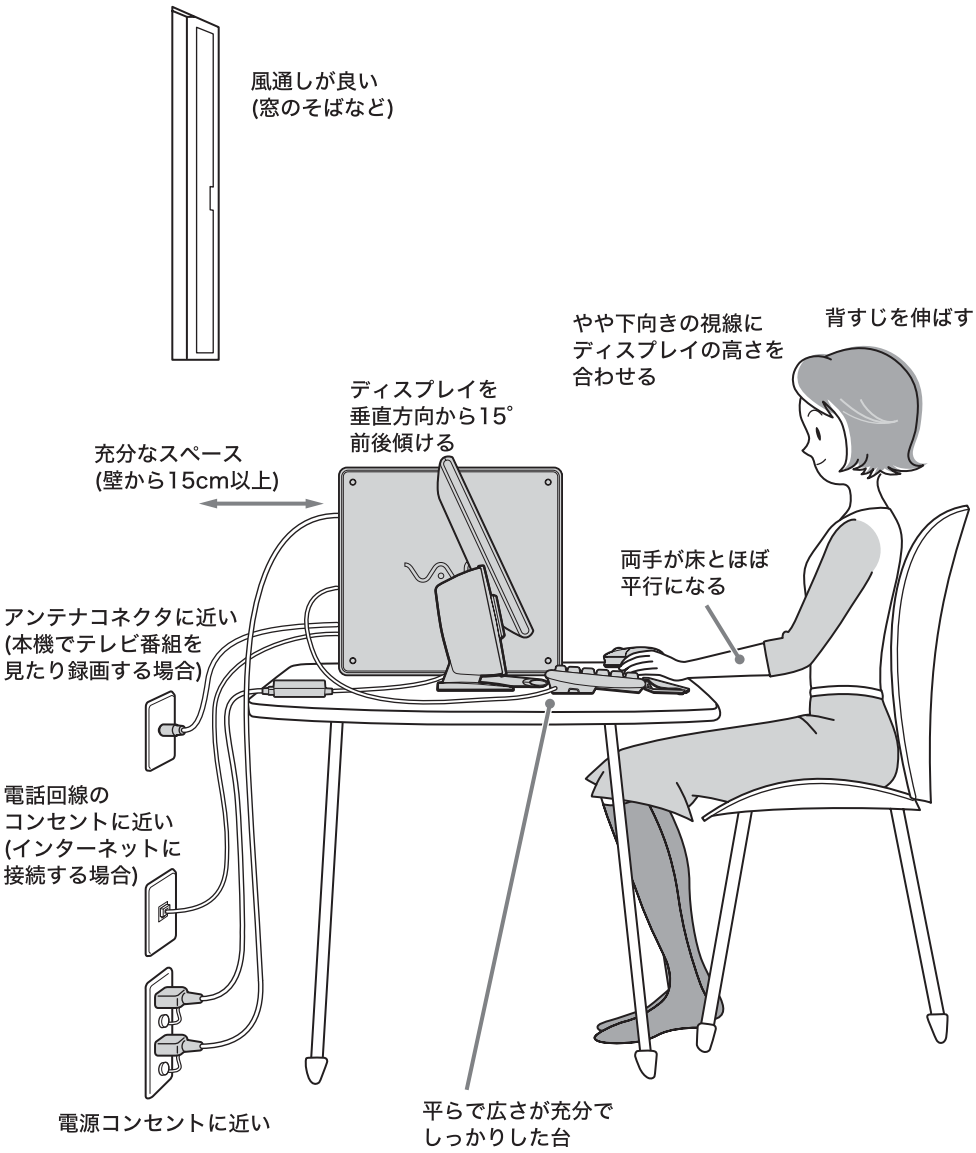
❼ 電源を切る（75ページ）

必要に応じて下記もご覧ください。

• **コンピュータの基本操作**	コンピュータをはじめてお使いになる方は、このページをお読みになり、マウスやキーボードの使いかたを練習してください。	77ページ
• **インターネットを始める**	インターネットを始めたい方は、このページをお読みになり、インターネット接続のための準備を行います。ホームページを見たり、電子メールをやりとりしたりする方法も練習してください。	83ページ
• **接続／拡張するときは**	本機と周辺機器を接続したり、本機を拡張するときにご覧ください。	135ページ
• **リカバリディスク作成／リカバリ**	本機のリカバリディスクを作成する方法と、リカバリの方法について説明しています。	177ページ
• **その他**	本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明しています。	205ページ
• **重要なお知らせ** 本機をお使いになる際の重要なお知らせが記載されていますので、必ずご覧ください。		223ページ

設置する

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。



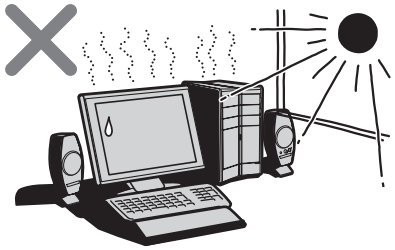
ご注意

オプティカルマウスは、透明な素材、光を反射する素材、網点模様・縞模様や柄のもの、光沢があるマウスパッドや机などの上では、正しく動作しない場合があります。

設置に適さない場所

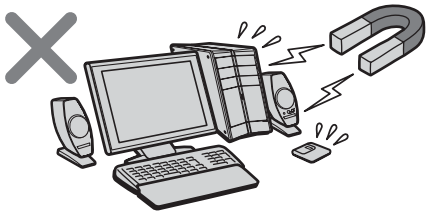
次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

❑ 直射日光が当たる場所



❑ ほこりが多い場所

❑ 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く

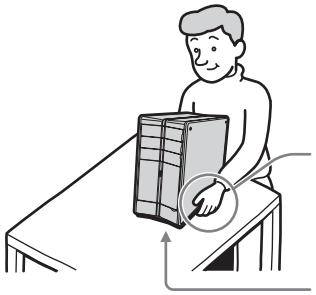


❑ 湿気が多い場所

❑ 暖房器具の近くなど、温度が高い場所

❑ 風通しが悪い場所

設置時のご注意



本機を持ち上げるときは、
左右から手を入れて底面を持つ。

本機を置くときは、
衝撃が加わらないように静かに置く。

本機を横置きにしない

故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

- **本機を移動するときは、必ず電源を切る。**
  電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
- **本機を倒したり、ぶつけたりしない。**
  小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- **不安定な場所に設置しない。**

この他にも、設置の際の安全上の注意事項が9ページから記載されています。そちらもあわせてご覧ください。

接続する／準備する

以下の手順に従って、ディスプレイ、アクティブスピーカー、キーボード、マウス、テレホンコード（モデム搭載モデル）、リモコン用受光ユニット*、アンテナ*、AV機器*、ジョグコントローラー（PCV-RZ75P、一部ソニースタイルモデル）、電源コードを接続し、リモコン*を使えるように準備します。

*「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル

ちょっと一言

特に記載のない場合、本機のイラストはPCV-RZ75P、ディスプレイのイラストはPCVD-17SA1シリーズのものです。

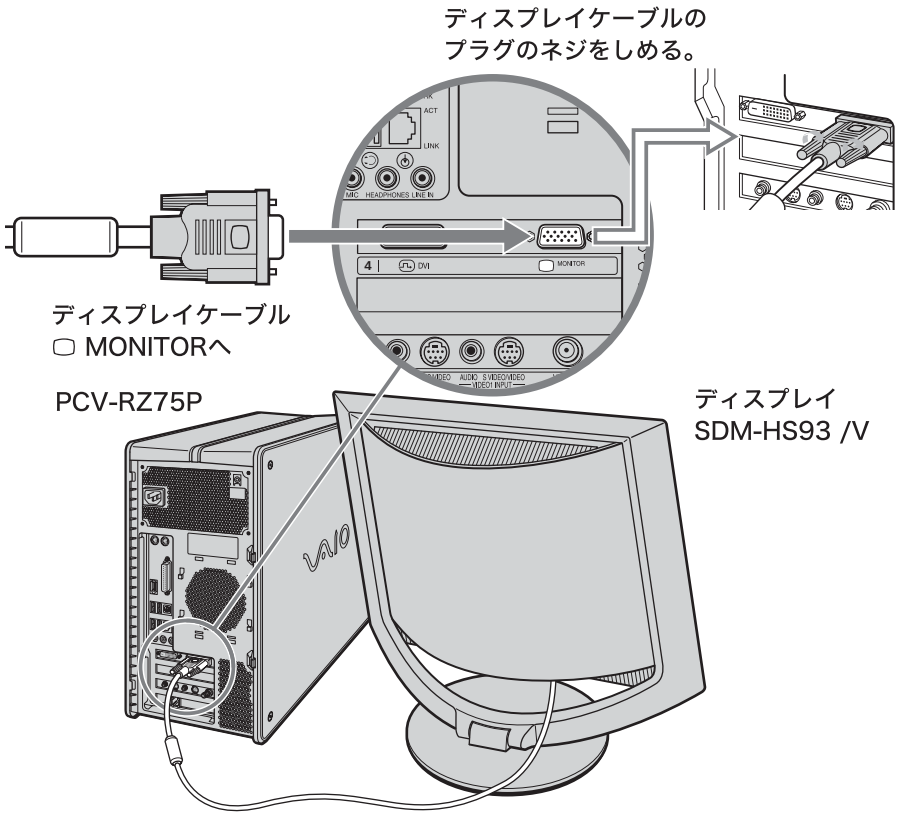
1 ディスプレイを接続する。

ディスプレイのプラグをMONITOR（モニタ）コネクタへ接続します。

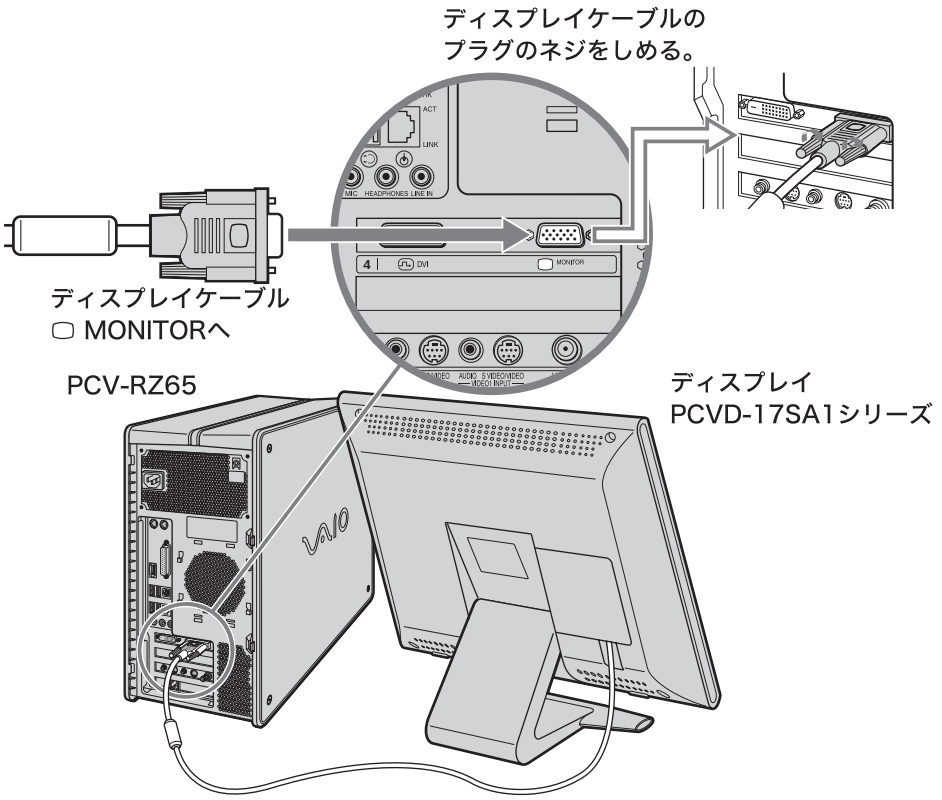
ご注意

- PCVD-17SA1シリーズなどのディスプレイに付属のACアダプタは、ディスプレイ以外には使用できません。
- 本機には、MONITOR（モニタ）コネクタとDVI（ディーブイアイ）コネクタの2つのコネクタがあります。接続するコネクタはディスプレイによって違います。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。
- MONITOR（モニタ）コネクタまたはDVI（ディーブイアイ）コネクタのいずれかにディスプレイを接続してください。
  両方のコネクタにディスプレイを接続しないでください。

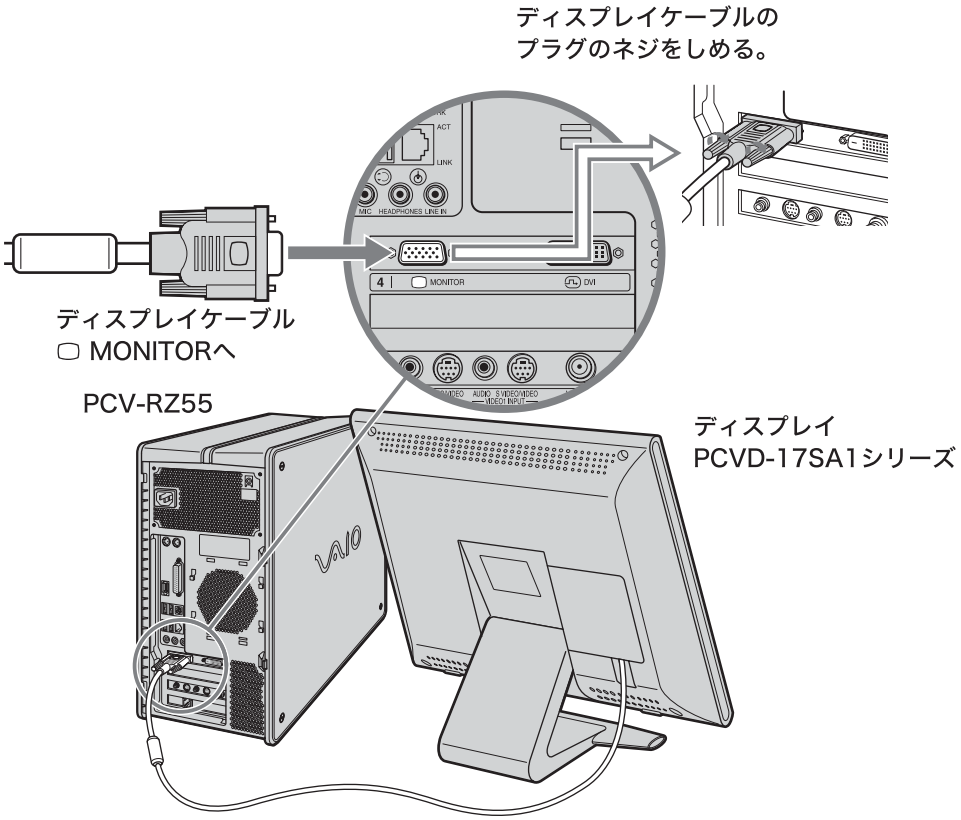
- **PCV-RZ75Pをお使いの場合**



• PCV-RZ65**をお使いの場合**



• PCV-RZ55**をお使いの場合**



2 アクティブスピーカーを接続する。

ちょっと一言

アクティブスピーカーの電源は、本機後面のアクティブスピーカー用電源コネクタから供給されるため、ACアダプタなどを使って壁などのコンセントに接続する必要はありません。

Ⓛ:本機の左側に設置します。

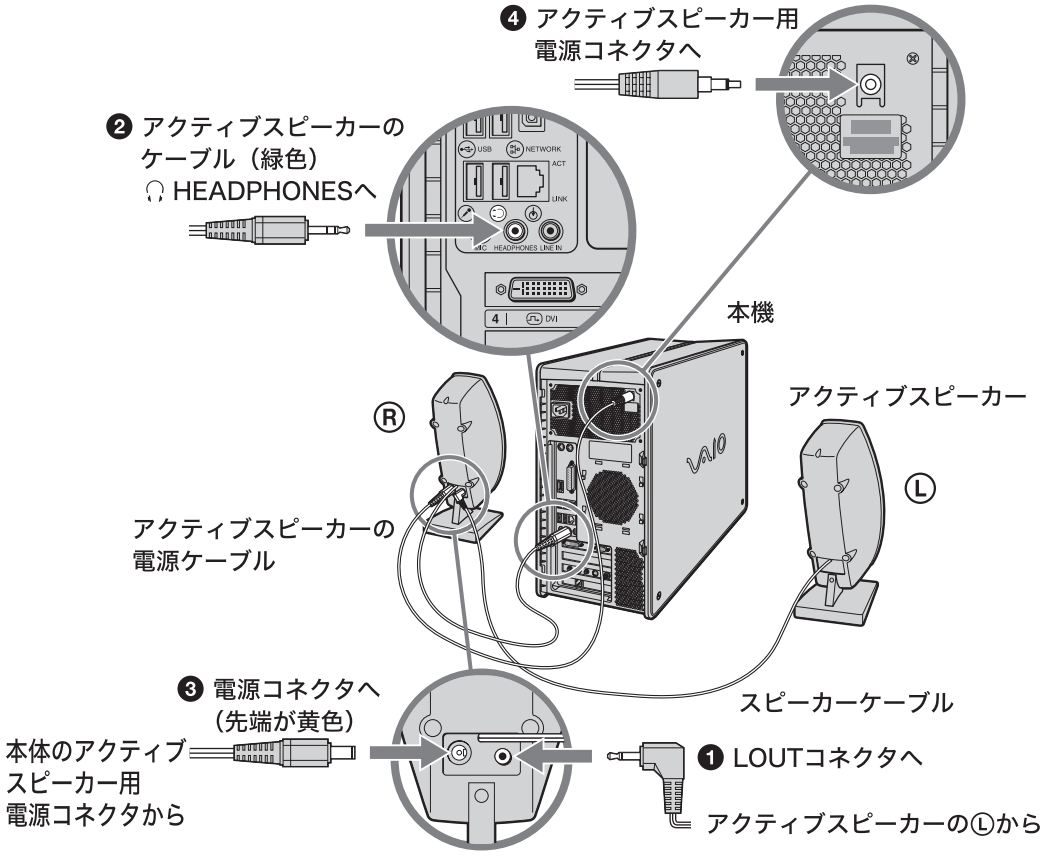
Ⓡ:本機の右側に設置します。

❶ 左側Ⓛのアクティブスピーカーのケーブルのプラグを右側ⓇのアクティブスピーカーのLOUTコネクタへ接続します。

❷ 右側Ⓡのアクティブスピーカーのケーブルのプラグ(緑色)を本機後面のHEADPHONES(ヘッドホン)コネクタへ接続します。

❸ アクティブスピーカーの電源ケーブルのプラグ(先端が黄色)を、右側Ⓡのアクティブスピーカーの電源コネクタへ接続します。

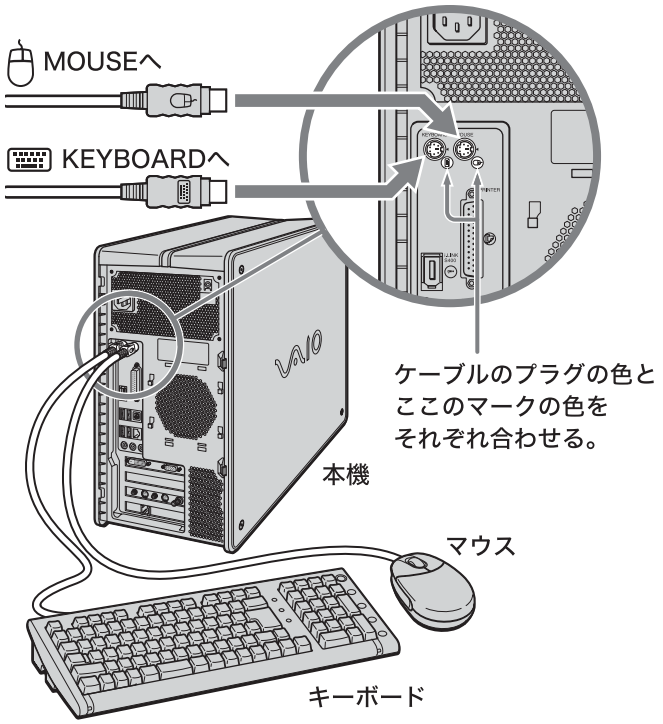
❹ アクティブスピーカーの電源ケーブルのプラグを、本体後面のアクティブスピーカー用電源コネクタへ接続します。



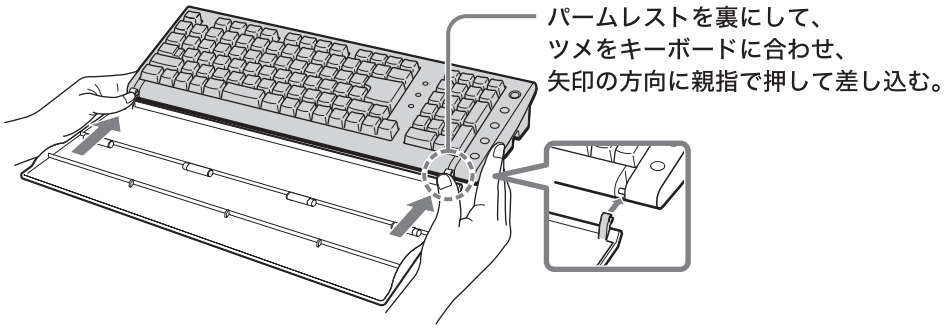
ご注意

- 本機後面のアクティブスピーカー用電源コネクタには、本機に付属しているスピーカー以外のスピーカーは接続しないでください。
- 本機の電源が入っているときには、本機後面のアクティブスピーカー用電源コネクタに電源プラグを差したり、アクティブスピーカー用電源コネクタの電源プラグを抜いたりしないでください。
- ヘッドホンと付属のアクティブスピーカーは同じHEADPHONES(ヘッドホン)コネクタに接続するため、同時に使用できません。ヘッドホンを接続する場合は、アクティブスピーカーのヘッドホン端子に接続してください。ヘッドホンをアクティブスピーカーに接続すると、アクティブスピーカーからは音は出なくなります。
- アクティブスピーカーには、付属の電源ケーブル以外は接続しないでください。
- ACアダプタなどは必要ありません。
- 電源ケーブルはスピーカーの箱に入っています。

3 キーボードとマウスを接続する。

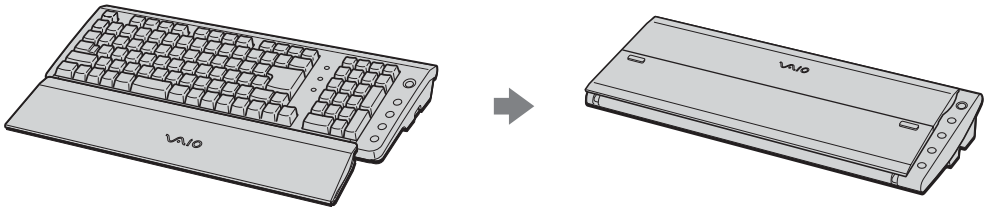


キーボードにパームレストを取り付けるには



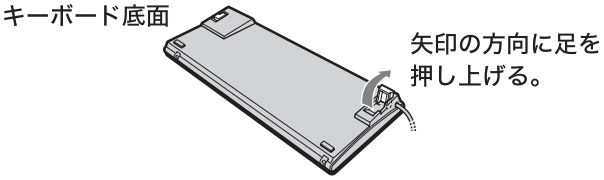
パームレストを手前に折りたたむと、キーボードを使うとき手首に負担がかかりにくくなります。

パームレストはキーボードを使わないときにキーボードの上にかぶせると、ふたとしても使うことができます。



キーボードの足を立てるには

キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。



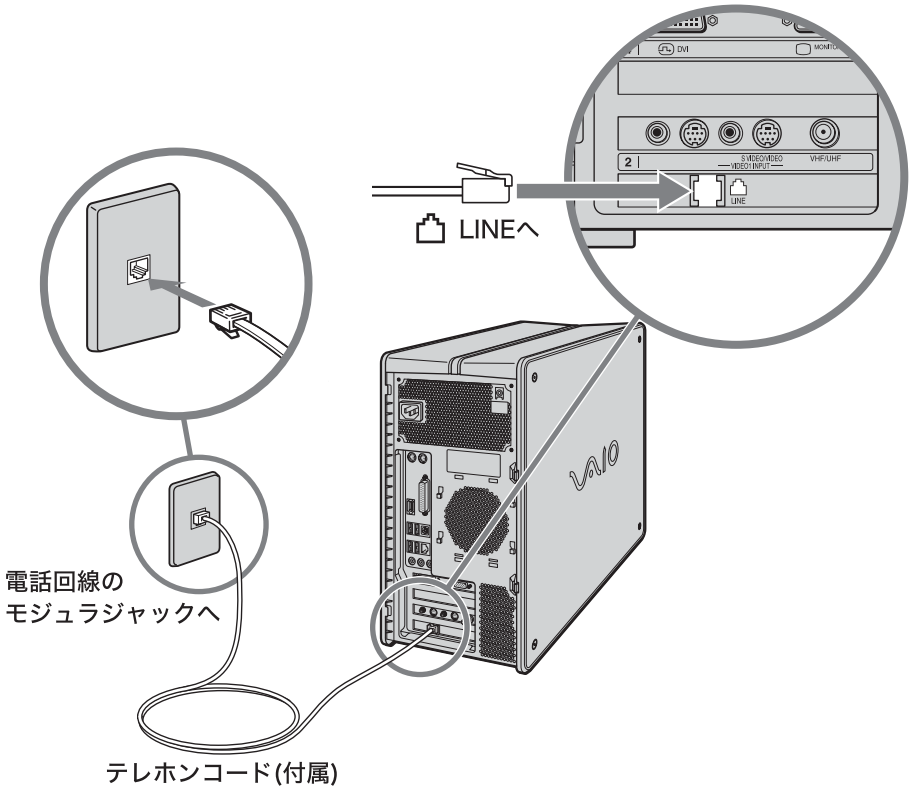
4 一般電話回線／ADSL／ISDN／CATVインターネット回線に接続する。（モデム搭載モデル）

インターネットに接続するには、一般の電話回線に接続する方法や、ADSLに接続する方法などがあります。ここでは、一般の電話回線での接続方法と、ADSL、ISDNおよびCATVインターネット回線での機器の接続について説明します。

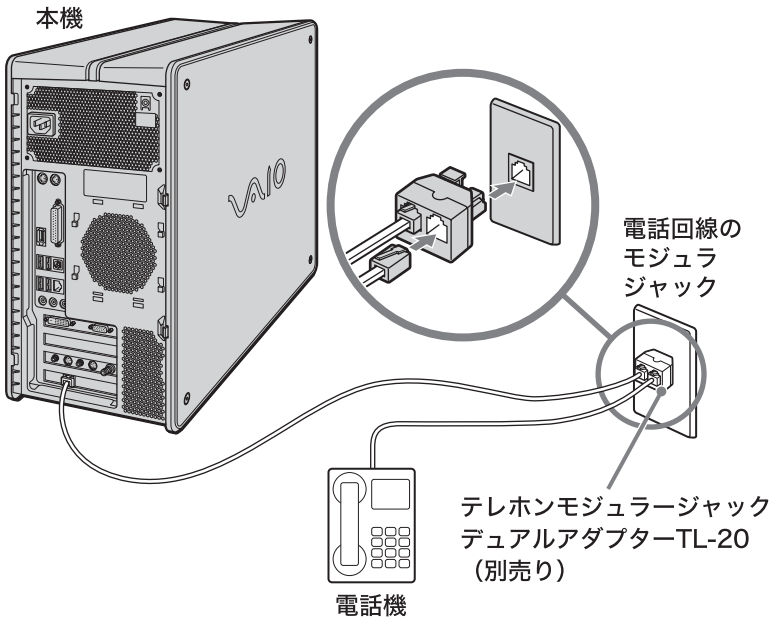
インターネットへの接続について詳しくは、「インターネットを始める」（83ページ）をご覧ください。

❑ 一般の電話回線につなぐときは

付属のテレホンコードの一方を本機のLINE（電話回線）ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込む。



電話機をつなぐときは、アダプター（テレホンモジュラージャックデュアルアダプターTL-20（別売り）など）を使って接続します。



ご注意

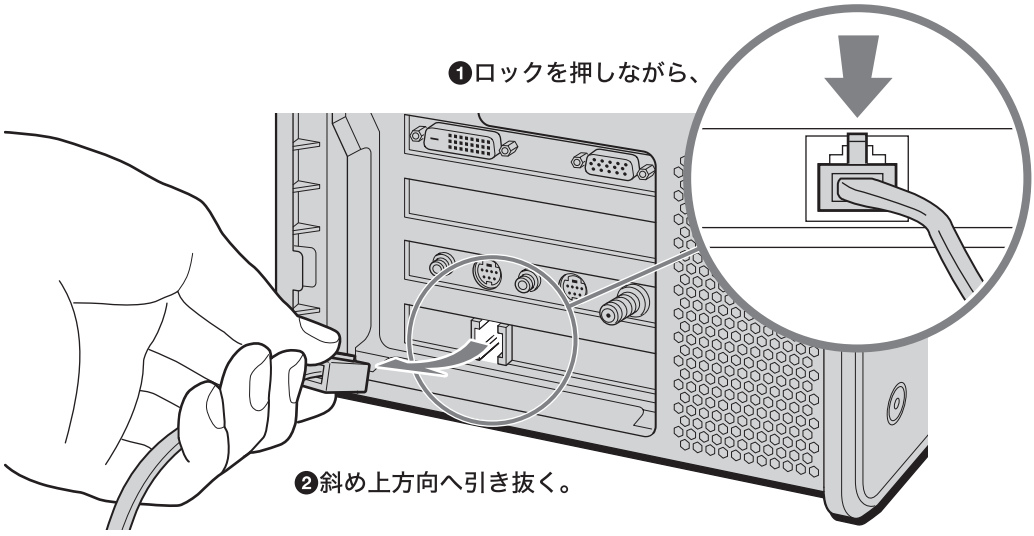
テレホンコードは本機後面の（ネットワーク／LAN）コネクタに接続しないでください。

ちょっと一言

ビジネスホン、ホームテレホンなどの電話機やドアホン付きの電話機をお使いのときは、工事が必要となるものがあります。電話機を取り付けた業者にご相談ください。

本機からテレホンコードを取りはずすには

LINE（電話回線）ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込み、モジュラアダプタのロックを押しながら、斜め上方向に引き抜きます。



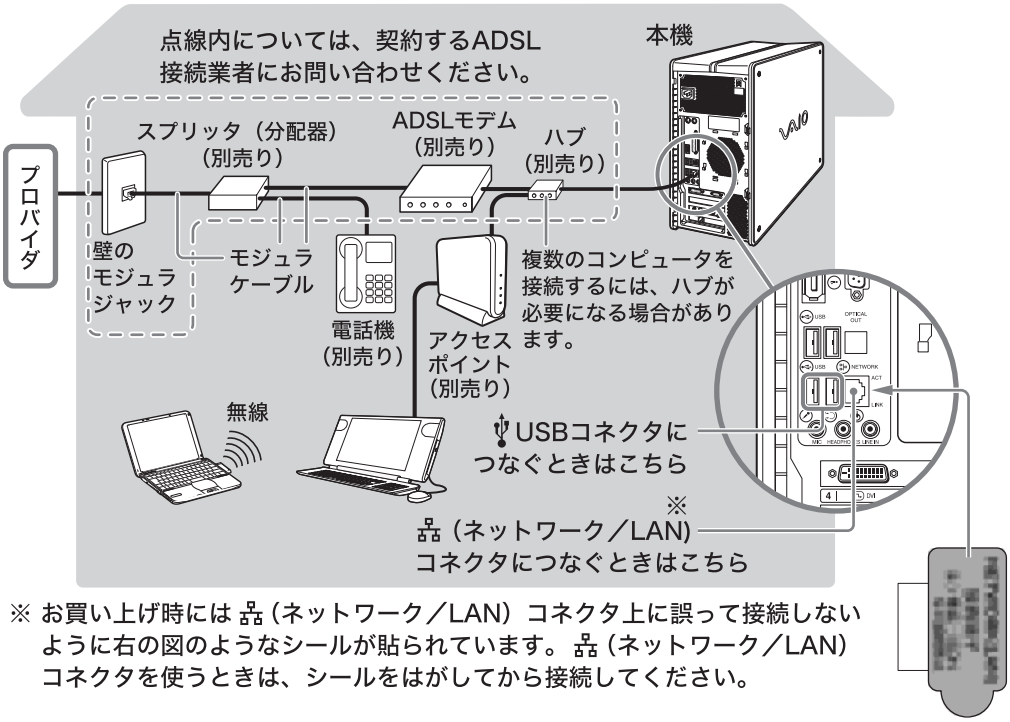
❑ ADSL接続サービスを利用するときは

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。

このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者（プロバイダ）に申し込み、契約することが必要です。料金やサービスの内容をご検討の上、ご自分に合ったプロバイダと契約することをおすすめします。

プロバイダとの契約について詳しくは、「プロバイダと契約する」（92ページ）をご覧ください。

お客様の接続環境によって、接続方法が異なる場合がありますので、ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。



※ お買い上げ時には（ネットワーク／LAN）コネクタ上に誤って接続しないように右の図のようなシールが貼られています。（ネットワーク／LAN）コネクタを使うときは、シールをはがしてから接続してください。

ご注意

（ネットワーク／LAN）コネクタにADSLモデムなどをつなぐときは、直接本体の（ネットワーク／LAN）コネクタに接続してください。ただし、複数のコンピュータを接続するときは、ハブを経由して接続する場合もあります。

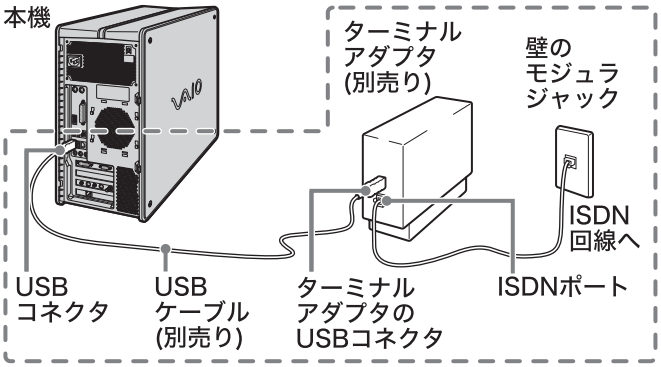
ちょっと一言

ネットワーク（LAN）ケーブルは、イーサネット（Ethernet）ケーブルと呼ばれることもあります。

❑ ISDN回線を利用するときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するには、本機の他に「ISDNダイヤルアップルータ」や「ターミナルアダプタ」というコンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器が必要です。

インターネットに接続するときは、下図のように本機のUSB（ユーエスビー）コネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタをつないでください。接続について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。



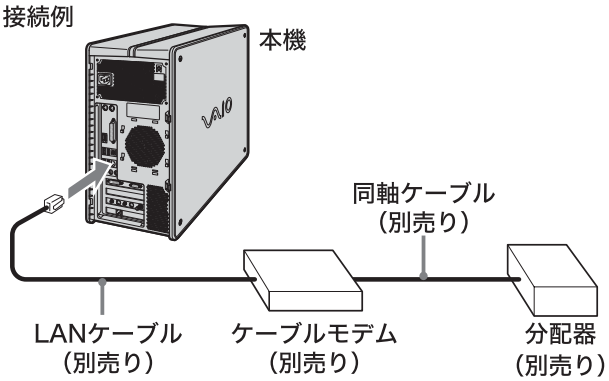
点線内の接続について詳しくは、契約する接続業者にお問い合わせください。

ちょっと一言

本機前面のUSBコネクタにつなぐこともできます。

❑ CATVインターネット回線を利用するときは

CATVインターネットとは、CATV事業者が提供するCATVインターネット回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。CATVインターネット回線を使って本機を使用するためには、本機の他に「ケーブルモデム」が必要です。



ご注意

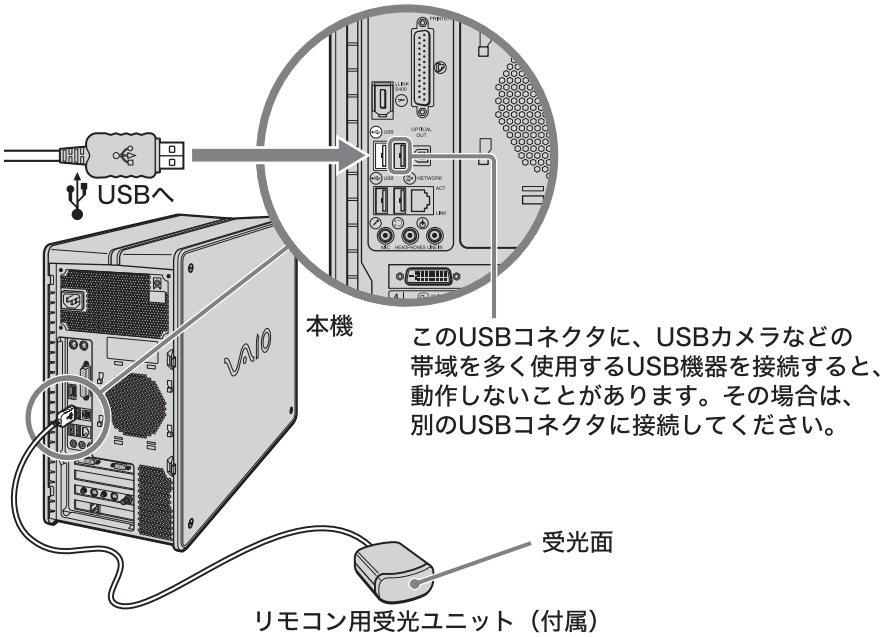
CATV事業者や接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

5 リモコン用受光ユニットを接続する。(「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル)

付属のリモコン用受光ユニットを本機後面のUSBコネクタに接続します。

ちょっと一言

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。



ご注意

- リモコン用受光ユニットは、本機および付属のリモコン専用です。他の機器ではお使いになれません。
- リモコン用受光ユニットを設置するときは、以下の点にご注意ください。
  - 受光面をリモコンの信号が受けやすい方向に向けてください。
  - 受光ユニットの受光面とリモコンの発光部の間に障害物がない場所に設置してください。

ちょっと一言

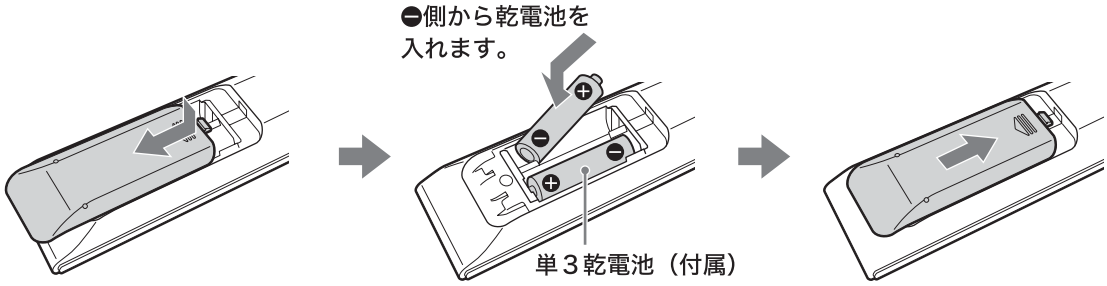
- リモコン用受光ユニットをつなぐと、付属のリモコンを使って、付属の「Giga Pocket(ギガ ポケット)」ソフトウェアや「SonicStage(ソニックステージ)」ソフトウェアなどを操作できるようになります。
- リモコン用受光ユニットを本機の上など安定しない場所に設置するときは、付属のマジックテープを貼ると受光ユニットの滑り落ちを防げます。マジックテープを受光ユニットの底面と受光ユニットを設置する場所に貼ります。
- USB機器の接続について詳しくは、「USB機器をつなぐ」(140ページ)をご覧ください。

6 リモコンを準備する。(「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル)

❶ リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。

❷ ⊕と⊖の方向を確かめて、付属の単3乾電池を2本入れる。

❸ 乾電池入れのふたをスライドさせて閉める。



ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 乾電池が液もれしたときは、乾電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

ちょっと一言

- 乾電池の交換時期は約6か月です。リモコン操作できる距離が短くなったら、2本とも新しい乾電池に交換してください。
- リモコンの使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の[各部の説明]→[リモコン]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

7 アンテナにつなぐ。(「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル)

本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを使ってテレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、付属のアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナコネクタにつなぎます。詳しくは、「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

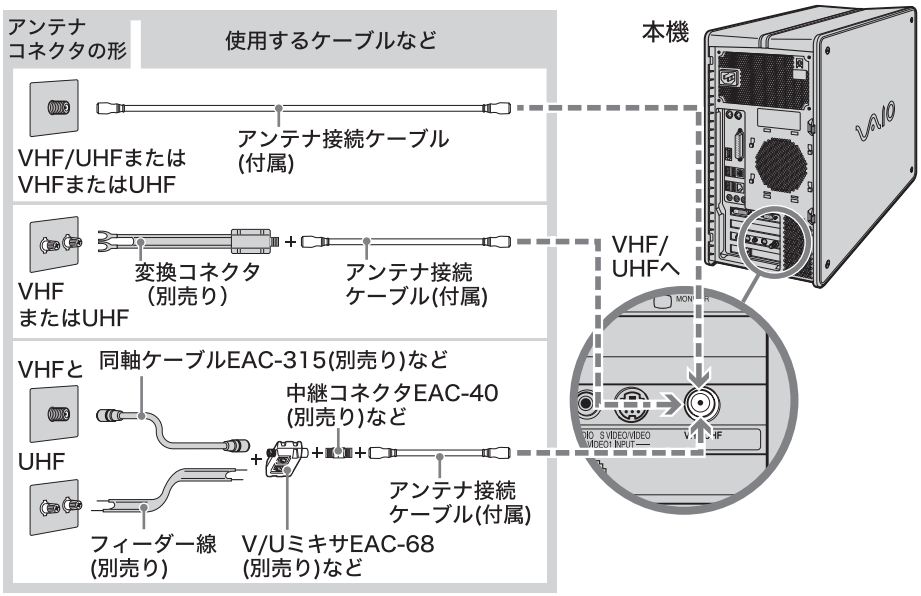
接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

❑ 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

以下のようにアンテナを接続します。

アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。

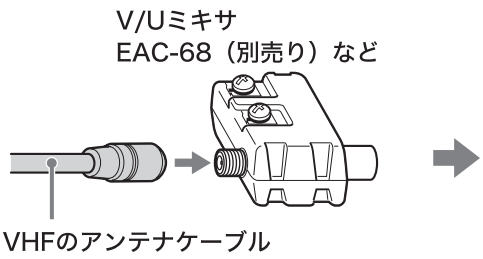


ご注意

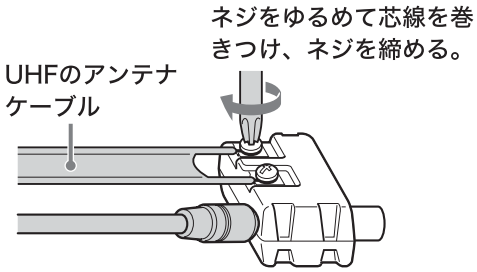
フィーダー線は同軸ケーブルに比べ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。

V/Uミキサをつなぐには

1 VHF**のアンテナケーブルを**V/U**ミキサにつなぐ。**



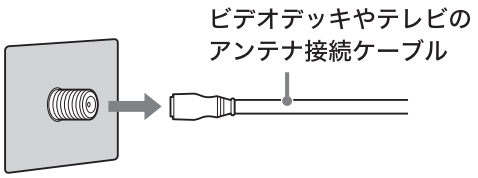
2 UHF**のアンテナケーブルを**V/U**ミキサにつなぐ。**



❑ すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

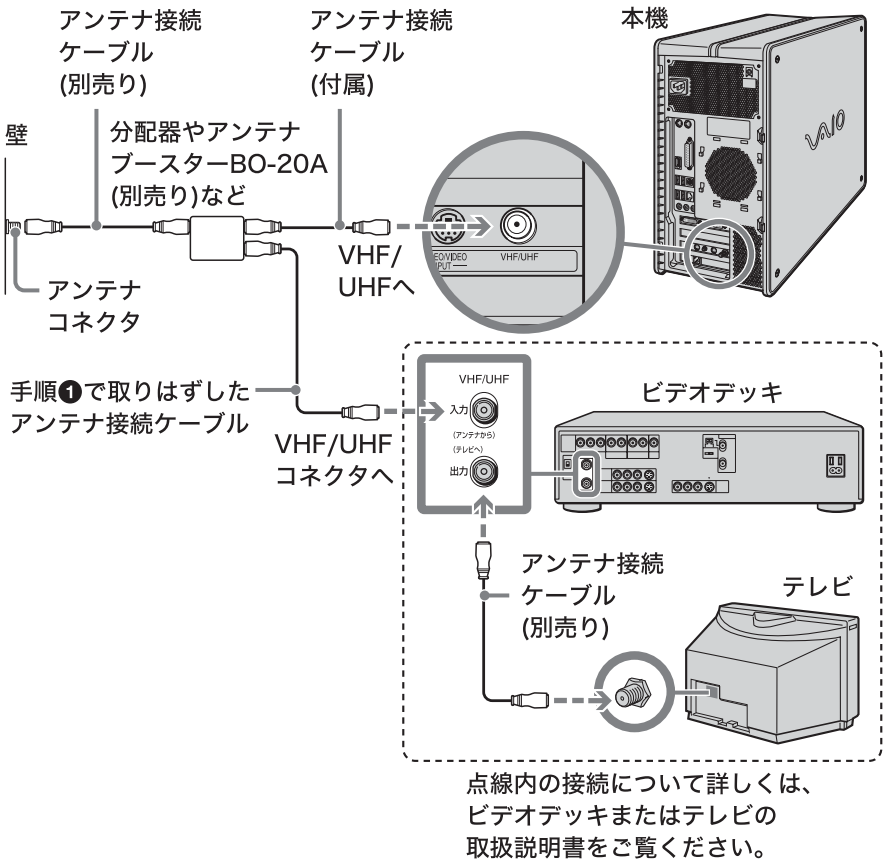
以下のようにアンテナを接続します。

❶ 壁のアンテナコネクタに接続されているビデオデッキやテレビのアンテナ接続ケーブルを取りはずす。



❷ アンテナを接続する。

別売りの分配器やアンテナブースターBO-20Aなどを使ってアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」(41ページ)に記載の例から、最も近いものを選び接続してください。



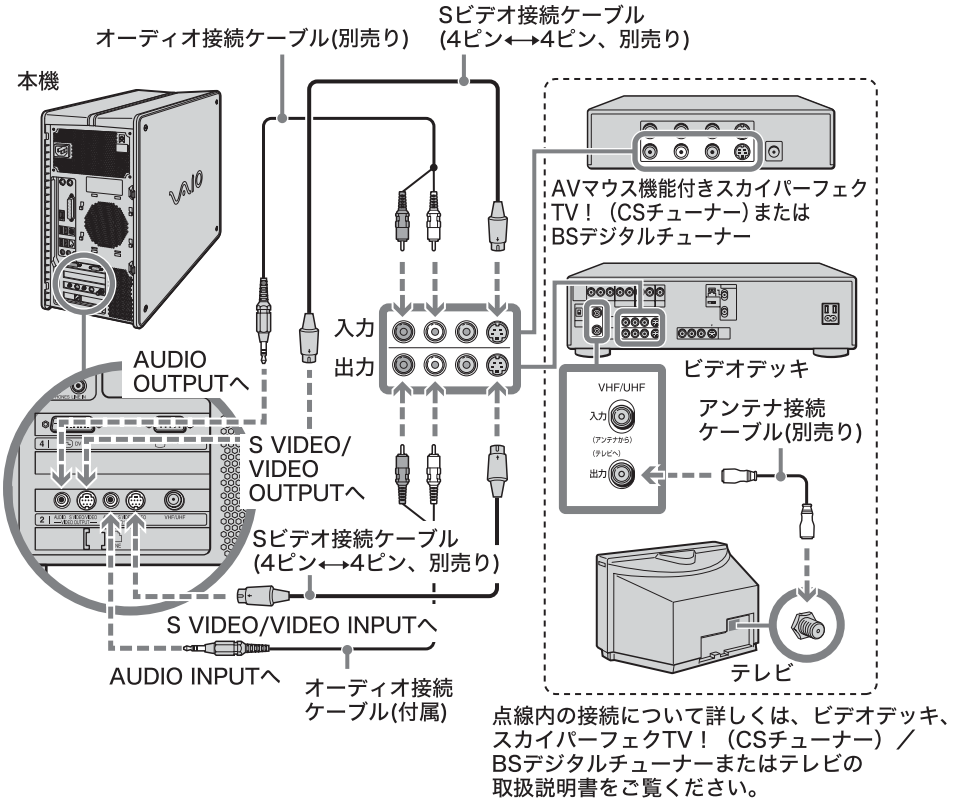
ちょっと一言

ビデオデッキをつなぐなど、アンテナを分配すると電波が弱くなり、ディスプレイの画面がチラチラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。

8 ビデオデッキ、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV!（CSチューナー）、またはBSデジタルチューナーを接続する。（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル）

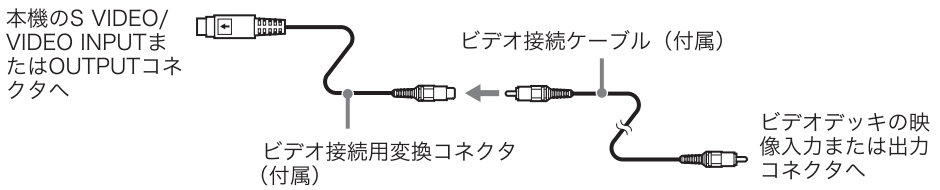
本機とビデオデッキ、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV!（CSチューナー）、またはBSデジタルチューナーの映像／音声の入出力コネクタどうしをつなぐと、以下のことができるようになります。

- ビデオデッキで再生する映像、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV!（CSチューナー）、またはBSデジタルチューナーの映像を本機につないだディスプレイで見る。
- ビデオデッキで再生する映像、またはAVマウス機能付きスカイパーフェクTV!（CSチューナー）、またはBSデジタルチューナーの映像を本機に録画する。
- 本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアで再生する映像を、ビデオデッキに録画したり、テレビで見る。



ちょっと一言

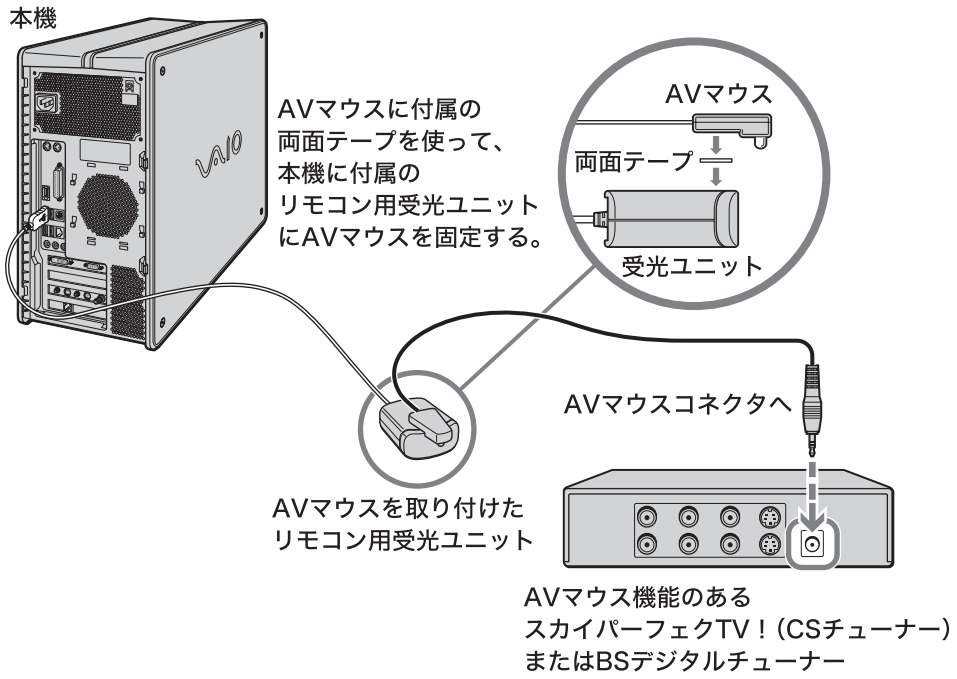
S映像入力／出力コネクタのないビデオデッキをつなぐときは、Sビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続用変換コネクタ（付属）とビデオ接続ケーブル（付属）をつないで使うことができます。



AVマウス機能付きスカイパーフェクTV!(CSチューナー)／BSデジタルチューナーをつなぐときは

本機のリモコン用受光ユニットに、AVマウス機能のあるスカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーに付属のAVマウスを取り付け、スカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの予約録画機能を使って本機に付属の「Giga Pocket」ソフトウェアに番組の予約録画を行うことができます。

AVマウスは以下のように接続します。詳しくは、「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプ、およびスカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。



ご注意

- 本機の電源を切ると「Giga Pocket」ソフトウェアは実行されません。「Giga Pocket」ソフトウェアを使って予約録画を行う場合は、本機をスタンバイモードにしてください。
  詳しくは「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- お使いのビデオ機器によってはリモコンコードが競合して「Giga Pocket」ソフトウェアでの予約録画は実行できない場合があります。
  リモコンコードの設定方法について詳しくは、別冊「困ったときは」の「リモコン」をご覧ください。
- AVマウスを使用してスカイパーフェクTV!(CSチューナー)またはBSデジタルチューナーの映像を本機で予約録画する際は、[画面のプロパティ]の[スクリーンセーバー]タブにある「パスワードによる保護」または「再開時にようこそ画面に戻る」のチェックボックスにチェックをいれないでください。
  また、3D表示を行うスクリーンセーバーはご使用にならないでください。ご使用になると正常に予約録画が実行されません。

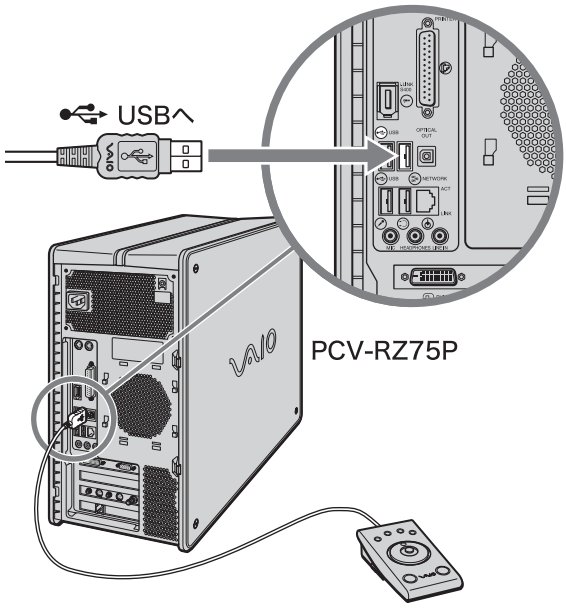
  スクリーンセーバーについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の[設定]→[ディスプレイ]→[スクリーンセーバー／壁紙を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

9 ジョグコントローラーを接続する。(PCV-RZ75P、一部ソニースタイルモデル)

付属のジョグコントローラーを本機のUSBコネクタに接続します。

ちょっと一言

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格(High-speed/Full-speed/Low-speed)に対応しています。USB2.0規格は、USB(Universal Serial Bus)の新しい規格で、USB1.1規格(Full-speed/Low-speed)より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。



ジョグコントローラー(付属)

ちょっと一言

- ジョグコントローラーはPCV-RZ75P専用です。他の機種ではお使いになれません。
- ジョグコントローラーをつなぐと、ビデオ編集などを手軽に行えるようになります。
- ジョグコントローラーの使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の[キーボード/リモコン/ジョグコントローラー]→[ジョグコントローラー(PCV-RZ75Pのみ)]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

10 電源コードを接続する。

本機、ディスプレイを電源コンセントに接続します。

ご注意

- **同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。**
- **本機は日本国内専用です。交流100Vでお使いください。**

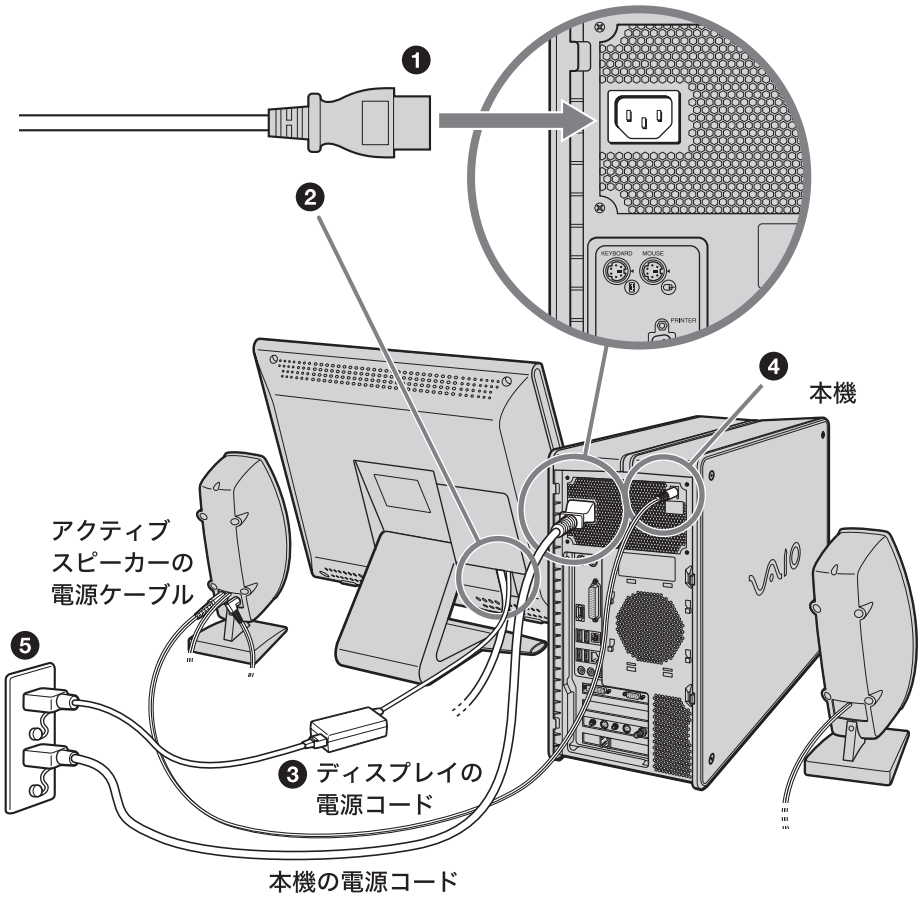
❶ 付属の電源コードを本体に差し込む。

❷ ディスプレイ用のACアダプタのプラグをディスプレイに接続する。

❸ ディスプレイのACアダプタにディスプレイ付属の電源コードを差し込む。

❹ アクティブスピーカーの電源プラグが、本機後面のアクティブスピーカー用電源コネクタに接続されていることを確認する。

❺ 本機の電源コードのアースを接続し、本機の電源プラグとディスプレイの電源コードを壁の電源コンセントに差し込む。



電源を入れる

ディスプレイ、本機の電源を入れる。

❶ ディスプレイの⏻(電源)ボタンを押す。

ちょっと一言

⏻(電源)ボタンの位置はお使いのディスプレイによって異なります。詳しくはお使いのディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

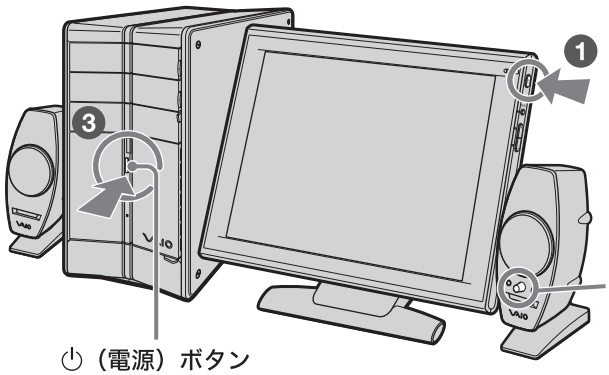
❷ スピーカーの音量つまみで音量を小さくする。

❸ 本機の⏻(電源)ボタンを押す。

本機の電源が入り、⏻(電源)ボタンの上にあるランプが青色に点灯し、Windowsが起動します。

ご注意

4秒以上⏻(電源)ボタンを押したままにすると、電源は切れてしまいます。



ちょっと一言

- アクティブスピーカーの音量が小さくなっているか確認してください。Windowsの準備(48ページ)が終わると、音が鳴るようになっています。突然大きな音がしないように、スピーカーの音量を小さくしておきましょう。音量は、アクティブスピーカーの音量つまみで調節します。音量つまみを押すとつまみが出てきますので、つまみを回して音量を調節してください。調節が終わったらもう1度つまみを押して元の位置に戻します。
- 電源を入れた後、コンピュータを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機とディスプレイの⏻(電源)ランプがオレンジ色で点灯します。省電力機能について詳しくは、「省電力機能について」(76ページ)をご覧ください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。「Windowsを準備する」(48ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

ご注意

- Windowsのセットアップ画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- パソコンを安心してご使用になるため、「セキュリティについて」(131ページ)をご覧になり、大切なデータを失わないための対策や、第三者からパソコンを守るための対策を行ってください。

2回目以降に電源を入れるときは

- ユーザーを2名以上設定している場合は、ユーザー名を選ぶ画面が表示されます。ユーザー名をクリックすると、Windowsが起動します。
- 本機の2回目の起動時か、「Norton(ノートン) AntiVirus(アンチウイルス) 2003」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton AntiVirus情報ウィザード」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
  「Norton AntiVirus 2003」ソフトウェアについて詳しくは、「セキュリティについて」(131ページ)をご覧ください。

Windowsを準備する

本機をお使いいただくために、最初のステップとしてWindowsの準備が必要です。Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。
以下の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

PCV-RZ75Pをお使いの場合

1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある(次へ)をクリックする。

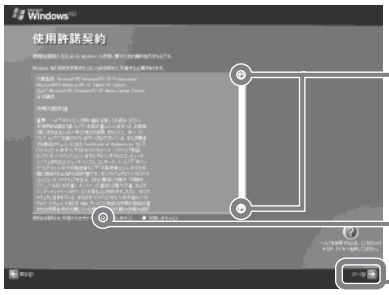
ちょっと一言
マウスの使いかたについて詳しくは、「マウス各部のなまえと使いかた」(80ページ)をご覧ください。

Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

ここをクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは[同意します]の◯をクリックして◉にし、(次へ)をクリックする。



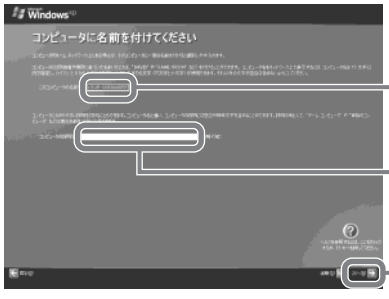
ここをクリックすると、文章が上下に移動する。

❶ [同意します]の◯をクリックする。◯が◉になる。[同意しません]の◯をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に入っているソフトウェアはお使いになれません。

❷ ここをクリックする。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

3 必要な場合はコンピュータ名を変更し、(次へ)をクリックする。



❶ 自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。

❷ コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。

❸ ここをクリックする。

「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されます。

4 「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」の欄にパスワードを入力し、(次へ)をクリックする。

5 「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、ネットワーク環境に合わせて設定し、(次へ)をクリックする。

「このコンピュータをドメインに参加させますか?」画面が表示されない場合は、手順6に進んでください。

6 「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面が表示された場合は、(省略)をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。

「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面が表示されない場合は、手順7へ進んでください。

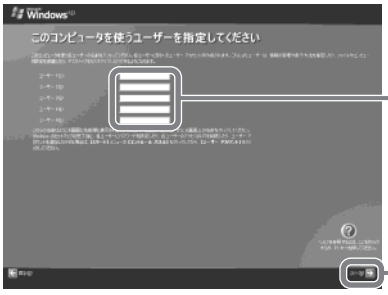
7 [いいえ、今回はユーザー登録しません]の◯をクリックして◉にし、(次へ)をクリックする。

❶ ここをクリックする。
◯ が◉になる。

❷ ここをクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

8 ユーザーの名前を入力し、(次へ)をクリックする。



❶ ここに名前を入力する。

❷ ここをクリックする。

「設定が完了しました」画面が表示されます。

ちょっと一言

Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の[コンピュータの基礎を学ぶ できるWindows for VAIO]をクリックして表示される情報をご覧ください。

9 →(完了)をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

PCV-RZ65／RZ55をお使いの場合

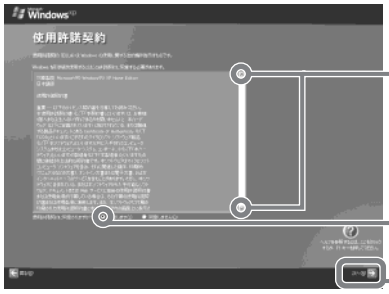
1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある→(次へ)をクリックする。

ちょっと一言

マウスの使いかたについて詳しくは、「マウス各部のなまえと使いかた」(80ページ)をご覧ください。

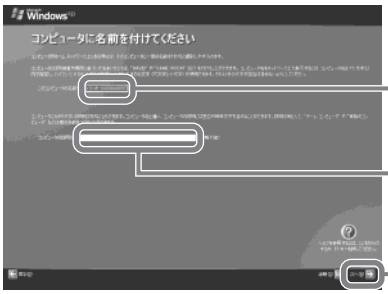
「使用許諾契約」画面が表示されます。

2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは[同意します]の◯をクリックして◉にし、→(次へ)をクリックする。



「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

3 必要な場合はコンピュータ名を変更し、(次へ)をクリックする。



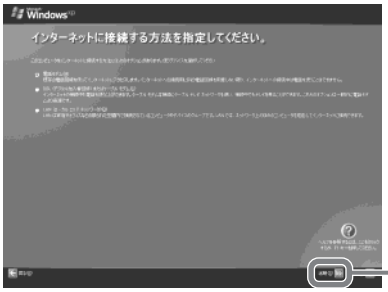
❶ 自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。

❷ コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。

❸ ここをクリックする。

「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示されます。

4 (省略)をクリックする。



ここをクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。

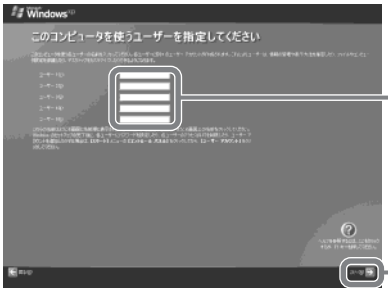
5 [いいえ、今回はユーザー登録しません]の◯をクリックして◉にし、(次へ)をクリックする。

❶ ここをクリックする。
◯ が◉になる。

❷ ここをクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

6 ユーザーの名前を入力し、(次へ)をクリックする。



❶ ここに名前を入力する。

❷ ここをクリックする。

「設定が完了しました」画面が表示されます。

ちょっと一言

Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の[コンピュータの基礎を学ぶ できるWindows for VAIO]をクリックして表示される情報をご覧ください。

7 →(完了)をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

ご注意

- ホームページを見たり、電子メールをやりとりするためには、更にインターネットに接続する準備が必要です。詳しくは、「インターネットを始める」(83ページ)をご覧ください。
- デスクトップ画面上にあるショートカットアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。
  Windowsの初回起動時から2週間後に、ショートカットアイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
  その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のショートカットアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のショートカットアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。
- 本書に記載されているリカバリの方法(183ページ)以外でOS(Operating System(オペレーティング システム))をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
  本機のOSは、PCV-RZ75Pをお使いの場合は「Microsoft® Windows® XP Professional*」、PCV-RZ65／RZ55をお使いの場合は「Microsoft® Windows® XP Home Edition*」です。
  * 本書では、WindowsまたはWindows XPと略します。

  OS(Operating System)とは

  コンピュータを動かすために必要な基本ソフトウェアのことです。画面表示や操作方法などもOSによって決められています。OSがないと他のソフトウェアも使えません。

- 本機は、お買い上げ時に、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。
  また、リカバリ(183ページ)を行った場合も、プロダクトアクティベーション(ライセンス認証)は自動的に完了するため、お客様が認証作業を行う必要はありません。
- Windowsの起動後、以下の手順に従って、本機に設定されている日時を確認し、現在の日時に合わせてください。

  1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[コントロールパネル]をクリックして表示される画面で、[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。
  「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。

  2 [日付と時刻]タブをクリックし、「日付」と「時刻」を現在の日時に合わせる。

  3 OK をクリックする。
  日時の設定が有効になります。

以上で、本機を使う準備ができました。

複数ユーザーで使用する

本機を2名以上の複数のユーザーでお使いになるには

本機では、設定したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それぞれのユーザーが自分専用のコンピュータのように使用することができます。

2名以上の複数ユーザーを設定するには、はじめて本機をお使いになる際のWindowsのセットアップ画面で設定することができます。

Windowsのセットアップについて詳しくは、「Windowsを準備する」(48ページ)をご覧ください。

Windowsのセットアップ完了後にユーザーを追加したり、変更したりするには、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[コントロールパネル]をクリックし、[ユーザーアカウント]をクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面で行います。詳しくは「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

ユーザーアカウントの種類について

ユーザーを設定する際には、ユーザーアカウントの種類を選びます。

ユーザーアカウントには、「コンピュータの管理者」と「制限付きアカウント」の2種類があり、それぞれに権限が異なります。

- **「コンピュータの管理者」とは**

  ユーザーアカウントの追加や変更、システムの変更など、Windows のすべての設定が行えます。

- **「制限付きアカウント」とは**

  自分の画像の変更や、パスワードの変更など一部の設定のみ変更することができます。また、ソフトウェアがインストールできない、起動できない、または機能の一部が使用できない、などのように動作が制限されることがあります。この場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログオンするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権限を与える設定にして作業をやり直してください。

	コンピュータの管理者	制限付きアカウント
プログラムとハードウェアをインストールする	√	
システム全体の変更を行なう	√	
個人ファイル以外のすべてのファイルにアクセスして読み取る	√	
ユーザー アカウントを作成または削除する	√	
ほかのユーザーのアカウントを変更する	√	
自分のアカウントの名前または種類を変更する	√	
自分の画像を変更する	√	√
自分のパスワードを作成、変更、または削除する	√	√

ユーザーアカウントについて詳しくは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[コントロールパネル]をクリックし、[ユーザーアカウント]をクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。

複数のユーザーを設定している際の「ユーザー切り替え」について

複数のユーザーを設定して本機をお使いの場合、ユーザーを切り替えるときは、起動しているソフトウェアをいったん終了させてからユーザーを切り替えてください。

ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアのお問い合わせ先(215ページ)にお問い合わせください。

カスタマー登録する

ここでは、オンラインでカスタマー登録する手順を説明します。

VAIOカスタマー登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社（以下、「ソニー」）は「バイオ」をご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」を行っていただくことをおすすめしています。登録のメリットについては、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はお買い上げ日から3か月です。

登録を行っていただくことで、カスタマー専用デスクからお買い上げ日より1年間有効な保証書と「My Sony ID」、「お客様サポート番号」を記したご登録証「VAIO Customer's Card」をお送りします。

なお、保証について詳しくは「保証書とアフターサービス」（214ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」までご連絡ください。

詳しくは、別冊「困ったときは」の「バイオ サービス・サポートのご案内」の「お問い合わせ先について」をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

電話回線を通じて手軽に登録が行えます。

ちょっと一言

- 付属の「VAIOカスタマー登録、保証書お申込書」にご記入の上、郵送いただくことでも登録を行えます。付属の「VAIOカスタマー登録、保証書お申込書」を使ってお申し込みいただく場合は、「VAIOカスタマーID」を記したご登録証「VAIO Customer 's Card」をお送りします。その後、次のカスタマー登録の手順に従って、「My Sony ID」を取得することができます。
- 次の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
  1. お客様にお知らせした使用目的のために、業務を委託する協力会社に開示が必要な場合（ソニーは、当該協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します）。
  2. 司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などの登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内（http://www.vaio.sony.co.jp/）のページ上で、変更手続きが行えます。

  また、デスクトップ画面左下の をクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［VAIO オンラインカスタマー登録］をクリックして変更手続きを行うこともできます。
- 13才より小さいおこさまは、ほごしゃのかたといっしょにとうろくしてください。

ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録は、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーのみ行うことができます。
- VAIOオンラインカスタマー登録にご使用いただく電話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対応しています。ISDN回線をお使いになる場合は、本機のUSBコネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタをつないでください。つなぎかたについては「接続する／準備する」の「ISDN回線を利用するときは」（38ページ）をご覧ください。ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[VAIOオンラインカスタマー登録]をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

ちょっと一言

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、キャンセル をクリックして表示される画面で 終了(E) をクリックしてください。

2 次へ> をクリックする。

ここをクリックする。

「登録手順について」画面が表示されます。

3 内容をよく読み、次へ> をクリックする。

ここをクリックする。

「ID・パスワードの入力」画面が表示されます。

ちょっと一言

1つ前の画面が見たいときは、< 戻る(B) をクリックします。

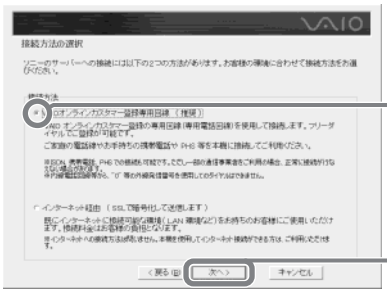
4 次へ> をクリックする。

「接続方法の選択」画面が表示されます。

ちょっと一言

本機を含めてバイオをすでに2台以上おもちの方など、すでに「VAIOカスタマーID」や「My Sony ID」をおもちの方はIDを入力し、画面の指示に従って操作してください。

5 「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」の◯をクリックして◉にし、次へ> をクリックする。



❶ ここをクリックする。

❷ ここをクリックする。

「発信方法の設定」画面が表示されます。

ご注意

- 外線発信(0発信)はできません。
- 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はお客様の負担となります。
- ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機のLINE(電話回線)ジャックと一般電話回線をつなぎ(35ページ)、通信を行ってください。

ちょっと一言

- 次へ> をクリックすると、手順6に進む前に「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、次へ> をクリックしてください。
- 「インターネット経由」を選んで 次へ> をクリックしたときは、「インターネット経由の接続設定」画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。
  また、ネットワーク(LAN)の環境などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシの設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、各法人・団体様のシステム管理者にお尋ねください。

6 お使いの電話回線の発信方式（ダイヤル方法）を選び、次へ をクリックする。

❶ 本機を一般電話回線につないでいるときは、トーンかパルスを選ぶ。

❷ ここをクリックする。

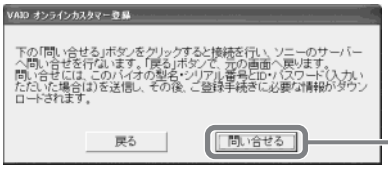
ご注意

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機のLINE（電話回線）ジャックと一般電話回線をつなぎ（35ページ）、通信を行ってください。

ちょっと一言

- 本機を一般電話回線につないでいるときのみトーン式／パルス式ダイヤルを選びます。
- **トーン式ダイヤルとは**
  電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- **パルス式ダイヤルとは**
  ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。
- お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

7 電話回線がつながっていることを確認し、問い合せる をクリックする。



ここをクリックする。

電話回線を通じて通信が行われ、完了すると「問い合せ完了」画面が表示されます。

8 次へ をクリックする。

ここをクリックする。

「VAIOカスタマー登録の特典／VAIOカスタマー登録のご注意」画面が表示されます。

9 次へ> をクリックする。

ここをクリックする。

「発行されるID・番号について／製品のユーザー登録に関する同意文」画面が表示されます。

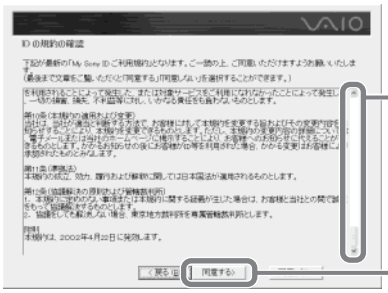
10 スクロールバーをドラッグするか、 または をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容を了承するときは 了承します> をクリックする。

❶ スクロールバーを操作して文章を表示させる。

❷ ここをクリックする。

「IDの規約の確認」画面が表示されます。

11 スクロールバーをドラッグするか、 または をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容に同意するときは 同意する> をクリックする。



❶ スクロールバーを操作して文章を表示させる。

❷［同意する］をクリックする。
［同意しない］をクリックすると、カスタマー登録は完了しません。

「お客様氏名の入力」画面が表示されます。

12 画面の指示に従って入力し、次へ をクリックする。

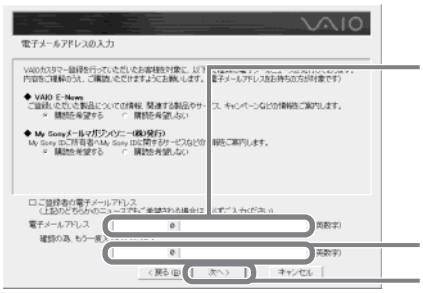
❶ どちらかを選ぶ。

❷ お名前とふりがなを入力する。

❸ ここをクリックする。

「電子メールアドレスの入力」画面が表示されます。

13 すでに電子メールアドレスをおもちの方は、電子メールアドレスを入力し、次へ をクリックする。



❶ 電子メールアドレスを入力する。電子メールアドレスをおもちでない方や電子メールアドレスを教えたくない方は、何も入力せずに［次へ］をクリックする。

❷ 確認のため、もう1度入力する。

❸ ここをクリックする。

「お客様ご住所等の入力」画面が表示されます。

14 必要な項目を入力し、次へ をクリックする。

❶ 生年月日を入力する。

❷ 性別を選ぶ。

❹ ここをクリックする。

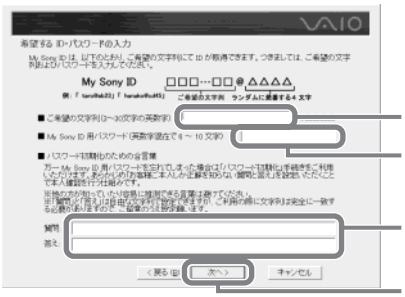
❸ 郵便番号を入力する。
（ハイフンは入力しない）

「希望するID・パスワードの入力」画面が表示されます。

ちょっと一言

- 「お客様氏名の入力」画面の「本機を登録される方」で「組織・団体に属するご担当者名での登録」を選んだときは、組織、団体用の情報を入力する画面が表示されます。
- 「お客様ご住所等の入力」画面の「郵便番号」はハイフンを除いて入力してください。
- 「お客様ご住所等の入力」画面で、「郵便番号」を入力したあと、住所検索(S) をクリックすると、簡単に住所検索ができます。
- 「お客様ご住所等の入力」画面下部の「保証書等の送付先住所は上記と同様でよろしいですか？」の項目は必ず入力してください。

15 「My Sony ID」の「@」前にご希望の文字列と、「My Sony ID用パスワード」、「パスワード初期化のための合言葉」を入力し、次へ をクリックする。



❶ ここに入力する。
❷ ここに入力する。
❸ パスワードを忘れてしまったときに備え、入力する。
❹ ここをクリックする。

「製品情報の入力」画面が表示されます。

ご注意

- 「My Sony ID用パスワード」は英字と数字を混ぜて入力してください。英字のみ、または数字のみのパスワードは設定できません。
- 「My Sony ID用パスワード」は「登録内容の確認」画面では表示されません。「My Sony ID用パスワード」を忘れないようご注意ください。

ちょっと一言

「パスワード初期化のための合言葉」は、「My Sony ID用パスワード」を忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定を行う機能です。

16 本機のモデル名を確認し、をクリックして使用しているディスプレイを選び、本機の購入日や販売店名を入力し、次へ をクリックする。

❶ ここがお使いの機種か確認する。
❷ ここをクリックして選ぶ。
❸ ここに入力する。
❹ ここをクリックする。

「登録内容の確認」画面が表示されます。

ちょっと一言

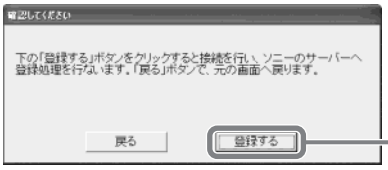
- 「使用しているモニター・ディスプレイを選択してください」で「その他のモニター」を選択した場合は、「使用モニターの選択」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 「製品情報の入力」が完了すると、「アンケート」画面が表示される場合がありますので、画面の指示に従って入力してください。

17 登録内容を確認し、次へ をクリックする。

ここをクリックする。

「確認してください」画面が表示されます。

18 登録する をクリックする。



ここをクリックする。

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「登録完了」画面が表示されます。

ご注意

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機のLINE（電話回線）ジャックと一般電話回線をつなぎ（35ページ）、通信を行ってください。

19 次へ をクリックする。

ここをクリックする。

「ご登録の完了」画面が表示されます。

「My Sony ID」と「お客様サポート番号」について

VAIO登録カスタマー向けのサービスをご利用の際には「My Sony ID」をご使用ください。
VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく際には「お客様サポート番号」をご使用ください。

ご注意

VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく際に、「My Sony ID」はご使用できません。

ちょっと一言

「My Sony ID」と「お客様サポート番号」は後日、ソニーより「VAIO Customer's Card」、「1年間保証書」などとともに郵送でお知らせいたします。なお、手順20、21の操作を行い、「My Sony ID」と「お客様サポート番号」の情報をファイルとして保存しておくことをおすすめします。

20 IDと番号をファイルに保存する をクリックする。

ここをクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

21 ファイルに任意の名前を付け、保存(S) をクリックする。

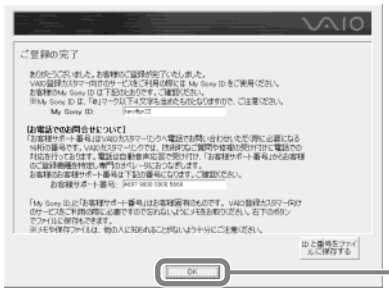
ここをクリックする。

お客様の「My Sony ID」と「お客様サポート番号」の情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存されます。

ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようにご注意ください。

22 「ご登録の完了」画面の OK をクリックする。



ここをクリックする。

これでVAIOオンラインカスタマー登録は終了です。

ちょっと一言

OK をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、次へ> をクリックしてください。

ちょっと一言

VAIOカスタマー登録が終わると、デスクトップ画面上に が表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、バイオに関するサービス・サポート情報やVAIOホームページのご案内などのお知らせを見ることができます。

VAIOカスタマー登録情報を変更するには

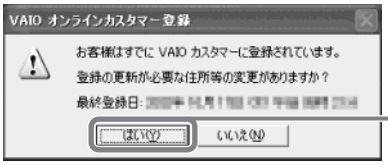
1

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[VAIOオンラインカスタマー登録]をクリックする。

「お客様はすでにVAIOカスタマーに登録されています。……」というメッセージが表示されます。

2

はい(Y) をクリックする。



ここをクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

3

次へ> をクリックする。

ここをクリックする。

「登録情報変更手順について」画面が表示されます。

4

次へ> をクリックする。

「My Sony ID、My Sony ID用パスワードの入力」画面が表示されます。

ここをクリックする。

画面の指示に従って操作し、登録内容を変更してください。

テレビを見る準備をする

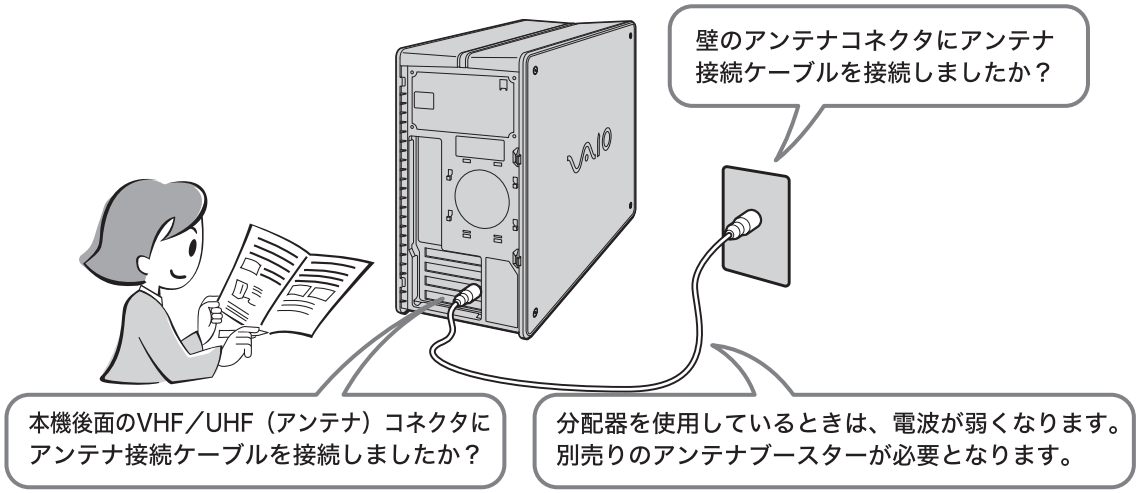
(「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル)

本機では、付属の「Giga Pocket(ギガ　ポケット)」ソフトウェアを使ってテレビを見ることができます。

イラストは、お使いの機種とは異なる場合があります。

テレビを見るまでの流れ

1 アンテナを接続する。

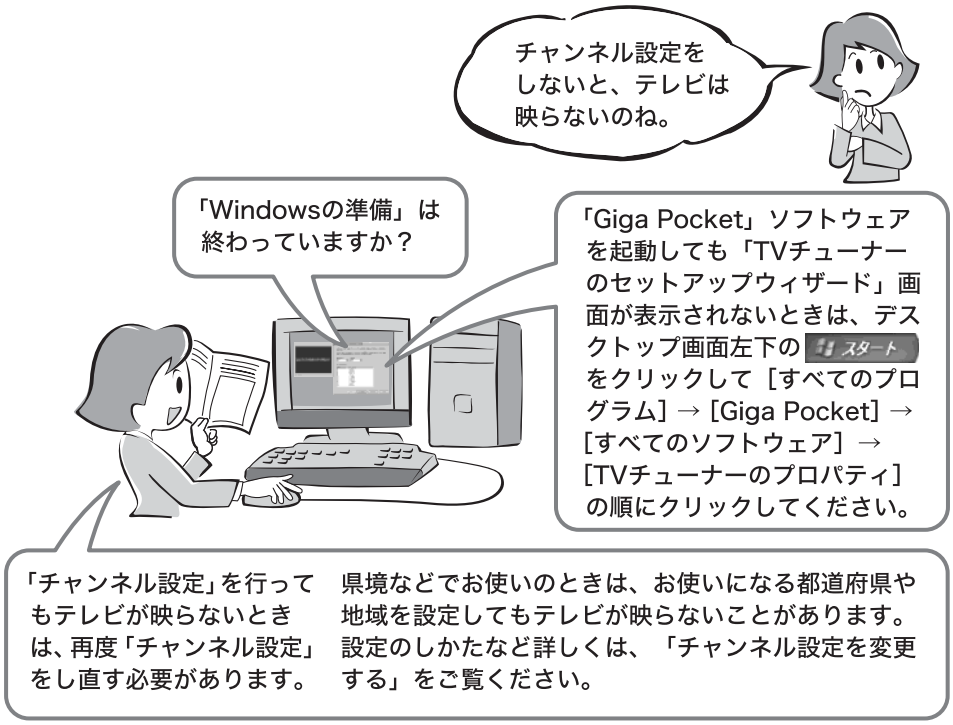


ちょっと一言

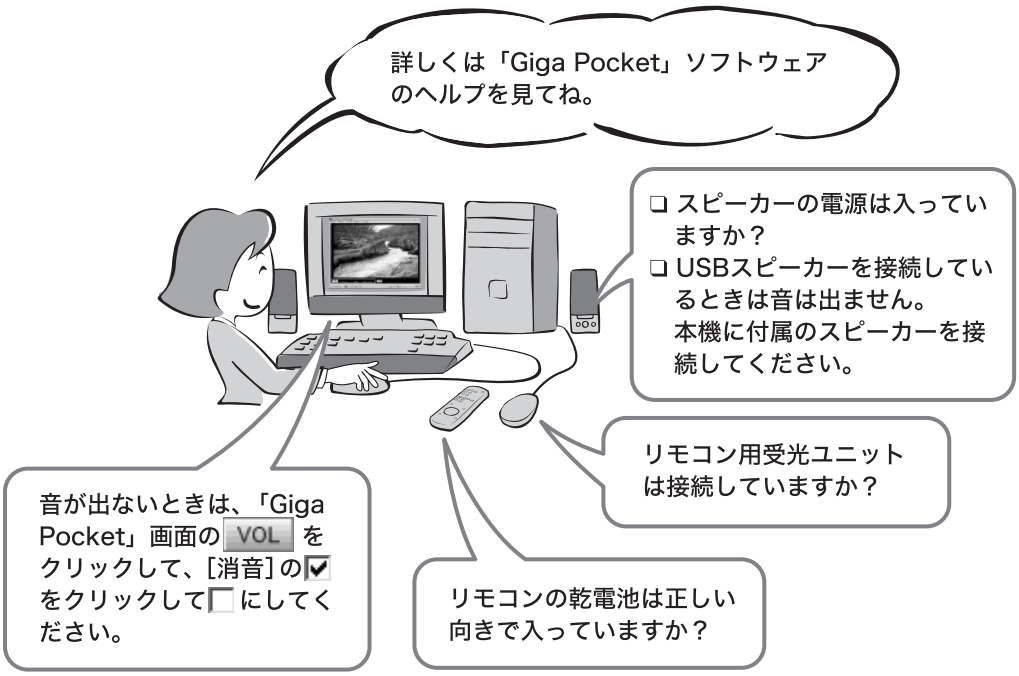
アンテナについて詳しくは、「接続する／準備する」(31ページ)をご覧ください。

2 チャンネル設定をする。

チャンネル設定をすると、選んだ地域の標準のチャンネルが設定されます。

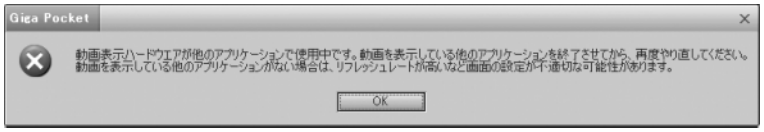


3 テレビを見る。



こんなメッセージが表示されたときは

DVDビデオ、レンタルビデオやセルビデオなど、コピーガードがかかっている映像や著作権保護の信号が入っている映像を録画しようとしているときに表示されます。



「DVgate Plus（ディーブイゲート プラス）」ソフトウェアなど他の動画を扱うソフトウェアなどを同時に起動しているときに表示されます。他のソフトウェアを終了させて「Giga Pocket」ソフトウェアを起動し直してください。

チャンネル設定をする

はじめて「Giga Pocket」ソフトウェアを使ってテレビを見るときには、以下の手順に従ってチャンネル設定を行います。

ご注意

DVアナログ入出力切り替えツールを使用する場合は、必ず「Giga Pocket」ソフトウェアのチャンネル設定を行ってください（PCV-RZ75P／RZ65のみ）。

ちょっと一言

「Giga Pocket」ソフトウェアについて詳しくは、「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］→［Giga Pocket］の順にポインタを合わせ、［Giga Pocket］をクリックする。

「TVチューナーのセットアップウィザード」画面が表示されます。

ちょっと一言

TVチューナーのセットアップウィザードは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］→［Giga Pocket］→［すべてのソフトウェア］の順にポインタを合わせ、［TVチューナーのプロパティ］をクリックしても表示することができます（2回目以降は、表示された画面で チャンネルリストの作り直し(R)... をクリックすると、「TVチューナーのセットアップウィザード」画面が表示されます）。

ご注意

TVチューナーのセットアップウィザードを起動するには、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしている必要があります。

2 本機を使用する都道府県および最も近い地域を選択する。

選択した都道府県と地域に合ったチャンネルが「チャンネルリスト」に表示されます。

3 次へ(N) > をクリックする。

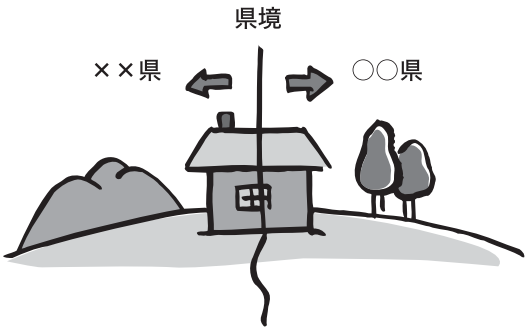
チャンネルの自動検出をする画面が表示されます。

4 自動検出(S)... をクリックする。

チャンネルの自動検出が始まり、受信中の映像が「Giga Pocket」ソフトウェアのモニターに表示されます。受信できたチャンネルには「チャンネルリスト」のチャンネル名の隣りに「○」マークが表示されます。

ご注意

- **チャンネル名の隣りに「○」マークが表示されていても、県境でお使いの場合などは映像が見えにくい場合があります。映像を確認しながら設定してください。**
- **選択した地域にあるチャンネルでも、電波の受信状況によっては「○」マークが表示されない場合があります。**
- **チャンネル名が「不明」で、チャンネル名の隣りに「○」マークが表示されている場合は、映像を確認しながら設定を行ってください。**
- **県境でお使いの場合などは、お使いになっている都道府県や地域を設定しても受信できないチャンネルがあることがあります。その場合は、< 戻る(B) をクリックして隣接する都道府県や地域を設定するか、追加(A)... や 変更(C)... をクリックして、手動でチャンネルを設定してください。**
  設定の方法は、「チャンネル設定を変更する」(70ページ)の手順3以降と同じです。



5 次へ(N) > をクリックする。

チャンネルリストを編集する画面が表示されます。

ちょっと一言

チャンネルリストの順番やリモコンに割り当てる数字を変更したい場合は、この画面で変更することができます。

6 次へ(N) > をクリックする。

パスワードの設定をする画面が表示されます。

7 「パスワード」欄にパスワードを入力して、完了 をクリックする。

設定が完了し、「TVチューナーのセットアップウィザード」画面が閉じます。

ちょっと一言

このパスワードは、他のコンピュータから本機に接続して「Giga Pocket」ソフトウェアの機能を使用するために必要となります。

次に、「Giga Pocket」ソフトウェアのモニターで、設定したチャンネルが正しく表示されるか確認します。

8 TV をクリックする。

「Giga Pocket」ソフトウェアのモニターに、TV／録画デッキの映像が表示されます。

9 CH をクリックして、一覧の中から見たいチャンネルを選ぶ。

「Giga Pocket」ソフトウェアのモニターに選択したチャンネルの番組が表示されます。

チャンネル設定を変更する

チャンネル設定を行っても、映らないチャンネルがあったり、ご使用の地域で受信できるチャンネルと実際のチャンネルが異なる場合は、手動でチャンネル設定を変更することができます。
「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

ここでは、「VAIOテレビ」が「30チャンネル」に設定されているが、ご使用になっている地域では「20チャンネル」で放送されており、「VAIOテレビ」のチャンネル設定を「30チャンネル」から「20チャンネル」に変更する例で、以下の手順を説明します。

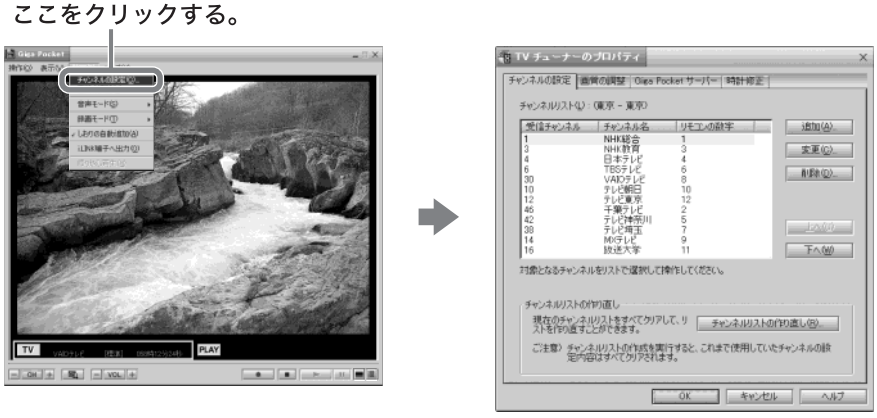
1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］→［Giga Pocket］の順にポインタを合わせ、［Giga Pocket］をクリックする。

「Giga Pocket」ソフトウェアが起動します。

2 メニューバーの［設定］をクリックして［チャンネルの設定］をクリックする。

「TVチューナーのプロパティ」画面が表示されます。

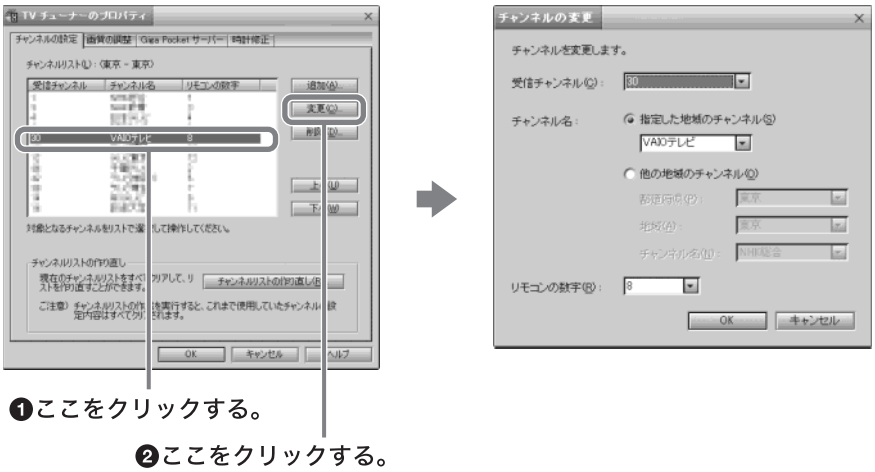
ここをクリックする。



3 「チャンネルの設定」タブが表示されていない場合は、［チャンネルの設定］タブをクリックする。

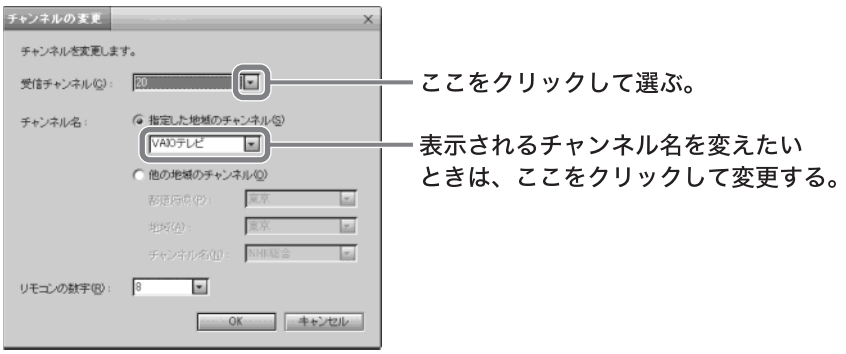
4 変更するチャンネル名（ここでは「VAIOテレビ」）を選択し、変更(C)... をクリックする。

「チャンネルの変更」画面が表示されます。



5 「受信チャンネル」から設定したいチャンネル（ここでは「20チャンネル」なので「20」）を選ぶ。

チャンネル番号がわからない場合は、「受信チャンネル」の▼をクリックして、設定したいテレビ局の映像が表示されるまでチャンネル番号（1～62チャンネル）を順番に選択してください。



6 OK をクリックする。

以上の手順を繰り返して、映らないチャンネルすべての設定をしてください。

画面の解像度などの設定を変更するときのご注意

画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定から変更した状態で「Giga Pocket」ソフトウェアを起動すると、「動画表示ハードウェアが他のアプリケーションで使用中です。動画を表示している他のアプリケーションを終了させてから、再度やり直してください。動画を表示している他のアプリケーションがない場合は、リフレッシュレートが高いなど画面の設定が不適切な可能性があります。」というメッセージが表示され、「Giga Pocket」ソフトウェアが起動しないことがあります。この場合は、画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートをお買い上げ時の設定に戻してから「Giga Pocket」ソフトウェアを起動してください。

「Norton AntiVirus 2003」ソフトウェアをお使いの方へ（「Giga Pocket」ソフトウェアを使って録画をする前に）

「Norton AntiVirus 2003」ソフトウェアをお使いのときに、「Giga Pocket」ソフトウェアを使って録画をすると、正常に録画が行われない場合があります。正常に録画をするためには、「Norton AntiVirus 2003」ソフトウェアのウイルススキャンの設定を変更することをおすすめします。

「Norton AntiVirus 2003」ソフトウェアのウイルススキャンの設定を変更するには、以下の手順に従って操作してください。

なお、この設定は、「Giga Pocket」ソフトウェアを1回起動して、チャンネル設定（66ページ）を行ったあとに行ってください。

ちょっと一言

「Norton AntiVirus 2003」ソフトウェアについて詳しくは、「セキュリティについて」（131ページ）をご覧ください。

ご注意

- 「Giga Pocket」ソフトウェアで保存先のフォルダをご自分で追加した場合は、追加したフォルダも除外リストに追加してください。
- 以下の設定を行うと、「Giga Pocket」ソフトウェアの録画先の保存フォルダや、ご自分で追加したフォルダのウイルスチェックが行われませんので、定期的に手動でウイルスチェックを行ってください。

---

1 **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］→［Norton AntiVirus］の順にポインタを合わせ、［Norton AntiVirus 2003］をクリックする。**

「Norton AntiVirus 2003」ソフトウェアが起動します。

---

2 **「Norton AntiVirus」画面上部の（オプション）をクリックする。**

「Norton AntiVirusオプション」画面が表示されます。

---

3 **「Norton AntiVirus オプション」画面左側の「システム」の［Auto-Protect］をクリックし、［除外］をクリックする。**

ここをクリックする。

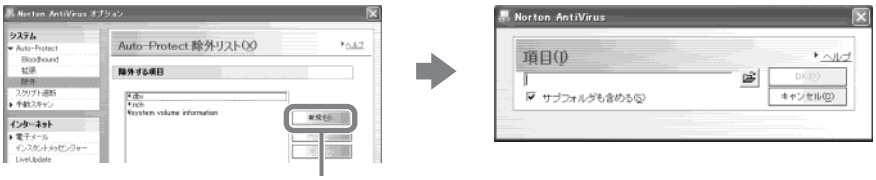
「Norton AntiVirus オプション」画面右側に、「Auto-Protect除外リスト」が表示されます。

4 「Auto-Protect除外リスト」の「除外する項目」右側の 新規(N)... をクリックする。

除外する項目を追加する画面が表示されます。

ご注意

「Giga Pocket」ソフトウェアで保存先のフォルダをご自分で追加した場合は、追加したフォルダも除外リストに追加してください。



ここをクリックする。

5 「サブフォルダも含める」が☑になっていることを確認し、📁をクリックする。

ここをクリックする。

「フォルダの参照」画面が表示されます。

6 [ローカルディスク(D:)]、[Giga Pocket V5]の順にダブルクリックする。

7 OK をクリックする。

手順4で表示された画面に「D:￥Giga Pocket V5」と表示されます。

8

OK(O) をクリックする。

ここをクリックする。

9

「除外する項目」に「D:¥Giga Pocket V5」が追加されていることを確認し、OK(O) をクリックする。

ここをクリックする。

ちょっと一言

「Giga Pocket」ソフトウェアで保存先のフォルダをご自分で追加した場合は、手順4に戻り、追加したフォルダを除外リストに追加してください。

以上で設定は終わりです。

電源を切る

電源を切るときは、必ず下記の手順に従って電源を切ってください。
下記の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

ちょっと一言

デスクトップ画面のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックする。

「スタート」メニューが表示されます。

2 [終了オプション]をクリックし、表示された「コンピュータの電源を切る」画面で「電源を切る」をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻(電源)ボタンの上にあるランプが消灯します。

ちょっと一言

ソニー製のコンピューターディスプレイをお使いのときは、手順2で本機の電源が切れたあと、自動的にディスプレイが節電モードに入ります。

3 ディスプレイの⏻(電源)ボタンを押す。

ディスプレイの電源が切れます。

ご注意

- 本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。
- 「Windowsを準備する」(48ページ)の手順8(PCV-RZ75P)または手順6(PCV-RZ65／RZ55)で、2人以上のユーザーの名前を入力した場合、次回から本機の電源を入れると、「ようこそ」画面が表示されます。ユーザー名を選んでWindowsを起動してください。

これで本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。
更にいろいろな操作をするためには、引き続きこのあとのページおよび「サイバーサポート」をご覧ください。

省電力機能について

本機には、2つの省電力機能が用意されています。各機能ごとに特徴がありますので、使用状況に合わせて使い分けてください。

	スタンバイモード	休止状態
本機の電源ランプ	オレンジ色に点灯	消灯
ディスプレイの電源ランプ[*1]	オレンジ色に点灯	オレンジ色に点灯
本機の状態	現在作業中の状態を保持したまま、CPUの電源を切ります。席をはずすなどして、しばらく作業を中断するときに便利です。最低限必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。	本機の主電源が切れ、内部の主電源部のファンは停止します。現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。2～3日、本機を使わないようなときに便利です。
各モードに入るには	• キーボードの☾(スタンバイ)キーを押す。 • デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面で[スタンバイ]をクリックする。 • 付属のリモコンのPC／TV(テレビ)切換スイッチを「PC」に設定し、電源／スタンバイボタンを押す。[*2] • 「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マネージャー」アイコンを右クリックして表示されるメニューから[Windowsのスタンバイ]を選ぶ。(「予約マネージャー」でシャットダウンモードが「スタンバイ」に設定されている場合(お買い上げ時の設定))[*2]	• 本機前面の⏻(電源)ボタンを押す。 • デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面でShift(シフト)キーを押しながら[休止状態]をクリックする。 • 「Giga Pocket」ソフトウェアの「予約マネージャー」アイコンを右クリックして表示されるメニューから[Windowsのスタンバイ]を選ぶ。(「予約マネージャー」でシャットダウンモードが「休止状態」に設定されている場合)[*2]
通常の動作モードに戻すには	• キーボードのスペースキーまたは☾(スタンバイ)キーを押すか、本機前面の⏻(電源)ボタンを押す。 • 付属のリモコンのPC／TV(テレビ)切換スイッチを「PC」に設定し、電源／スタンバイボタンを押す。[*2]	本機前面の⏻(電源)ボタンを押す。
ご注意	スタンバイモードは本機の電源が切れた状態ではなく、本機の電力の消費を抑えている状態です。スタンバイモードのときに、電源コードをコンセントから抜かないでください。作業を中断する前の状態に戻れなくなります。また、本機の故障の原因となることがあります。	• 休止状態に入った場合は、リモコンを使って本機を通常の動作モードに戻すことはできません。 • キーボードの☾(スタンバイ)キーを押しても通常のモードには戻りません。

[*1] お使いのディスプレイによっては、ランプの色が異なったり、点滅することがあります。

[*2] 「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル

詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の[設定]→[省電力]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

コンピュータの基本操作

この章では、本機を使うための基本的な操作を説明します。

コンピュータの基本操作 78

コンピュータの基本操作

「できるWindows XP for VAIO」もあわせてご覧ください。

「できるWindows XP for VAIO」は、Windowsの基本的な使いかたを解説した電子マニュアルです。Windowsの使いかたについて詳しくは、「できるWindows XP for VAIO」をご覧ください。

❶ デスクトップのサイバーサポートのアイコンをダブルクリックする

デスクトップ画面の各部のなまえとはたらき

本機の電源を入れたあと、ディスプレイ画面全体に表示されるのが「デスクトップ画面」です。「デスクトップ画面」は、本機のさまざまな機能を使いこなしていただくときの出発点となります。

デスクトップ画面のイラストは実際のものと異なる場合があります。

■デスクトップアイコン

❶ ごみ箱
いらなくなった文書や画像などを捨てる場所です。ごみ箱に捨てた文書や画像などは、ごみ箱の中に残っています。ごみ箱について詳しくは、「ファイルやフォルダの操作」をご覧ください。

❷ Internet Explorer
インターネットのホームページなどを見るときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

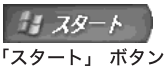
❸ インターネット接続サービス
インターネット接続サービスを提供する会社（プロバイダ）と契約（オンラインサインアップ）します。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

❹ ここから始めよう バイオメニュー
やりたいことからソフトウェアを探して起動できます。

❺ バイオマニュアル CyberSupport
バイオの使いかたや楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明する電子マニュアルです。

❻ 各ソフトウェアのショートカット類
左隅に↗が付いたアイコンが各種あります。これらは簡単にソフトウェアを起動するためにデスクトップ画面上に置かれたものです。

❼タスクバー
本機に付属のソフトウェアやコンピュータの設定をすばやく確認し、操作できるための機能をまとめた場所です。大きく3領域があり、それぞれ「スタート」ボタン、使用中のソフトウェアや文書などを表示しておく機能をもつ領域、Windowsに関連する機能を表示しておく通知領域に分かれます。



「スタート」 ボタン
ここをマウスでクリックすると、本機に付属のソフトウェアを起動したり、本機のさまざまな機能を使うためのメニューが表示されます。まずはここをクリックして始めてください。

ウィンドウのボタン表示
使用中のソフトウェアや文書などがここにボタンとして表示されます。
デスクトップ画面上にソフトウェアや文書などが表示されていなくても、このボタンをクリックすると画面にそのソフトウェアや文書などが表示されます。

通知領域
本機を起動したときに自動的に使えるようになったWindowsの機能がここに表示されます。アイコンが表示されていないときは◀をクリックすると表示されます。

■「スタート」メニュー

をクリックすると「スタート」メニューが表示されます。
「スタート」メニューの左側には、最近使用したソフトウェアのアイコンが表示されます。

❽ ユーザー名
現在コンピュータを使用しているユーザーの名前が表示されます。

❾ インターネット
インターネットのホームページなどを見るときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

❿ 電子メール
電子メールをやりとりするときに使うソフトウェアです。詳しくは、「インターネットを始める」をご覧ください。

⓫ マイドキュメント
本機に付属のさまざまなソフトウェアで作成した文書や画像などを保存しておく場所です。

⓬ マイピクチャ
デジタル写真、イメージ、グラフィックなどを保管しておくフォルダが開きます。

⓭ マイミュージック
ミュージックファイルやオーディオファイルを保管しておくフォルダが開きます。

⓮ マイコンピュータ
ここからソフトウェアを起動したり、作成した文書や画像をコピーしたりできます。

⓯ コントロールパネル
本機に接続されている各種の記憶装置やシステムの設定のための機能が入っている場所です。

⓰ ヘルプとサポート
Windowsの操作や、Windowsのサポートについての情報を検索できます。「サイバーサポート」もここから起動できます。

⓱ 検索
作成した文書や画像を探したり、インターネットなどで情報を検索するときに使います。

⓲ ファイル名を指定して実行...
作成した文書や画像を指定することでソフトウェアを起動することができます。また、参照(B)... をクリックすると作成した文書や画像を探し出せます。

⓳ ここから始めようバイオ！
やりたいことからソフトウェアを探して起動できます。

⓴ すべてのプログラム
本機に付属しているさまざまなソフトウェアを起動するときに使います。

㉑ ログオフ
本機を使用するユーザーを切り換えるときに使います。

㉒ 終了オプション
スタンバイモードにするとき、電源を切るとき、再起動するときに使います。

ご注意

デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。

Windowsの初回起動時から2週間後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。

デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。

アイコンとは

画面上に表示されるソフトウェア、文書、画像などを表す絵記号のことです。それぞれの固有のデザインにより、ソフトウェア、文書、画像などの種類がわかりやすくなっています。

ウィンドウとは

「スタート」メニューから「マイコンピュータ」や「マイドキュメント」を選んでクリックしたとき、デスクトップ画面に表示される枠で囲まれた領域を「ウィンドウ」と言います。文書や画像を作成するときもウィンドウで作業します。

壁紙とは

デスクトップ画面の背景を飾る画像のことです。好きな壁紙を選んで使用することができます。

マウス各部のなまえと使いかた

マウスを動かすと、画面上に表示されている（ポインタ）が動きます。ポインタを画面上の目的の位置に合わせ（ポイントし）、マウスのボタンを使って操作します。
マウスの各部のなまえとボタンの操作のしかたは次のとおりです。

右ボタン

▶右クリックする
右ボタンを1回押してすぐ離します。

ホイール
ボタン
ホイールボタンを回して、ウィンドウをスクロールすることができます。

左ボタン

▶クリックする
左ボタンをカチッと1回押してすぐ離します。

▶ダブルクリックする
左ボタンをカチカチッと2回すばやく押してすぐ離します。

▶ドラッグする
マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かしてからボタンを離します。

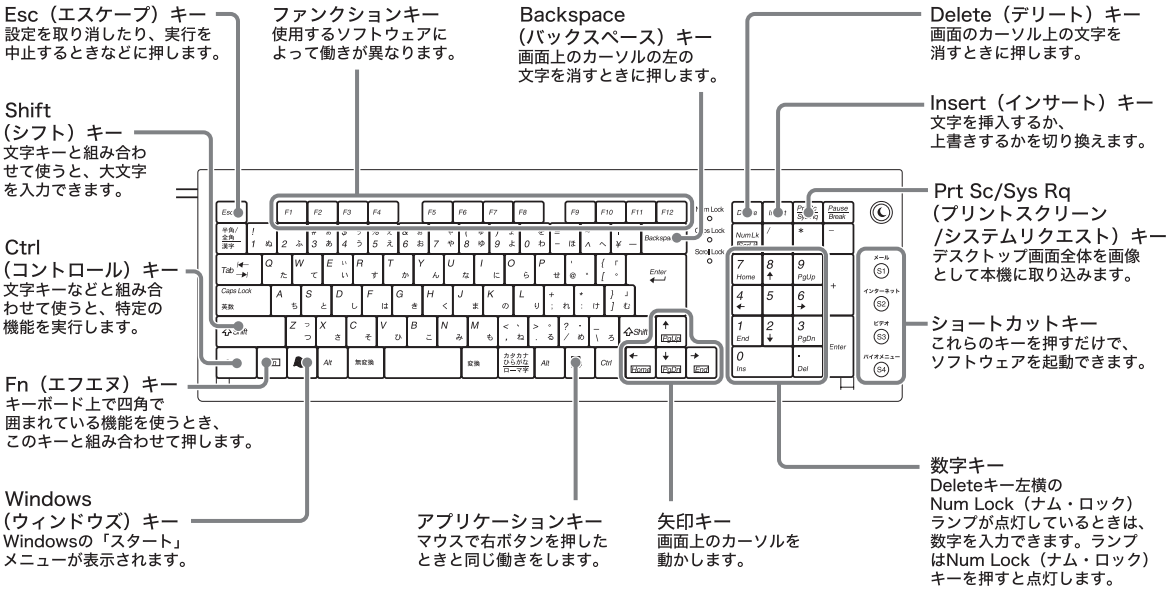
オプティカルマウスについて

オプティカルマウスは、マウス底面からの赤い光により照らし出されている陰影をオプティカルセンサーで検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上はもちろんのこと、衣類の上や紙の上でも使用することができます。
ただし、次のような表面では正しく動作しない場合があります。
・透明な素材（ガラスなど）
・光を反射する素材（光沢のあるビニールや鏡など）
・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
・濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
マウスポインタが正常に動かないときは、上記の条件に該当しない表面（机、紙、マウスパッドなど）でマウスを操作してみてください（上記の条件に該当する一部のマウスパッドでは、マウスが正常に動作しない場合があります）。

キーボードの使いかた

キーボードを使って、文字を入力したり、ソフトウェアを操作することができます。

キーボードの使いかたについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の［キーボード／リモコン／ジョグコントローラー］→［キーボード］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。



Esc（エスケープ）キー
設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

ファンクションキー
使用するソフトウェアによって働きが異なります。

Backspace（バックスペース）キー
画面上のカーソルの左の文字を消すときに押します。

Delete（デリート）キー
画面のカーソル上の文字を消すときに押します。

Insert（インサート）キー
文字を挿入するか、上書きするかを切り換えます。

Shift（シフト）キー
文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

Prt Sc/Sys Rq（プリントスクリーン/システムリクエスト）キー
デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

Ctrl（コントロール）キー
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

ショートカットキー
これらのキーを押すだけで、ソフトウェアを起動できます。

Fn（エフエヌ）キー
キーボード上で四角で囲まれている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

数字キー
Deleteキー左横のNum Lock（ナム・ロック）ランプが点灯しているときは、数字を入力できます。ランプはNum Lock（ナム・ロック）キーを押すと点灯します。

Windows（ウィンドウズ）キー
Windowsの「スタート」メニューが表示されます。

アプリケーションキー
マウスで右ボタンを押したときと同じ働きをします。

矢印キー
画面上のカーソルを動かします。

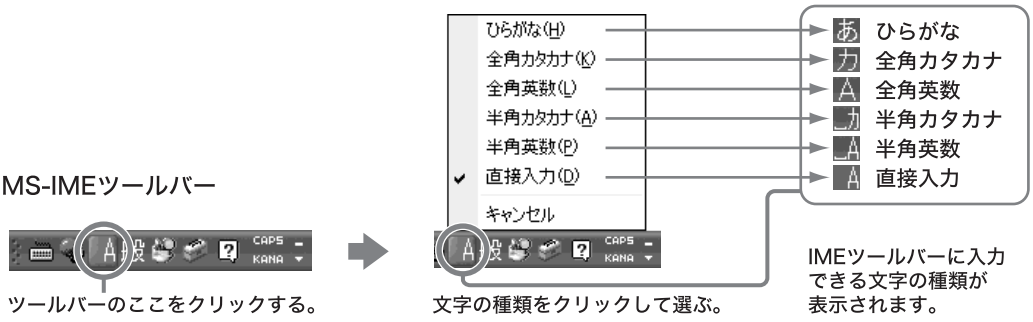
ちょっと一言

「ショートカットキー」で起動するソフトウェアは変更することができます。詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の［キーボード／リモコン／ジョグコントローラー］→［キーボード］→［ショートカットキーで起動するソフトウェアを変更する］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

文字の入力

❑ 入力する文字を選ぶ

文字を入力するときは、入力する場所をクリックしたあと、入力したい文字に応じて、デスクトップ画面右下に表示される「MS-IMEツールバー」を使って入力する文字の種類を切り換えます。



MS-IME ツールバーが表示されていないときは

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［コントロールパネル］→［日付、時刻、地域と言語のオプション］→［地域と言語のオプション］の順にクリックし、「地域と言語のオプション」画面を表示する。

2 ［言語］タブをクリックして 詳細(D)... をクリックし、「テキストサービスと入力言語」画面を表示する。

3 言語バー(B)... をクリックして「言語バーの設定」画面を表示する。

4 ［言語バーをデスクトップ上に表示する］の □ をクリックして ☑ にし、 OK をクリックする。

5 「テキストサービス入力言語」画面、「地域と言語」画面でそれぞれ OK をクリックする。

❑ 入力のしかたを選ぶ

日本語を入力する方法として、ローマ字入力方式とかな入力方式があります。お好みに合わせて、入力方法を選んでください（お買い上げ時は、ローマ字入力に設定されています）。入力方式を切り換えるには、「MS-IMEツールバー」の「KANA」の文字をクリックします。

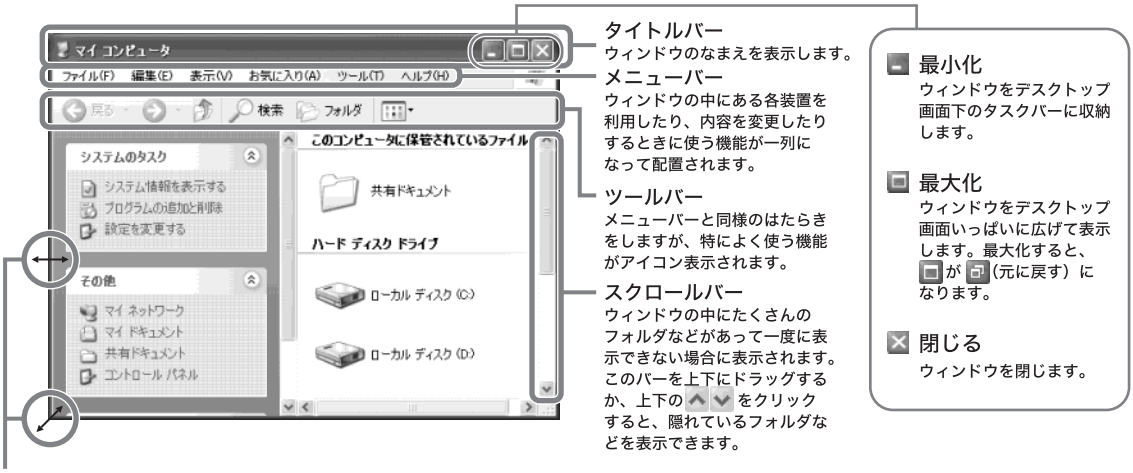
❑ ローマ字入力
キーボード上の複数のアルファベットを組み合わせて、ローマ字で文字を入力する方法です。
英字入力と同じキーを覚えればよいため習得しやすい方法です。

❑ かな入力
キーボード上のひらがなをそのまま押して文字を入力できます。
覚えるキーは多いですが、操作が簡単な方法です。

ここが押された状態が「かな入力」です。
押されていない状態が「ローマ字入力」です。

ウィンドウの各部のなまえとはたらき

「ウィンドウ」とは、Windowsでさまざまな操作をするときの画面のことです。



ウィンドウのサイズを変えるには

ウィンドウのサイズを自由に変えるには、ウィンドウの角や辺にポインタを合わせます。マウスの左ボタンを押したまま、大きくしたいときは外側に、小さくしたいときは内側にマウスを動かします。

複数のウィンドウを切り換えるには

ウィンドウを複数開いているときは、使いたいウィンドウをクリックして最前面に表示させます。デスクトップ画面下のタスクバーに表示されているボタンをクリックしても切り換えることができます。

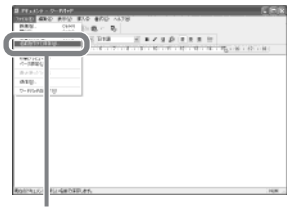
ファイルやフォルダの操作

❑ ファイルを作り、保存する

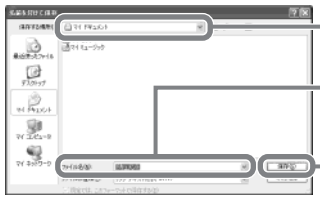
「ファイル」とは、保存された文書や画像のことです。作成されたソフトウェアによって異なるアイコンで表示されます(「ワードパッド」ソフトウェアの場合は)。

ファイルをあらたに作成して保存する場合は、以下のように操作します。

「ワードパッド」ソフトウェアで文書を作成して保存する場合



❶「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」をクリックする。



❷ 保存場所を選ぶ。

❸ ファイルに付ける名前を入力する。

❹ [保存]をクリックする。

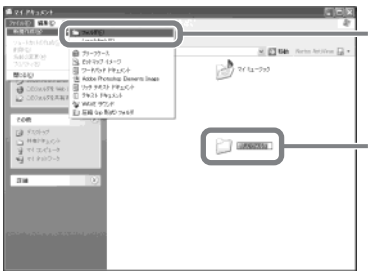
保存されたファイルを開くときは、アイコンをダブルクリックします。

❑ フォルダを作る

「フォルダ」とは、ファイルを保存しておく場所のことです。ペーパーフォルダ の形をしたアイコンで表示されます。フォルダには、種類や用途別に名前を付けてファイルを保存しておくと便利です。

「マイドキュメント」の中に新しいフォルダを作成する場合

❶「スタート」メニューから[マイドキュメント]をクリックする。

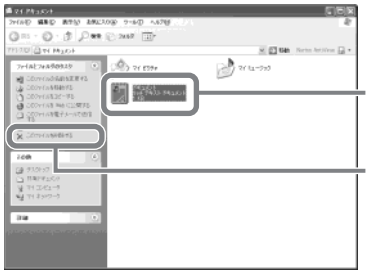


❷「ファイル」メニューから[新規作成]、[フォルダ]の順にクリックする。

❸ できたフォルダ(新しいフォルダ)に名前を付けたい場合は、文字の部分をゆっくり2回クリックして新しい名前を入力する。

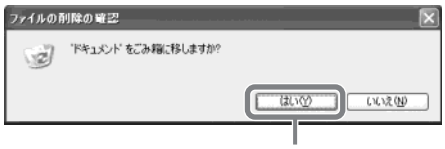
❑ ファイルやフォルダを削除する

不要になったファイルやフォルダは削除することができます。削除したファイルやフォルダは、デスクトップ画面上にある「ごみ箱」に入ります。



❶ 削除したいファイル(またはフォルダ)をクリックする。

❷ [このファイル(またはフォルダ)を削除する]をクリックする。



❸ 確認のメッセージが表示されるので[はい]をクリックする。

削除したファイルやフォルダを元に戻すには

削除したファイルなどは、「ごみ箱」に残っています。元に戻したいときは、デスクトップ画面上の[ごみ箱]をダブルクリックして「ごみ箱」画面を表示させ、元に戻したいファイルをクリックして選び、画面左側の[この項目を元に戻す]をクリックします。

ファイルやフォルダを完全に削除するには

ファイルなどを完全に削除するには、「ごみ箱」画面で[ごみ箱を空にする]をクリックし、次に表示される確認画面で[はい]をクリックします。デスクトップ画面上のごみ箱のアイコンが (紙くずあり)から (紙くずなし)に変わります。

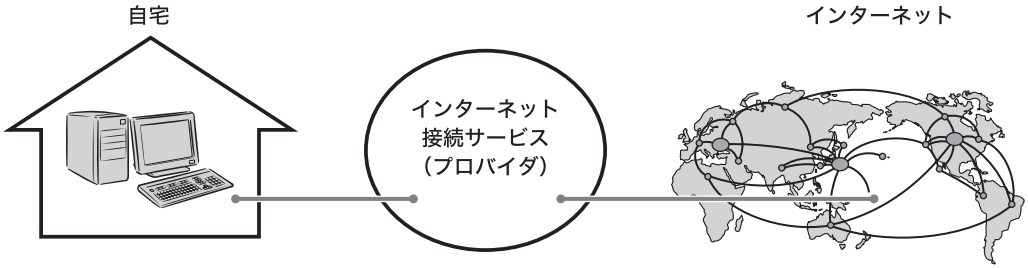
インターネットを始める

この章では、インターネット接続サービスへのオンライン入会手順とインターネット接続のための設定について説明します。

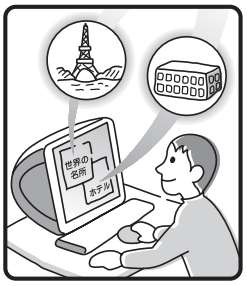
インターネットとは 84
インターネット接続方法の種類について 85
インターネット接続に必要なものは 87
インターネット上でのトラブルについて 89
インターネットに接続するまでの流れ 91
プロバイダと契約する 92
チェックシートを作成する 96
ADSLでインターネットに接続する 100
一般電話回線でインターネットに接続する（モデム搭載モデル） 104
ホームページを見る 116
電子メールソフトウェアの設定をする 122
電子メールをやりとりする 127
セキュリティについて 131

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。インターネット接続サービスを提供する会社(「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」や単に「プロバイダ」と言います。以下「プロバイダ」と記します)と契約すれば、インターネットに接続することができます。

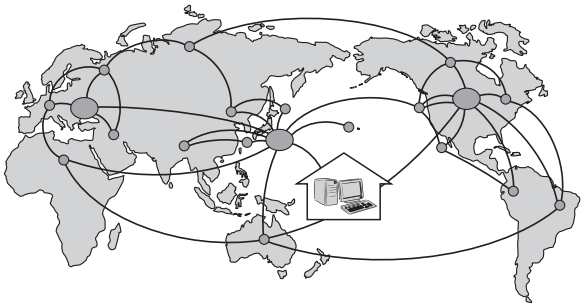


インターネットに接続すると、次のようなことができるようになります。



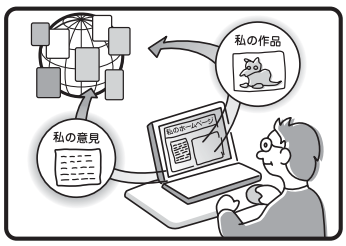
ホームページを見る

・調べたい情報を検索する。
・世界の景色を見る。
・ホテルや乗物の予約をする。
・趣味の仲間をさがす。
・オンラインショッピングをする。



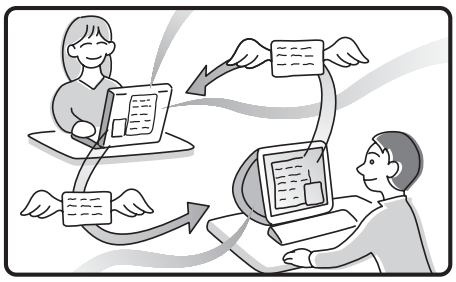
情報を発信する

・自分の意見を発言する。
・趣味の仲間をつのる。
・絵や文芸作品を発表する。
・仕事の広告を出す。



電子メールをやりとりする

電子メールで時差を気にせず世界中の人たちとコミュニケーション。



インターネット接続方法の種類について

インターネットに接続する方法には、いろいろな種類があります。接続方法によって、通信速度やプロバイダの料金、接続に必要な機器などが異なります。詳しくは、プロバイダにお問い合わせいただくか、または「インターネット接続に必要なものは」(87ページ)をご覧ください。

また、ADSLなどのブロードバンド接続については、付属の「できるインターネット プロバイダー選び編」もあわせてご覧ください。

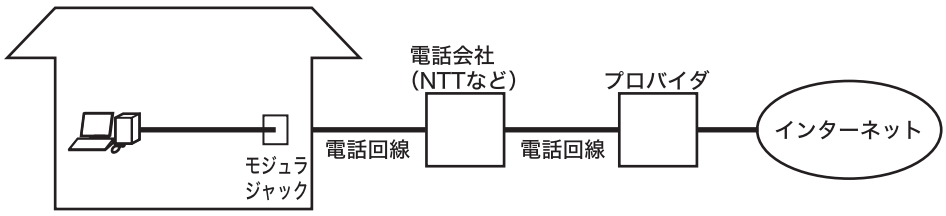
各接続方法の特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
一般電話回線	◎	△	△
ADSL	○	○	◎
ISDN	○	△	△
CATVインターネット	△	○	◎
光(FTTH)	△	◎	◎

◎:最適　○:適している　△:あまり適さない

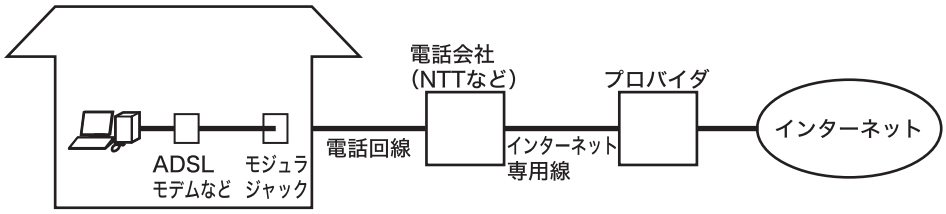
一般電話回線

通常の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵タイプのコンピュータを利用する場合には、特別な機器を必要としません。



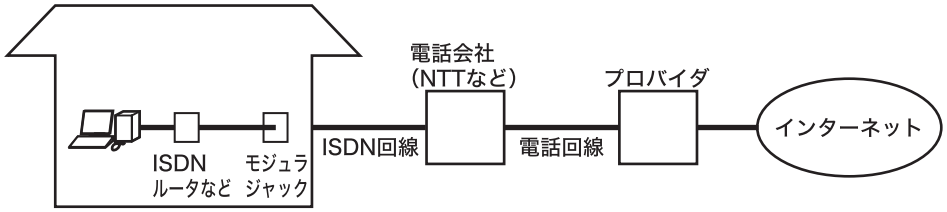
ADSL

通常の電話回線を使ってインターネットに接続します。高速通信・常時接続ができる接続方法です。回線の申し込みや、ADSLで接続するための機器(ADSLモデムなど)が必要です。



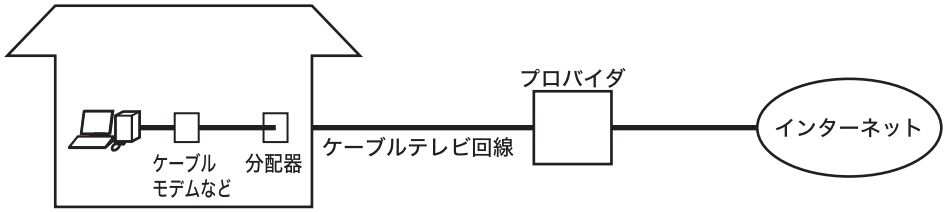
ISDN

NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。一般電話回線よりも高速ですが、ADSLよりは低速です。回線の申し込みや、ISDNで接続するための機器（ISDNルータなど）が必要です。なお、ISDNからADSLへ接続方法を切り替える場合は、回線変更の申し込みが必要になります。



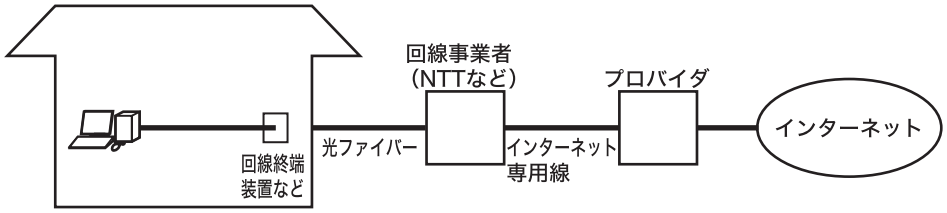
CATV**インターネット**

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。多くの場合、ADSLと同程度の速度で接続ができます。ケーブルテレビ局への申し込みが必要で、接続にはケーブルテレビの端末を使います。



光（FTTH）

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。一般的にADSLより高速に接続できます。回線の申し込みが必要です。



その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、情報を受け取ったり、発信したりするためには接続する回線や機器、専用のソフトウェアが必要になります。
また、電話回線などを通してインターネットにつなぐためにプロバイダと契約する必要があります。
インターネットに接続するために必要な主なものは以下のとおりです。

❑ 接続回線

インターネットに接続するための回線には、主に以下のような種類があります。
接続について詳しくは、「接続する／準備する」（31ページ）の電話回線の接続手順をご覧ください。

回線の種類	解説	お問い合わせ先
一般電話回線	通常の電話が使っている回線です。	プロバイダ
ADSL	ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。 **ご注意** ISDN**回線で**ADSL**を利用することはできません。詳しくは、契約する**ADSL**接続業者にお問い合わせください。**	ADSL接続サービスを提供しているプロバイダ
ISDN	NTTのデジタル通信網を使った回線で、1回線で従来の2回線分の通話／通信ができます。	NTT（局番なし116番）
CATV インターネット	CATV事業者が提供するCATVインターネット回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。	CATV事業者
その他	上記の他に光ファイバーで接続する方法（FTTH）や、外出先などでも接続可能な無線での接続方法などもあります。	プロバイダ NTTなどの回線事業者

❑ インターネット接続サービス（インターネットサービスプロバイダ：ISP）との契約

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ（ISP）」または単に「プロバイダ」と言います。
プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを見ることができます。また、ほとんどのプロバイダでは、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。
プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダとの契約条件によっては、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかることがあります。
プロバイダについて詳しくは、「プロバイダと契約する」（92ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

❑ モデム

インターネット上のホームページを見たり、電子メールをやり取りするために電話をかける装置です。回線の種類によって、以下のようなものがあります。

回線の種類	モデムの種類
一般電話回線	モデム（搭載モデルは本機に内蔵）
ADSL	ADSLモデム（別売り）
ISDN	ISDNダイヤルアップルータ（別売り）または、ターミナルアダプタ（別売り）
CATVインターネット	ケーブルモデム（別売り）

❑ ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア（「ウェブブラウザ」と言います）が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。

本機には以下のウェブブラウザおよび電子メール関連のソフトウェアが付属しています。

ウェブブラウザ

Microsoft Internet Explorer

電子メールソフトウェア

Outlook Express

本書では、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。

これらのソフトウェアの特徴について詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の ソフト活用ナビ をクリックし、画面左側の［付属ソフトご紹介/お問い合わせ先］→［インターネット・メール］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

ワイヤレス LAN での接続について

ワイヤレスLAN機能を使えば、接続回線とコンピュータの間の接続を無線にすることができます。例えば、部屋の中で接続コードを気にせずコンピュータを移動させてインターネットを楽しんだり、接続コードの長さを気にせずにコンピュータを設置することができます。

ワイヤレスLAN機能を使ってインターネットに接続する場合は、ワイヤレスLANアクセスポイント*が必要です。

ワイヤレスLANアクセスポイントの設定については、ワイヤレスLANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

* ADSLモデムなどに内蔵されている場合もあります。

インターネット上でのトラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。

インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルにあう可能性があります。

インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。

ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど、情報を受ける側もモラルをもって情報を利用する必要があります。

また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になるおそれもあります。

ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意をもった人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス（コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム）が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。

不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。

また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

ちょっと一言

コンピュータウイルスについて詳しくは、「セキュリティについて」（131ページ）をご覧ください。

情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、コンピュータの情報などがインターネット上にもれ出すことがあります。悪意をもった人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。

ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が、開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。

また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

OS とは

「オペレーティングシステム」の略称で、「オーエス」と読みます。

リソースなど、コンピュータ全体を管理し、コンピュータを操作するのに必要な基本ソフトウェアです。本機で使用しているWindowsも代表的なOSの1つです。

インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。

注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信頼のおけるところを利用するなどの注意が必要です。

その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアの中には、国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。

知らない間に接続し、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上での個人情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

インターネットに接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をインターネットに接続する必要があります。

以下のステップに入る前に次の点を確認してください。

- 本機が正しく電話回線につながっているか。詳しくは、「接続する／準備する」（31 ページ）をご覧ください。ADSL をご利用の場合は、契約する接続業者にご相談ください。
- お使いの電話回線がトーン式ダイヤル、パルス式ダイヤルのどちらか。

以下の流れに従ってインターネットに接続します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

ご注意

「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーのみインターネットに接続するための設定を行うことができます。

❶ プロバイダと契約しましょう（92ページ）

プロバイダを選んで契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

❷ チェックシートを作成しましょう（96ページ）

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください（94ページ）。

❸ 接続のための設定をしましょう（100ページ、104ページ）

チェックシートをもとに設定をします。
ご利用になる電話回線によって設定方法が異なります。

- ADSLでインターネットに接続する（100ページ）
- 一般電話回線でインターネットに接続する（104ページ）

❹ ホームページを見てみましょう（116ページ）

ホームページを見る練習をします。

❺ 電子メールソフトウェアの設定をしましょう（122ページ）

チェックシートをもとに電子メールを使うための設定をします。

❻ 電子メールをやりとりしてみましょう（127ページ）

電子メールをやりとりする練習をします。

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討の上、ご自分に合ったプロバイダと契約することをおすすめします。

本機では、あらかじめ一般の電話回線に接続しておけば、デスクトップ画面上の（インターネット接続サービス）をダブルクリックし、表示される画面からプロバイダと契約することができます（「オンラインサインアップ」）。以下の手順に従い、料金やサービス内容をご確認の上、お申し込みください。一般の電話回線への接続について詳しくは、「接続する／準備する」（31ページ）の電話回線の接続手順内の「一般の電話回線につなぐときは」をご覧ください。

また、すでにインターネットをご利用になっていて、ADSLなどのブロードバンド環境への乗りかえをされる場合は、デスクトップ画面上の（ブロードバンドに乗りかえよう！）をダブルクリックしてお申し込みください。

オンラインサインアップとは

電話回線を通じてプロバイダと契約することです。

ちょっと一言

- デスクトップ画面上の（インターネット接続サービス）をダブルクリックしたあとに、特定のプロバイダの紹介画面が最初に表示されます。その他のプロバイダの紹介をご覧になるときは、現在のネットワーク環境に応じて「インターネットを始める方」または「ブロードバンドへ乗りかえの方」をクリックしてください。
- 「サイバーサポート」画面上部の ソフト活用ナビ をクリックし、画面左側の［付属ソフトご紹介／お問い合わせ先］→［ISP サインアップ］→［インターネット接続サービスご紹介］の順にクリックして表示される情報から、各プロバイダの紹介を見ることもできます。
- 各プロバイダの詳細については付属の「できるインターネット プロバイダー選び編」もあわせてご覧ください。

ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。
- オンラインサインアップソフトウェアによっては、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーしか使えない場合があります。どのプロバイダのオンラインサインアップソフトウェアでも使えるように「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてください。

1 デスクトップ画面上の（インターネット接続サービス）をダブルクリックする。

「インターネットご紹介ツール」の画面が表示されます。

2 入会したいプロバイダをクリックし、料金やサービス内容を確認したあと、画面の指示に従って操作する。

入会手続きが終わると、インターネットが使えるようになります。

ちょっと一言

その他のプロバイダの紹介をご覧になるときは、現在のネットワーク環境に応じて「インターネットご紹介ツール」画面下の、[インターネットを始める方]または[ブロードバンドへ乗りかえの方(インターネット経由)]をクリックしてください。
表示される画面で、お好みのプロバイダを選んで、料金やサービスの内容を確認したあとオンラインサインアップを行ってください。

入会手続きをしない、またはあとでするときは

「インターネット接続サービスへの新規入会ご案内」画面右上の✕をクリックします。

プロバイダと契約したあとは

契約後は、契約内容とインターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が、プロバイダからお手元に郵送されてくるまでお待ちください。すぐにインターネットに接続したいときは、契約するプロバイダにご相談ください。

ご注意

接続や設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。
各プロバイダのお問い合わせについては「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(215ページ)をご覧ください。

VAIO Solution Partner について

以下のネットワークサービス各社は「VAIO Solution Partner」として、「VAIO（バイオ） Media（メディア）」に、より適した接続サービスメニューを提供しています。
（2003年10月末日現在の参加ネットワーク接続サービス、アルファベット順（参加予定含む））

- ＡＯＬ（株式会社ドコモ ＡＯＬ）
- @nifty（ニフティ株式会社）
- BIGLOBE（日本電気株式会社）
- DION（KDDI 株式会社）
- ホットスポット（NTT コミュニケーションズ株式会社）
- OCN（NTT コミュニケーションズ株式会社）
- ODN（日本テレコム株式会社）
- ぷらら（株式会社ぷららネットワークス）
- So-net（ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社）
- Yahoo! BB（ヤフー株式会社、ソフトバンク ＢＢ 株式会社）

各プロバイダについて詳しくは、「サイバーサポート」画面上部の ソフト活用ナビ をクリックし、画面左側の［付属ソフトご紹介/お問い合わせ先］→［ISPサインアップ］→［インターネット接続サービスご紹介］の順にクリックして表示される情報をご覧いただくか、次の各プロバイダへお問い合わせください。

プロバイダー覧

名称	お問い合わせ
ドコモAOL	ドコモAOL　AOLメンバーサポートセンター 電話番号（会員サポート）：（0120）275-265（フリーダイヤル） 電話番号（入会問い合わせ）：（0120）265-265（フリーダイヤル） 電話番号（携帯電話、PHSおよび国際電話によるサポート）：（03）5331-7400 受付時間：9時～21時（年中無休） ファックスサービス：（0120）275-265 電子メール：AOLJapanMS@aol.com ホームページ：http://www.jp.aol.com/
@nifty	ニフティ株式会社　@nifty ブロードバンド導入 ご相談窓口 電話番号：（0120）816-042（フリーダイヤル） 携帯・PHS・国際電話の場合：（03）5753-2374（電話料金はお客様ご負担となります） 受付時間：毎日9時～21時（ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。） ホームページ：http://www.nifty.com/support/madoguchi/
BIGLOBE	BIGLOBEカスタマーサポート　インフォメーションデスク 電話番号（通話料無料）：（0120）86-0962 電話番号（携帯電話・PHS・CATV電話）：（03）3947-0962 受付時間：9時～22時 365日受付 電子メール：お問い合わせは以下のフォームをご利用ください。 http://support.biglobe.ne.jp/ask.html ホームページ：http://support.biglobe.ne.jp/
DION	電話番号（サービス内容に関するお問い合わせ）：（0077）7192（無料） 受付時間：9時～21時（土・日・祝日も受付中） 電子メール：メールでのお問い合わせはホームページから。http://cs119.kddi.com/dion/ 電話番号（接続・設定などに関するお問い合わせ）：（0077）7084（無料） 受付時間：24時間受付（土・日・祝日も受付中） メールでのお問い合わせはホームページから。http://cs119.kddi.com/dion/

名称	お問い合わせ
OCN	OCNスタートパックヘルプデスク 電話番号：(0120)047-747 受付時間：月曜～金曜：9時～21時、土曜・日曜・祝日：9時～17時（年末・年始は休業とさせていただきます） 電子メール：info@ocn.ad.jp ホームページ：http://www.ocn.ne.jp/
ODN	日本テレコム株式会社　ODNサポートセンター 電話番号（ダイアルアップコースに関するお問い合わせ）：(0088)86（無料） 電話番号（ADSL/光コースに関するお問い合わせ）：(0088)222-375（無料） 受付時間：24時間自動音声受付（9時～18時はオペレーターによるご案内も選択できます。） 電子メール：odn-support@odn.ad.jp（ダイアルアップコース） info-adsl@odn.ad.jp（ADSL/光コース） ホームページ：http://www.odn.ne.jp/counter/
P'z Dialer（ぷらら）	株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイヤル」 電話番号（入会に関するお問い合わせ）：009192-39（通話料無料） 受付時間：10時～22時（12/29～1/3および5/3～5/5を除く） 電話番号（設定などに関するお問い合わせ）：009192-33（通話料無料） 受付時間：月曜～金曜：12時～21時、土曜日曜祝日：12時～19時（12/29～1/3および5/3～5/5を除く） 電話番号（携帯電話・PHS・公衆電話・海外などからご利用の場合）：(03)5954-5330 （受付時間：月曜～金曜：12時～21時、土曜日曜祝日：12時～19時、12/29～1/3および5/3～5/5を除く） 通話料金は、お客様負担となりますのでご注意ください。 電子メール：kojin@plala.or.jp ホームページ：http://www.plala.or.jp/access/
So-net	So-netインフォメーションデスク 電話番号（全国共通 3分8.5円）：0570-00-1414 電話番号（携帯・PHSからおかけになる場合）： 札幌：(011)711-3765／仙台：(022)256-2221／東京：(03)3446-7555／名古屋：(052)819-1300 大阪：(06)6577-4000／広島：(082)286-1286／福岡：(092)624-3910 受付時間：9時～21時　年中無休
Yahoo! BB	Yahoo! BBカスタマーサポートセンター 電話番号：(0120)919-820 受付時間：24時間/年中無休 ※23時から翌朝9時までの時間は、モデムの故障やネットワーク障害についてのお問い合わせのみ受け付けております。 ※ 携帯電話、PHSからおかけになる場合は、下記の番号をご利用ください。この場合、通話料金はお客様ご負担となります。 (03)6688 -5001（東京） 電子メール：help@ybb-support.jp ホームページ：http://bb.yahoo.co.jp/ BBフォンのお問い合わせ先：BBフォンインフォメーションセンター 電話番号：(0120)820-463 受付時間：9時～23時/年中無休 （施設点検日およびメンテナンス日は休業）

チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、下記の「チェックシート」をコピーするなどして、あらかじめ作成しておくと、「接続のための設定をする」(100ページ、104ページ)および「電子メールソフトウェアの設定をする」(122ページ)の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。

次ページの「設定項目について」の説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

ご注意

- ADSLの接続や設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。
- このチェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには充分ご注意ください。
- このチェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、このチェックシートは大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。パスワードは、他人に自分の名前を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記憶しておくことをおすすめします。
- 「❹パスワード(PPP)」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。「⓮パスワード(POPアカウントパスワード)」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません(プロバイダによって、自由に設定できる場合と、プロバイダが規定する場合があります)。

ちょっと一言

- このページをコピーするなどした上で各項目を記入し、他人に見られることがないように、厳重に保管することをおすすめします。
- このページをコピーするなどして記入しておくと、100ページからの設定を行うときに便利です。

チェックシート

設定項目	あなたの設定値	例(So-netの場合)
❶ダイヤルアップ接続名		So-net
❷電話番号(アクセスポイント)		0570-00-1616
❸ユーザー名(PPP)		ichiro@aa2
❹パスワード(PPP)		
❺市外局番		03
❻トーン／パルス(電話回線の種類)		
❼DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)	. . .	202.238.95.24
❽別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)	. . .	202.238.95.26
❾表示名(差出人フィールドでの表示)		Ichiro Suzuki
❿電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
⓫受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
⓬送信メール(SMTP)サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
⓭POPアカウント名		ichiro
⓮パスワード(POPアカウントパスワード)		
⓯インターネットメールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

ちょっと一言

「❼DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」、「❽別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)」、「⓫受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー」、「⓬送信メール(SMTP)サーバー」は、プロバイダによっては設定しなくてよいことがあります。

設定項目について

❶ ダイヤルアップ接続名

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［接続］にポインタを合わせ、［すべての接続の表示］をクリックして表示される「ネットワーク接続」画面の中の接続アイコンの名前です。お好みの名前をご記入ください。

例：So-net

ちょっと一言

- プロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアを使って契約すると自動的に接続アイコンが作られ、名前も付けられます。
- 接続アイコンをデスクトップ画面上に作ることもできます（106ページ）。

❷ 電話番号（アクセスポイント）

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイダのアクセスポイントの電話番号（接続先の電話番号）をご記入ください。アクセスポイントは「V.90」に対応しているものをお選びになると、より高速な通信ができます。

例：0570-00-1616

アクセスポイントとは

一般加入電話からインターネットに接続するために、プロバイダが設けている接続地点のことです。インターネットの利用者は接続地点までの電話料金を負担する必要があるので、利用地点からより近いアクセスポイントで接続する方が通話料は少なくてすみます。

ご注意

- ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではありませんのでご注意ください。
- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインターネットに接続するときは、電話番号が異なる場合があります。詳しくは契約したプロバイダにお問い合わせください。

❸ ユーザー名（PPP）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用するユーザー名をご記入ください。

例：ichiro@aa2

ちょっと一言

ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」などとも言います。

PPP とは

「Point to Point Protocol」の略で、ネットワーク（LAN）に接続する方法の1つです。
電話による接続が一般的なことからダイヤルアップ接続とも呼ばれています。

❹ パスワード（PPP）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用する、ユーザー名に対するパスワードを記入します。

ちょっと一言

- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」などとも言います。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号などを使います。

ダイヤルアップ接続とは

電話回線を通じてインターネットに接続することです。

❺ 市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。

例：03

❻ トーン／パルス（電話回線の種類）

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式か確認してご記入ください。

トーン式：

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」と音がしない電話機のダイヤル方法です。

パルス式：

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」と音がする電話機のダイヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタンを押すと受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなど電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）など電話会社にお問い合わせください。

❼ DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、ご記入ください。

例：202.238.95.24

ちょっと一言

- DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」とも言います。
- この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

❽ 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）

「❼DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれている場合はご記入ください。

DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「❽別のDNSサーバーアドレス」は空欄のままでかまいません。

例：202.238.95.26

❾ 表示名（差出人フィールドでの表示）

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお好みでご記入ください。通常はご自分の名前のフルネームにします。

例：Ichiro Suzuki

ちょっと一言

この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多い方は半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には「Ichiro Suzuki<ichiro@aa2.so-net.ne.jp>」などと表記されます。

❿ 電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx.xx」と記載されています。電子メールアドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。

例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

ちょっと一言

電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などとも言います。

⓫ 受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを受け取るサーバーのアドレスをご記入ください。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をします。受信メールサーバーからあなたの電子メールアドレスに電子メールが送られます。

例：pop.aa2.so-net.ne.jp

ちょっと一言

- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などとも言います。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

⓬ 送信メール（SMTP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレスをご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。あなたが送った電子メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例：mail.aa2.so-net.ne.jp

ちょっと一言

- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などとも言います。「⓫受信メールサーバー」と同じ場合もあります。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

⓭ POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名をご記入ください。「⓾電子メールアドレス」の「@」（アットマーク）より前の部分を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「⓮パスワード」の両方が必要になります。

例：「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、POPアカウント名は「ichiro」になります。

ちょっと一言

POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」とも言います。「❸ユーザー名」と同じ場合もあります。

⓮ パスワード（POPアカウントパスワード）

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字でご記入ください。

電子メールを見るためには、「⓭POPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。

ちょっと一言

このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などとも言います。

⓯ インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおすすめします。

例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

ADSLでインターネットに接続する

接続のための設定をする

「チェックシートを作成する」(96ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら、表示される画面に従って、各項目を入力していきます。

ADSLモデムについて

ADSL接続に必要なADSLモデムには、一般的に下記の2タイプがあります。

①ブリッジタイプのADSLモデム

→コンピュータとADSLモデムを接続し、コンピュータ側で設定(PPPoEの設定)を行います。

②ルータタイプのADSLモデム

→コンピュータとADSLモデムを接続し、ルータの設定を行います。

ちょっと一言

接続については、「接続する／準備する」(31ページ)の電話回線の接続手順内の「ADSL接続サービスを利用するときは」をご覧ください。

ご注意

- ADSL**での設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。**
  各プロバイダのお問い合わせ先については、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(215ページ)をご覧ください。
- ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、契約するADSL接続業者にお問い合わせください。

ここでは、①のブリッジタイプのADSLモデムを使った一般的な設定のしかたについて説明します。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「コントロールパネル」画面で[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3 「ネットワークとインターネット接続」画面で［ネットワーク接続］をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

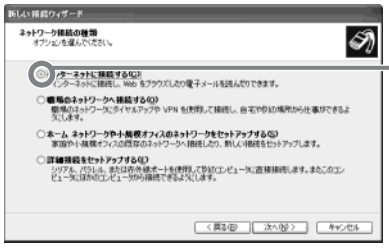
4 「ネットワーク接続」画面の「ネットワークタスク」から［新しい接続を作成する］をクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

5 「新しい接続ウィザードの開始」画面で 次へ(N) > をクリックする。

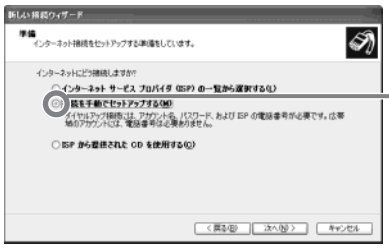
「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

6 「ネットワーク接続の種類」画面で[インターネットに接続する]の◯をクリックして◉にし、次へ(N) >をクリックする。



「準備」画面が表示されます。

7 「準備」画面で[接続を手動でセットアップする]の◯をクリックして◉にし、次へ(N) >をクリックする。



「インターネット接続」画面が表示されます。

8 「インターネット接続」画面で[ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する]の◯をクリックして◉にし、次へ(N) >をクリックする。

「接続名」画面が表示されます。

9 「接続名」画面で「ISP名」にご契約のADSL接続業者の名前を入力し、次へ(N) > をクリックする。

「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。
なお、お使いの環境によっては「インターネット アカウント情報」画面が表示される前に、「接続の利用範囲」画面が表示されることがあります。その場合は、接続を利用するユーザーを選んでから 次へ(N) > をクリックしてください。

10 「インターネットアカウント情報」画面でユーザー名、パスワードをご契約のADSL接続業者から指定されている情報で入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、次へ(N) > をクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

11 完了 をクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が閉じます。
これでADSLでPPPoEを使用してインターネットに接続するための設定は終わりです。

一般電話回線でインターネットに接続する

（モデム搭載モデル）

接続のための設定をする

「チェックシートを作成する」(96ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら、表示される画面に従って、各項目を入力していきます。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[インターネット]をクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

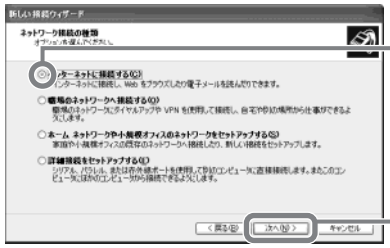
「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されないときは

接続のための設定が終わったあとはデスクトップ画面左下の スタート をクリックして[インターネット]をクリックすると、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動するようになります。もう1度「新しい接続ウィザード」を表示させたいときは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]の順にポインタを合わせ、[新しい接続ウィザード]をクリックします。

2 次へ(N) > をクリックする。

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

3 [インターネットに接続する]の◯をクリックして◉にし、次へ(N) > をクリックする。

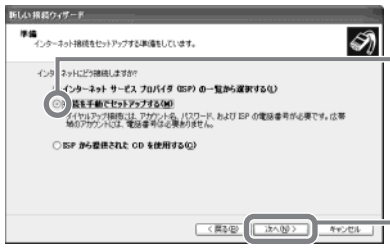


❶ ここをクリックする。

❷ ここをクリックする。

「準備」画面が表示されます。

4 [接続を手動でセットアップする]の◯をクリックして◉にし、次へ(N) > をクリックする。



❶ ここをクリックする。

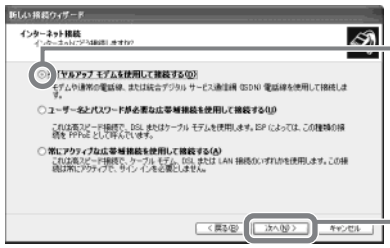
❷ ここをクリックする。

「インターネット接続」画面が表示されます。

ちょっと一言

Windows XPアップグレードサービスをご利用の場合など、すでにプロバイダのインターネットサーバーに接続したことがあるときは、[インターネットサービスプロバイダ(ISP)の一覧から選択する]の◯をクリックして◉にし、次へ(N) > をクリックしてください。そのあとは、画面の指示に従って操作してください。

5 [ダイヤルアップ モデムを使用して接続する]の◯をクリックして◉にし、次へ(N) > をクリックする。



❶ ここをクリックする。

❷ ここをクリックする。

「接続名」画面が表示されます。

6

「ISP名」（ダイヤルアップ接続名）を入力し、［次へ(N)＞］をクリックする。

チェックシートの❶ダイヤルアップ接続名を入力する。

ここをクリックする。

「ダイヤルする電話番号」画面が表示されます。

7

アクセスポイントの電話番号を入力し、［次へ(N)＞］をクリックする。

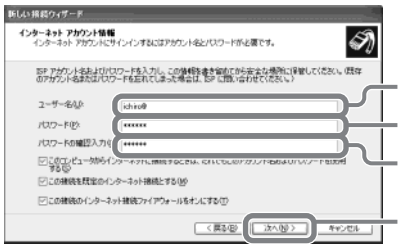
チェックシートの❷電話番号（アクセスポイント）を入力する。

ここをクリックする。

「インターネットアカウント情報」画面が表示されます。

8

ユーザー名とパスワードを入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、［次へ(N)＞］をクリックする。



チェックシートの❸ユーザー名（PPP）を入力する。

チェックシートの❹パスワード（PPP）を入力する。

チェックシートの❹パスワード（PPP）を再度入力する。

ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

ちょっと一言

「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「＊」で表示されます。

9

［完了］をクリックする。

「新しい接続ウィザード」が終了します。

ちょっと一言

「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。

10 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

ちょっと一言

手順11および12の「コントロールパネル」画面での操作はお買い上げ時の状態のものです。

11 [プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

12 [電話とモデムのオプション]をクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

13 設定されている所在地をクリックして選び、[編集(E)...]をクリックする。

ここをクリックして選ぶ。

ここをクリックする。

「所在地の編集」画面が表示されます。

ちょっと一言

該当する所在地がないときは[新規(N)...]をクリックしてください。「新しい所在地」画面が表示されます。

14 各項目を以下のように設定し、[OK]をクリックする。

チェックシートの❺市外局番。
ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力する。

外線発信番号が必要な場合は「0」と入力する。

チェックシートの❻トーン／パルス（電話回線の種類）を選ぶ。

15 「電話とモデムのオプション」画面の[OK]をクリックする。

16 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

ちょっと一言

以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます(お買い上げ時のウィンドウの設定の場合)。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[コントロールパネル]をクリックする。表示された「コントロールパネル」画面で[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。表示された「ネットワークとインターネット接続」画面で[ネットワーク接続]をクリックする。

17 ダイヤルアップ接続名(チェックシートの❶)のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。

「So-netへ接続」画面が表示されます。

ちょっと一言

手順9で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。これをダブルクリックして、手順18に進むこともできます。

18 プロパティ(P) をクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が表示されます。

19 [ダイヤル情報を使う]の☐をクリックして☑にし、ダイヤル情報(R)をクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

20 複数の所在地があるときは、「所在地」から設定されている所在地をクリックして選ぶ。

21 「電話とモデムのオプション」画面のOKをクリックする。

手順22～25は、チェックシートに❼DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)および❽別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)を記入した場合(プロバイダから郵送されてきた資料にDNSサーバーアドレスが記入されている場合)のみ操作を行ってください。

22 [ネットワーク]タブをクリックする。

ここをクリックする。

23 「この接続は次の項目を使用します」で[インターネットプロトコル(TCP/IP)]の☐をクリックして☑にし、プロパティ(P)をクリックする。

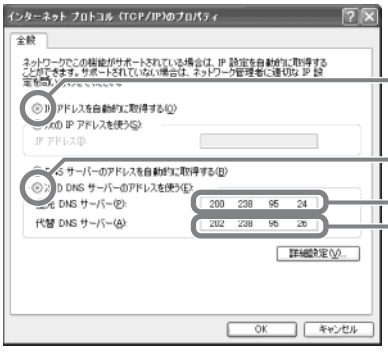
❶ ここをクリックする。

❷ ここをクリックする。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が表示されます。

24 各項目を以下のように設定する。

- [IPアドレスを自動的に取得する]をクリックする。
- [次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックし、DNSサーバーアドレスを入力する。



ここをクリックする。

ここをクリックする。

チェックシートの❼DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)を入力する。

チェックシートの❽別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)を入力する。

ちょっと一言

「❼DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」と「❽別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)」は同じ場合があります。このときは「代替DNSサーバー」には入力する必要はありません。

25 OKをクリックする。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が閉じます。

26 ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面でOKをクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が閉じます。

27 「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面でキャンセルをクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が閉じます。

これでインターネット接続のための設定は終わりです。

インターネットに接続する

契約したプロバイダのインターネットサーバーに一般電話回線を使用して接続するには、以下の手順に従って操作してください。

インターネットサーバーとは

常時インターネットに接続され、アクセス可能なコンピュータのことです。
ホームページ・サーバー、メールサーバーなどがあります。

1 デスクトップ画面左下のスタートをクリックして[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックする。

ここをクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

ちょっと一言

以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます(お買い上げ時のウィンドウの設定の場合)。

1. デスクトップ画面左下のスタートをクリックして[コントロールパネル]をクリックする。
   「コントロールパネル」画面が表示されます。
2. [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。
   「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。
3. [ネットワーク接続]アイコンをクリックする。

2 ダイヤルアップ接続（チェックシートの❶）のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では［So-net］をダブルクリックします。

「So-netへ接続」画面が表示されます。

ちょっと一言

「接続のための設定をする」の手順9（106ページ）で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。これをダブルクリックして、手順3に進むこともできます。

3 「So-netへ接続」画面の各項目を入力または確認する。

❶ パスワード（チェックシートの❹）を入力する。

ご注意

「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」の☐をクリックして☑に、「このユーザーのみ」の◯をクリックして◉にすると、次回からパスワードを入力する手間が省けます。「このコンピュータを使うすべてのユーザー」の◯をクリックして◉にすると、他人に勝手にインターネットに接続されるおそれがありますのでご注意ください。

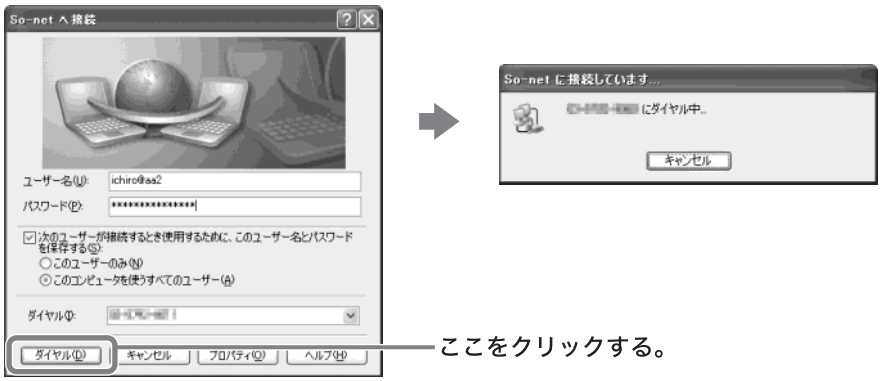
ちょっと一言

- 「パスワード」（チェックシートの❹パスワード（PPP））は「＊」で表示されます。
- 「パスワード」の入力欄は、「電子メールソフトウェアの設定をする」（122ページ）の手順5で「パスワードを保存する」の☐をクリックして☑にすると、入力された状態で表示されます。

❷ **ユーザー名（チェックシートの❸）が正しいか確認する。**

ここを確認する。

❸ **ダイヤル(D) をクリックする。**



ここをクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。
「（ダイヤルアップ接続名）は現在接続しています。」画面が表示されたときは、
OK をクリックします。

OK をクリックする前に［今後、このメッセージを表示しない］の☐をクリックして☑にしておけば、次回からこの画面は表示されません。

デスクトップ画面右下には が表示されます。

これで、接続は完了です。

インターネットに接続しているときは、常にデスクトップ画面右下に が表示されます。

ホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、「ホームページを見る」（116ページ）以降をご覧ください。

接続を切断するときは：115ページの「接続を切断する」をご覧ください。

接続できなかった場合は：別冊の「困ったときは」の「インターネット／電子メール」をご覧ください。

接続を切断する

一般電話回線やISDNなどで、プロバイダと契約した内容によっては、インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料金がかかることがあります。また「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアや「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。操作を行わないときや操作が終わったあとなどは、インターネットの接続を切断してください。

接続を切断するには、以下の3つの方法があります。

- デスクトップ画面右下の を右クリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。
- デスクトップ画面右下の をダブルクリックして表示される「自動切断」画面で

をクリックする。
- 通信用ソフトウェアで、通信を終了するコマンドを実行する。

ちょっと一言

- 電子メールを書いているときや電子メールを受け取ったあとに読むときは、インターネットの接続を切断しておけば接続料金はかかりません（オフライン作業）。
- ワイヤレスLAN機能などを同時に使用していると、デスクトップ画面右下の通知領域に が複数表示されます。
  アイコンにポインタを当てて接続しているアイコン名を確認してから切断してください。
- ADSLやCATVインターネットについては、基本的に常時接続となりますので、特に接続を切断しなくても問題ありません。

ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使ってホームページを見てみます。

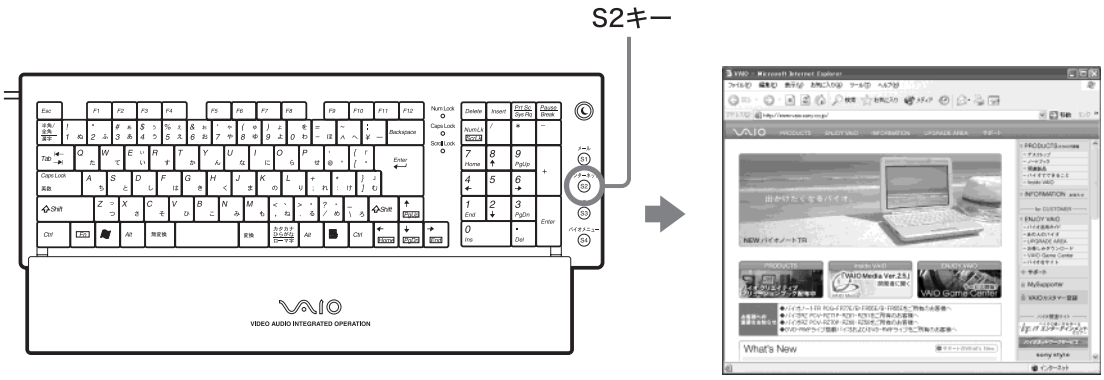
以下の操作をする前に、デスクトップ画面右下に が表示されていることを確認してください。表示されていれば、インターネットに接続しています。インターネットに接続していない場合は、下記の操作を行うと、「新しい接続ウィザード」が起動します。「インターネットに接続する」(112ページ)の手順に従い、インターネットに接続し、 を表示させてください。

1「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

キーボードの S2 キーを押す。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。



ちょっと一言

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動するには、デスクトップ画面左下の をクリックして[インターネット]をクリックする方法もあります。

ご注意

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。設定のしかたについては、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

2「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見る

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアにあらかじめ登録されているホームページを見ることができます。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページを見てみましょう。

1 メニューバーの[お気に入り]をクリックする。

メニューが表示されます。

2 [バイオを楽しむためのサイト]→[VAIOホームページ]の順にポインタを合わせ、[サポート(サービス・サポート情報)]をクリックする。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

3 ホームページのURLを入力してホームページを見る

見たいホームページの URL(ユーアールエル) をすでにご存知の場合は、アドレスバーにそのURLを入力します。

ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)を見てみます。

URL とは

インターネット上で使われるホームページにはそれぞれ特定の住所があります。この住所のことを「URL」と言います。アドレスバーにURLを入力することでホームページが見られます。

1 アドレスバーに「http://vcl.vaio.sony.co.jp/」と入力する。

「~」(チルダ)を入力するには

URLの中には「~」(チルダ)という特殊な記号を入力するものがあります。「~」(チルダ)を入力するには、MS-IMEツールバーで「直接入力」または「半角英数」を選び、Shift(シフト)キーを押しながら ^ キーを押します。

2 キーボードの(エンター)キーを押す。

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

4 リンクをたどる

ホームページから他のホームページにジャンプしたり、データをインターネット上から本機にコピーすることができます。このように、ホームページから、他のページにジャンプしたり、データにジャンプすることを「リンクする」と言います。

ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページから、ENJOY VAIOのホームページにジャンプしてみましょう。

マウスを使って(ポインタ)を[ENJOY VAIO]に移動して、に変わったらクリックする。

ENJOY VAIOのホームページが表示されます。

ここをクリックする。

ちょっと一言

ホームページの中で、(ポインタ)がに変わる文字や画像は、リンクが張られているところです。

5 目的のホームページを検索して見る

目的のホームページを「検索」メニューで検索することができます。
ここでは「VAIO」を検索してみましょう。

1 ツールバーの 検索 をクリックする。

検索画面が表示されます。

2 検索画面の中央上にある [　　] の中に「VAIO」と入力し、[サーチ] をクリックする。

該当するホームページの検索結果が一覧表示されます。

3 検索結果から、見たいホームページをクリックする。

クリックしたホームページが表示されます。

6 よく見るホームページを登録する

よく見るホームページを「お気に入り」メニューの中に登録することができます。
ここではSony Japanのホームページを登録してみましょう。

ちょっと一言

Sony Japanはインターネット上のソニーエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

1 アドレスバーに「http://www.sony.co.jp/」と入力する。

2 キーボードの(エンター)キーを押す。

Sony Japanのホームページが表示されます。

3 メニューバーの[お気に入り]をクリックして[お気に入りに追加]をクリックする。

「お気に入りの追加」画面が表示されます。

4 「名前」に、登録するホームページを示すお好みの名前を入力し、OK をクリックする。

ここでは「Sony Japan」と入力します。

Sony Japanホームページが登録され、入力した名前が「お気に入り」メニューの中に表示されるようになります。

7 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了する

最後に「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了します。

1 メニューバーの［ファイル］をクリックする。

メニューが表示されます。

2 ［閉じる］をクリックする。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが終了します。

ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。ホームページを見ている間など、操作を行わないときや、操作が終わったあとなどは、インターネットへの接続を切断してください。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Microsoft Internet Explorer」のヘルプを見るときは、メニューバーの［ヘルプ］をクリックしてください。

電子メールソフトウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための設定を行います。

ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア「Outlook Express」*を例に電子メールをやりとりするための設定をしていきます。

* 本書で使われている「Outlook Express」ソフトウェアの画面のイラストは、本機にインストールされているバージョンです。

ちょっと一言

「Outlook Express」ソフトウェアの設定は1度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。

ここをクリックする。

インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。

ちょっと一言

- お使いの機種によっては、「名前」画面とは違う画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作し、手順2の画面まで進んでください。
- 電子メールソフトウェアの設定が終わったあとは、手順1を行うと、「Outlook Express」ソフトウェアが起動するようになります。電子メールのアカウントを追加するなど、もう1度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、「Outlook Express」画面でメニューバーの[ツール]をクリックして[アカウント]をクリックします。表示される「インターネットアカウント」画面で[追加]→[メール]の順にクリックします。

2 表示したい名前を入力し、 次へ(N) > をクリックする。

チェックシートの❾表示名（差出人フィールドでの表示）を入力する。

ここをクリックする。

「インターネット電子メールアドレス」画面が表示されます。

3 電子メールアドレスを入力して、次へ(N) > をクリックする。

チェックシートの⑩電子メールアドレスを入力する。

ここをクリックする。

「電子メールサーバー名」画面が表示されます。

4 受信メールサーバーと送信メールサーバーの名前を入力し、次へ(N) > をクリックする。

通常「POP3」を選ぶ。

チェックシートの⑪受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバーを入力する。

チェックシートの⑫送信メール（SMTP）サーバーを入力する。

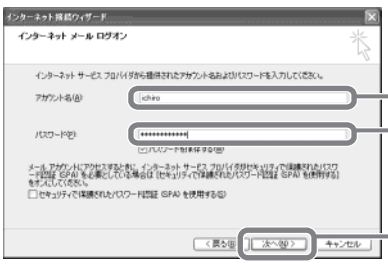
ここをクリックする。

「インターネットメールログオン」画面が表示されます。

ちょっと一言

「⑪受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー」の名前と「⑫送信メール（SMTP）サーバー」の名前は同じ場合があります。

5 POPアカウント名とパスワードを入力し、次へ(N) > をクリックする。



チェックシートの⑬POPアカウント名を入力する。

チェックシートの⑭パスワード（POPアカウントパスワード）を入力する。

ここをクリックする。

「設定完了」画面が表示されます。

ちょっと一言

- 「パスワード」は「＊」で表示されます。
- 「パスワードを保存する」の☐をクリックして☑にすると、実際にインターネットに接続するときの「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面（113ページ）でパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続されるおそれがありますのでご注意ください。

6 完了 をクリックする。

自動的に「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

ご注意

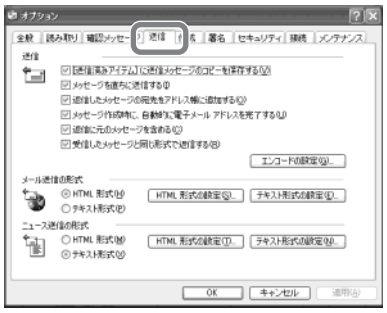
完了 をクリックしたあと、その他の画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。

ちょっと一言

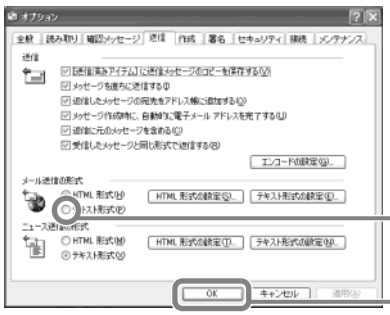
「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、以下の手順に従って操作してください。

1 **「Outlook Express」画面でメニューバーの［ツール］をクリックし、［オプション］をクリックする。**
「オプション」画面が表示されます。

2 **［送信］タブをクリックする。**
「送信」画面が表示されます。



3 **「メール送信の形式」で［テキスト形式］の◯をクリックして◉にし、OK をクリックする。**
送信するメッセージがテキスト形式になります。



電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の設定でお使いください。

HTML とは

ホームページを作成するためのページ記述言語のことです。

7 画面右上の×(「閉じる」ボタン)をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「⓯インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。

1 メニューバーの[ツール]をクリックする。

メニューが表示されます。

2 [アカウント]をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3 [メール]タブをクリックする。

「メール」画面が表示されます。

4 プロパティ(P)をクリックする。

プロパティ画面が表示されます。

5 「メールアカウント」(「pop.aa2.so-net.ne.jp」と反転表示されている部分)を変更する。

ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。

6 OKをクリックする。

7 名前を変更した場合は、変更されているか確認して閉じる(C)をクリックする。

8 「Outlook Express」画面で右上の×(「閉じる」ボタン)をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。
ここでは、「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

ご注意

電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

1「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

ここをクリックする。

ちょっと一言

「Outlook Express」ソフトウェアは、キーボードの S1 キーを押して起動することもできます。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは キャンセル をクリックして画面を閉じてください。

ちょっと一言

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」の画面で キャンセル をクリックすると、オフライン作業となります。

オフライン作業とは

「オフライン作業」とはインターネットに接続していない状態で「Outlook Express」ソフトウェアを使って電子メールを書いたり、読んだりといった作業をすることです。

2 電子メールを送信する

ためしに自分の電子メールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

1 [メッセージの作成]をクリックする。

「メッセージの作成」画面が表示されます。

ちょっと一言

電子メールを書くときや電子メールを受け取ったあとに読むときは、インターネットに接続していない状態（オフライン作業）の方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。

2 メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界に広がったソニーVAIO」と入力してみます。

タイトル（件名）は「SONY VAIO」にしましょう。

文字の入力のしかたについて詳しくは、「文字の入力」（81ページ）をご覧ください。

3 ツールバーの[送信]をクリックする。

「（ダイヤルアップ接続名）に接続中」画面が表示されたら、[接続]をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

ご注意

オフライン（インターネットに接続していない状態）で[送信]をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」ソフトウェアのツールバーの[送受信]をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

3 電子メールを受信する

手順2で送った自分の電子メールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

インターネットに接続した状態で、ツールバーの[送受信]をクリックする。

手順2で送った電子メールが届きます。

ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)のときは、「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか？」というメッセージが表示されます。この場合は、

をクリックしてください。

ちょっと一言

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう(115ページ)。

4 受け取った電子メールを見る

手順3で届いた電子メールを見てみます。

1 [受信トレイ]をクリックする。

受信トレイの中身が表示されます。

2 [SONY VAIO]をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

5 送った電子メールを見る

手順2で送った電子メールを見てみます。

[送信済みアイテム]をクリックし、[SONY VAIO]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。

ここをクリックする。

電子メールをやりとりできなかった場合は、別冊の「困ったときは」の「インターネット／電子メール」をご覧ください。

6「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

1

メニューバーの[ファイル]をクリックする。

メニューが表示されます。

2

[終了]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。電子メールを読んでいる間など、操作を行わないときや、操作が終わったあとなどは、インターネットへの接続を切断してください。

「Outlook Express」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Outlook Express」のヘルプを見るときは、メニューバーの[ヘルプ]をクリックしてください。

セキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは

コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、次の「コンピュータウイルスに侵入されると...」に見られるような被害が起きてしまいます。

コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意をもった人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルスが潜んでいる場合があります。

不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。

コンピュータウイルスに侵入されると ...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルがかってに消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

「Norton AntiVirus（ノートン アンチウイルス）」ソフトウェアについて

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「Norton AntiVirus」ソフトウェアがインストールされています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。

ご注意

- 本機の2回目の起動時、または「Norton AntiVirus」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton AntiVirus 情報ウィザード」画面が表示されるので、次へ(N)をクリックし、画面の指示に従って操作してください。
- 「Norton AntiVirus」ソフトウェアをお使いのときに、「Giga Pocket（ギガ ポケット）」ソフトウェアを使って録画をすると、正常に録画が行われない場合があります。正常に録画をするためには、ウイルススキャンの設定を変更することをおすすめします。
  設定の変更については、「テレビを見る準備をする」の「「Norton AntiVirus 2003」ソフトウェアをお使いの方へ（「Giga Pocket」ソフトウェアを使って録画をする前に）」（72ページ）をご覧ください。

ウイルス定義ファイルなどのアップデートについて

本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行してください。なお、「LiveUpdate」を実行するには、インターネットに接続している必要があります。以下の手順で「LiveUpdate」を行ってください。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]→[Norton AntiVirus]の順にポインタを合わせ、[LiveUpdate - Norton AntiVirus]をクリックする。

2 表示される画面の指示に従って、「LiveUpdate」を実行する。

なお、「Norton AntiVirus」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

シマンテック テクニカルサポートセンター

電話番号：(03)5836-2621　　ファックス番号：(03)5836-2623

電話受付時間：月曜～金曜 10時～12時、13時～17時（年末年始・祝日を除く）

なお、シマンテック テクニカルサポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにて、カスタマーIDの取得が必要です。

http://www.symantecstore.jp/oem/sony/

カスタマーID取得については、下記にお問い合わせください。

シマンテック カスタマーサービスセンター

電話番号：(03)5836-2654　　ファックス番号：(03)5836-2655

電話受付時間：月曜～金曜 10時～12時、13時～17時（年末年始・祝日を除く）

ちょっと一言

「Norton AntiVirus」ソフトウェアは、本機初回起動時より90日間無償でウイルス定義ファイル（ワクチンファイル）のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。

また、テクニカルサポート提供期間は、ウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく、90日間となります。ただし、有償アップデートのお申し込みをいただくとテクニカルサポートの提供期間も延長されます。

ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテック ホームページをご覧になり、お申し込みください。

http://www.symantecstore.jp/oem/sony/

ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。

シマンテックストア

電話番号：(03)3476-1192　　ファックス番号：(03)5836-3871

電話受付時間：月曜～金曜 10時～12時、13時～17時（年末年始・祝日を除く）

「Windows Update」の「重要な更新とService Pack」のご利用について

下記の手順に従って、「Windows Update」で提供されるプログラムの更新を定期的に行ってください。

「Windows Update」を行うには、あらかじめインターネットに接続している必要があります。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Windows Update］をクリックする。

「Windows Update へようこそ」画面が表示されます。

2 ［更新をスキャンする］をクリックする。

「利用可能な更新を検索しています」というメッセージが表示され、検索が始まります。

3 画面左側の「インストールする更新の選択」メニューの［重要な更新とService Pack］をクリックし、［更新の確認とインストール］をクリックして「重要な更新とService Pack」をインストールする。

ご注意

「Windows XP」や「ドライバの更新」の更新はおすすめしません。

ドライバの更新により、本機のプレインストール状態の動作に不具合を生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、以下のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。

- 「Windows Update関連情報」
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html
- 「Windows XPサービスパック関連情報」
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxpservice/index.html

インターネット接続ファイアウォール機能について

本機では、インターネット接続ファイアウォール機能と呼ばれるファイアウォール形式のインターネットセキュリティが提供されています。
本機能を有効にすると、インターネットに接続するコンピュータを保護することが可能となりますが、次のような一部の機能が正常に動作しなくなることがあります。

- Windows の一部の機能
- 本機搭載のアプリケーション

正常に動作させるにはインターネット接続ファイアウォールの設定変更が必要となります。上記の設定変更などの詳細につきましては、下記のホームページをご覧ください。

VAIO カスタマーリンク ホームページ

インターネット接続ファイアウォール機能について
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/xptech/info1.html

本機能を有効にしない場合、インターネットに接続するコンピュータが保護されなくなりますので、次のような対策をとられることをおすすめします。

- ハードウェアファイアウォール（ワイヤレス アクセスポイントやブロードバンド ルータなどの製品の多くに搭載されています）による保護を行う。
- Windows Update の実施により、システムを最新の状態に更新し、セキュリティを強化する。
- 本機にインストールされているコンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアを使い、定期的なウイルスチェックを行う。

インターネットのセキュリティについて

インターネットに接続してご使用中は、常にセキュリティが守られなくなる可能性や、コンピュータウイルスによる被害などの危険性が潜んでいます。
セキュリティやウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。

VAIO**カスタマーリンク ホームページ セキュリティについて**
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。

VAIO**カスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口**
電話番号: (0466)30-3016
受付時間: 平日 10:00～20:00　土・日・祝日 10:00～17:00

接続／拡張するときは

この章では、本機と周辺機器の接続と本機の拡張について説明します。

テレビ／ビデオデッキをつなぐ（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル）……136

USB機器をつなぐ……140

プリンタをつなぐ……142

i.LINK対応機器をつなぐ……144

AVアンプなどのデジタル機器をつなぐ……148

ネットワーク（LAN）につなぐ……149

PCカードを使う（PCカードスロット搭載モデル）……150

拡張ボードを増設する……154

メモリを増設する……158

ハードディスクドライブを増設する……166

その他のデバイスを増設する（PCV-RZ55、一部ソニースタイルモデル）……173

テレビ／ビデオデッキをつなぐ

(「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル)

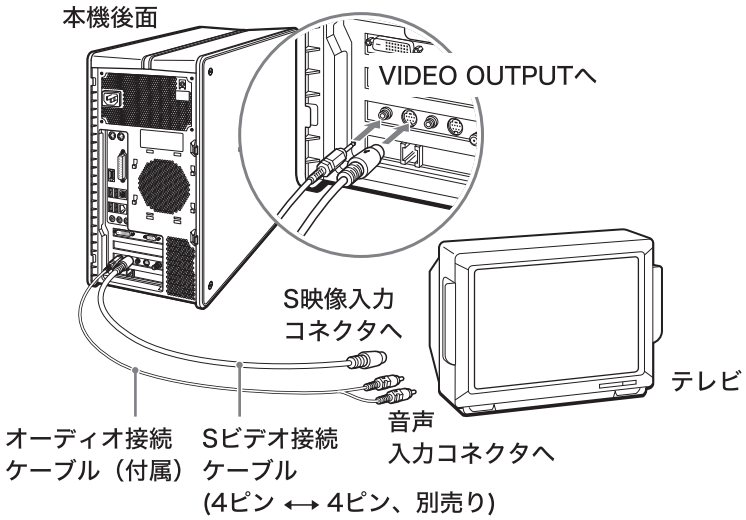
テレビをつなぐ

「Giga Pocket」ソフトウェアで再生する動画や「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアで再生するDVDビデオをテレビでも見ることができます。

Sビデオ接続ケーブル(4ピン⟷4ピン、別売り)とオーディオ接続ケーブル(付属)を使って、本機とテレビをつなぎます。接続してから、テレビの入力切り換えを「ビデオ」に合わせます。

ご注意

- すべての機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 本機では、ディスプレイとテレビの両方を接続していてもDVDビデオの映像は両方同時に表示できません。



ビデオ機器をつなぐときは

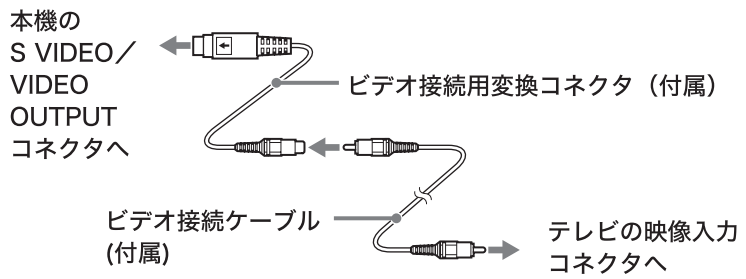
本機のVIDEO OUTPUTコネクタとビデオ機器の映像／音声入力コネクタをつなぎ、ビデオ機器の映像／音声出力コネクタとテレビの映像／音声入力コネクタをつなぎます。

本機とビデオデッキやテレビで同時に1つのアンテナコネクタを使うときは

アンテナブースターや分配器を使って分配する必要があります。詳しくは、「接続する／準備する」(31ページ)のテレビアンテナ接続の手順をご覧ください。

S映像入力コネクタのないテレビをつなぐときは

Sビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続用変換コネクタ(付属)とビデオ接続ケーブル(付属)をつないで使うことができます。



ちょっと一言

- 別売りのソニー製のSビデオ接続ケーブルにはYC-15Vなどがあります。
- DVDビデオの映像が画面に表示されないときは、別冊の「困ったときは」の「CD／DVD」の「DVDビデオの映像がテレビ画面に表示されない」をご覧ください。

ビデオデッキをつなぐ

ビデオデッキを本機につないで、ディスプレイでビデオデッキの動画を見たり、本機のハードディスクドライブに動画を録画することができます。また、本機で再生した動画を外部のビデオデッキで録画することもできます。

Sビデオ接続ケーブル（4ピン⟷4ピン、別売り）とオーディオ接続ケーブル（付属）を使って、本機とビデオデッキをつなぎます。本機には前面および後面パネルにそれぞれ映像／音声入力コネクタとS映像入力コネクタがあり、どちらの入力コネクタを使うこともできます。

ビデオデッキの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 本機とビデオデッキの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 前面パネルの音声入力コネクタを使うときは、別売りのオーディオ接続ケーブルが必要です。

本機とビデオデッキやテレビで同時に 1 つのアンテナコネクタを使うときは

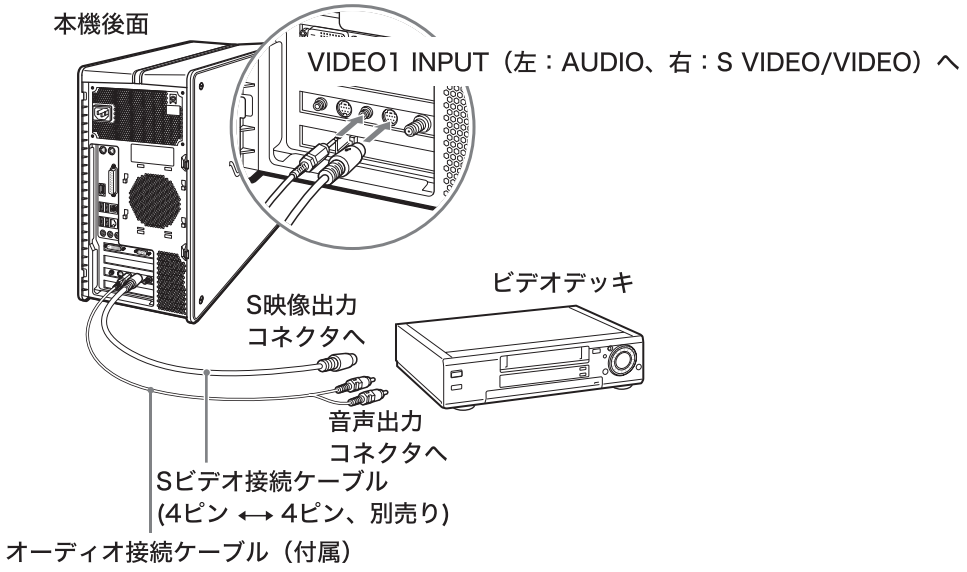
アンテナブースターや分配器を使って分配する必要があります。詳しくは、「接続する／準備する」（31ページ）のテレビアンテナ接続の手順をご覧ください。

ビデオデッキの動画を見たり録画するには

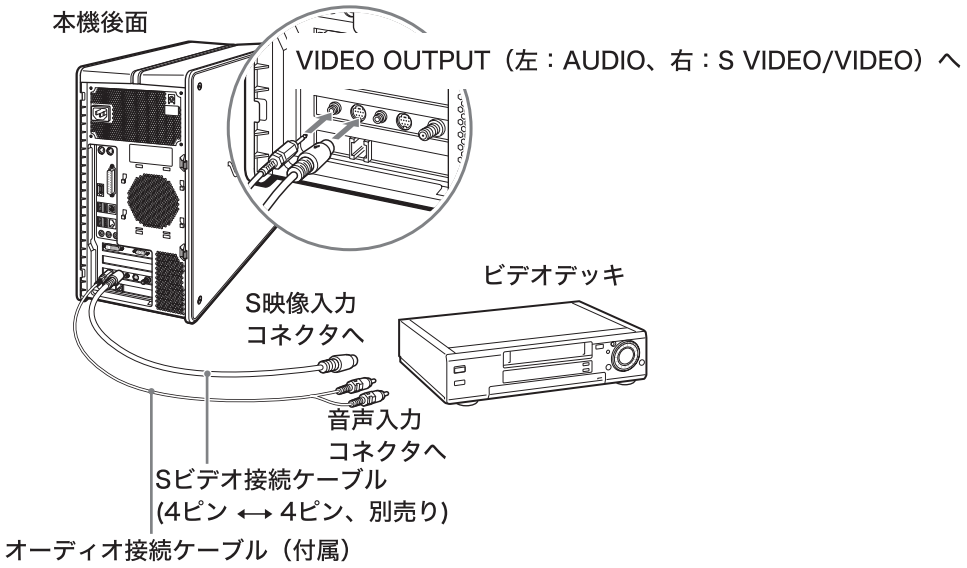
付属の「Giga Pocket」ソフトウェアを使います。詳しくは、「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

後面パネルのコネクタを使うとき

- **ビデオデッキの動画を見たり取り込むとき**



• **本機で録画した動画をビデオデッキに録画するとき**

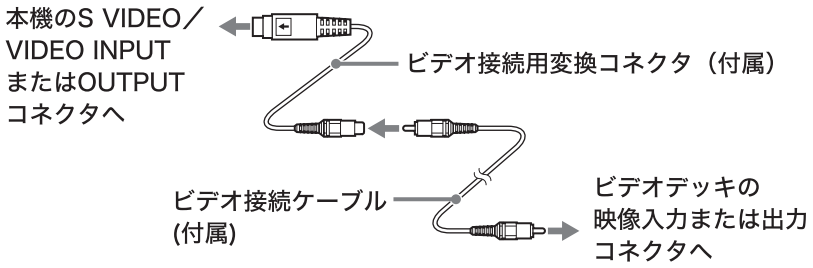


ご注意

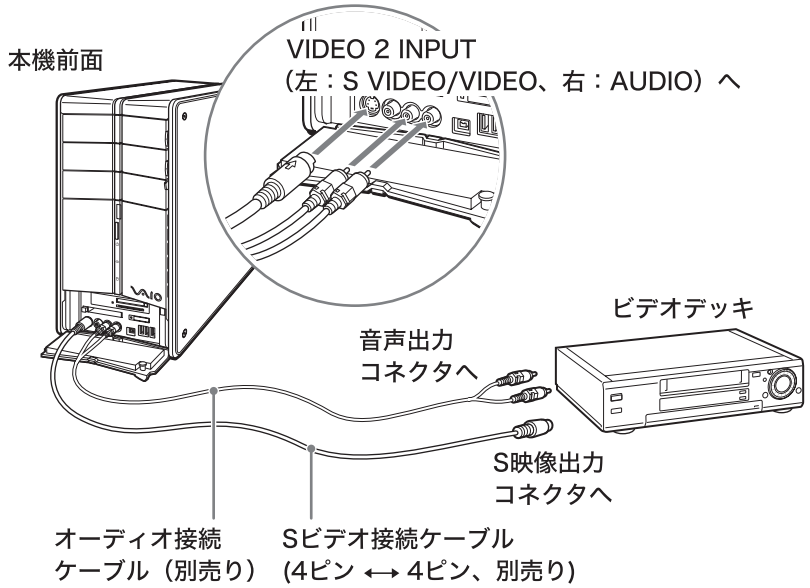
本機のVIDEO1 INPUTコネクタとVIDEO OUTPUTコネクタの両方を同一のビデオデッキの映像出力コネクタおよび映像入力コネクタにそれぞれつないだとき、ビデオデッキ側で映像入力を切り換えたり、本機側で「Giga Pocket」ソフトウェアを使って映像入力を切り換えると、雑音が出たり、映像が乱れることがあります。

S 映像入力／出力コネクタのないビデオデッキをつなぐときは

Sビデオ接続ケーブルのかわりにビデオ接続用変換コネクタ（付属）とビデオ接続ケーブル（付属）をつないで使うことができます。



前面パネルのコネクタを使うとき



ちょっと一言

- S映像入力コネクタにSビデオ接続ケーブルをつながないときは、ビデオ／オーディオ接続ケーブル（別売り）をつなぐか、ビデオ接続ケーブル（別売り）を映像入力コネクタへ、オーディオ接続ケーブル（別売り）を音声入力コネクタへつないでください。
- 別売りのソニー製のケーブルには以下のようなものがあります。

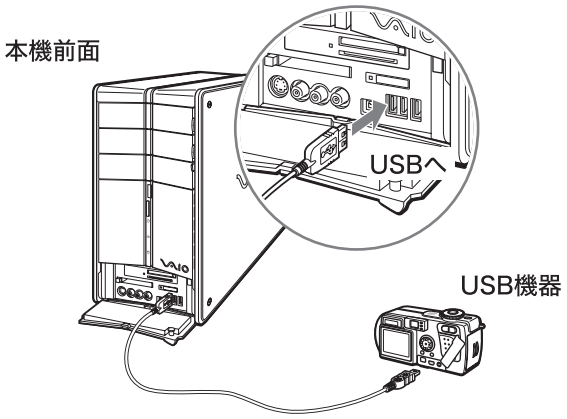
ビデオ／オーディオ接続ケーブル	：VMC-815Sなど
ビデオ接続ケーブル	：VMC-15など
オーディオ接続ケーブル（2ピン←→2ピン）	：RK-C315など
Sビデオ接続ケーブル	：YC-15Vなど

なお、ビデオ接続ケーブルは本機に1本付属しています。

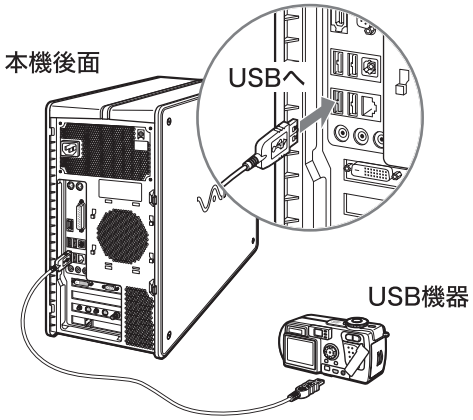
USB機器をつなぐ

本機の前面と後面にあるUSBコネクタを使って、Windows XPに対応しているUSB機器をつなぐことができます。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
USB機器には、デジタルスチルカメラの他にプリンタなどがあります。

前面パネルのコネクタを使うとき



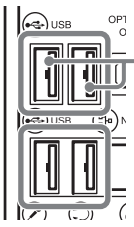
後面パネルのコネクタを使うとき



ちょっと一言

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格（High-speed/Full-speed/Low-speed）に対応しています。
USB2.0規格は、USB（Universal Serial Bus）の新しい規格で、USB1.1規格（Full-speed/Low-speed）より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

ご注意



隣接したUSBコネクタに、2台のUSB1.1規格の機器を同時に接続すると、USB1.1規格の帯域制限によって、動作しない場合があります。その場合は、一方のUSB機器を別のUSBコネクタに接続してください。

本機後面のUSBコネクタ

前面の3か所のUSBコネクタについても同様です。

USB機器を取りはずすには

ご注意

USB機器を取りはずすときは、必ず以下の手順に従ってください。誤った取りはずしかたをすると、システムが正常に動作しない可能性があります。本機の電源が切れているときは、手順1～4は不要です。本機がスタンバイモード、または休止状態のときは、本機を通常の動作モードに戻してから手順1～5を行ってください。本機を通常の動作モードに戻すには、キーボードのスペースキー（スタンバイモード時）を押すか、本機の⏻（電源）ボタンを押します。

ちょっと一言

手順1～4が不要なUSB機器もあります。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

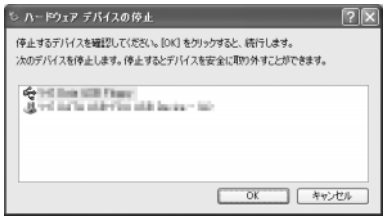
1　デスクトップ画面右下の通知領域にある をダブルクリックする。

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

2　取りはずしたいUSB機器を一覧から選んでクリックし、停止(S)をクリックする。

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3　取りはずすUSB機器を確認し、OKをクリックする。



デスクトップ画面右下に「・・・は安全に取り外すことができます。」と表示されます。

ご注意

「Sony UMH-U HS-XX USB Device」が表示されている場合は、内蔵の“ メモリースティック ”、コンパクトフラッシュ、スマートメディアのデバイスが選択されていますので、取りはずさないでください。
取りはずしてしまうと、これらの各スロットが使用できなくなります。
誤って取りはずしてしまった場合は、本機を再起動させると元の状態に戻ります。

4　「ハードウェアの安全な取り外し」画面の閉じる(C)をクリックする。

5　USB機器を取りはずす。

プリンタをつなぐ

Windows XPに対応しているプリンタを本機につないで、作成した書類などを印刷できます。プリンタに付属または別売りのUSBケーブル、またはプリンタケーブルを使って本機につなぎます。

ご注意

- すべての機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。
- 接続後は、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- Windows XPに対応していないプリンタを本機につないでも、正常に動作しません。

プリンタを使用するには

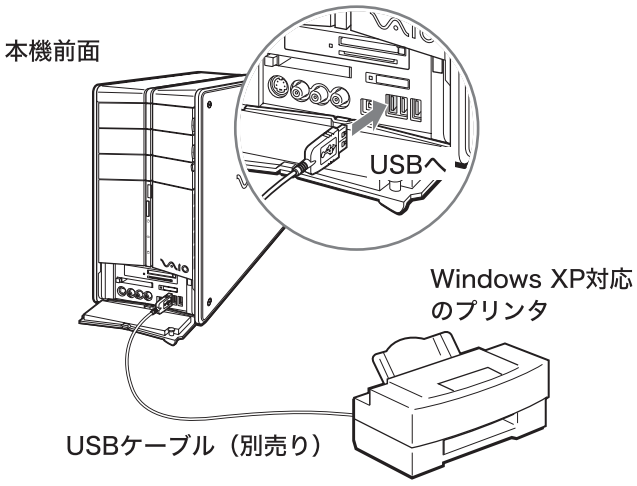
プリンタを使用するには、プリンタに付属のドライバを本機にインストールする必要があります。詳しくはプリンタの取扱説明書および「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。「ヘルプとサポートセンター」を見るにはデスクトップ画面左下の スタート をクリックして［ヘルプとサポート］をクリックします。

ドライバとは

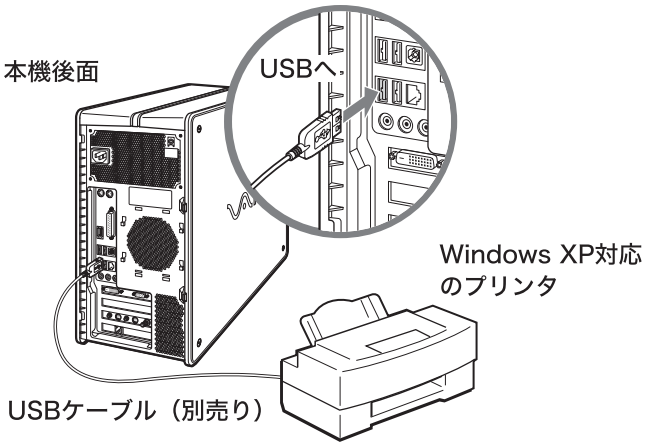
どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。プリンタのドライバを本機にインストールすることにより、本機からプリンタの動作をコントロールできるようになります。

USBプリンタをつなぐとき

前面パネルのコネクタを使うとき



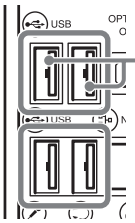
後面パネルのコネクタを使うとき



ちょっと一言

本機のUSBコネクタは、USB2.0規格（High-speed/Full-speed/Low-speed）に対応しています。
USB2.0規格は、USB（Universal Serial Bus）の新しい規格で、USB1.1規格（Full-speed/Low-speed）より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

ご注意

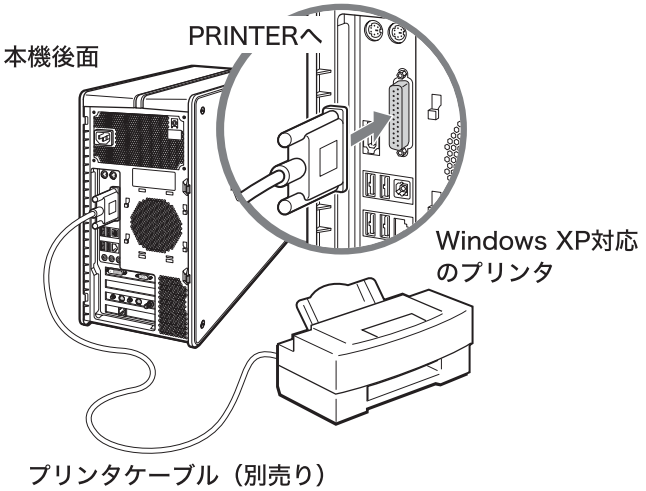


隣接したUSBコネクタに、2台のUSB1.1規格の機器を同時に接続すると、USB1.1規格の帯域制限によって、動作しない場合があります。その場合は、一方のUSB機器を別のUSBコネクタに接続してください。

本機後面のUSBコネクタ

前面の3か所のUSBコネクタについても同様です。

プリンタコネクタにつなぐとき



i.LINK対応機器をつなぐ

i.LINK対応機器について

本機では、下記のi.LINK対応機器に接続して、データをやりとりしたり、画像をデジタルのまま取り込むことができます。

- i.LINK コネクタをもつソニーパーソナルコンピューター
- i.LINK コネクタをもつソニーノートブックコンピューター*

  * 別売りのパワーアップステーションやポートリプリケーターを取り付ける必要があるモデルがあります。取り付けかたについて詳しくは、お使いのノートブックコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- ソニーが 2003 年 12 月末日までに日本国内で発売した、DV 端子付きの家庭用 DV 機器（Digital 8 デジタルビデオカメラレコーダーを含む、ツーリストモデルは除く）。

  DV 機器を接続するために必要なソニー製ソフトウェアは、「DVgate Plus（ディーブイゲート プラス）」ソフトウェア、「Network Smart Capture（ネットワーク スマート キャプチャー）」ソフトウェアです。

  ただし、ソフトウェアによっては一部の DV 機器が動作対象外になる場合があります。詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書、電子マニュアル、ヘルプ、Readme ファイルなどをご覧ください。
- ソニーが 2003 年 12 月末日までに日本国内で発売した、MPEG 端子付きの家庭用 MICROMV 機器（ツーリストモデルは除く）。

  MICROMV 機器を接続するために必要なソニー製ソフトウェアは、「DVgate Plus」ソフトウェアです。

ご注意

- 本機はDTLAコピー・プロテクション技術に対応していないため、デジタルCSチューナーやD-VHSビデオデッキなどのDTLAコピー・プロテクション技術に対応した機器に接続しても操作することができません。
- i.LINKは、すべての機器間での接続動作が保証されているものではありません。
  i.LINK搭載各機器の動作条件と接続の可否情報をご確認ください。動作の可否は、各機器のソフトウェア（OSを含む）、ハードウェアによって規定されます。
- i.LINKで接続を行うコンピュータ周辺機器（ハードディスクドライブやCD-RWドライブなど）は、OSによっては対応していない場合がありますので、あらかじめ動作環境をご確認ください。

i.LINK接続でデータをやりとりする

本機と「Smart Connect（スマート コネクト） Ver.3.0」ソフトウェアに対応したバイオ、Windows XPまたはWindows Meを搭載したバイオを別売りのi.LINKケーブルで接続すると、お互いのファイルをコピーしたり、削除、編集などを行うことができます。

また、接続先のバイオにつないだプリンタを使って印刷することもできます。i.LINK接続について詳しくは、「i.LINKでデジタルビデオカメラレコーダーをつなぐ」（146ページ）をご覧ください。

Windows XPまたはWindows Meを搭載したバイオと本機をつなぐ場合

i.LINKケーブルで接続するだけでデータのやりとりができます。

「Smart Connect」ソフトウェアを搭載したバイオと本機をつなぐ場合

接続先の「Smart Connect」ソフトウェアのバージョンをご確認ください。

- **「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェア以降の場合**
  「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアの通信モードを「STD モード」にする必要があります。設定方法は、「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアのヘルプの「通信モードを切り替える」をご覧ください。
- **「Smart Connect Ver.2.2」ソフトウェア以前の場合**
  「Smart Connect Ver.3.0」無償アップグレードサービスにより、「Smart Connect」ソフトウェアをアップグレードすることでデータのやりとりができます。詳しくは、VAIO ホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/Download/Smart/index.html）をご覧ください。

ご注意

- アップグレード対象外の機種もあります。
- 本機とアップグレード対象外の機種とではデータのやりとりはできません。

ご注意

- i.LINKケーブルを接続してから実際にデータをやりとりできるようになるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- i.LINK接続でデータのやりとりをするには、Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有（Windows XP）、またはネットワーク共有サービス（Windows 98、Me）のインストールおよび設定が必要です。詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。
- i.LINKで接続したバイオでは、次のような条件のときにデータのやりとりができなくなることがあります。
  - データをやりとりできる状態で本機にPCカードを挿入したとき
  - i.LINKケーブルを接続したまま、どちらかのコンピュータを再起動したとき
    データのやりとりができなくならないように、再起動するときは、i.LINKケーブルを抜いてから再起動を行ってください。
    データのやりとりができなくなったときは、以下の手順に従って操作してください。データのやりとりができるようになります。

1 本機およびi.LINK対応機器からi.LINKケーブルを取りはずす。

2 本機およびi.LINK対応機器の電源を切る。

本機の電源を切るときは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［終了オプション］をクリックし、表示される「コンピュータの電源を切る」画面で［電源を切る］を選んで電源を切ってください。
本機を再起動しても、i.LINK対応機器は本機に正しく認識されません。

3 本機およびi.LINK対応機器の電源コードをいったん抜いて、接続し直す。

4 本機およびi.LINK対応機器の電源を入れる。

5 i.LINKケーブルを使って本機とi.LINK対応機器を接続する。

- i.LINKケーブルを再度接続したあとは、接続先のバイオを認識するのに数分かかることがあります。

接続先のコンピュータを探すには

接続先のコンピュータが、「マイネットワーク」画面にすぐには表示されないことがあります。

そのときは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［マイコンピュータ］をクリックしたあと、［マイネットワーク］を右クリックして［コンピュータの検索］を選択し、接続先のコンピュータ名を入力して検索してください。

接続先から自分のコンピュータを利用できるようにするには

本機のフォルダや接続しているプリンタを接続先のコンピュータから利用できるようにするには、ネットワーク共有サービスのインストールおよび設定が必要です。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[マイコンピュータ]→[マイネットワーク]→[ホーム/小規模オフィスのネットワークをセットアップする]の順にクリックすると表示される、「ネットワークセットアップウィザードの開始」画面で設定することもできます。詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

「ヘルプとサポートセンター」を見るには、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[ヘルプとサポート]をクリックします。

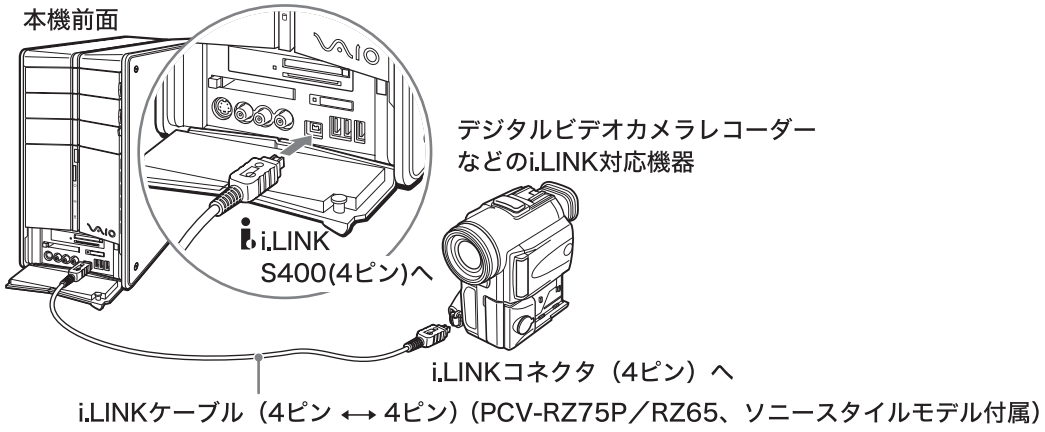
i.LINKでデジタルビデオカメラレコーダーをつなぐ

デジタルビデオカメラレコーダーなどのi.LINK対応機器を本機につないで、動画や静止画を取り込んだり、本機から動画を送出してテープに録画できます。

前面パネルのコネクタ(4ピン)を使うとき

i.LINKケーブル(4ピン⟷4ピン)(PCV-RZ75P／RZ65、ソニースタイルモデル付属)を使って、本機とi.LINK対応機器をつなぎます。

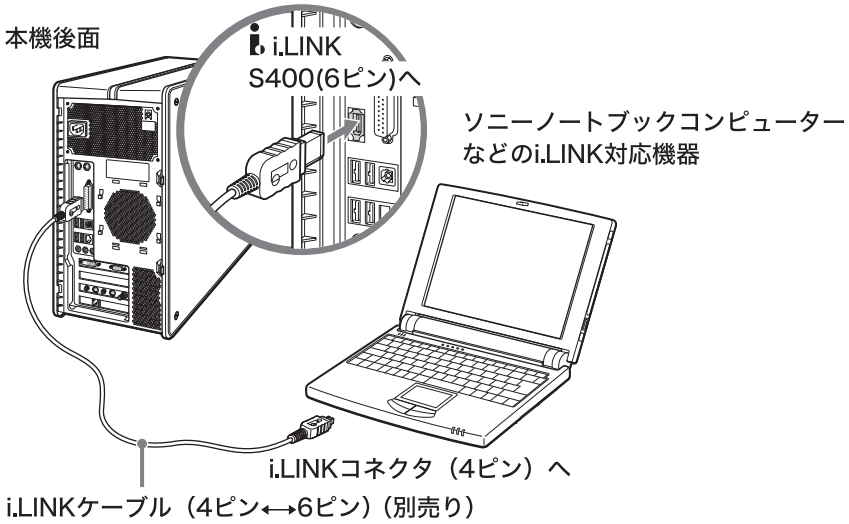
i.LINK対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



i.LINKケーブル(4ピン⟷6ピン)を使って、デジタルビデオカメラレコーダー以外のi.LINK機器をつなぐとき

i.LINKケーブル(4ピン⟷6ピン)(別売り)を使って、本機後面パネルのコネクタ(6ピン)にi.LINK対応機器をつなぎます。

i.LINK対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



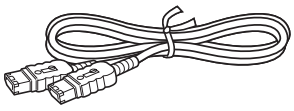
必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください

本機には4ピン⟷4ピンのi.LINKケーブル（1.5m）が付属しています（PCV-RZ75P／RZ65、ソニースタイルモデル）。i.LINK対応機器の接続には、本機に付属のi.LINKケーブル（PCV-RZ75P／RZ65、ソニースタイルモデル）、本機で操作できるi.LINK対応機器に付属のi.LINKケーブルまたは、以下のソニー製i.LINKケーブル（別売り）をお使いください。

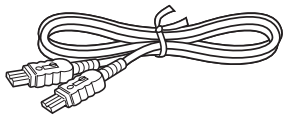
6ピン⟷6ピン

- VMC-IL6615A（1.5m）
- VMC-IL6615B（1.5m）
- VMC-IL6635A（3.5m）
- VMC-IL6635B（3.5m）



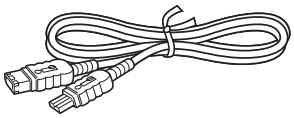
4ピン⟷4ピン

- VMC-IL4408A（80cm）
- VMC-IL4408B（80cm）
- VMC-IL4415A（1.5m）
- VMC-IL4415B（1.5m）
- VMC-IL4435A（3.5m）
- VMC-IL4435B（3.5m）



4ピン⟷6ピン

- VMC-IL4615A（1.5m）
- VMC-IL4615B（1.5m）
- VMC-IL4635A（3.5m）
- VMC-IL4635B（3.5m）



ご注意

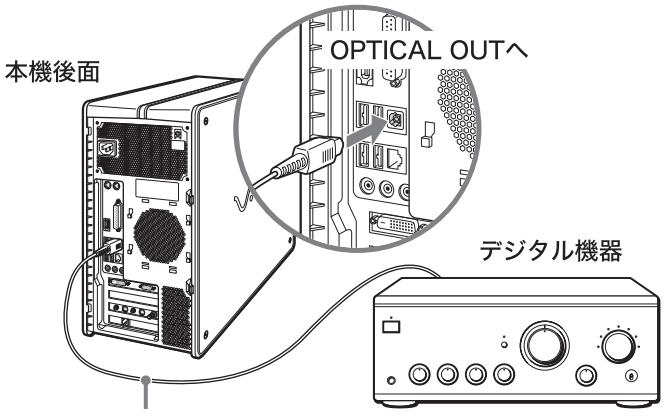
- DVケーブルはご使用になれません。
- i.LINKを使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。接続に必要なケーブルや、操作できる機器について詳しくは、上記の「必要なi.LINKケーブル」および「i.LINK対応機器について」（144ページ）をご覧ください。
- デジタルビデオカメラレコーダーを接続するときは1度電源を切ってから接続し、電源を入れ直してください。本機の電源を切る必要はありません。
- 一度に接続できるデジタルビデオカメラレコーダーは1台のみです。同時に2台以上のデジタルビデオカメラレコーダーを接続することはできません。
- 本機のi.LINKコネクタは最大400Mbpsのデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は接続したi.LINK対応機器の転送速度により変わります。
- 接続のしかたや画像の取り込みかたは、接続するi.LINK対応機器や使用するソフトウェアによって異なります。詳しくは、i.LINK対応機器の取扱説明書や、本機に付属の「DVgate Plus」ソフトウェアなどの各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

AVアンプなどのデジタル機器をつなぐ

本機のOPTICAL OUT（光デジタル出力）コネクタを使って、AVアンプやMD、DATなどのデジタル機器をつないで録音することができます。
接続した機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

デジタル機器と接続するには、別売りの光デジタル接続ケーブル（角型）が必要です。



ちょっと一言

別売りのソニー製の光デジタルケーブル（角型）には、PCC-5ABなどがあります。

ご注意

- OPTICAL OUT（光デジタル出力）コネクタの出力サンプリング周波数は48kHzです。MDデッキなどを接続して録音する場合、接続した機器が48kHzに対応していないときは録音することができません。
- 「PowerDVD（パワーディーブイディーエックスピーフォー） XP for VAIO（バイオ）」ソフトウェアを使って、DVDビデオ再生時の出力音声形式を切り換えることができます。

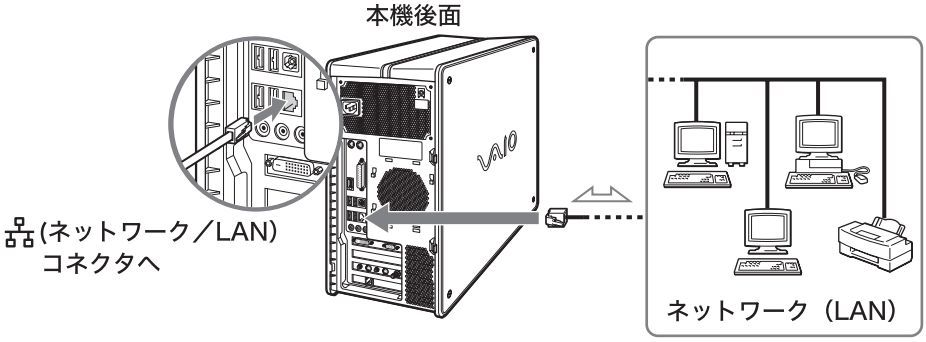
  「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアの（設定）をクリックし、［音声出力］タブをクリックすると表示される「設定」画面で、設定を切り換えることができます。
  「S/PDIF出力」に設定した場合は、本機後面のHEADPHONES（ヘッドホン）コネクタなどから出力されるアナログ音声出力はオフになります。
- デジタル機器の種類によっては、対応していない場合があります。
- OPTICAL OUT（光デジタル出力）コネクタから出力されるのは、デジタル音源（DVDビデオ、オーディオCDなど）の音声のみです。

  「Giga Pocket（ギガ ポケット）」ソフトウェアのテレビ放送の音声など、アナログ音源の音声は出力されません。

ネットワーク(LAN)につなぐ

本機後面の(ネットワーク／LAN)コネクタに、ADSLモデム、家庭や職場などのネットワーク(LAN)を直接接続することができます。インターネットに接続したり、ネットワーク(LAN)内の他の機器とデータをやりとりできます。

本機は、10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプのネットワーク(LAN)に接続できます。



ちょっと一言

本機をネットワーク(LAN)に接続すると、ネットワーク(LAN)に接続されている他のコンピュータから、「Giga Pocket(ギガ ポケット)」ソフトウェアのサーバー機能を利用して、録画の予約をしたり、録画済みの動画を再生したりできます。「Giga Pocket」ソフトウェアのサーバー機能について詳しくは、「Giga Pocket」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ADSL について

ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスのことです。

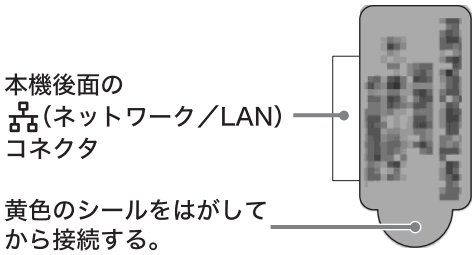
このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者に申し込み、契約することが必要です。

ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ご注意

(ネットワーク／LAN)コネクタには指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線、ISDNなどを接続しないでください。

お買い上げ時には(ネットワーク／LAN)コネクタ上に誤って接続しないようにシールが貼られています。(ネットワーク／LAN)コネクタを使うときは、シールをはがしてから接続してください。



ちょっと一言

ネットワーク(LAN)ケーブルは、イーサネット(Ethernet)ケーブルと呼ばれることもあります。

PCカードを使う

（PCカードスロット搭載モデル）

本機にPCカードを装着すると、他のコンピュータとデータをやりとりしたり、さまざまな機能を拡張したりできます。

PCカードについて

PCカードとは、PC Card規格に準拠した、着脱可能な機能拡張デバイスです。形はクレジットカードに似ていますが、やや大きくて厚みがあります。

主なPCカードには下の表のような種類があります。

カードの種類	説明
メモリカード	データをフラッシュメモリに保存します。PCカードに対応したデジタルスチルカメラで撮影した画像であれば、PCカードを本機に取り付けてそのまま取り込めます。 また、本機やPCカードに対応した機器で作成したデータをメモリカードに保存して、データをやりとりできます。 **フラッシュメモリとは** 電気的にデータを読み書きする、記憶メディアのひとつです。ふつう、書き込み可能なメモリは、電源を切ると内容が消えてしまいますが、フラッシュメモリは電源を切っても内容が消えないという特長をもっています。
SCSIカード	MOドライブやスキャナなどのSCSIデバイスを接続できます。 **MOとは** 「エム・オー」と読みます。レーザー光線と磁気を利用してデータを読み書きする外部記憶メディアのことです。フロッピーディスクよりも容量が多く、種類により、最大2.3Gバイトまでデータを記録することができます。 **SCSIとは** 「スカジー」と読みます。コンピュータと、MOドライブやプリンタなどの周辺機器を接続するための規格のことです。周辺機器などをSCSIで接続すると、本機を含めて最大7台まで数珠つなぎに接続することができます。
ネットワークカード	イーサネットなどのネットワーク（LAN）に接続できます。 **イーサネットとは** コンピュータ間のデータ通信方式のことで、職場などで複数のコンピュータをネットワーク（LAN）でつないで、データをやりとりするときに使われます。
ワイヤレスLAN PCカード	ワイヤレス（無線）でネットワーク（LAN）に接続できます。

本機には、PC Cardタイプ I とタイプ II に準拠したPCカードを挿入できるPC CARD（PCカード）スロットがあります。また、本機のPC CARD（PCカード）スロットは16ビットCardおよびCard Busにも対応しています（ZV（Zoomed Video）Portには対応していません）。

ご注意

PCカードによっては本機で使用できないものや、機能が制限されるものがあります。

- PCカードによっては、PC CARD（PCカード）スロットに挿入したまま本機の電源を入れると、正しく動作しないことがあります。この場合は、PCカードの使用を中止し、いったん取り出してから、もう1度入れ直してください。PCカードの取り出しかたについて詳しくは、「PCカードを取り出すには」（152ページ）をご覧ください。
- PCカードによっては、ドライバを最新のものにすることによって不具合が改善される場合があります。PCカードのメーカーから最新のドライバを入手してお使いください。
- お使いのPCカードによっては、本機にプリインストールされているOSで動作を保証していなかったり、正しく動作しないことがあります。また、起動しているソフトウェアがPCカードを使用中のときは、本機のPC CARD（PCカード）スロットからPCカードを取り出すことはできません。この場合は、該当するソフトウェアを終了してからPCカードを取り出すか、本機の電源を切ってからPCカードを取り出してください。PCカードの接続情報について詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）の機種ごとのサポート情報からご使用の機種名を選択し、他社製品接続情報をご覧ください。
- PC CARD（PCカード）スロットの中に異物を入れないようにしてください。

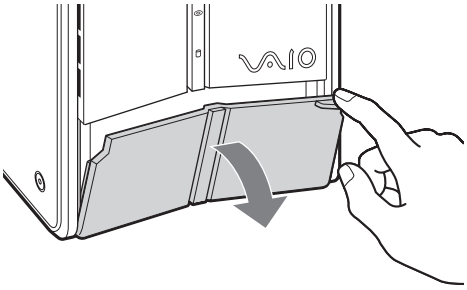
ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータに知らせ、周辺機器を、正しく動かすために必要なソフトです。

PCカードを取り付ける

PCカードを取り付けるときに本機の電源を切る必要はありません。

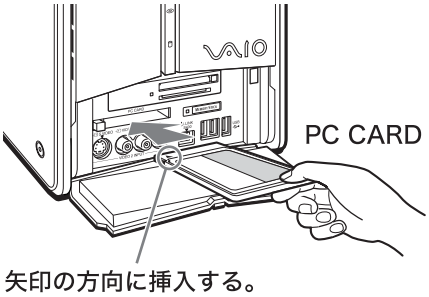
1 本機の前面の下にあるふたを手前に開ける。



2 PCカードをPC CARD（PCカード）スロットに挿入する。

スロットの奥にあるコネクタに、PCカードがしっかりと固定されるまで押し込みます。

PCカードがうまく入らない場合は、無理にPCカードを押し込まずに、PCカードの挿入方向を確認してからもう1度挿入し直してください。



取り付けたあとの使いかたについては、PCカードの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- お使いのPCカードのメーカーが提供する最新のドライバをお使いください。
- 「デバイスマネージャ」画面のPCカードに「！」がついている場合は、ドライバを削除し、再度インストールする必要があります。「デバイスマネージャ」画面を表示させるには、以下の手順に従って操作してください。

1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［コントロールパネル］をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックし、［システム］をクリックする。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 ［ハードウェア］タブをクリックし、デバイス マネージャ(D) をクリックする。
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

PCカードを取り出すには

ご注意

PCカードを取り出すときは、必ず次の手順に従って操作してください。誤った取り出しかたをすると、システムが正常に動作しない可能性があります。
本機の電源が切れているときは、PC CARD（PCカード）スロットのイジェクトボタンを押すだけでPCカードを取り出せます（手順1～4は不要です）。
本機がスタンバイモードまたは休止状態のときは、本機を通常の動作モードに戻してから手順1～5を行ってください。本機を通常の動作モードに戻すには、キーボードのスペースキーを押す（スタンバイモード時）か、本機の⏻（電源）ボタンを押します。

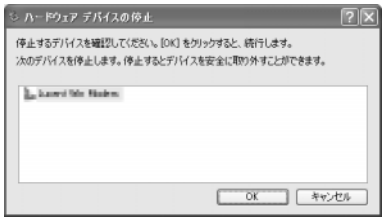
1 デスクトップ画面右下の通知領域にある をダブルクリックする。

「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。

2 リストから取り出したいPCカードをクリックし、停止(S) をクリックする。

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3 取りはずすPCカードを確認し、OK をクリックする。



デスクトップ画面右下に「…は安全に取り外すことができます。」と表示されます。

ご注意

「Sony UMH-U HS-XX USB Device」が表示されている場合は、内蔵の“ メモリースティック ”、コンパクトフラッシュ、スマートメディアのデバイスが選択されていますので、取りはずさないでください。
取りはずしてしまうと、これらの各スロットが使用できなくなります。
誤って取りはずしてしまった場合は、本機を再起動させると元の状態に戻ります。

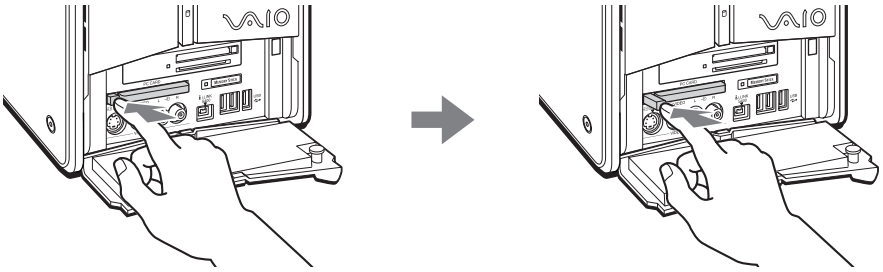
4 「ハードウェアの安全な取り外し」画面の 閉じる(C) をクリックする。

5 PC CARD(PCカード)スロットのイジェクトボタンを押す。

1度イジェクトボタンを押してボタンを手前に引き出し、出たボタンをもう1度押すとPCカードを取り出すことができます。

ご注意

イジェクトボタンはしっかり押してください。



PCカードがコネクタからはずれます。PCカードの端を持って、PC CARD(PCカード)スロットから引き抜いてください。

拡張ボードを増設する

本機では「拡張ボード」と呼ばれる別売り品を装着することで、さまざまな機能を拡張し、よりご自分に合った作業環境を構築することができます。

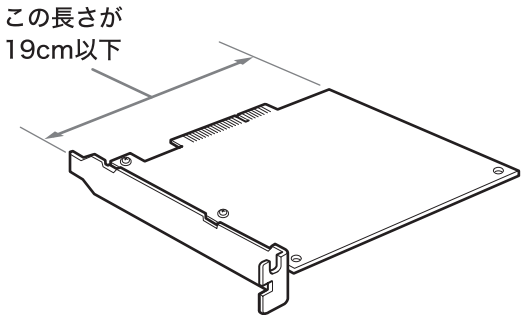
拡張ボードの種類

本機では拡張ボードは「PCI」という規格に対応した拡張ボードを取り付けることができます。拡張ボードをお買い求めの際は、Windows XPとPCI規格に対応していることをご確認ください。

本機では空きスロット（拡張ボードを増設できる場所）が1か所あり、PCI拡張ボードを1枚取り付けることができます。

空きスロットに取り付けられる拡張ボードの大きさについて

本機に取り付けられる拡張ボードの長さは、19cmまでです。



増設できる拡張ボードについて

ご購入されるメーカーまたは販売店にお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）では、増設できる拡張ボードの情報を掲載しています。

拡張ボード取り付けの流れ

以下の流れに沿って、拡張ボードを増設します。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く

本機前面の ⏻（電源）ボタンの上にあるランプと ⏻（電源）ランプが消灯していることを確認してください。電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切る」（75 ページ）をご覧ください。

2 拡張ボードを取り付ける

拡張ボードの取り付けかたについて詳しくは、「拡張ボードを取り付けるには」（155 ページ）をご覧ください。

3 電源コードをコンセントに差し込み、本機の電源を入れる

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（47 ページ）をご覧ください。

4 ドライバの設定、インストールを行う

拡張ボードが本機に認識されるとメッセージが表示されるので、拡張ボードの取扱説明書なども参照の上、指示に従って操作してください。

ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。拡張ボードを増設したときには、ドライバのインストールが必要となる場合があります。

拡張ボードを取り付けるには

以下の手順に従って拡張ボードを取り付けます。

取り付けるときのご注意

拡張ボードの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードをコンセントから抜き、充分時間が経過したあとに行ってください。電源コードを差したまま拡張ボードを取り付けたり取りはずしたりすると、拡張ボードや本機、周辺機器が壊れることがあります。

- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 拡張ボードの部品には直接手を触れないでください。人体の静電気によって部品が故障することがあります。拡張ボードを触る前には、金属製のものに触れて体内の静電気を放電してください。
- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに拡張ボードを放置しないでください。静電気の影響で拡張ボードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部に直接手を触れないようにご注意ください。
- 拡張ボード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- 拡張ボードを本機から取りはずすときは、必ず本機の拡張ボードの取り扱いかたに従ってください。無理に引き抜くと拡張ボードや本機の故障の原因になります。
- 拡張ボードを水でぬらさないでください。
- 拡張ボード増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いて側面のカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- **ご自分で拡張ボードの取り付けを行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。**

ちょっと一言

イラストはPCV-RZ75Pのものです。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

ご注意

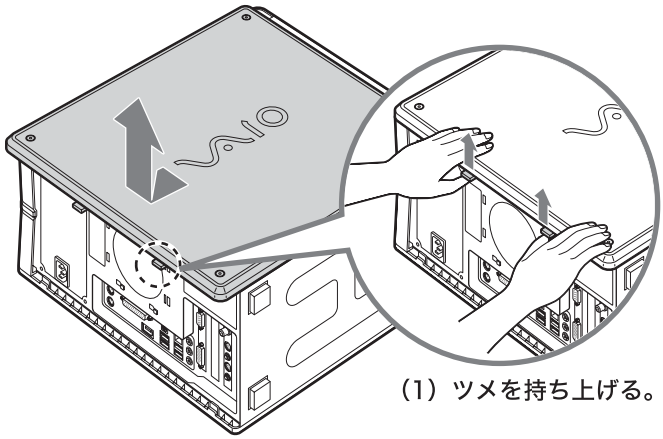
本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2 本機を横にして置く。

本機の右側面が下になるように置いてください。

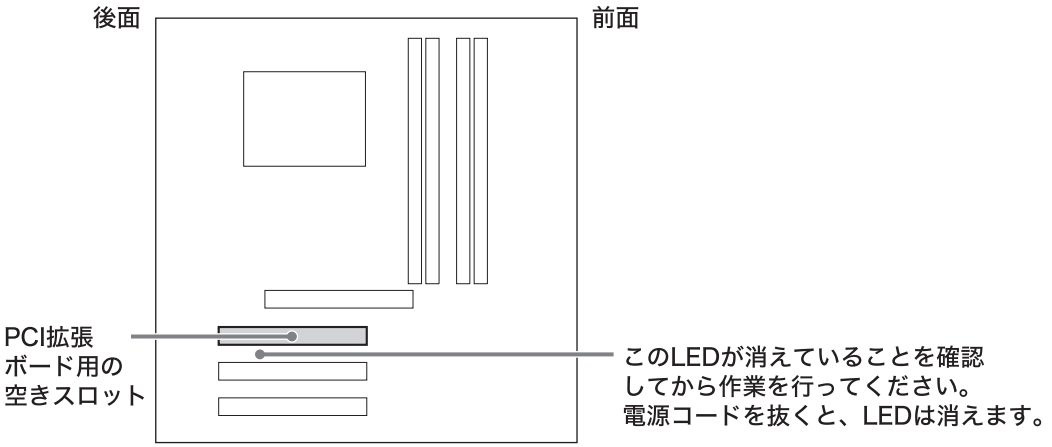
3 側面のカバーを取りはずす。

（2）ツメを持ち上げたまま
カバーをスライドさせて持ち上げる。



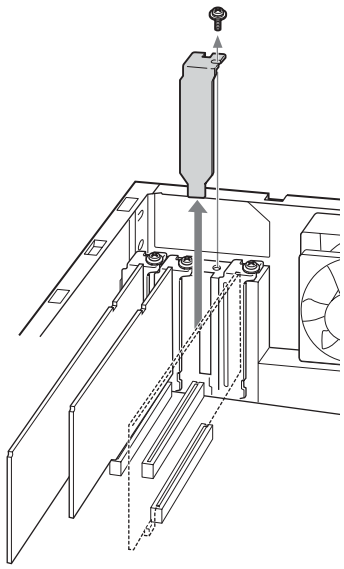
（1）ツメを持ち上げる。

本機の内部基板は下図のようになっています。



4 拡張ボードを取り付けるスロットのカバーを取りはずす。

スロットのカバーを取り付けているネジをはずし、本体の内部からカバーを取りはずします。

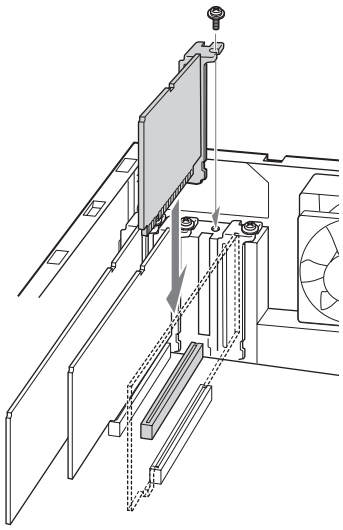


ご注意

- 内部の基板やケーブル類を傷つけないようにご注意ください。
- イラストは実際のものと一部異なる場合があります。

5 拡張ボードを取り付ける。

拡張ボードを空きスロットに合わせて取り付け、ネジで固定します。詳しくは、拡張ボードの取扱説明書をご覧ください。

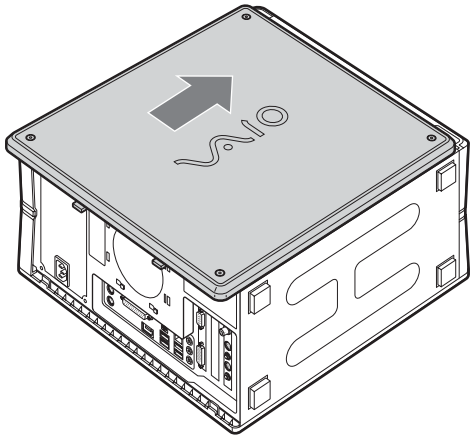


ご注意

拡張ボードを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

6 側面のカバーを取り付ける。

側面カバーを少しずらして本体に置き、カチッと音がするまでスライドさせます。



（1）カバーを少しずらして置く。

（2）カチッと音がするまでスライドさせる。

7 本機を立てる。

8 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

Windowsが起動すると、「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」というメッセージが表示されるので、画面の指示と拡張ボードの取扱説明書に従って操作します。

拡張ボードを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずしてから行ってください。

メモリを増設する

メモリを増設するときのご注意

本機内部の拡張メモリスロットにメモリを増設することができます。

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

ご注意

- **メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。**
- **メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。**
- **ソニー製のメモリをご購入された方、またはご購入予定の方で、ご自分で取り付けられない場合は、VAIOカスタマーリンクで有料取り付けサービスを承っております。**

- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- **本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。**
  電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっておりやけどをするおそれがあります。
- **ご自分で拡張ボードの取りはずし、取り付けを行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。**
- **ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの挿し忘れ、メモリの逆挿し、半挿しなどにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。**

取り付けられるメモリモジュール

別売りのメモリモジュールを取り付けることにより、メモリを増設します。

ソニー製のメモリーモジュールは、以下のものが本機に取り付けられます。

取り付けられるソニー製のDDR400（PC3200）対応メモリーモジュール

容量	スピード	メモリモジュール
256Mバイト	DDR400（PC3200）対応	PCVA-MM256F*
512Mバイト	DDR400（PC3200）対応	PCVA-MM512F*

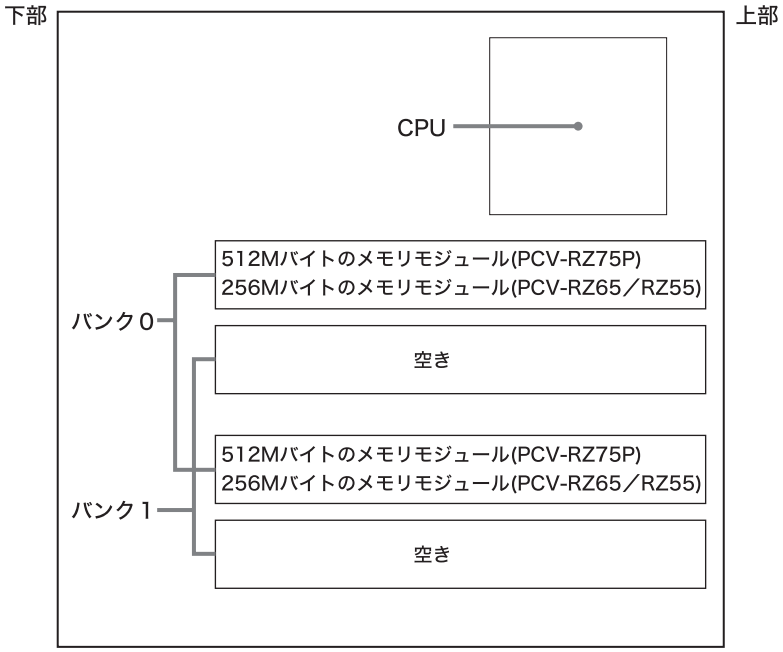
* DDR SDRAM DDR400（PCVA-MM256F、PCVA-MM512F）を必ずご使用ください。

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが4か所あります。

本機のメモリスロットは2か所のバンクに分かれていますので、メモリを増設するときは、以下の点にご注意ください。

- メモリを取り付ける場合には必ずバンク0から取り付けてください。
- 同一バンク内の各スロットには同じ型名で同じ容量のメモリモジュールを取り付けてください。
- 取り付けるメモリモジュールは、すべて同じスピードのメモリモジュールを取り付けてください。
  標準で、DDR400（PC3200）スピードのメモリモジュールが装着されています。

PCV-RZ75Pでは、標準でバンク0の各スロットに512Mバイトのメモリがそれぞれ1枚ずつ（計2枚）、合計1024Mバイトのメモリが搭載され、PCV-RZ65／RZ55では、標準でバンク0の各スロットに256Mバイトのメモリがそれぞれ1枚ずつ（計2枚）、合計512Mバイトのメモリが搭載されています。



◯ 以下の条件を満たすメモリモジュールの組み合わせをおすすめします。

- 全部同じスピードのメモリモジュールを使用する。
- 同じバンクには、同じ容量／型名のメモリモジュールを 2 枚使用する。

増設後の容量は、下記の「おすすめ増設一覧表」をご覧ください。

✕ 以下の条件でメモリモジュールを使用するとパフォーマンスが低下するため、おすすめしません。

- 同じバンクに 1 枚だけ装着する。

増設後の容量は以下の表のとおりです。

PCV-RZ75Pをお使いの場合（おすすめ増設一覧表）

DDR400（PC3200）	標準	増設	
総容量	バンク0	バンク1	スピード （メモリ帯域幅　理論値）
標準（1024Mバイト）	512Mバイト×2 DDR400	-	6400Mバイト/Sec デュアルチャンネル
1536Mバイト	512Mバイト×2 DDR400	256Mバイト×2 DDR400	6400Mバイト/Sec デュアルチャンネル
2048Mバイト	512Mバイト×2 DDR400	512Mバイト×2 DDR400	6400Mバイト/Sec デュアルチャンネル

PCV-RZ65／RZ55をお使いの場合（おすすめ増設一覧表）

DDR400（PC3200）	標準	増設	
総容量	バンク0	バンク1	スピード （メモリ帯域幅　理論値）
標準（512Mバイト）	256Mバイト×2 DDR400	-	6400Mバイト/Sec デュアルチャンネル
1024Mバイト	256Mバイト×2 DDR400	256Mバイト×2 DDR400	6400Mバイト/Sec デュアルチャンネル
1536Mバイト	256Mバイト×2 DDR400	512Mバイト×2 DDR400	6400Mバイト/Sec デュアルチャンネル

標準のメモリをはずし、DDR400　512Mバイト×2枚を増設したとき			
DDR400（PC3200）	標準	増設	
総容量	バンク0	バンク1	スピード （メモリ帯域幅　理論値）
2048Mバイト	512Mバイト×2 DDR400	512Mバイト×2 DDR400	6400Mバイト/Sec デュアルチャンネル

取り付けの際には、メモリモジュールの取扱説明書もあわせてご覧ください。

メモリモジュールを選ぶときのご注意

- **メモリモジュールには、さまざまな種類のものが存在します。市販のメモリモジュールを取り付ける際には、その製品が本機での動作保証を明記していることをご確認ください。**
- **市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。**

ちょっと一言

デュアルチャンネルとは、同じスピードで同じ容量のDDRメモリを2枚1組で装着することによって、64ビット幅DDRメモリインターフェイスを2チャンネル、合計128ビット幅のデュアルチャンネルDDRメモリインターフェイスを実現し、128ビットアクセス転送を行い、2倍のメモリ帯域幅を実現した技術です。

メモリモジュールを取り付ける／取りはずす

メモリモジュールを取り付けるときのご注意

メモリモジュールの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けたり取りはずしたりすると、メモリモジュールや本機、周辺機器が壊れることがあります。

- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。
- **メモリモジュールには、向きがあります。**
- **メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ（溝の内側）部分の突起の位置を正しく合わせてください。**
- **無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。**

ちょっと一言

イラストは、PCV-RZ75Pのものです。

メモリモジュールを取り付けるには

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

ご注意

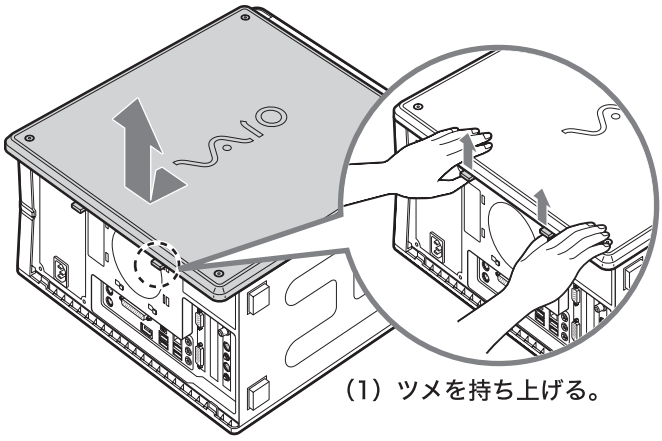
本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2 本機を横にして置く。

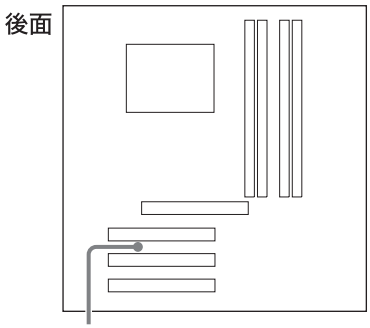
本機の右側面が下になるように置いてください。

3 側面のカバーを取りはずす。

（2）ツメを持ち上げたまま
カバーをスライドさせて持ち上げる。



（1）ツメを持ち上げる。

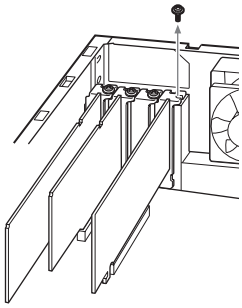


このLEDが消えていることを
確認してから作業を行ってください。
電源コードを抜くと、LEDは消えます。

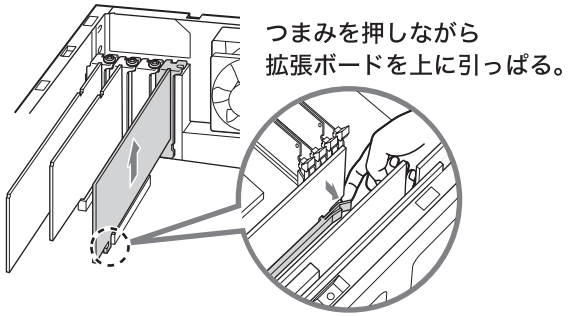
4 メモリモジュールを梱包から取り出す。

本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出します。

5 メモリモジュールに最も近い拡張ボードを固定しているネジをはずす。



6 拡張ボードを固定しているつまみを押しながら、拡張ボードを取りはずす。



ご注意

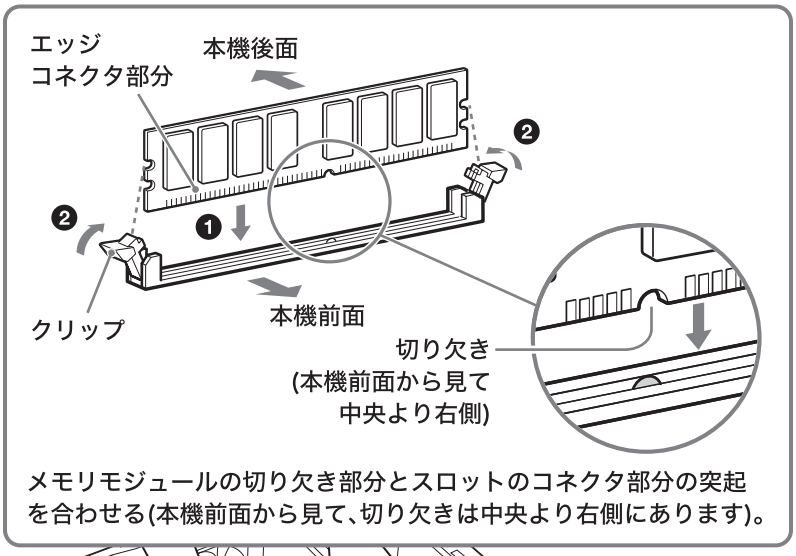
拡張ボードを取りはずすとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

7 メモリモジュールを取り付ける。

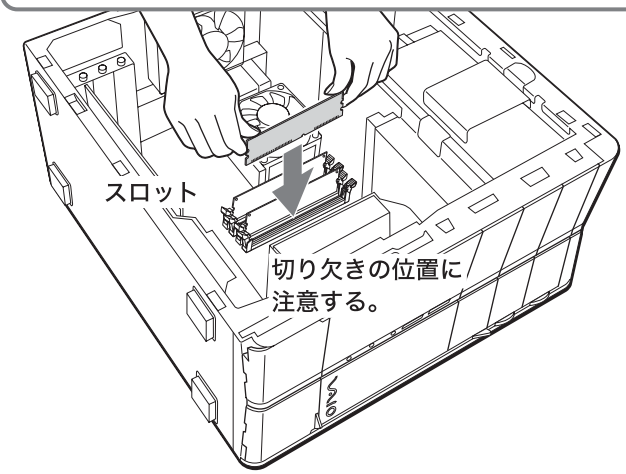
メモリモジュールの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にお問い合わせください。

❶ 下記のイラストのとおりに、切り欠き方向に注意してメモリモジュールをスロットに合わせる。

❷ クリップが起き上がり、固定されるまでメモリモジュールを垂直にスロットへ押し込む。



メモリモジュールの切り欠き部分とスロットのコネクタ部分の突起を合わせる(本機前面から見て、切り欠きは中央より右側にあります)。



取り付けるときは、以下の点にご注意ください。正しい方法で取り付けないと故障の原因となります。

- 切り欠きの位置を確認して正しい方向に差し込む。
- 垂直に差し込む。
- 両方のクリップが起き上がるまで押し込む。

ご注意

- 2枚のメモリモジュールを同時に取り付けてください。1枚だけメモリモジュールを取り付けた場合の動作保証はいたしません。また、同じバンクに取り付ける2枚のメモリモジュールは同じ型名で同じ容量のものをお使いください。
- メモリ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。

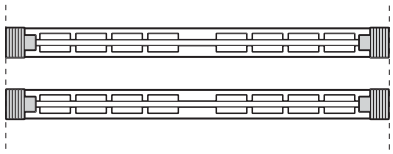
メモリ増設の際、ハーネスのコネクタが浮くことがあります。ハーネスのコネクタを押して、浮きがないことを確認してください。

8 メモリモジュールがきちんと取り付けられているか確認する。

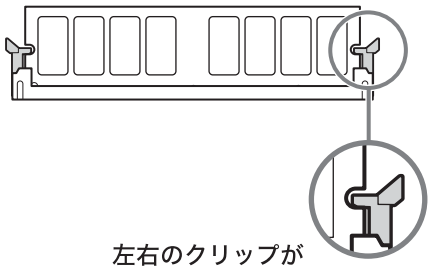
メモリモジュールを取り付けたら、以下の点を確認してください。

❶左右のクリップが、となりのクリップと揃っているかどうか。

❷左右のクリップが、きちんとメモリモジュールの溝にはまっているかどうか。

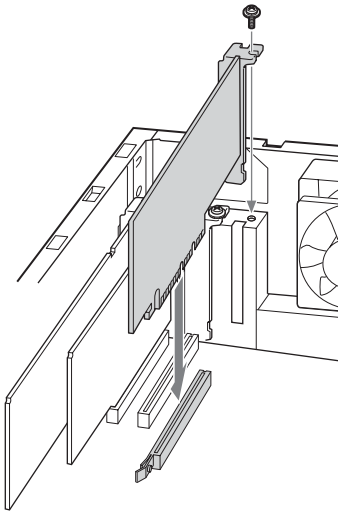


左右のクリップがとなりのクリップと揃っているか確認する。



左右のクリップがきちんとはまっているか確認する。

9 手順6で取りはずした拡張ボードを本機に取り付け、ネジで固定する。

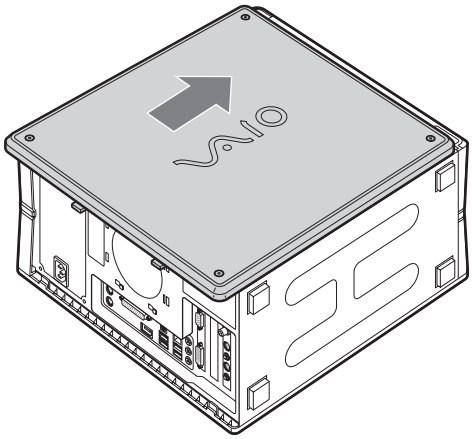


ご注意

拡張ボードを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

10 側面のカバーを取り付ける。

側面カバーを少しずらして本体に置き、カチッと音がするまでスライドさせます。



(1) カバーを少しずらして置く。

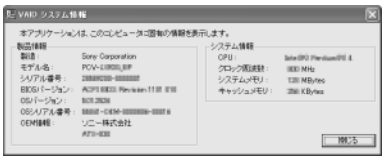
(2) カチッと音がするまでスライドさせる。

11 本機を立てる。

12 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

13 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]→[VAIO システム情報]の順にポインタを合わせ、[VAIO システム情報]をクリックする。

「VAIO システム情報」画面が表示されます。



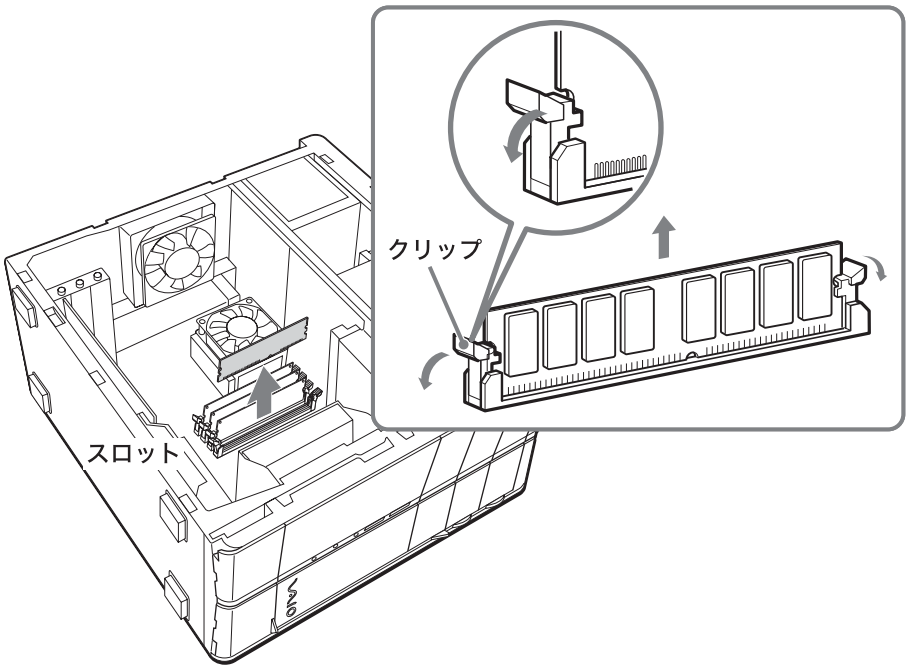
14 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。

メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

メモリモジュールを取りはずすには

本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリスロットの両端のクリップを外側に押し、メモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。



ハードディスクドライブを増設する

本機内部のハードディスクドライブベイにハードディスクドライブを1つ増設することができます。

ご注意

- ハードディスクドライブの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。
- ハードディスクドライブの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- ハードディスクドライブ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- ハードディスクドライブ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- ハードディスクドライブ増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- ドライブベイは3.5インチサイズです。
- 増設するハードディスクドライブによっては本機で動作しないものがあります。
  増設について詳しくは、増設機器メーカーにお問い合わせください。
- 増設するハードディスクドライブによってはi.LINK対応機器から動画を取り込む際に制限が生じる場合があります。
- 増設するハードディスクドライブは、CS（ケーブルセレクト）または、SLAVE（スレーブ）に設定してください。設定方法については、増設するハードディスクドライブの取扱説明書をご覧ください。
- **ハードディスクドライブの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したまま、ハードディスクドライブを取り付けたり取りはずしたりすると、ハードディスクドライブや本機、周辺機器が壊れることがあります。**
- **電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。**
- **ご自分でハードディスクドライブの増設を行い、故障や事故が起きた場合は、修理は有償となります。**

ハードディスクドライブを取り付ける

ハードディスクドライブを取り付ける際には、本機のカバーを取りはずす必要があります。以下の手順に従ってハードディスクドライブを取り付けます。

増設するハードディスクドライブの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ちょっと一言

イラストはPCV-RZ75Pのものです。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

ご注意

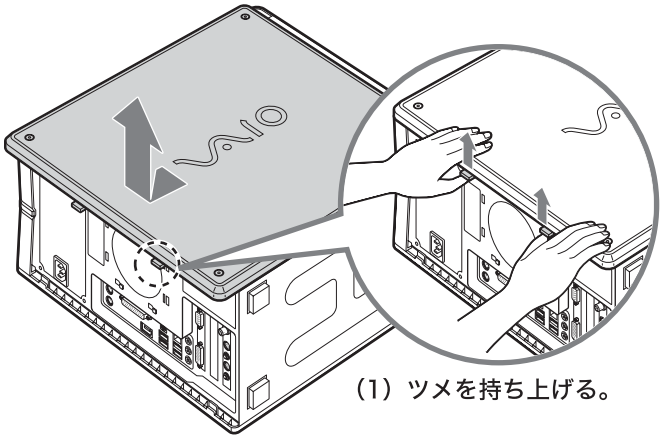
本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2 本機を横にして置く。

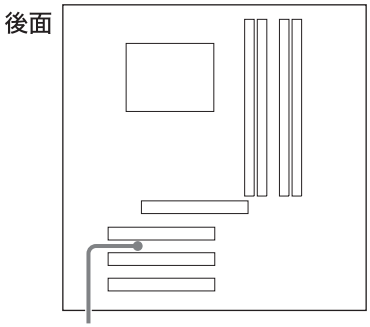
本機の右側面が下になるように置いてください。

3 側面のカバーを取りはずす。

(2) ツメを持ち上げたまま
カバーをスライドさせて持ち上げる。



(1) ツメを持ち上げる。

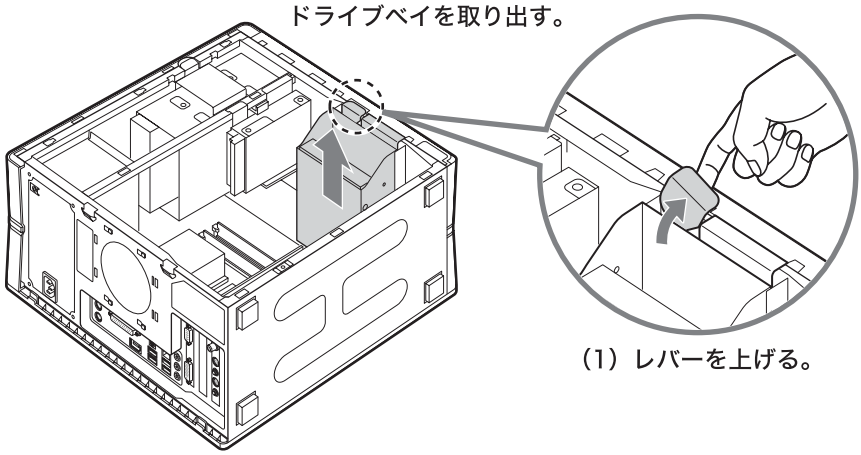


このLEDが消えていることを
確認してから作業を行ってください。
電源コードを抜くと、LEDは消えます。

4 ハードディスクドライブベイを取り出す。

お買い上げ時に搭載のハードディスクドライブに接続されているケーブル類を取りはずし、ハードディスクドライブベイを取り出します。

(2) ハードディスク
ドライブベイを取り出す。



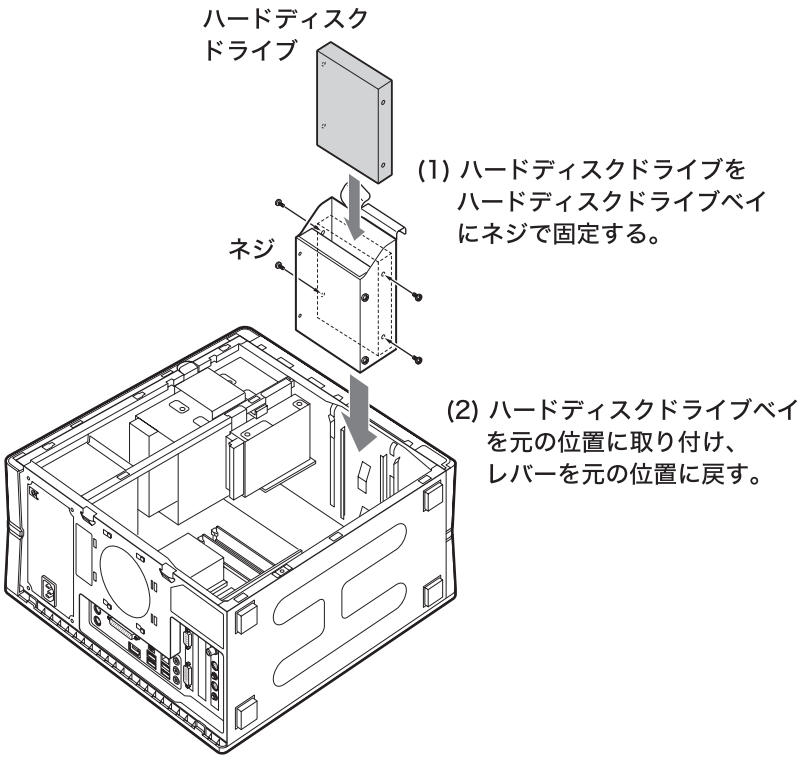
(1) レバーを上げる。

ご注意

ハードディスクドライブベイを取り出すとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

5 ハードディスクドライブベイに増設するハードディスクドライブを取り付ける。

増設するハードディスクドライブをハードディスクドライブベイにネジで固定し、ハードディスクドライブベイを元の位置に取り付けます。



ご注意

ハードディスクドライブベイを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

ちょっと一言

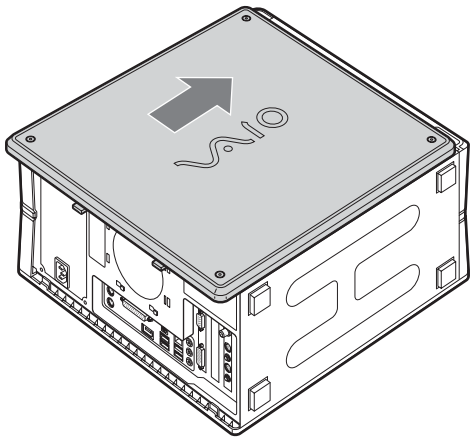
増設するハードディスクドライブは、CS（ケーブルセレクト）または、SLAVE（スレーブ）に設定してください。設定方法については、増設するハードディスクドライブの取扱説明書をご覧ください。
ハードディスクドライブの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。

6 手順4で取りはずしたケーブル類を、お買い上げ時に搭載のハードディスクドライブおよび増設したハードディスクドライブの両方に接続する。

電源ケーブルとIDEケーブルを必ず取り付けてください。

7 側面のカバーを取り付ける。

側面カバーを少しずらして本体に置き、カチッと音がするまでスライドさせます。



(1) カバーを少しずらして置く。

(2) カチッと音がするまでスライドさせる。

8 本機を立てる。

ハードディスクドライブを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずしてから行ってください。

ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

増設したハードディスクドライブを使用する前に

ハードディスクドライブを増設したあとは、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてから、下記の手順に従って「パーティションの作成」、「パーティションの種類の設定」、「パーティションのフォーマット」を設定してください。

パーティションについて詳しくは、デスクトップ画面左下の スタート をクリックし、[ヘルプとサポート]をクリックして「ヘルプとサポートセンター」を表示させ、ディスクの管理の概要などの説明をご覧ください。

なお、増設されたハードディスクドライブは拡張パーティションとして作成され、NTFSフォーマットされていないと、本機が正しく動作しなくなることがあります。

1 本機の電源を入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(47ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてください。

2 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[コントロールパネル]をクリックする

「コントロールパネル」画面が表示されます。

3 [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックし、[管理ツール]をクリックする。

「管理ツール」画面が表示されます。

4 (コンピュータの管理)をダブルクリックする。

「コンピュータの管理」画面が表示されます。

5 「コンピュータの管理」画面の左側のウィンドウの中の[ディスクの管理]をクリックする。

「コンピュータの管理」画面の右側のウィンドウに、接続されているディスクのパーティションの状況が表示されます。新しく増設したハードディスクドライブなど、目的のハードディスクドライブがこれまで使用されたことがなければ「未割り当て」と表示されます。

6 「記憶域」の中の「ディスク1」を右クリックして「ディスクの初期化」を選ぶ。

ご注意

増設するハードディスクの状態によっては、上記の手順は不要な場合があります。

7 「ディスク1」がチェックされていることを確認して、 OK をクリックする。

ご注意

増設するハードディスクの状態によっては、上記の手順は不要な場合があります。

8 「未割り当て」の部分を右クリックして、表示されるメニューから[新しいパーティション]をクリックする。

「新しいパーティションウィザード」画面が表示されます。

9 次へ(N) > をクリックする。

「パーティションの種類を選択」画面が表示されます。

10 [拡張パーティション]をクリックして選び、次へ(N) > をクリックする。

「パーティションサイズの指定」画面が表示されます。

11 「パーティションサイズ」の入力欄に、作りたいパーティションの大きさを入力し、次へ(N) > をクリックする。

「パーティションの作成ウィザードの完了」画面が表示されます。

12 完了 をクリックする。

「パーティションの作成ウィザードの完了」画面が閉じます。

「コンピュータの管理」画面の右側のウィンドウで、パーティションの設定を行ったハードディスクドライブの表示が「未割り当て」から「空き領域」に変わります。

13 「空き領域」の部分を右クリックして、表示されるメニューから[新しい論理ドライブの作成]をクリックする。

「新しいパーティションのウィザードの開始」画面が表示されます。

14 次へ(N) > をクリックする。

「パーティションの種類を選択」画面が表示されます。

15 [論理ドライブ]をクリックして選び、次へ(N) > をクリックする。

「パーティションサイズの指定」画面が表示されます。

16 「パーティションサイズ」の入力欄に、作りたいパーティションの大きさを入力し、次へ(N) > をクリックする。

「ドライブ文字またはパスの割り当て」画面が表示されます。

17 「ドライブ文字の割り当て」を をクリックしてリストから選び、次へ(N) > をクリックする。

「パーティションのフォーマット」画面が表示されます。

18 「フォーマット」の各項目を以下のように設定し、次へ(N) > をクリックする。

使用するファイルシステム：NTFS

アロケーションサイズ：既定値

ボリュームラベル：ボリューム

「新しいパーティションのウィザードの完了」画面が表示されます。

19 完了 をクリックする。

パーティションの設定を行ったハードディスクドライブのフォーマットが始まります。フォーマットの状況は「コンピュータ管理」画面の右側のウィンドウにパーセントで表示されます。

20 アイコンが正しく表示されているか確認する。

アイコンの表示が正しくない場合は、下記の手順に従って操作し、アイコンを変更してください。

❶ **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［ファイル名を指定して実行］をクリックする。**

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

❷ **「名前」の欄に「C:￥Drivers￥Icons￥SetMediaIcon.exe」と入力する。**

❸ **OK をクリックする。**

画面には、何も表示されません。

❹ **Windowsを再起動し、アイコンが正しく表示されているか確認する。**

フォーマットが終わると、増設したハードディスクドライブが使えるようになります。

ご注意

「コントロールパネル」画面で「パフォーマンスとメンテナンス」、［電源オプション］の順にクリックすると表示される「電源オプションのプロパティ」画面で「ハードディスクの電源を切る」は「なし」に設定してください。

「なし」以外に設定すると、「Giga Pocket（ギガ ポケット）」ソフトウェアを使って録画を行うとき、録画に失敗することがあります。

その他のデバイスを増設する

（PCV-RZ55、一部ソニースタイルモデル）

PCV-RZ55（一部ソニースタイルモデル）の前面の拡張デバイスベイにMOドライブやZIPドライブなどの拡張用のIDEデバイスを1つ増設することができます。

ご注意

- デバイスの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- デバイスの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- デバイス増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- デバイス増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- デバイス増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 拡張デバイスベイは5インチサイズです。
- 本機の拡張デバイスベイにはSecondary（セカンダリ）IDEのコネクタが用意されています。増設するデバイスがIDEの場合は、SLAVE（スレーブ）に設定してください。設定方法については、増設するデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 増設する機器によっては本機で動作しないものがあります。
  増設について詳しくは、販売店または増設機器メーカーにお問い合わせください。
- ご自分でデバイスの増設を行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。

デバイスを取り付けるには

デバイスを取り付ける際には、本機のカバーを取りはずす必要があります。

以下の手順に従ってデバイスを取り付けます。

増設するデバイスの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずす。

ご注意

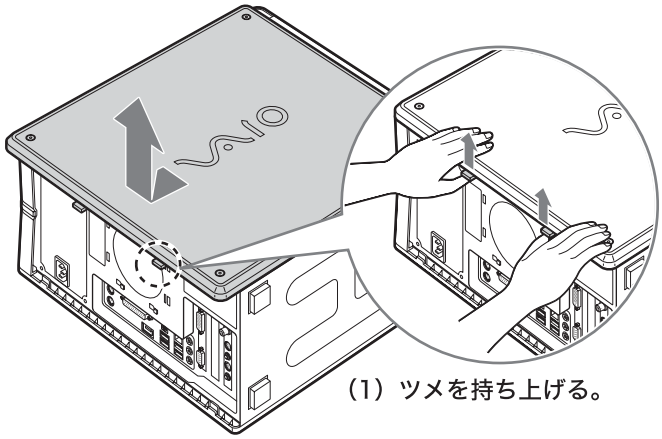
本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2 本機を横にして置く。

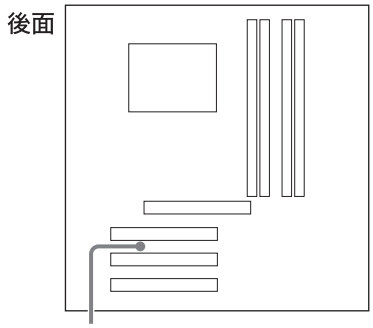
本機の右側面が下になるように置いてください。

3 側面のカバーを取りはずす。

（2）ツメを持ち上げたまま
カバーをスライドさせて持ち上げる。



（1）ツメを持ち上げる。

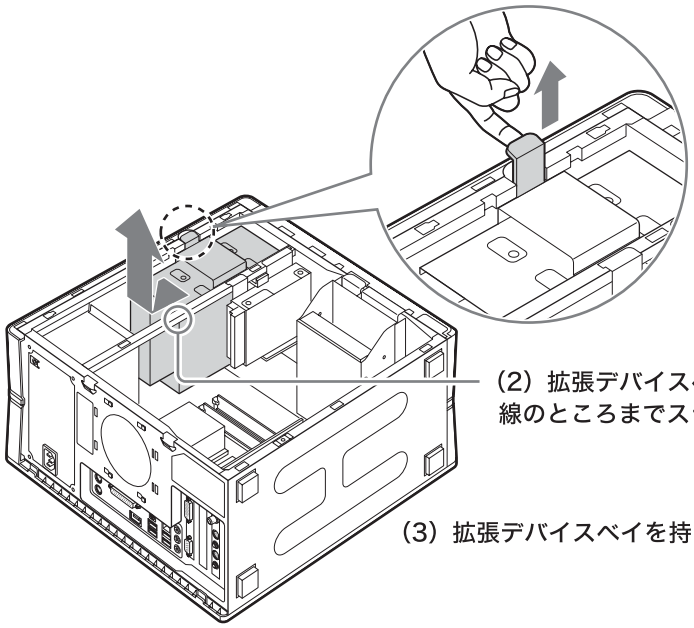


このLEDが消えていることを
確認してから作業を行ってください。
電源コードを抜くと、LEDは消えます。

4 拡張デバイスベイを取りはずす。

お買い上げ時に搭載のDVD±RWドライブに接続されているケーブル類を取りはずし、拡張デバイスベイを後ろの方向にスライドして取りはずします。

（1）レバーを上げる。



（2）拡張デバイスベイを
線のところまでスライドさせる。

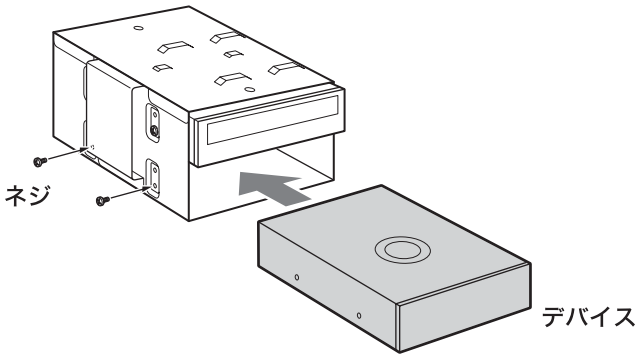
（3）拡張デバイスベイを持ち上げる。

ご注意

拡張デバイスベイを取りはずすとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

5 増設するデバイスを取り付ける。

デバイスベイに増設するデバイスをネジで固定します。
取り付けかたについて詳しくは、増設する機器の取扱説明書をご覧ください。



ご注意

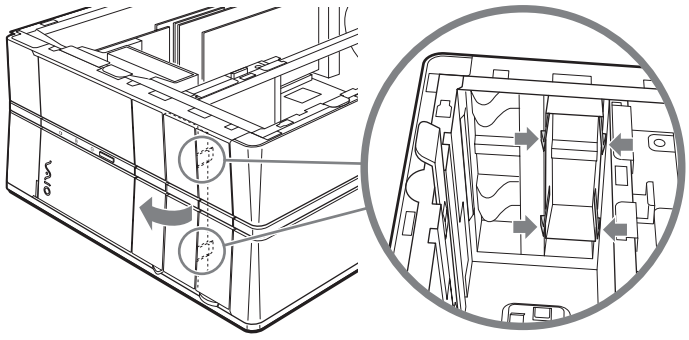
- ハードディスクドライブとDVD±RWドライブを同一のIDEコネクタに接続しないでください。
- お買い上げ時に搭載されているDVD±RWドライブは、MASTER（マスター）に設定されています。

ちょっと一言

増設するデバイスがIDEの場合は、SLAVE（スレーブ）に設定してください。設定方法については、増設するデバイスの取扱説明書をご覧ください。
デバイスの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にお問い合わせください。

ベイカバーを取りはずすときは

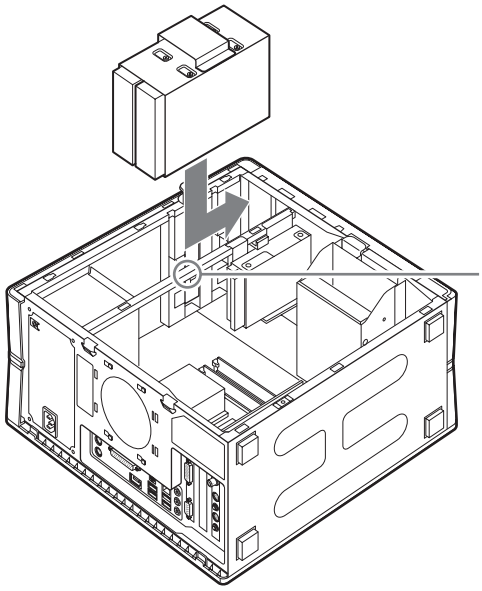
MOドライブなど、前面からディスクなどを挿入する機器を増設したときは、ベイカバーを前面パネルから取りはずします。
ベイカバー上部のツメを内側から押してから、ベイカバーの上部を手前に引いてベイカバーを取りはずしてください。



ツメを内側から押す。

6 拡張デバイスベイを取り付ける。

拡張デバイスベイを元の位置に取り付け、レバーを戻します。



拡張デバイスベイを本体後面側の線に合わせて入れ、本体前面側の線までスライドさせる。

ご注意

拡張ドライブベイを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

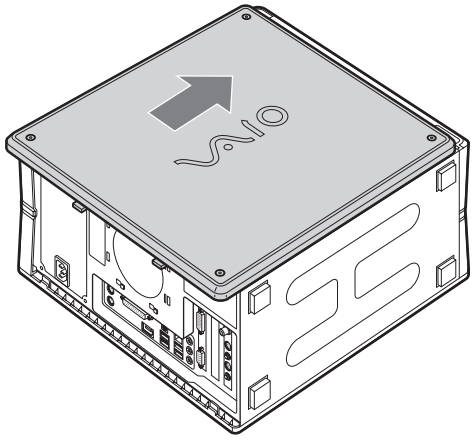
7 手順4で取りはずしたケーブル類を、お買い上げ時に搭載のDVD±RWドライブおよび増設したドライブの両方に接続する。

ご注意

電源ケーブルとIDEケーブルを必ず取り付けてください。

8 側面のカバーを取り付ける。

側面カバーを少しずらして本体に置き、カチッと音がするまでスライドさせます。



（1）カバーを少しずらして置く。

（2）カチッと音がするまでスライドさせる。

9 本機を立てる。

デバイスを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずしてから行ってください。

リカバリディスク作成／リカバリ

この章では、リカバリディスクを作成する方法と
本機をリカバリする方法について説明します。

リカバリディスクを作成する 178
リカバリする 183

リカバリディスクを作成する

リカバリとは

本機のハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
以下のような場合などにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなったとき
- 何らかの原因で本機の動作が不安定になったとき
- 誤って C: ドライブを初期化してしまったとき

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独で アンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。

リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリ起動ディスクやリカバリディスクを使用する場合があります。リカバリ起動ディスクとリカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。

ディスクの種類	入手方法	使用目的
リカバリ起動ディスク	ご自分で作成	• Windows が起動できないときに使用する。 • ハードディスクのリカバリ領域を作成／削除する。
	ご購入（下記参照）	
リカバリディスク	ご自分で作成	• ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。 • ハードディスクのリカバリ領域を作成／削除する。
	ご購入（下記参照）	

リカバリディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
※ご購入にはVAIOカスタマー登録が必要です（54ページ）。

ご注意

本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。

リカバリディスクを作成する

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をCD-RやDVD-R、DVD+Rなどのディスクに書き出したものです。「リカバリディスク作成ツール」を使うと、リカバリディスクとリカバリ起動ディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておくと、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスクが破損したときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスク容量を確保したいときに使用します。

万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

ご注意

下記のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- 出荷時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをお勧めします。本機を使用する準備ができましたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

リカバリディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

リカバリ起動ディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をWindowsが起動していない状態でリカバリディスクからリカバリを始めるときに使用する起動ディスクです。

ちょっと一言

リカバリディスクを作成するときには、必ず「コンピュータの管理者」アカウントなどの管理者権限をもつユーザーでログオンしてください。

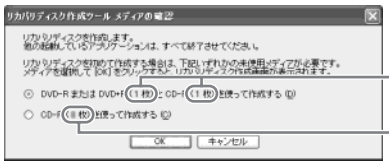
1 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]→[VAIOリカバリツール]の順にポインタを合わせ、[リカバリディスク作成ツール]をクリックする。

「リカバリディスク作成ツール メディアの確認」画面が表示されます。

2 使用するディスクを選択する。

DVD-R／DVD+R／CD-Rを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[DVD-Rまたはは DVD+R（1枚）とCD-R（1枚）を使って作成する]の◯をクリックして◉にし、OKをクリックします。

CD-Rのみを使ってリカバリディスクを作成したいときは、[CD-R（X枚）を使って作成する]の◯をクリックして◉にし、OKをクリックします。



DVD-R／DVD+RとCD-Rを選択する場合に用意する未使用メディアの枚数

CD-Rを選択する場合に用意する未使用メディアの枚数

ご注意

- CD-RW／DVD+RW／DVD-RWはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
- DVD+RやDVD-Rでリカバリディスクを作成する場合でも、リカバリ起動ディスクを作成するためには、CD-Rが1枚必要となります。

リカバリディスク作成用に必要なディスクの枚数は、手順2の画面で確認できます。

「リカバリディスク作成ツール」画面が表示されます。

3 作成開始をクリックする。

ここをクリックする。

ちょっと一言

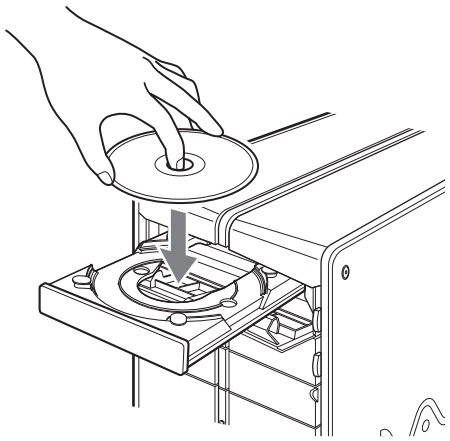
リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

リカバリディスクの作成が始まります。

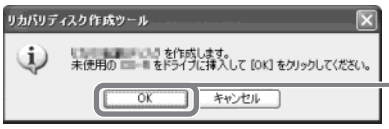
未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

4 指示されたディスクをDVD±RWドライブに挿入し[OK]をクリックする。

❶ ディスクをトレイの中央に置く。



❷ DVD±RWドライブのイジェクトボタンを押して、トレイを閉める。



ここをクリックする。

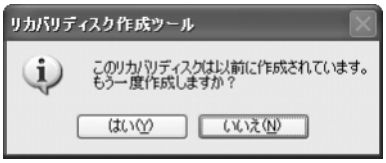
「リカバリディスク作成ツール」画面に現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

ちょっと一言

画面の指示に従ってディスクを入れ換える手順を数回繰り返します。

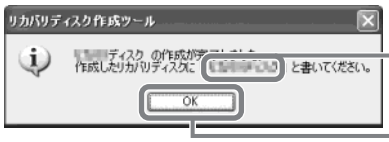
ちょっと一言

すでに作成したことがあるリカバリディスクを再び選択すると次のメッセージが表示されます。
[はい(Y)]をクリックすると作成を続けることができます。



ディスクへの書き込みが完了すると、DVD±RWドライブからディスクトレイが自動的に引き出され、ディスク作成完了のメッセージが表示されます。

5 画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面（データが記録されていない面）に書き込み、OKをクリックする。



❶ ここに表示されるとおりに、ディスクのレーベル面に記載する。

❷ ここをクリックする。

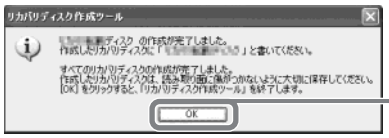
はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順4、5を繰り返します。

リカバリディスクの作成がすべて完了すると、次の「すべてのリカバリディスクの作成が完了しました。」というメッセージが表示されます。

ご注意

ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

6 OKをクリックする。



ここをクリックする。

以上でリカバリディスクの作成は終了です。

リカバリする

リカバリの種類／方法

❑ リカバリの流れ

リカバリは、以下の流れに従って行います。

1 リカバリの準備（バックアップ／BIOS）

データのバックアップを行い、BIOSの設定を出荷時状態に戻します。 185ページ

2 リカバリする

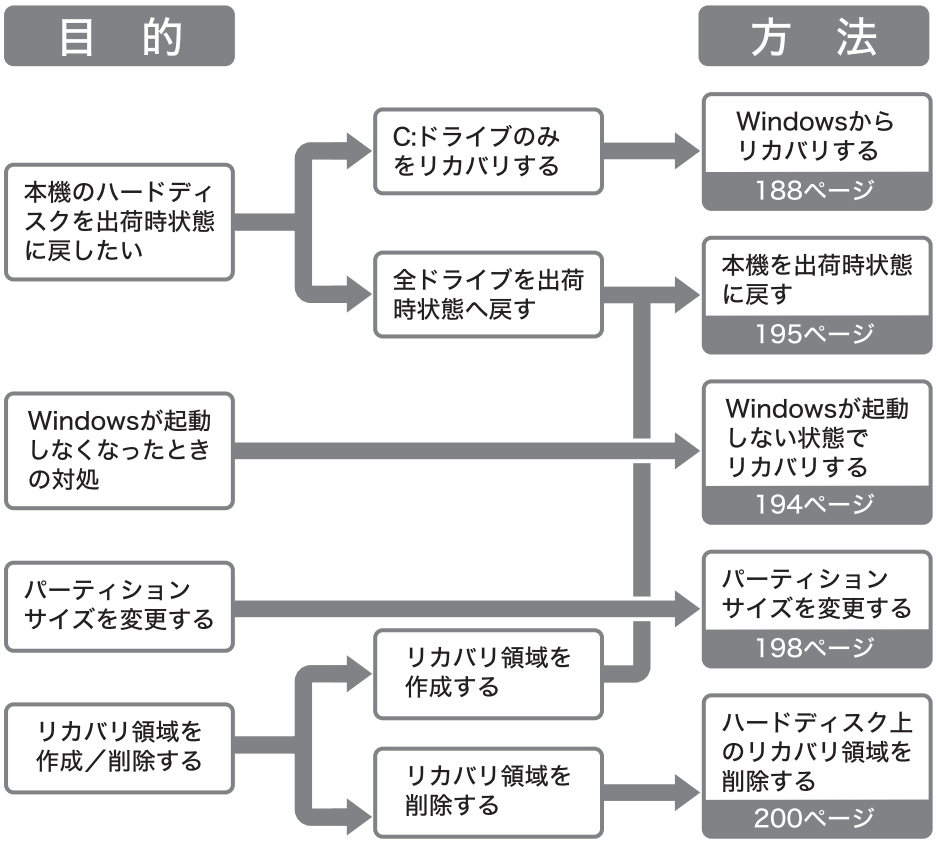
自分の目的に合った方法でリカバリします。 188ページ〜203ページ

3 バックアップしたデータを戻す

リカバリの前にバックアップしておいたデータを元に戻します。 204ページ

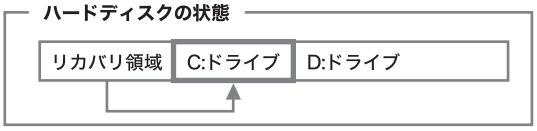
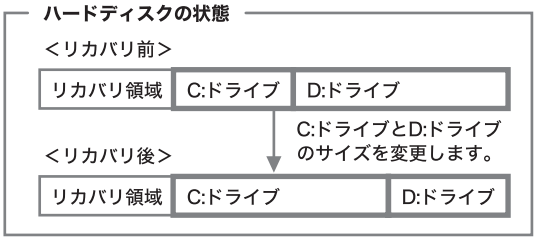
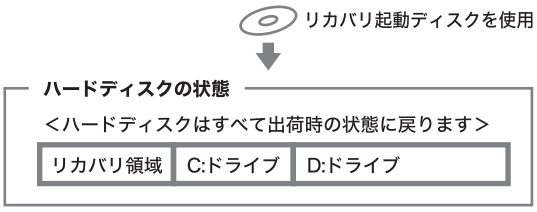
どの方法でリカバリすればいいの？

下記を参照して、ご自分の目的に合った方法でリカバリしてください。

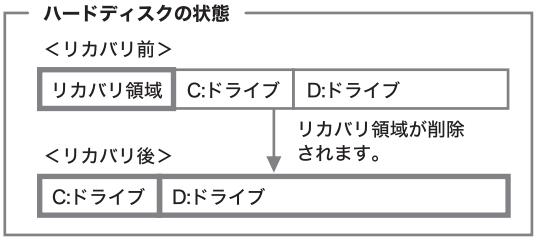


❑ リカバリの種類

リカバリ方法を以下の4種類から選択することができます。通常は、「C:ドライブのリカバリ」を行うことをおすすめします。

リカバリの種類	方法	説明
C:ドライブのリカバリ	• Windows からリカバリする • Windows が起動しない状態でリカバリする	C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、出荷時の設定を復元します。  ※ C:ドライブのデータは削除されますが、D:ドライブのデータは削除されません。
パーティションサイズを変更してリカバリ	パーティションサイズを変更する	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除して、サイズを変更します。その後ハードディスクをフォーマットした上で出荷時の設定を復元します。  ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。
出荷時状態へリカバリ	本機を出荷時状態に戻す	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めて出荷時状態に戻します。その後ハードディスクをフォーマットした上で出荷時の設定を復元します。  ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

また、「リカバリディスク」を使用して、ハードディスクのリカバリ領域を削除することができます。

リカバリの種類	方法	説明
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	リカバリ領域を削除して、リカバリ領域が使用していた容量（約5GB）をデータの保存用などに使用できるようにします。  ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

リカバリの準備（バックアップ／BIOS）

リカバリする前に、データのバックアップを行い、BIOSの設定を出荷時状態に戻してください。

❑ データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-R ／ CD-RW にコピーする。
- DVD ライタブルメディアにコピーする。
- D: ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C: ドライブとD: ドライブの2つのパーティションに分かれています。「Windowsからリカバリする」（188ページ）の手順6で「C: ドライブのリカバリ」を選んだ場合、C: ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D: ドライブにあるファイルは残ります。

ちょっと一言

ここでは、DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RWを総称して「DVDライタブルメディア」と略しています。

ここでは、例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

❶ デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。

❷ ［ツール］メニューから［オプション］をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

❸ ［メンテナンス］タブをクリックし、［保存フォルダ(F)...］をクリックします。

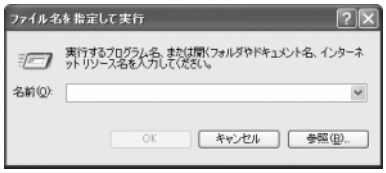
「保存場所」画面が表示されます。

❹ 「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから［すべて選択］をクリックする。

❺ 再度、「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから［コピー］をクリックする。

❻ デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。



❼「名前」のテキストボックスにマウスポインタを合わせ、右クリックして［貼り付け］をクリックし、 OK をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。

❽ 表示されているファイルの中から、拡張子が「＊.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

ちょっと一言

- 「SonicStage（ソニックステージ）」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

  「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］→［SonicStage］の順にポインタを合わせ、［SonicStage］をクリックします。
- CD-R／CD-RWやDVDライタブルメディアにデータをコピーする方法については、「サイバーサポート」画面上部の バイオの使いかた をクリックし、画面左側の［CD／DVD］→［作成］→［CDにデータを保存する］または［DVDにデータを保存する］の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCD-R／CD-RWやDVDライタブルメディアまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

❑ BIOSの設定を出荷時状態に戻す

BIOSの設定を変えた場合は、出荷時の設定に戻してからリカバリしてください。BIOSを出荷時の状態に戻すには、以下のように操作します。

❶ 本機の ⏻（電源）ボタンを押し、画面に「SONY」のロゴが表示されたら、キーボードの F2 キーを押す。

BIOSセットアップメニューが起動し、「BIOS SETUP UTILITY」画面が表示されます。

❷ F5 キーを押す。

「Load Setup Defaults」というメッセージが表示されます。

❸ ←Home／→End キーを押して［Ok］を選び、Enter（エンター）キーを押す。

すべての設定項目が出荷時の設定に戻ります。

❹ F10（Save and Exit）キーを押す。

「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

❺ ←Home／→End キーを押して［Ok］を選び、Enter（エンター）キーを押す。

変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windowsが起動します。

❑ リカバリの前に確認してください

- 本機に接続しているすべての周辺機器を取りはずしてください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべて出荷時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう 1 度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- **本機は、出荷時に、プロダクトアクティベーション（ライセンス認証）は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。**
  リカバリを行った場合は、OS のプロダクトアクティベーション（ライセンス認証）は自動的に完了するためお客様が認証作業を行う必要はありませんが、Office Personal 2003* のプロダクトアクティベーション（ライセンス認証）はお客様が認証作業を行う必要があります。
  * Office Personal 2003プレインストールモデル（一部ソニースタイルモデル）をお使いの方のみ
- BIOS **のパスワードを設定している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。**
  絶対に BIOS **のパスワードを忘れないでください。**

Windowsからリカバリする

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。Windowsが起動できない状態で本機をリカバリするときは、「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(194ページ)をご覧ください。

1

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]→[VAIOリカバリツール]の順にポインタを合わせ、[VAIOリカバリユーティリティ]をクリックする。

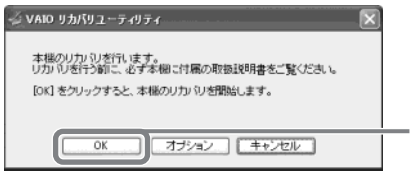
数秒間「リカバリ領域を確認しています。」画面が表示され、次に「本機のリカバリを行います。」画面が表示されます。

ちょっと一言

「リカバリ領域が削除されています。」画面が表示された場合は、「本機を出荷時状態に戻す」(195ページ)をご覧ください。

2

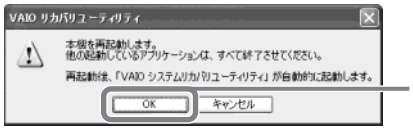
OK をクリックする。



「本機を再起動します。」画面が表示されます。

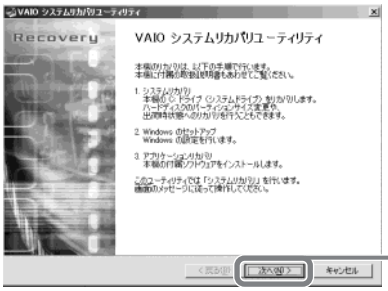
3

OK をクリックする。



本機が再起動して、しばらくすると「VAIO システムリカバリユーティリティ」画面が表示されます。

4 内容をよく読み、次へ(N) > をクリックする。



ここをクリックする。

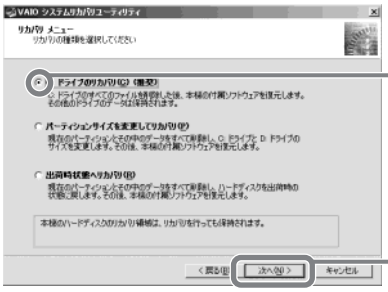
「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 内容をよく読み、次へ(N) > をクリックする。

ここをクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [C:ドライブのリカバリ]の○が◉になっていることを確認して、次へ(N) > をクリックする。

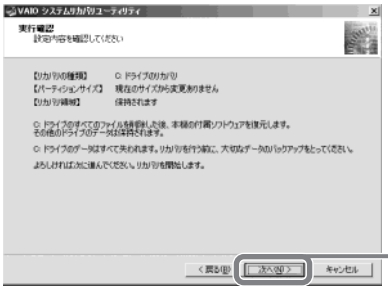


❶ ここを確認する。

❷ ここをクリックする。

「実行確認」画面が表示されます。

7 画面の内容を確認し、次へ(N) > をクリックする。

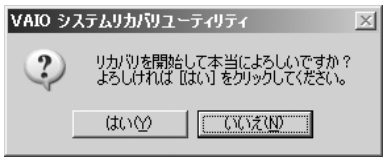


ここをクリックする。

「リカバリを開始して本当によろしいですか？」画面が表示されます。

8 [はい(Y)]をクリックする。

リカバリを中止するときは、[いいえ(N)]をクリックし、続いて「実行確認」画面で[キャンセル]をクリックします。



「リカバリ」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

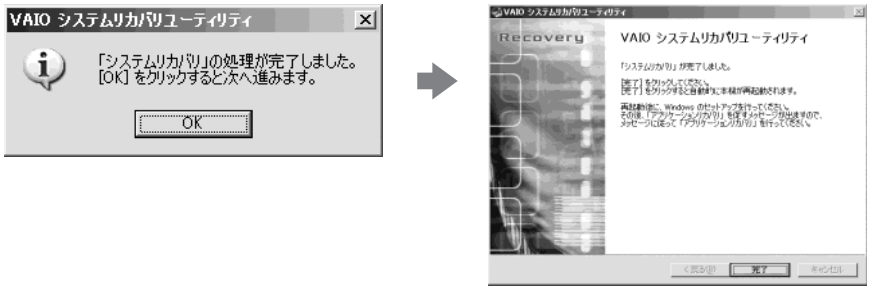
ちょっと一言

リカバリ作業には数十分かかる場合があります。

しばらくすると「「システムリカバリ」の処理が完了しました。[OK]をクリックすると次へ進みます。」画面が表示されます。

9 [OK]をクリックする。

「「システムリカバリ」が完了しました。」画面が表示されます。



10 [完了]をクリックする。

本機が自動的に再起動します。

ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。途中、（ポインタ）だけがしばらく表示されていますが、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

11 「Windowsを準備する」（48ページ）の手順に従って、Windowsをセットアップする。

「VAIO アプリケーションリカバリユーティリティ」画面が表示されます。

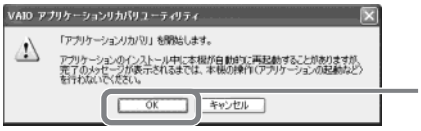
ご注意

Windowsのセットアップ終了後、自動的に再起動します。複数ユーザーを設定している場合は、ユーザー選択画面が表示されます。
この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windowsを起動してください。

ちょっと一言

「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ]→[続行]→[完了]の順にクリックしてください。

12 OK をクリックする。



ここをクリックする。

アプリケーションのインストールを開始します。

ちょっと一言

途中でディスクを挿入するようメッセージが表示された場合は、DVD±RWドライブにディスクを入れてください。

Adobe Premiere Pro日本語版がプレインストールされていないモデルをお使いの方は、手順15に進んでください。

Adobe Premiere Pro日本語版プレインストールモデルをお使いの方は、引き続き次の手順を行ってください。

13 「Adobe(R) Premiere(R) Proを本機にインストールします。」画面が表示されるので、付属のAdobe Premiere Pro日本語版のCD-ROMで、Adobe Premiere Pro日本語版をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。

❶ Premiere Pro CDをDVD±RWドライブに入れる。

❷ 「Select the Language...」画面が表示されたら、「Japanese」が選択されていることを確認してから[OK]をクリックし、引き続き画面の指示に従って操作する。

❸ 「Adobe Premiere Proのインストール」画面が表示されたら、[Adobe Premiere Proのインストール]をクリックし、引き続き画面の指示に従って操作する。

❹ **「ユーザー情報」画面が表示されたら、必要事項とバイオ本体パッケージに同梱されている「**Adobe Premiere Pro**ユーザ登録用紙」に記載のシリアル番号を入力して［次へ］をクリックし、引き続き画面の指示に従って操作する。**

❺ **「**Adobe Premiere Pro**をご利用いただきありがとうございます。」画面が表示されたら、［いいえ、後でコンピュータを再起動します。］の ◯ をクリックして ◉ にし、［完了］をクリックする。**

---

14 「Adobe(R) Premiere(R) Pro**を本機にインストールします。」画面の** OK **をクリックする。**

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのリカバリが始まります。

---

15 Office Personal 2003**がプレインストールされていないモデルをお使いの方は、アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、** OK **をクリックして本機を再起動する。**

これでリカバリが完了しました。

Office Personal 2003プレインストールモデルをお使いの方は、引き続き次の手順を行ってください。

---

16 「Office Personal 2003**を本機にインストールします。」画面が表示されるので、付属の「**Microsoft® Office Personal Edition 2003**プレインストールパッケージ」で** Microsoft® Office Personal Edition 2003**（以降「**Office Personal 2003**」）をインストールする。**

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

❶ Office Personal 2003 CD**を** DVD±RW **ドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。**

❷ **「インストールの種類」画面が表示されたら、［完全インストール］の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ］をクリックする。**

❸ **「ファイルの概要」画面が表示されたら、［完了］をクリックする。**

インストールが始まります。

❹ **「セットアップの完了」画面が表示されたら、［完了］をクリックする。**

Office Personal 2003のインストールが完了しました。

Webサイトでの更新および追加ダウンロードについて

［Web サイトで更新および追加ダウンロードをチェックする］のチェックボックスを☐にした場合でも、インストール完了後に次の操作を行うと、追加コンポーネントまたはセキュリティ問題の修正プログラムをオンラインで利用できます。オンラインで利用する場合は、インターネットに接続している必要があります。

❶ Office Personal 2003**のいずれかのソフトウェアを起動し、［ヘルプ］メニューの［更新のチェック］をクリックする。**

❷ Web**サイトが表示されたら、ページの左側にある［ダウンロード］が選択されていることを確認する。**

❸ **必要な**Office Personal 2003**のアップデートを行う。**

---

17 Office Personal 2003**プレインストールパッケージで、**Microsoft® Office Home Style+**をインストールする。**

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

❶ Microsoft® Office Home Style+ CD**を**DVD±RW**ドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。**

❷ **「セットアップ先のフォルダ」画面が表示されたら、［次へ］をクリックする。**

❸ **「インストールタイプ選択」画面が表示されたら、［標準］の◯をクリックして◉にし、［次へ］をクリックする。**

❹ **「インストールの開始」画面が表示されたら、［次へ］をクリックする。**

インストールが始まります。

❺ **「**Microsoft® Office Home Style+**のインストールが正常に終了しました。」メッセージが表示されたら、［**OK**］をクリックする。**

❻ **「**Microsoft .NET Framework1.1 **パッケージをインストールしますか？」画面が表示されたら、［いいえ］をクリックする。**

Office Home Style+のインストールが完了しました。

---

18 「Office Personal 2003**を本機にインストールします。」画面の** OK **をクリックする。**

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

---

19 **アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、** OK **をクリックして本機を再起動する。**

これでリカバリが完了しました。

20 Office Personal 2003のライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。

また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

- Office Personal 2003のいずれかのソフトウェアを起動する。
- Office Personal 2003のいずれかのソフトウェアの「ヘルプ」メニューの［ライセンス認証］をクリックする。

なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口

電話番号：(0120)801-734　　受付時間：24時間受付

ご注意

インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。
インターネットの接続について詳しくは、「インターネットを始める」(83ページ)をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。

また、リカバリディスクを作成している場合には、その中のリカバリ起動ディスクを使用してリカバリを開始できます。

1 (電源)ボタンを押して本機の電源を入れ、「SONY」ロゴが表示されたあと、F10(F10)キーを押す(起動には数分かかる場合があります)。

「VAIO システムリカバリユーティリティ」画面が表示されます。

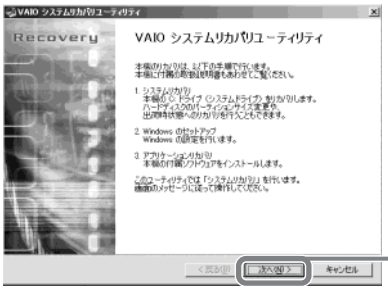
ちょっと一言

リカバリ起動ディスクでもVAIO システムリカバリユーティリティを起動させることができます。本機の電源が入っている状態で、DVD±RWドライブにリカバリ起動ディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れてください。リカバリ起動ディスクでVAIO システムリカバリユーティリティを起動した場合、リカバリにはリカバリ起動ディスクと同時に作成していただいたリカバリディスクが必要となります。

ご注意

「VAIO システムリカバリユーティリティ」画面が表示されない場合は、再び手順1からやり直してください。何度やり直しても「VAIO システムリカバリユーティリティ」画面が表示されない場合は、「本機を出荷時状態に戻す」(195ページ)をご覧ください。

2 内容をよく読み、[次へ(N)>]をクリックする。



ここをクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

3 「Windowsからリカバリする」(188ページ)の手順5以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

本機を出荷時状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すには、以下の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成をもとに戻したい場合も、この手順を行ってください。

ご注意

この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリ起動ディスク」をDVD±RWドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(47ページ)をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切る」(75ページ)をご覧ください。

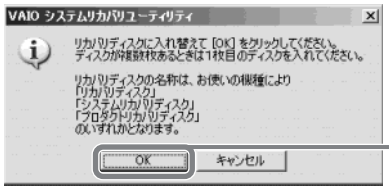
3 30秒ほど待ってから、⏻(電源)ボタンを押して本機の電源を入れる。

「SONY」ロゴが表示されたあと、リカバリ起動ディスクから本機が起動し、「VAIO システムリカバリユーティリティ」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

ご注意

「VAIO システムリカバリユーティリティ」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。

4 リカバリディスク（178ページ）をDVD±RWドライブに入れ、[OK]をクリックする。



ここをクリックする。

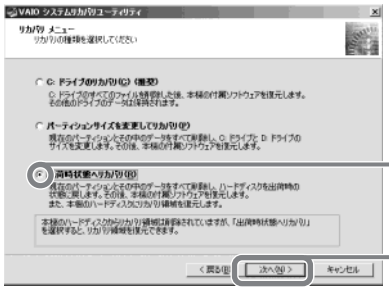
5 内容をよく読み、[次へ(N)>]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

6 内容をよく読み、[次へ(N)>]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

7 [出荷時状態へリカバリ]の○をクリックして、◉にし、[次へ(N)>]をクリックする。

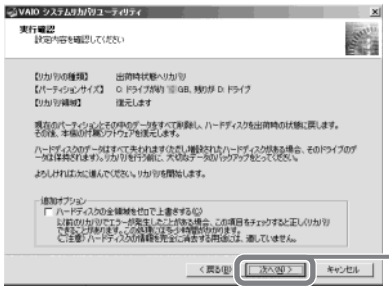


❶ここをクリックする。

❷ここをクリックする。

「実行確認」画面が表示されます。

8 画面の内容を確認し、[次へ(N)>]をクリックする。

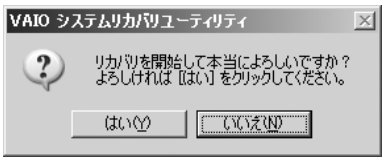


ここをクリックする。

「リカバリを開始して本当によろしいですか？」画面が表示されます。

9 はい(Y)をクリックする。

リカバリを中止するときは、いいえ(N)をクリックし、続いて「実行確認」画面で キャンセル をクリックします。



「リカバリ」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。画面の指示に従って操作してください。

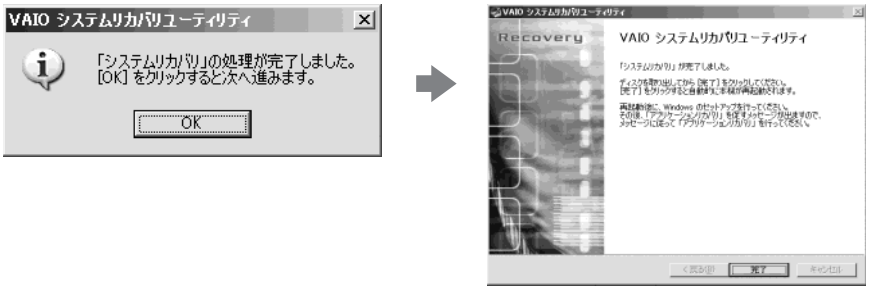
ちょっと一言

リカバリ作業には数十分かかる場合があります。

しばらくすると「「システムリカバリ」の処理が完了しました。[OK]をクリックすると次へ進みます。」画面が表示されます。

10 OKをクリックする。

「「システムリカバリ」が完了しました。」画面が表示されます。



11 ディスクをディスクトレイから取り出し、完了をクリックする。

本機が自動的に再起動します。

ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。途中、（ポインタ）だけがしばらく表示されていますが、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

12 「Windowsからリカバリする」（188ページ）の手順11以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

パーティションサイズを変更する

パーティションとは

ハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「SonicStage(ソニックステージ)」ソフトウェアや「DVgate Plus(ディーブイゲート プラス)」ソフトウェア、「Giga Pocket(ギガ ポケット)」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定されています(出荷時)。

本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。

より多くのハードディスク容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます(200ページ)。

動画の取り込みや書き出しを行う場合は、大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)またはフォーマットを行ってください。

パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するのに非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ(最適化)とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ(最適化)により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

パーティションサイズを変更するには

以下の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

ご注意

この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

ちょっと一言

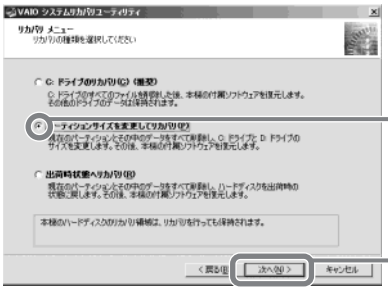
「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。
バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

---

1 **「Windowsからリカバリする」(188ページ)の手順1～5を行う。**

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

2 [パーティションサイズを変更してリカバリ]の◯をクリックして◉にし、次へ(N) > をクリックする。



❶ ここをクリックする。

❷ ここをクリックする。

「パーティション メニュー」画面が表示されます。

ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

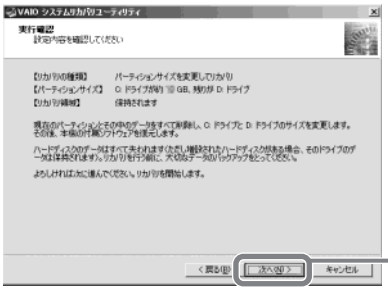
3 C:ドライブのパーティションサイズを▼をクリックして選び、次へ(N) > をクリックする。

❶ クリックして選ぶ。

❷ ここをクリックする。

「実行確認」画面が表示されます。

4 画面の内容を確認し、次へ(N) > をクリックする。

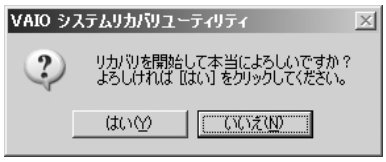


ここをクリックする。

「リカバリを開始して本当によろしいですか？」画面が表示されます。

5 [はい(Y)]をクリックする。

パーティションサイズの変更を中止するときは[いいえ(N)]をクリックし、続いて「実行確認」で[キャンセル]をクリックします。



パーティションサイズが変更されリカバリ作業が自動的に開始されます。

ちょっと一言

リカバリ作業には数十分かかる場合があります。

しばらくすると、「「システムリカバリ」の処理が完了しました。[OK]をクリックすると次へ進みます。」画面が表示されます。

6 「Windowsからリカバリする」(188ページ)の手順9以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

以下の手順でリカバリディスクを使ってハードディスク上のリカバリ領域を削除できます。

ご注意

- 「リカバリディスクを作成する」(178ページ)の手順に従ってリカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。
- この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリ起動ディスク」をDVD±RWドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(47ページ)をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切る」(75ページ)をご覧ください。

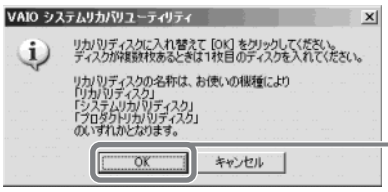
3 30秒ほど待ってから、⏻（電源）ボタンを押して本機の電源を入れる。

「SONY」ロゴが表示されたあと、リカバリ起動ディスクから本機が起動し、「VAIO システムリカバリユーティリティ」画面が表示されます（起動には数分かかる場合があります）。

ご注意

「VAIO システムリカバリユーティリティ」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。

4 リカバリディスクをDVD±RWドライブに入れ、OKをクリックする。



ここをクリックする。

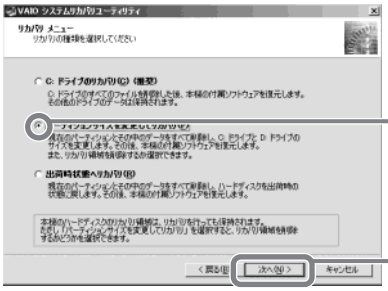
5 「VAIO システムリカバリユーティリティ」画面が表示されるので内容をよく読み、次へ(N) >をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

6 内容をよく読み、次へ(N) >をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

7 [パーティションサイズを変更してリカバリ]の◯をクリックして◉にし、次へ(N) >をクリックする。

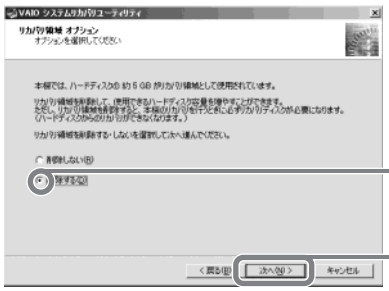


❶ ここをクリックする。

❷ ここをクリックする。

「リカバリ領域 オプション」画面が表示されます。

8 [削除する]の◯をクリックして◉にし、次へ(N) > をクリックする。



❶ここをクリックする。

❷ここをクリックする。

「パーティション メニュー」画面が表示されます。

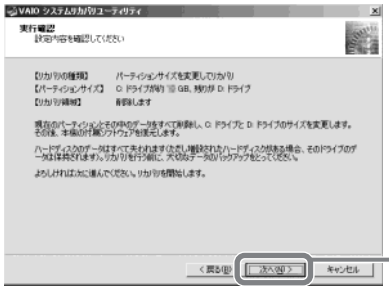
9 次へ(N) > をクリックする。

❶ C:ドライブのパーティションサイズを変更したいときは、ここで設定する。

❷ ここをクリックする。

「実行確認」画面が表示されます。

10 画面の内容を確認し、次へ(N) > をクリックする。

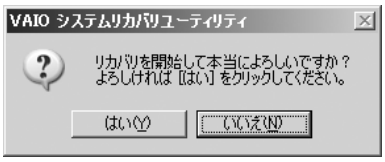


ここをクリックする。

「リカバリを開始して本当によろしいですか？」画面が表示されます。

11 [はい(Y)]をクリックする。

リカバリ領域の削除を中止するときは[いいえ(N)]をクリックし、続いて「実行確認」で[キャンセル]をクリックします。



「リカバリ」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。画面の指示に従って操作してください。

ちょっと一言

リカバリ作業には数十分かかる場合があります。

しばらくすると、「「システムリカバリ」の処理が完了しました。[OK]をクリックすると次へ進みます。」画面が表示されます。

12 「Windowsからリカバリする」(188ページ)の手順9以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータをもとに戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。

ここでは、例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

❶ デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が表示されたときは、キャンセル をクリックして画面を閉じてください。

❷ ［ファイル］メニューから［インポート］にポインタを合わせ、［メッセージ］をクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

❸「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、［Microsoft Outlook Express 6］をクリックし、次へ(N) > をクリックする。

「場所の指定」画面が表示されます。

❹ ［Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする］の◯をクリックして◉にし、OK をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

❺ 参照(B)... をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して OK をクリックし、次へ(N) > をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

❻ ［すべてのフォルダ］の◯をクリックして◉にし、次へ(N) > をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

❼ 完了 をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

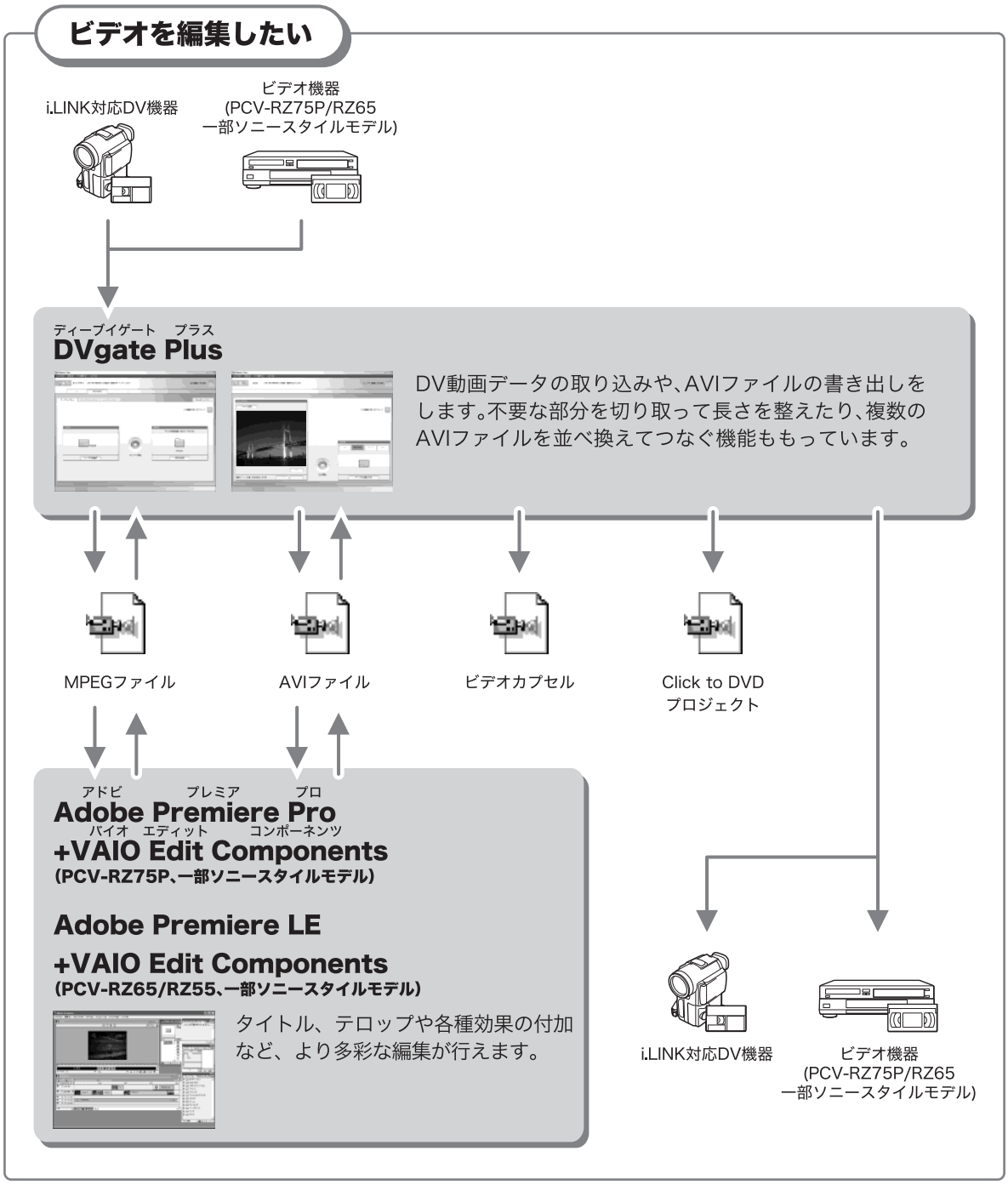
その他

本機をお使いになる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明します。

動画系ソフトウェアの使いかた……206
コンピュータ廃棄時等のハードディスク上のデータ消去に関するご注意……208
使用上のご注意……209
お手入れ……213
保証書とアフターサービス……214
付属ソフトウェアのお問い合わせ先……215

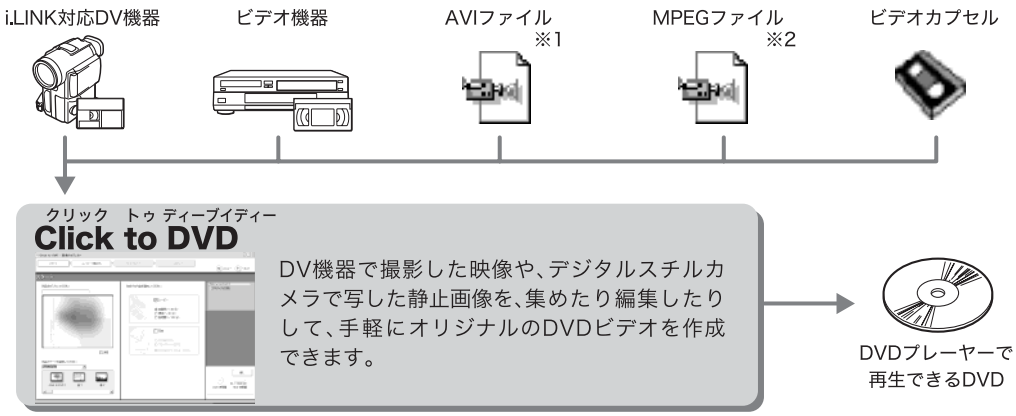
動画系ソフトウェアの使いかた

本機には動画を操作できる多くのソフトウェアが付属しています。ここでは代表的なソフトウェアとそれぞれのソフトウェアで処理することができるファイル形式について簡単にご紹介します。各ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。本機とAV機器やi.LINK対応機器のつなぎかたについては、「接続する／準備する」（31ページ）、「テレビ／ビデオデッキをつなぐ」（136ページ）または「i.LINK対応機器をつなぐ」（144ページ）をご覧ください。

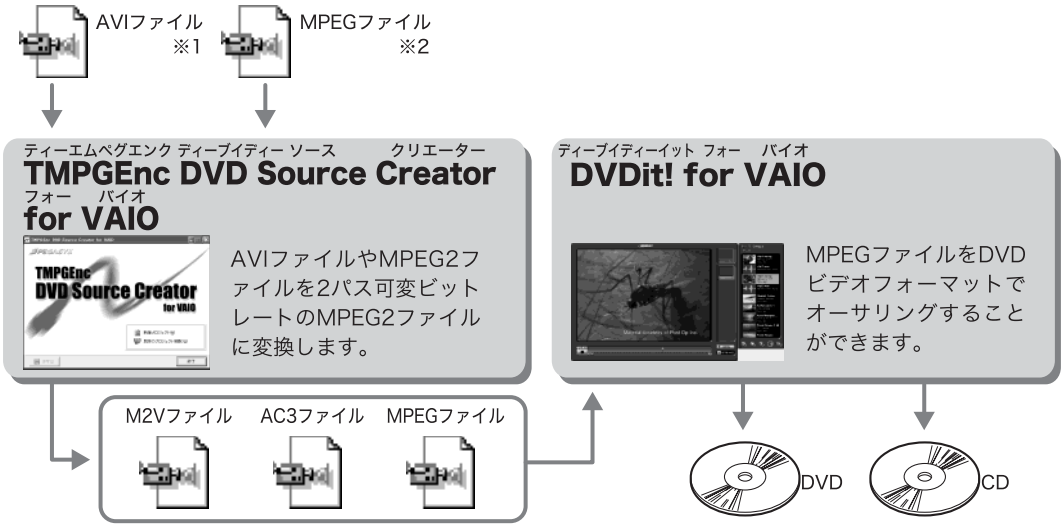


DVDビデオを作成したい

きれいなメニューのオリジナルＤＶＤビデオを手軽に作成

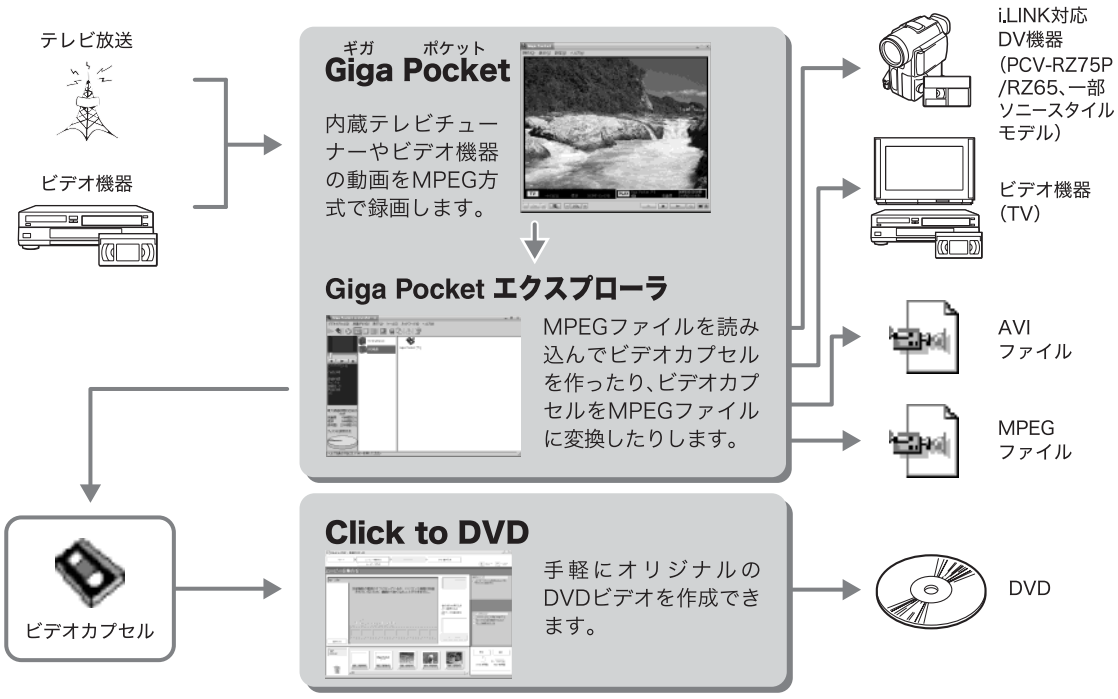


長時間のＤＶＤディスクを作成したい



※1 DVgate Plusでキャプチャしたもの。VAIO Edit Components、Giga Pocket エクスプローラから作成したもの。
※2 DVgate Plus、VAIO Edit Components、Giga Pocketエクスプローラで作成したもの。

テレビ番組を見たい、録画したい（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル）



コンピュータ廃棄時等のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、コンピュータはオフィスや家庭などでいろいろな用途に使われ、ハードディスクにはお客様の重要なデータが記録されています。

コンピュータを廃棄等するときには、これらの重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には以下のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- リカバリを行い、工場出荷状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**ユーザーの責任において消去することが非常に重要となります。**消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（いずれも有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れなくすることをおすすめします。

なお、消去のための専用ソフトウェアなどについての詳細は、バイオホームページ内‘ サポート ”ページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/iforu/hotnews/2002/04/001/index.html）より「ハードディスク上のデータ消去に関するご注意」をご参照ください。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- CD-R／CD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RWにデータを記録中に振動や衝撃を与えないでください。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- ほこりが多い場所では使用しないでください。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。

ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイについて
  液晶ディスプレイの画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- ディスプレイの表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイを戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まるまでお待ちください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせて布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジン、アセトン、アルコールなど有機溶剤はディスプレイを傷めることがありますので、使わないでください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク（アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置）が内蔵されています。

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、本来はほこりや振動に弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。

ハードディスクにはほこりや振動からデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 振動や衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

ハードディスクのバックアップをとる

ちょっと一言

本機は、出荷時状態で、ハードディスクにリカバリディスクを作成するツールが入っています。
詳しくは、「リカバリディスクを作成する」（178ページ）をご覧ください。

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

マウスについて

- マウスの底面から発せられている赤い光を見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。
- マウスのセンサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。

本機へのアナログ入力についてのご注意

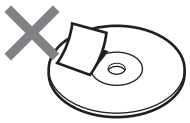
「DVgate Plus（ディーブイゲート プラス）」ソフトウェアまたは「Giga Pocket（ギガ ポケット）」ソフトウェアを使って、本機のアナログ入力コネクタから静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

- 取り込む静止画や動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機後面のVIDEO1 INPUTコネクタまたは本機前面のVIDEO 2 INPUTコネクタにつないだケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われてないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

CDやDVDなどのディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



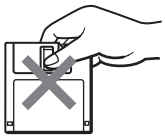
- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。ディスクは記録面が汚れるとデータの読み込み、書き込みができなくなります。記録面には触れないでください。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光が当たって高温になった自動車の中に長時間放置しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなどで文字を書くと、記録面を傷つけ、データの読み込みや書き込みができなくなることがあります。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部にディスクが貼り付いて、本機の故障の原因となることがあります。ラベルが正しく貼られていることを確認してからディスクをお使いください。
  ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。

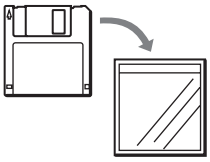
フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。



- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。



- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると本体内部にディスクが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みの上、お使いください。

ディスクドライブの地域番号（リージョンコード）書き換えについて

お買い上げ時、本機のディスクドライブの地域番号は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。

ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。

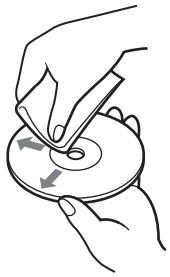
お手入れ

本機／ディスプレイ／マウスのお手入れ

- 本機やディスプレイおよびマウスについたゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 本機やディスプレイの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ぬれたもので本機やディスプレイおよびマウスを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

CD-ROM／DVD-ROMディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

書き込みのできるCDやDVDディスクのお手入れ

- 未記録部分に傷やほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。
- ベンジンやシンナー、クリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

キーボードのお手入れ

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーの間は、エア・スプレーなどでゴミやほこりを散らしてください。

ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、キーボードを本機から取りはずしてからキーボードを掃除してください。
- ぬれたものでキーボードを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月です。カスタマー登録していただいたお客様は1年間となります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう１度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の「困ったときは」の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。

当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは別冊の「困ったときは」の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の修理により、ハードディスクなどのプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- お客さまのカスタマーID：
- 型名：保証書に記載されています。
- 製造番号：
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

修理用補修部品について

ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品を使用することがあります。

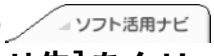
また原則として交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で本機の電子マニュアル「サイバーサポート」を表示させてご覧ください。

1 デスクトップ画面の をダブルクリックする。

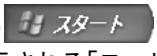
「サイバーサポート」が表示されます。

2 画面上部の  をクリックし、画面左側の［付属ソフトご紹介/お問い合わせ先］をクリックする。

3 表示されたリストから項目を選びソフトウェア名をクリックする。

ご注意

- Windows XPでは、使用者がOS上で作業を行うために機能を使用するための権限とアクセス許可を必要とします。本機に付属するソフトウェアの中でも、同様に使用するための権限とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログオンしているユーザーに対し、必要な権限とアクセス許可が与えられていない可能性があります。その場合は、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーで再度ログオンするか、お使いのユーザーに「コンピュータの管理者」アカウントの権限を与える設定にして作業をやり直してください。「コンピュータの管理者」アカウントの使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

  権限とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の  をクリックして［コントロール パネル］→［ユーザーアカウント］の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独で アンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

テレビ録画

❑ Giga Pocket(「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル)
(テレビ録画／管理／再生 統合ソフト)
VAIOカスタマーリンク

❑ iRCommander(「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル)
(Giga Pocket リモート予約)
VAIOカスタマーリンク
iCommandサービス(リモート予約)について
ホームページ:http://www.so-net.ne.jp/tv/

ビデオ編集・再生

❑ DVgate Plus
(デジタルビデオ動画／静止画入出力／簡易編集)
VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Premiere(R) Pro日本語版(PCV-RZ75P、一部ソニースタイルモデル)
(動画編集・加工)
アドビ システムズ テクニカルサポート
電話番号:0570-023623(ナビダイヤル)
初回コールより90日間の無料サポート。以降は同社による有料サポートメニューが用意されています。
有料サポートのお申し込み手続きについては、アドビシステムズサポート契約センターへ(電話:(03)5350-8688)

ご注意

アドビシステムズ株式会社の登録用紙には、ユーザ登録、サポートを受ける際に必要となる「シリアル番号」が印刷されています。
登録用紙を保管するか、コピーするなどして、「シリアル番号」を大切に保管してください。

❑ Adobe(R) Premiere(R) LE 日本語版(PCV-RZ65／RZ55、一部ソニースタイルモデル)
(動画編集・加工)
アドビ システムズ テクニカルサポート
電話番号:0570-023623(ナビダイヤル)
初回コールより90日間の無料サポート。以降は同社による有料サポートメニューが用意されています。
有料サポートのお申し込み手続きについては、アドビシステムズサポート契約センターへ(電話:(03)5350-8688)

ご注意

「シリアル番号」の保管について
アドビシステムズ株式会社のアップグレードチラシ(付属)には、ユーザ登録、ならびに特別優待価格でフルバージョンへアップグレードする際に必要となる「シリアル番号」が印刷されています。
アップグレードチラシを保管するか、チラシをコピーするなどして、「シリアル番号」を大切に保管してください。

❑ VAIO Edit Components
(Adobe Premiereプラグイン)
VAIOカスタマーリンク

❑ RealOne Player
(AV再生・ストリームプレーヤー)
リアルネットワークス株式会社
電話番号:(03)5302-2313
受付時間:月曜～金曜 10:00 - 17:00(12:00 - 13:00除く)リアルネットワークス株式会社規定の休日・祝日を除く
ホームページ:http://service.jp.real.com/

❑ Windows Media(TM) Player
(AV再生・ストリームプレーヤー)
VAIOカスタマーリンク

❑ QuickTime(TM)
(ムービープレーヤー)
VAIOカスタマーリンク

❑ PowerDVD(TM) XP for VAIO
(DVDビデオ再生)
VAIOカスタマーリンク

DVD作成

❑ Click to DVD
（DVD作成ソフト）
VAIOカスタマーリンク

❑ DVDit!(R) for VAIO
（DVD-Videoオーサリングソフト）
ソニックDVDサポートセンター
電話番号：(03)5232-5065
受付時間：10時～12時、13時～17時、月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始および特別行事日を除く）
電子メール：dvdsupport@sonicjapan.co.jp
ホームページ：
http://www.sonicjapan.co.jp/support/

❑ TMPGEnc DVD Author for VAIO
（DVD-Videoオーサリングソフト）
ペガシス　サポートセンター
電話番号：(03)5624-2161
受付時間：月曜～金曜：10時～13時, 14時～18時（年末年始、祝日を除く）
ホームページ：http://www.pegasys-inc.com/

❑ TMPGEnc DVD Source Creator for VAIO
（MPEGソフトエンコーダー）
ペガシス　サポートセンター
電話番号：(03)5624-2161
受付時間：月曜～金曜：10時～13時, 14時～18時（年末年始、祝日を除く）
ホームページ：http://www.pegasys-inc.com/

音楽

❑ SonicStage
（OpenMG対応音楽ファイル管理／再生ソフト）
VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Mastering Studio
（OpenMG対応音楽ファイル管理／再生ソフト）
VAIOカスタマーリンク

❑ DigiOnSound(R) L.E. for VAIO
（PCV-RZ75P、一部ソニースタイルモデル）
（サウンド編集）
株式会社デジオン サポートセンター
電話番号：(092)833-6288
受付時間：月曜～金曜：
10時～12時、13時～17時
（祝日、特別休業日を除く）
ファックス番号：(092)833-6278
電子メール：support@digion.com
ホームページ：http://www.digion.com/
サポートセンターにお問い合わせの際は、DigiOnSound3 L.E. for VAIOのユーザー登録をお済ませのうえ、シリアル番号をご用意ください。

静止画・写真

❑ PictureGear Studio
（静止画管理／加工／プリント統合ソフト）
VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Photoshop(R) Elements
（静止画作成・加工（フォトレタッチ））
アドビ システムズ テクニカルサポート
電話番号：0570-023623（ナビダイヤル）
初回コールより90日間の無料サポート。以降は同社による有料サポートメニューが用意されています。
有料サポートのお申し込み手続きについては、アドビシステムズサポート契約センターへ（電話：(03)5350-8688）
ホームページ：
http://www.adobe.co.jp/support/main.html

ご注意

「シリアル番号」の保管について
アドビシステムズ株式会社のアップグレードチラシ（付属）には、ユーザ登録、ならびに特別優待価格でフルバージョンへアップグレードする際に必要となる「シリアル番号」が印刷されています。
アップグレードチラシを保管するか、チラシをコピーするなどして、「シリアル番号」を大切に保管してください。

ホームネットワーク

❑ VAIO Media
（音楽・静止画・ビデオ統合プレーヤー）
VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Media Integrated Server
（VAIO Media**統合サーバー）**
VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ Network Smart Capture
（ビジュアルコミュニケーション）
VAIOカスタマーリンク

インターネット・メール

❑ Microsoft(R) Outlook Express
（電子メール）
VAIOカスタマーリンク

❑ Microsoft(R) Internet Explorer
（インターネットブラウザ）
VAIOカスタマーリンク

❑ Google **ツールバー**(TM) **日本語版（ブラウザツールバー）**
Google Inc.
電子メール：toolbar-support-ja@google.com

ISP**サインアップ**

❑ **インターネット接続サービスご紹介**

■AOL**サインアップツール**
（サービスプロバイダ）
ドコモAOL　AOLメンバーサポートセンター
電話番号（会員サポート）：（0120）275-265（フリーダイヤル）
電話番号（入会問い合わせ）：（0120）265-265（フリーダイヤル）
電話番号（携帯電話、PHSおよび国際電話によるサポート）：（03）5331-7400
受付時間：9時～21時（年中無休）
ファックスサービス：（0120）275-265
電子メール：AOLJapanMS@aol.com
ホームページ：http://www.jp.aol.com/

■@nifty**でインターネット**
（サービスプロバイダ）
ニフティ株式会社　@nifty ブロードバンド導入 ご相談窓口
電話番号：（0120）816-042（フリーダイヤル）
携帯・PHS・国際電話の場合：（03）5753-2374
（電話料金はお客様ご負担となります）
受付時間：毎日9時～21時
（ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。）
ホームページ：
http://www.nifty.com/support/madoguchi/

■BIGLOBE**でインターネット**
（サービスプロバイダ）
BIGLOBEカスタマーサポート　インフォメーションデスク
電話番号：通話料無料（0120）86-0962
電話番号（携帯電話・PHS・CATV電話）：
（03）3947-0962
受付時間：9時～22時 365日受付
電子メール：お問い合わせは以下のフォームをご利用ください。
http://support.biglobe.ne.jp/ask.html
ホームページ：http://support.biglobe.ne.jp/

■DION**スターターキット**
（サービスプロバイダ）
電話番号（サービス内容に関するお問い合わせ）：（0077）7192（無料）
受付時間：9時～21時（土・日・祝日も受付中）
電子メール：メールでのお問い合わせはホームページから。
http://cs119.kddi.com/dion/
電話番号（接続・設定などに関するお問い合わせ）：（0077）7084（無料）
受付時間：24時間受付（土・日・祝日も受付中）
メールでのお問い合わせはホームページから。
http://cs119.kddi.com/dion/

■OCN**スタートパック**
（サービスプロバイダ）
OCNスタートパックヘルプデスク
電話番号：（0120）047-747
受付時間：月曜～金曜：9時～21時、
土曜・日曜・祝日：9時～17時
（年末・年始は休業とさせていただきます）
電子メール：info@ocn.ad.jp
ホームページ：http://www.ocn.ne.jp/

■ODN**スターターキットソフトウェア**
（サービスプロバイダ）
日本テレコム株式会社　ODNサポートセンター
電話番号（ダイアルアップコースに関するお問い合わせ）：0088-86（無料）
電話番号（ADSL/光コースに関するお問い合わせ）：0088-222-375（無料）
受付時間：24時間自動音声受付（9時～18時はオペレーターによるご案内も選択できます。）
電子メール：
odn-support@odn.ad.jp
（ダイアルアップコース）
info-adsl@odn.ad.jp
（ADSL/光コース）
ホームページ：http://www.odn.ne.jp/counter/

■**ぷらら入会／接続ソフト**（P'z Dialer）
（サービスプロバイダ）
株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイヤル」
電話番号（入会に関するお問い合わせ）：009192-39（通話料無料）
受付時間：10時～22時（12/29～1/3および5/3～5/5を除く）
電話番号（設定などに関するお問い合わせ）：009192-33（通話料無料）
受付時間：月曜～金曜：12時～21時、土曜日曜祝日：12時～19時（12/29～1/3および5/3～5/5を除く）
電話番号（携帯電話・PHS・公衆電話・海外などからご利用の場合）：（03）5954-5330
（受付時間：月曜～金曜：12時～21時、土曜日曜祝日：12時～19時、12/29～1/3および5/3～5/5を除く）
通話料金は、お客様負担となりますのでご注意ください。
電子メール：kojin@plala.or.jp
ホームページ：http://www.plala.or.jp/access/

■So-net**簡単スターター**V2
（サービスプロバイダ）
So-netインフォメーションデスク
電話番号（全国共通 3分8.5円）：0570-00-1414
電話番号（携帯・PHSからおかけになる場合）：札幌（011）711-3765／仙台（022）256-2221／東京（03）3446-7555／名古屋（052）819-1300／大阪（06）6577-4000／広島（082）286-1286／福岡（092）624-3910
受付時間：9時～21時　年中無休

■Yahoo! BB**オンラインサインアップ**
（サービスプロバイダ）
Yahoo! BBカスタマーサポートセンター
電話番号：（0120）919-820
受付時間：24時間/年中無休
※23時から翌朝9時までの時間は、モデムの故障やネットワーク障害についてのお問い合わせのみ受け付けております。
※ 携帯電話、PHSからおかけになる場合は、下記の番号をご利用ください。この場合、通話料金はお客様ご負担となります。
（03）6688 -5001（東京）
電子メール：help@ybb-support.jp
ホームページ：http://bb.yahoo.co.jp/
BBフォンのお問い合わせ先：
BBフォンインフォメーションセンター
電話番号：（0120）820-463
受付時間：9時～23時/年中無休（施設点検日およびメンテナンス日は休業）

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Personal Edition 2003 **（一部ソニースタイルモデル）（ワープロ・表計算・個人情報管理）**

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Microsoft Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月～金：9時30分～12時、13時～19時、土曜日：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜・祝日を除く）
セットアップ、インストールに関するお問い合わせ：マイクロソフト スタンダードサポートにてサポートいたします。期間、回数の指定はありません。こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月～金：9時30分～12時、13時～19時、土・日：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Microsoft Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Microsoft Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Microsoft Office Personal Edition 2003 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

起動するときは：
スタート →［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］から各ソフトをクリックして起動します。

Microsoft Office Home Style+ について

スタート →［すべてのプログラム］→［Microsoft Office Home Style+ガイド］をクリックして表示される情報もご覧ください。

実用ツール

❑ Drag'n Drop(R) CD+DVD（DVD+R/RW•DVD-R/RW•CD-R/RWライティングソフトウェア）

イージーシステムズジャパン株式会社
ホームページ：
http://www.ddcd.jp/dd3/sony/cd/index.html
製品FAQページ：
http://www.ddcd.jp/dd3/sony/cd/faq.html
オンラインサポート*：
http://www.ddcd.jp/dd3/sony/cd/tosupport.html

*Drag'n Drop CD+DVDは180日間のオンラインサポートのみとなります。

❑ 駅すぱあと（電車交通案内）

ユーザーサポートセンター
電話番号（テクニカル）：（03）5373-3522
電話番号（バージョンアップ）：
（03）5373-3521
受付時間：月曜～金曜：9時～12時、13時～17時（祝日、年末年始、夏期休暇を除く）
ファックス番号：（03）5373-3523
電子メール：support@val.co.jp
ホームページ：http://ekiworld.net/

❑ デジタル全国地図（インターネット地図ソフト）

お客様相談室
電話番号：（0120）210-616
受付時間：月曜～金曜：10時～17時
（祝日・株式会社 ゼンリンデータコム指定休日は除く）
電子メール：
zmaponnet@zenrin-datacom.net
ホームページ：http://www.zmap.net/

❑ Adobe(R) Reader(R)（PDFビューワー）

VAIOカスタマーリンク

❑ Norton AntiVirus 2003（ウイルスチェッカー）

シマンテックテクニカルサポートセンター
電話番号：（03）5836-2621
受付時間：月曜～金曜10時～12時、13時～17時（年末年始・祝日を除く）
ファックス番号：（03）5836-2623

ご注意

なお、上記サポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにてカスタマーIDの取得が必要です。
http://www.symantecstore.jp/oem/sony/

カスタマーID取得に関するお問い合わせ
シマンテック　カスタマーサービスセンター
電話番号：（03）5836-2654
受付時間：月曜～金曜10時～12時、13時～17時（年末年始・祝日を除く）
ファックス番号：（03）5836-2655

ご注意

Norton AntiVirusは、本機初回起動時より90日間無償でウイルス定義ファイル（ワクチンファイル）のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。テクニカルサポート提供期間はウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく90日間となります。ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテックホームページをご覧になり、お申し込みください。
http://www.symantecstore.jp/oem/sony/

ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。
シマンテックストア
電話番号：（03）3476-1192
受付時間：月曜～金曜 10時～12時、13時～17時（年末年始・祝日を除く）
ファックス番号：（03）5836-3871

設定・ユーティリティ

❑ バイオメニュー（バイオ専用ソフトウェアランチャー）

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Action Setup（アプリケーション等起動設定）

VAIOカスタマーリンク

❑ **メモリースティックフォーマッタ（メモリースティックフォーマットツール）**

ソニー株式会社　お客さまご相談センター
電話番号（ナビダイヤル）：0570-00-3311
電話番号（携帯電話・PHSでのご利用）：
（03）5448-3311
ファックス番号：（0466）31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00
ホームページ：
http://www.sony.net/memorystick/support/

❑ DV**アナログ入出力切り替えツール（**PCV-RZ75P／RZ65**、一部ソニースタイルモデル）（各種ユーティリティ）**

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO**システム情報（各種ユーティリティ）**

VAIOカスタマーリンク

❑ **ディスプレイユーティリティ（各種ユーティリティ）**

詳細は付属ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

サポート・ヘルプ

❑ CyberSupport for VAIO **（バイオマニュアル）**

VAIOカスタマーリンク

❑ **できる**Windows XP for VAIO **（**Windows**入門書（**HTML**））**

インプレスカスタマーセンター
電話番号：（03）5213-9295

❑ How to VAIO **（バイオの基礎を学習）**

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO**リカバリユーティリティ（リカバリツール）**

VAIOカスタマーリンク

❑ **リカバリディスク作成ツール（リカバリツール）**

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Update **（自動アップデート）**

VAIOカスタマーリンク

その他

❑ Java(TM)Software

サン・マイクロシステムズ株式会社
ホームページ：http://www.java.com/ja/

❑ VAIO**オンラインカスタマー登録（オンラインカスタマー登録）**

ソニーマーケティング株式会社
カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
受付時間：月曜～金曜日 10時～18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

❑ UI Design Selector **（**VAIO**オリジナル**GUI**セットアップ）**

VAIOカスタマーリンク

❑ **おトク情報のご紹介（ご紹介画面）**

ソニー株式会社「おトク情報紹介」お問い合わせ窓口
受付時間：月曜～金曜日：9時～17時30分
（年末年始、祝日を除く）
電子メール：info@grami.ne.jp

❑ **各種サービスの紹介（ご紹介画面）**

■イメージステーション

ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：（0466）30-3012
受付時間：10時～18時（土・日・祝日・年末年始は除く）
電子メール：info@imagestation.jp

■Webpocket

ウェブポケットカスタマーセンター
電子メール：wp-info@webpocket.net
受付時間：10時～18時（土・日・祝日、および年末年始は除く）
ホームページ：http://www.webpocket.net/

■今すぐとろう！バイオメールアドレス

ソニースタイルカスタマーセンター
電話番号：（0466）30-3012
受付時間：10時～18時（土・日・祝日・年末年始は除く）
電子メール：
v-networkservice@vs01.vaio.ne.jp
ホームページ：http://www.vaio.ne.jp/

■VAIO Game Center**のご紹介**

ソニーマーケティング株式会社
ホームページ：
http://www.vaio.sony.co.jp/game/index.html

重要なお知らせ

この章では、本機をお使いになる際の重要な情報について説明していますので、必ずお読みください。

本機をお使いになるときの重要なお知らせ

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここ以外にも本機で閲覧できる重要なお知らせがあります。下記の手順に従い、このページからのお知らせとあわせてご覧ください。

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［重要なお知らせ］をクリックし、「重要なお知らせ」を表示します。

- 「Adobe Premiere Pro（アドビ プレミア プロ）」ソフトウェアで DVDビデオが作成できない場合（PCV-RZ75P、一部ソニースタイルモデル） 225ページ
- DVDを作成するときのご注意 225ページ
- DVDを再生するときのご注意 226ページ
- ハイパースレッド（Hyper Threading）機能についてのご注意 226ページ
- 「PowerDVD XP for VAIO（パワーディーブイディーエックスピーフォー バイオ）」ソフトウェアをお使いになるときのご注意 226ページ
- テレビでDVDビデオをご覧になるときのご注意（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル） 227ページ
- 「DVDit! for VAIO（ディーブイディーイットフォー バイオ）」ソフトウェアを使って CDへの書き込みを行うときのご注意 228ページ
- 「DVDit! for VAIO」ソフトウェアをお使いになるときのご注意 228ページ
- 「Giga Pocket（ギガ ポケット）」ソフトウェアを起動するときのご注意（PCV-RZ75P／RZ65、一部ソニースタイルモデル） 229ページ
- 本機へアナログ入力するときのご注意 230ページ
- “ メモリースティック デュオ ”をお使いになるときのご注意 230ページ
- “ メモリースティック ”をお使いになるときのご注意 231ページ
- 本機にメモリを増設するときのご注意 231ページ
- スマートメディアをお使いになるときのご注意 231ページ
- “ メモリースティック ”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合 232ページ
- ドライブを増設するときのご注意（“ メモリースティック ” アイコンなどが正しく表示されない） 232ページ
- PCNA-MR1（ルームリンク）をご使用になるお客様へ 232ページ
- ソニースタイルモデルをご購入のお客様へ 233ページ

「Adobe Premiere Pro」ソフトウェアでDVDビデオが作成できない場合（PCV-RZ75P、一部ソニースタイルモデル）

「Adobe Premiere Pro」ソフトウェアでDVDビデオが作成できない場合は、次の手順に従って、DVDビデオを作成してください。

1. **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Adobe Premiere Pro］をクリックする。**
   「Adobe Premiere Pro」画面が表示されます。
2. **DVDビデオを作成したいシーケンス（映像）を選ぶ。**
3. **画面左上の［ファイル］をクリックして［書き出し］にポインタを合わせ、［VAIOムービー出力］をクリックする。**
4. **「出力形式」の をクリックして、リストから［Click to DVDプロジェクト］を選び OK をクリックする。**
   「名前を付けて保存」画面が表示されます。
5. **保存する場所を選び、「ファイル名」の欄にファイル名を入力して、保存(S) をクリックする。**
6. **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］→［Click to DVD］の順にポインタを合わせ、［Click to DVD］をクリックする。**
   「Click to DVD」画面が表示されます。
7. **画面右上の［ M メニュー］をクリックして、［プロジェクトを開く］をクリックする。**
   「ファイルを開く」画面が表示されます。
8. **手順5で保存したファイルを選び、開く(O) をクリックする。**
9. **画面上部の DVD 書き込み をクリックする。**
10. **DVDライタブルメディアをDVD±RWドライブに入れ、 をクリックする。**
    DVDライタブルメディアへの書き込みが始まります。

「Adobe Premiere Pro」ソフトウェアについては、下記にお問い合わせください。

アドビシステムズ社

ホームページ：http://www.adobe.co.jp/

テクニカルサポート：TEL 0570-023623

（9：30～17：30（土曜、日曜、アドビシステムズ社指定休日を除く））

DVDを作成するときのご注意

- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW には、DVD ビデオフォーマットでの記録が可能です。
  ビデオレコーディング規格での記録には対応していません。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-RW を使って DVD を作成した場合、DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-RW に対応していない DVD プレーヤーでは再生できません。

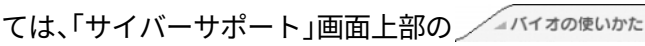
DVDを再生するときのご注意

- 本機では、ソフトウェアを用いて DVD ビデオを再生しています。このため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU、メモリなどのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちしたりすることがあります。また、ディスクによっては、再生そのものに不具合があるものも確認されています。
- DVD ビデオや動画系ファイルを再生しているときに、画面の解像度や色数を変更しないでください。動画が正しく再生できなかったり、システムが不安定になることがあります。
  また、DVD ビデオを再生するときには、スクリーンセーバーの設定を解除することをおすすめします。スクリーンセーバーを設定すると、DVD ビデオの再生中にスクリーンセーバーが起動し、正しく再生できなくなります。スクリーンセーバーによっては、画面の解像度や色数を変更したりするものも確認されています。

ハイパースレッド（Hyper Threading）機能についてのご注意

本機には、1つのプロセッサーで2つのプログラム処理（ソフトウェア・スレッド）を並列して実行できるハイパースレッド機能をもったCPUが搭載されています。

ハイパースレッド機能を使用すると、従来のドライバやソフトウェアが動作しない場合があります。動作の可否については、各ソフトウェアメーカー、周辺機器メーカーにお問い合わせください。正常に動作しない場合は、ハイパースレッド機能をOFF（Disabled）にすることで問題を回避できる場合があります。ただし、機能をOFF（Disabled）にすると、ハイパースレッド機能がON（Enabled）（出荷時）の場合に比較して、CPUの処理速度が低下します。

ハイパースレッド機能の設定については、「サイバーサポート」画面上部の 

をクリックし、画面左側の［設定］→［BIOS］→［BIOSセットアップメニュー：Advancedメニュー］の順にクリックして表示される情報の、Hyper Threading Technologyに関する記載部分をご覧ください。

「PowerDVD XP for VAIO（パワーディーブイディーエックスピーフォー バイオ）」ソフトウェアをお使いになるときのご注意

ご注意

- エクスプローラで動画ファイルのサムネイルを表示していると、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを起動できないことがあります。この場合は、動画ファイルのサムネイルを表示しているエクスプローラを終了してから、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを起動してください。
- 「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェア操作パネル上の（iPower!）をクリックすると、再生ウィンドウ上に「ReadMe」が表示されます。ただし、はじめて「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアの（iPower!）をクリックするユーザーの権限が「制限付きアカウント」の場合、再生ウィンドウが黒くなり、「ReadMe」が正常に表示されません。この場合、いったん「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンし直してから、（iPower!）をクリックしてください。それ以降は、「制限付きアカウント」のユーザーが（iPower!）をクリックしても、「ReadMe」が正常に表示されます。

テレビでDVDビデオをご覧になるときのご注意（「Giga Pocket」ソフトウェア搭載モデル）

本機で再生するDVDビデオをテレビでご覧になるときは、接続するテレビに応じて、アスペクト比の設定、またはDVDビデオのワイド画像を再生するときの画面設定を行ってください。

16:9（ワイドモード）：　ワイドモードがあるテレビでご覧になるとき

4:3（ノーマルモード）：　通常のテレビでワイド画像を横長に表示して画面の上下には帯を入れるとき

16:9　ワイドモード

4:3　ノーマルモード

本機に付属の「PowerDVD（パワーディーブイディー）　XP（エックスピーフォー）　for VAIO（バイオ）」ソフトウェアで画面設定を行うときは、以下の手順に従って操作してください。

1　デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして［すべてのプログラム］→［CyberLink PowerDVD］の順にポインタを合わせ、［PowerDVD XP for VAIO］をクリックする。

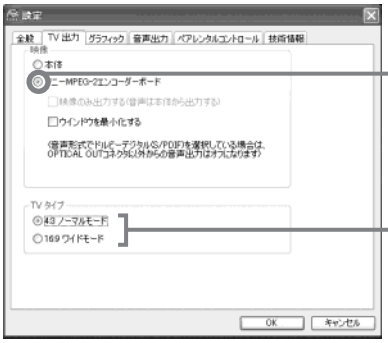
「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアが起動します。

2　［設定］（設定）をクリックする。

「設定」画面が表示されます。

3　［TV出力］タブをクリックする。

4　［映像］の［ソニーMPEG-2エンコーダーボード］の◯をクリックして◉にする。



「TVタイプ」が選択できるようになります。

5　接続するテレビに応じて、［4:3 ノーマルモード］または［16:9 ワイドモード］の◯をクリックして◉にする。

6　［OK］をクリックする。

本機のビデオ出力は、ID-1方式に対応しています。ID-1方式に対応したテレビでオートワイドの設定をすると自動的に対応した画面モードになります。詳しくは、接続するテレビの取扱説明書をご覧ください。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを使ってCDへの書き込みを行うときのご注意

「Drag'n Drop CD+DVD」ソフトウェアが起動しているときに、「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを用いてCDへの書き込みを行うと、書き込みに失敗することがあります。その場合は、いったん本機を再起動したあと、「Drag'n Drop CD+DVD」ソフトウェアを終了してから再度「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを起動してください。

工場出荷時の設定では、本機を起動したときは「Drag'n Drop CD+DVD」ソフトウェアが常駐をしています。「Drag'n Drop CD+DVD」ソフトウェアを一時的に終了させるには、デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックし、[終了]をクリックしてください。

なお上記の問題が発生した場合、書き込みに失敗してもCDへの書き込みを開始していない可能性がありますので、もう1度同じCDで書き込みを行ってみてください。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアをお使いになるときのご注意

ちょっと一言

ここではDVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RWを総称して「DVDライタブルメディア」と略しています。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアとは

「DVgate Plus」ソフトウェアや「Giga Pocket」ソフトウェアで作成したMPEGファイルをCD-R／CD-RWやDVDライタブルメディアにDVDビデオフォーマットで書き込みを行うソフトウェアです。

作成したDVDライタブルメディアのディスクは、DVDビデオディスクを再生できるバイオやDVDプレーヤーの一部で再生することができます*。作成したCD-R／CD-RWのディスクは、「PowerDVD XP for VAIO」ソフトウェアを使って再生することができます。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「DVDit! for VAIO」ソフトウェアのヘルプや電子マニュアルをご覧ください。

* 再生できるバイオおよびDVDプレーヤーについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを起動するには

デスクトップ画面左下の スタート をクリックして[すべてのプログラム]→[DVDit! for VAIO]の順にポインタを合わせ、[DVDit! for VAIO]をクリックしてください。

ご注意

- 「DVDit! for VAIO」ソフトウェア使用中は、ユーザー切り替え（ファーストユーザースイッチ）をしないでください。データの書き込みに失敗することがあります。
  ユーザー切り替えは「DVDit! for VAIO」ソフトウェアを終了してから行ってください。
- 「ビルド」メニューの「DVDディスクの作成」を選ぶと表示される「DVDディスクの作成」画面で、「オプション」の「ディスクのテストと作成」を選んでDVDディスクの作成を実行すると、ディスクのテストが終わったあとに、「書き込みを行いますので、イジェクトされたディスクを再度挿入してください。[OK]をクリックして継続してください。」というメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてもこのメッセージは表示されますので、メッセージが表示されなくなるまで何度か[OK]ボタンをクリックしてください。
- 「DVDit! for VAIO」ソフトウェアは、「制限つきアカウント」のユーザーでは使うことができません。「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでお使いください。
- 書き込み済みのDVD+Rメディアを使うと、「不明のエラー」が発生します。未使用のDVD+Rメディアをお使いください。
- 消去されたDVD+RWメディアを使うと、「このディスクは空ではありません。本当に内容を消去してもよろしいですか？」というメッセージが表示されますが、「OK」を選択して作業を進めてください。

プロジェクト設定を行うときのご注意

「ファイル」メニューの「プロジェクト設定」を選ぶと表示される「Project Settings」画面で、「プロジェクト」タブの「ディスク名」は、必ずアルファベットでタイトルを入力してください。日本語のタイトルで入力すると、文字が正しく表示されません。

著作権について

このソフトウェアで録画・録音したものは、個人として楽しむ他は、著作権法上権利者には無断で使用できません。

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されています。

「DVDit! for VAIO」ソフトウェアのお問い合わせ先

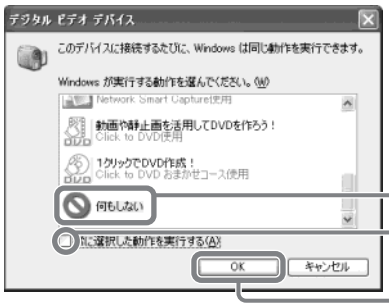
ソニック　DVDサポートセンター

電話番号：(03)5232-5065

受付時間：10時～12時、13時～17時、月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）

「Giga Pocket（ギガ ポケット）」ソフトウェアを起動するときのご注意（PCV-RZ75P／RZ65、一部ソニースタイルモデル）

「Giga Pocket（ギガ ポケット）」ソフトウェアを起動したときに、「デジタルビデオデバイス」画面が表示されます。画面をスクロールさせて、「何もしない」を選択し、[常に選択した動作を実行する]の☐を☑にして、OK をクリックしてください。



❶「何もしない」を選択する。

❷ チェックをつける。

❸ ここをクリックする。

ちょっと一言

本機をリカバリしたあとも、上記の操作を行ってください。

本機へアナログ入力するときのご注意

「DVgate Plus（ディーブイゲート プラス）」ソフトウェアまたは「Giga Pocket（ギガ ポケット）」ソフトウェアを使って、本機のアナログ入力コネクタから静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

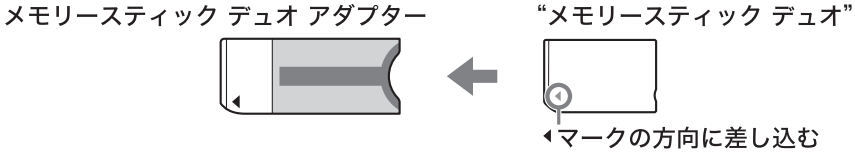
ちょっと一言

「DVgate Plus」ソフトウェアを使って、本機にアナログ入力できるのはPCV-RZ75P／RZ65（一部ソニースタイルモデル）です。

- 取り込む静止画や動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機後面の VIDEO1 INPUT コネクタまたは、本機前面の VIDEO 2 INPUT コネクタにつないだケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われてないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

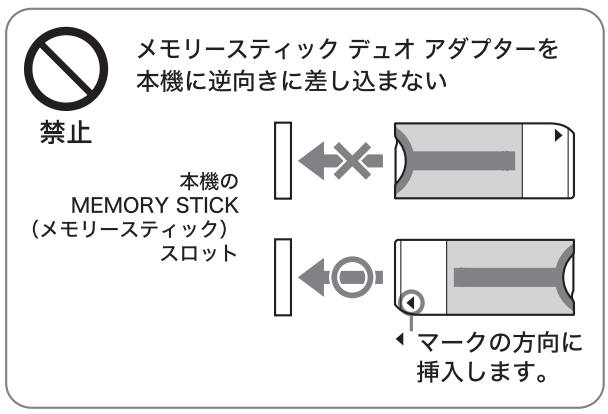
“ メモリースティック デュオ ”をお使いになるときのご注意

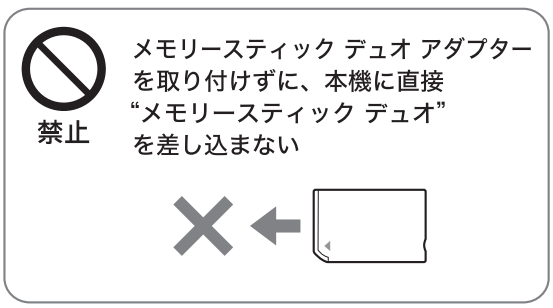
メモリースティック デュオ アダプターを取り付ければ、本機でも“ メモリースティック デュオ ”を使うことができます。



ご注意

- **“ メモリースティック デュオ ”のメモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。**
- “ メモリースティック デュオ ”を本機でお使いの場合は、必ず“ メモリースティック デュオ ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。メモリースティック デュオ アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“ メモリースティック デュオ ”を取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティック デュオ アダプターは、“ メモリースティック デュオ ”を装着していない状態で本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- “ メモリースティック デュオ ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認ください。
- “ メモリースティック デュオ ”をメモリースティック デュオ アダプターに装着して本機でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。





“ メモリースティック ”をお使いになるときのご注意

- “ メモリースティック ”をフォーマットするときは、「メモリースティックフォーマッタ」ソフトウェアを使用し、以下の手順に従って操作してください。
  詳しくは、「メモリースティックフォーマッタ」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1 フォーマットしたい“ メモリースティック ”を MEMORY STICK（メモリースティック）スロットに入れる。

2 デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［すべてのプログラム］→［Memory Stick Utility］の順にポインタを合わせ、［Memory Stick Formatter］をクリックする。
「メモリースティックフォーマッタ」画面が表示されます。

ちょっと一言

「ご注意」画面が表示されたときは、OK をクリックしてください。

3 “ メモリースティック ”が入っているドライブをクリックし、フォーマット開始 をクリックする。
「フォーマットを実行しますか？」というメッセージが表示されます。

4 OK をクリックする。
“ メモリースティック ”がフォーマットされます。

5 OK 、終了 の順にクリックする。

- MEMORY STICK（メモリースティック）アクセスランプが点灯しているときは、“ メモリースティック ”を取り出さないでください。再度 MEMORY STICK（メモリースティック）スロットに“ メモリースティック ”を入れても認識しなくなることがあります。
  誤って取り出してしまい、“ メモリースティック ”が認識されないときは、いったん本機の電源を切ってから再度 ⏻（電源）ボタンを押して起動させてください。

本機にメモリを増設するときのご注意

メモリ増設は、電気的な専門知識が必要な作業なので、販売店やVAIOカスタマーリンクに取り付けをご依頼ください。

本機にメモリを増設する場合、メモリモジュールを逆向きに取り付けるなど、間違った方法で装着すると故障や事故の原因となりますので、ご自分でメモリ増設をすることは推奨しておりません。

ご自分でメモリ増設をする場合は、「接続／ 拡張するときは」の「メモリを増設する」（158ページ）を必ずご覧ください。

ご自分でメモリの増設を行い、故障や事故が起きた場合、修理はすべて有償となります。

スマートメディアをお使いになるときのご注意

スマートメディアは端子部が露出した形状となっていますので、端子部には直接手や金属で触れないようご注意ください。スマートメディアの端子部が汚れていると、本機で認識されい場合があります。

端子部が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。

“ メモリースティック ”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“ メモリースティック ”以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器（デジタルスチルカメラやオーディオ機器など）で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめフォーマット（初期化）してからご使用ください。

機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリーカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

ドライブを増設するときのご注意 (“ メモリースティック ”アイコンなどが正しく表示されない)

本機にハードディスクやオプティカルドライブを増設した場合、「マイコンピュータ」で“ メモリースティック ”などのアイコンが正しく表示されない場合があります。

その場合は、下記の手順に従ってアイコンを設定してください。

1. **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［ファイル名を指定して実行］をクリックする。**
   「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。
2. **「名前」の欄に「C:￥Drivers￥Icons￥SetMediaIcon.exe」と入力し、 OK をクリックする。**
   画面には、何も表示されません。
3. **本機を再起動し、「マイコンピュータ」にアイコンが正しく表示されているか確認する。**

PCNA-MR1（ルームリンク）をご使用になるお客様へ

PCNA-MR1（ルームリンク）をご使用になる前に、下記の設定をバイオ側で必ず行ってください。

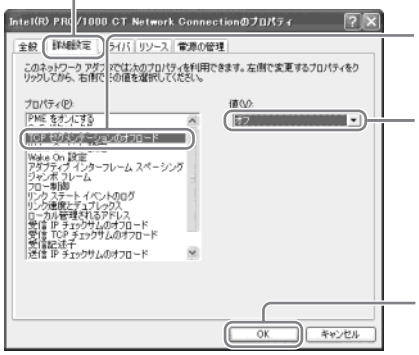
下記の設定を行わないと、PCNA-MR1（ルームリンク）でテレビ、またはビデオを見るときに、1分に1回程度の割合で映像が2秒ほど停止したり、再生したりします。そのまま映像を見続けると、最終的には、PCNA-MR1（ルームリンク）が停止します。PCNA-MR1（ルームリンク）が停止した場合は、PCNA-MR1（ルームリンク）の電源を抜き、30秒後電源を入れ直してください。

1. **デスクトップ画面左下の スタート をクリックして［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**
2. **［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックする。**
   「デバイスマネージャ」画面が表示されます。
3. **［ネットワークアダプタ］のをクリックし、［Intel(R)xxxxxxxx Network Connection］があった場合は、ダブルクリックする。**

［Intel(R)xxxxxxxx Network Connection］があった場合はダブルクリックする。

［Intel(R)xxxxxxxx Network Connection］がない場合は、以下の設定は不要です。画面右上の ✕ をクリックして画面を閉じてください。

4 [Intel(R)xxxxxxxx Network Connection]画面で[詳細設定]タブをクリックし、[TCPセグメンテーションのオフロード]または[Offloading]をクリックし、[値]のプルダウンメニューから[オフ]または[None]を選択する。



5 OK ボタンをクリックし、「デバイスマネージャ」画面右上の ✕ をクリックして画面を閉じる。

ソニースタイルモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により、電子マニュアル「サイバーサポート」および本書の記載と仕様が異なります。

詳しくは、同梱されている「Sony Styleご利用のお客様へ」をご覧ください。

「Giga Pocket Engine DX」を搭載しないモデルをお使いの場合：

- 以下の点でハードウェアの仕様が異なります。
  - MPEGエンコーダーボード「Giga Pocket Engine DX」が搭載されません。
  - 下記のコネクタが装備されません。
    「Giga Pocket Engine DX」用入力端子（ビデオ入力、オーディオ入力：本機前面）
    ビデオ出力、オーディオ入出力、テレビアンテナ（本機後面）
- 以下のソフトウェアは搭載されません。
  - Giga Pocket
  - iRCommander
  - DVアナログ入出力切り替えツール
- 以下のものは同梱されません。
  - リモコン、受光ユニット、乾電池
  - アンテナ接続ケーブル、オーディオ接続ケーブル、ビデオ接続ケーブル
  - ビデオ接続用変換コネクタ
- 以下の操作はできません。
  - テレビ番組の再生/録画
  - リモコンでの各ソフトウェアやテレビの操作
  - アナログ映像の入出力
  - DV-アナログ変換
  - 本機をサーバーとした「VAIO Media」ソフトウェアからの「Giga Pocket」ソフトウェアの操作

DV-アナログ変換機能を搭載しないモデルをお使いの場合：

- DV- アナログ変換ハードウェアは装備されません。
- DV アナログ入出力切り替えツールは搭載されません。
- 以下の操作はできません。
  - 「DVgate Plus」ソフトウェアを使ったアナログ映像の取り込み
  - 「Giga Pocket」ソフトウェアを使ったi.LINK入出力の選択

CD-RWドライブを搭載したモデルをお使いの場合：

- CD-RW ドライブの書き込み速度、読み出し速度については以下のとおりです。
  - 書き込み速度：最大40倍速（CD-R）、最大10倍速（CD-RW）
  - 読み出し速度：最大40倍速（CD-ROM、CD-R）
- CD-RW ドライブで使用できるディスクは以下のとおりです。

ディスクの種類	マーク
CD-ROM	
音楽CD	
CD Extra	
CD-R *1	
CD-RW *1*2	
CD TEXT	

*1 CD-R／CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。

*2 Ultra Speed CD-RWのディスクには対応していません。

ご注意

8cmのCD-R／CD-RWへの書き込みには対応していません。

LINE（電話回線）ジャック／PC CARD（PCカード）スロットを搭載しないモデルをお使いの場合：

- テレホンコードは付属しません。
- 一般電話回線に接続できません。
- PC カードは使えません。

お使いのモデルによって以下の付属品・ソフトウェアが同梱・搭載されます。

- 「Giga Pocket」ソフトウェア
- iRCommander
- Adobe Premiere Pro 日本語版 インストール CD（CD-ROM）
- 「Adobe(R) Premiere(R) 6 LE 日本語版」ソフトウェア
- Adobe Premiere 6 LE 日本語版 編集ガイドブック PDF 版（CD-ROM）
- 「Adobe(R) Premiere(R) Pro」CD-ROM
- 「バイオでデジタルビデオ編集を始めよう」（CD-ROM）
- 「DigiOnSound(R) 3 L.E. for VAIO」ソフトウェア
- Microsoft(R) Office Personal Edition 2003
- DV アナログ入出力切り替えツール
- 「Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition」ファーストステップガイド

索引

【ア行】

アイコン 79
アクセスポイント 97
アクティブスピーカー 32
　接続 32
　電源コネクタ 23, 24, 33
アドレスバー 117
アナログ入力 210
アンテナコネクタ
.....23, 24, 41, 64
イーサネット 150
インターネット
　トラブル 89
インターネットサーバー 112
インターネットサービス
プロバイダ 84, 87
インターネット接続サービス
.....87
ウイルス 89, 131
ウィンドウ 79, 81
　切り換える 81
　最小化 81
　サイズを変える 81
　最大化 81
　閉じる 81
ウェブブラウザ 88, 116
映像出力コネクタ
.....23, 24, 43, 136, 138
映像入力コネクタ
.....21, 22, 23, 24,
.....43, 136, 137, 138
オフライン作業 127
オンラインサインアップ 92

【カ行】

拡張デバイスベイ 22
　取り付ける 173
　取りはずす 176
拡張ボード
　空きスロット 154
　種類 154
　増設する 154
　取り付ける 155
　取りはずす 157
　PCI拡張ボード 154
各部の説明 21
各部のなまえ 78, 80, 81
カスタマー登録 54
かな入力 81
壁紙 79
キーボード
　お手入れ 213
　接続 34
　使いかた 80
　文字の入力 81
　KEYBOARD（キーボード）
　コネクタ 23, 24, 34
休止状態 76
ケーブルモデム 38
結露 209
ごみ箱 78, 82
コンパクトフラッシュスロット
.....21, 22
コンピュータウイルス 89, 131
コンピュータの管理者 53

【サ行】

最適化 198
サイバーサポート 5
受信メールサーバー 99
省電力機能 76
ジョグコントローラー 26, 45
スクロールバー 81
スタートボタン 78
スタンバイモード 76
スマートメディアスロット
.....21, 22
スロット
　拡張メモリ 158
制限付きアカウント 53
接続 31
　アクティブスピーカー 32
　アンテナ 40
　キーボード 34
　ジョグコントローラー 45
　ディスプレイ 31
　デジタル機器 148
　テレビ 136
　電源コード 46
　電話回線 35
　ネットワーク（LAN） 149
　ビデオデッキ 42, 43, 137
　プリンタ 142
　マウス 34
　リモコン用受光ユニット 39
　ADSL 37
　CATVインターネット回線
.....38
　ISDN回線 38
　i.LINK対応機器 144
　USB機器 140
設置 29
送信メールサーバー 99
ソフトウェアの不正コピー禁止
.....211

【タ行】

ターミナルアダプタ 38
タイトルバー 81
ダイヤルアップ接続 97
タスクバー 78
断片化 198
通知領域 78
ツールバー 81
ディーブイアイコネクタ 23, 24
ディスプレイ
　お手入れ 213
　接続 31
　取り扱いについて 209
デスクトップ画面 78
デバイス
　増設する 173
　取り付ける 173
　取りはずす 176
デフラグ 198
テレビ
　チャンネル設定 66, 70
　テレビにつなぐ 136
　テレビを見る準備をする 64
電源
　電源ボタン 21, 22, 47
　電源ランプ 21, 22, 47
　電源を入れる 47
　電源を切る 75
電子メール 122, 127
　電子メールアドレス 98
　電子メールソフトウェア
.....88, 122
　トラブル 89
　やりとりする 127
電話回線
　ジャック 23, 24, 35
　接続 35
動画系ソフトウェアの使いかた
.....206
トーン式ダイヤル 57, 98
ドライバ 142, 151, 154

【ナ行】

ネットワークカード 150
ネットワーク（LAN） 149
ネットワーク（LAN）コネクタ
.....23, 24, 37, 149

【ハ行】

パーティション 198
ハードディスク
　アクセスランプ 21, 22
　増設する 166
　取り扱いについて 210
　取り付ける 166
　取りはずす 169
　バックアップをとる 210
パームレスト 34
パルス式ダイヤル 57, 98
光デジタル出力コネクタ
.....23, 24, 148
光ファイバー 86, 87
ビデオデッキ 42, 43, 137
ファイル 82
　削除 82
　ファイルを作る 82
フォルダ 82
　削除 82
　フォルダを作る 82
複数ユーザー 53
付属ソフトウェア 215
付属品 18
フラッシュメモリ 150
プリンタ 142
プリンタコネクタ 23, 24, 143

フロッピーディスク
取り扱いについて 211
フロッピーディスクドライブ
.....21, 22
アクセスランプ 21, 22
イジェクトボタン 21, 22
プロバイダ 84, 87, 92, 94
ヘッドホンコネクタ 23, 24, 33
ポインタ 80
ホームページ 116

【マ行】

マイクロホンコネクタ 23, 24
マウス 80
お手入れ 213
各部のなまえと使いかた ...80
クリック 80
接続 34
ダブルクリック 80
ドラッグ 80
取り扱いについて 210
ホイールボタン 80
右クリック 80
MOUSE（マウス）コネクタ
.....23, 24, 34
メニューバー 81
メモリ
増設する 158
デュアルチャンネル 159
メモリモジュール 158
メモリーカード
アクセスランプ 21, 22
メモリースティック 231
メモリースティック デュオ
.....230
メモリースティックスロット
.....21, 22
アクセスランプ 21, 22
メモリカード 150
メモリモジュール
増設する 158
取り付ける 161
取りはずす 165
文字入力 81
モデム 88
モニタコネクタ 23, 24, 31

【ヤ行】

ユーザーアカウント 53
ユーザー切り替え 53

【ラ行】

ライン入力コネクタ 23, 24
ランプ 21, 22
リカバリ 178, 183
リカバリ起動ディスク 178
リカバリディスク 178
作成 178, 179
リカバリ領域 178
削除 200
リモコン 25, 40
リモコン用受光ユニット 39
ローマ字入力 81

【ワ行】

ワイヤレスLAN PCカード 150

【A】

AC INPUTプラグ 23, 24, 46
AC電源入力プラグ 23, 24, 46
ADSL 37, 85, 87, 100, 149
AV機器
テレビ 136
ビデオデッキ 42, 43, 137
AVマウス機能付き
スカイパーフェクTV！
（CSチューナー）.....43, 44
AVマウス機能付き
BSデジタルチューナー
.....43, 44

【C】

CATVインターネット
.....38, 86, 87
CD-ROM
お手入れ 213
取り扱いについて 211
CD-R／CD-RW
お手入れ 213
取り扱いについて 211
CFスロット 21, 22

【D】

DVD-ROM
お手入れ 213
取り扱いについて 211
DVD-ROMドライブ 21
アクセスランプ 21
イジェクトボタン 21
DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW
お手入れ 213
取り扱いについて 211
DVD±RWドライブ
.....21, 22, 181
アクセスランプ 21, 22
イジェクトボタン 21, 22
DVIコネクタ 23, 24, 31

【F】

FTTH 85, 86, 87

【G】

Giga Pocket 64

【H】

HEADPHONESコネクタ
.....23, 24, 33
HTML 124

【I】

ISDN回線 38, 86, 87
ISDNダイヤルアップルータ ...38
ISP 84, 87, 106
i.LINK
つなぐ 144
データをやりとりする 144
i.LINKケーブル 147
i.LINKコネクタ
.....21, 22, 23, 24,146

【K】

KEYBOARDコネクタ
.....23, 24, 34

【L】

LAN 149
LINE INコネクタ 23, 24
LINEジャック 23, 24, 35

【M】

MEMORY STICKスロット
.....21, 22
アクセスランプ 21, 22
MICコネクタ 23, 24
Microsoft Internet Explorer
.....88, 116
MO 150
MONITORコネクタ 23, 24, 31
MOUSEコネクタ 23, 24, 34
MS-IMEツールバー 81

【N】

Norton AntiVirus 72, 131

【O】

OPTICAL OUTコネクタ
.....23, 24, 148
OS 52, 89
Outlook Express 88, 127

【P】

PC CARDスロット 15,121, 22
PCカード 150
PCI拡張ボード 154
PPP 97
PRINTERコネクタ ...23, 24, 143

【S】

SCSI 150
SMスロット 21, 22
Smart Connect 144

【U】

URL 117
USB機器 140
USBコネクタ
.....21, 22, 23, 24,
.....38, 39, 45, 140

【V】

VAIOカスタマー登録 54
VHF／UHFコネクタ
.....23, 24, 41
VIDEO 1 INPUTコネクタ
.....23, 24, 137

VIDEO 2 INPUTコネクタ
.....21, 22, 138
VIDEO OUTPUTコネクタ
.....23, 24, 136, 138

【W】

Windows
準備する 48

MEMO

本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

商標について

- VAIOはソニー株式会社の商標です。
- “ Memory Stick ”(“ メモリースティック ”)、“ Memory Stick Duo ”、MEMORY STICK PROおよびMEMORY STICKは、ソニー株式会社の商標です。
- OpenMGはソニー株式会社の商標です。
- So-net、ソネットおよびSo-netロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ" "はソニー株式会社の商標です。
- 「Webpocket」はソニー株式会社の商標です。
- Intel、Pentium、CeleronはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、WindowsおよびOutlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- ドルビー、DOLBY、ダブルD記号、AC-3およびプロロジックはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- SmartMedia(TM)は（株）東芝の商標です。
- CompactFlash(TM)は米国SanDisk社の商標です。
- テレビ王国、iRCommander、アイアールコマンダーは、ソニー株式会社の登録商標です。
- iCommand、アイコマンドは、ソニー株式会社の商標です。
- 「iモード」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Adobe、Adobe Photoshop、Adobe PremiereおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ダイナフォントは、DynaLab, Inc.の商標です。
- Copyright (C)1995 - 2003 RealNetworks(TM),Inc.
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。
  QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- PowerDVD is trademark of CyberLink Corp.
- Sonic、Sonic Solutions、DVDit!は米国Sonic Solutions社の米国およびその他の国における商標です。
- Copyright (C)2003 PEGASYS Inc.
- Recording Technology by Sonic Solutions.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a Trademark of Sony Corp.
- Equaliser for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager and Renaissance Bass plug-ins by Waves Ltd.
- Noise Reduction Effector Powered by DigiOn, Inc. Copyright (C) 2003 DigiOn, Inc.
- ASIO Interface Technology by Steinberg Media Technologies AG.
- VST PlugIn Interface Technology by Steinberg Media Technologies AG.
- Digital Music Recognition Technology & MoodLogic for SonicStage Mastering Studio Service provided by MoodLogic, Inc. Copyright (C) 2003.
- DigiOn、DigiOnSoundは、株式会社デジオンの登録商標です。
- (C) 2003 Google Inc. All rights reserved.
- 2003 AMERICA ONLINE. INC. All Rights Reserved.
- ＠niftyはニフティ株式会社の商標です。
- BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
- DIONはKDDI株式会社の登録商標です。
- ＯＣＮは、ＮＴＴコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- 「ぷらら」は株式会社ぷららネットワークスの登録商標です。
- Copyright 2001-2002 Sony Communication Network Corporation
- "Yahoo! BB"はヤフー株式会社およびソフトバンクBB株式会社が提供するADSL接続サービスです。
  "BBフォン"はソフトバンクBB株式会社が提供するブロードバンド電話です。
- Copyright (C) 2000-2003 DigiOn Inc. and Easy Systems Japan Ltd. All rights reserved.
  Drag'n Dropはイージーシステムズジャパン（株）と（株）デジオンの登録商標です。
- Copyright(C) 1988-2003 Val Laboratory Corporation All rights reserved
- Symantec、Symantecロゴ、Norton AntiVirus、LiveUpdateは、Symantec Corporationの登録商標です。
  (C) 2003 Symantec Corporation, All Rights Reserved.
- 「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Grami
  All rights Reserved. Copyright (C) Sony Corporation.
  Contains IP3 Technology licensed from Visionarts, Inc.
  Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

バイオのマニュアルを活用しよう!

紙のマニュアル

❑ **取扱説明書（本書）**

本機を使うための準備など、お使いになるうえで大切な情報を記載しています。

❑ **バイオで映像を楽しもう！**

本機に付属しているソフトウェアの活用法を説明しています。

❑ **困ったときは**

トラブルに出合ったときの解決方法や本機のサービス・サポートについて説明しています。

画面で見るマニュアル

サイバーサポート（電子マニュアル）

デスクトップ画面上の

をダブルクリック!

サポート情報は VAIOカスタマーリンクホームページへ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
バイオを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35
http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan